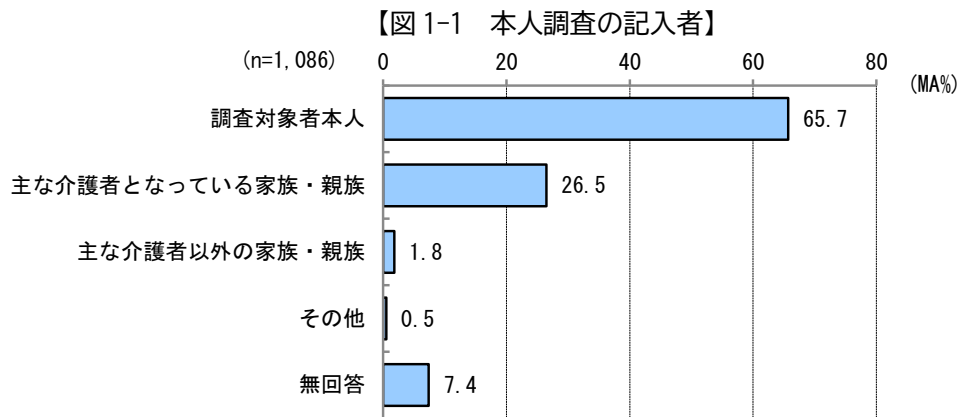


第4章 在宅介護実態調査の結果

1 本人に対する調査

(1) 本人調査の記入者

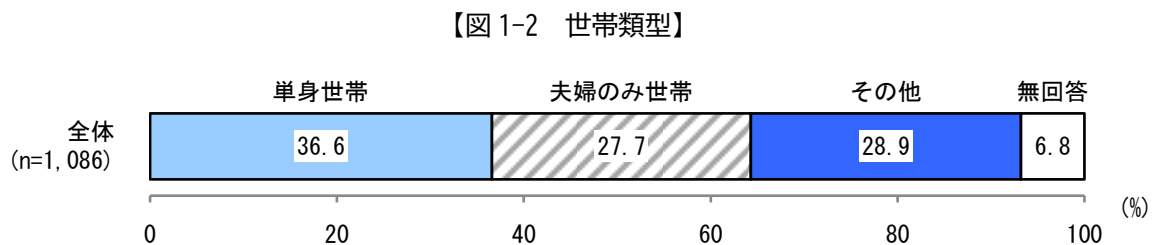
問1. 現在、この調査票に御回答をいただいているのは、どなたですか。
 <あてはまるものすべてに○>



本人調査の記入者については、「調査対象者本人」が65.7%、「主な介護者となっている家族・親族」が26.5%、「主な介護者以外の家族・親族」が1.8%となっています。(図1-1)

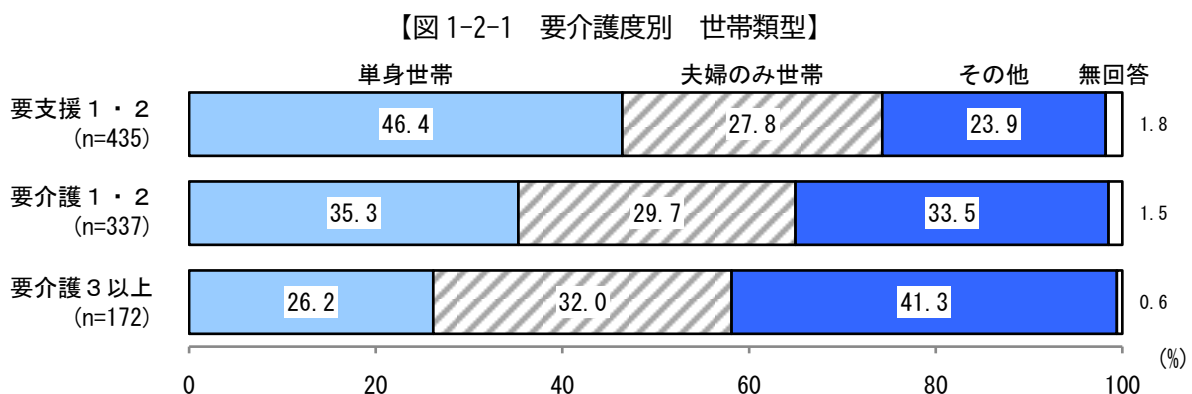
(2) 世帯類型

問2. あなた(あて名の御本人。以下の問も同じです。)の世帯類型について、御回答ください。
 <○は1つ>



世帯類型については、「単身世帯」が36.6%、「夫婦のみ世帯」が27.7%、「その他」の世帯が28.9%となっています。(図1-2)

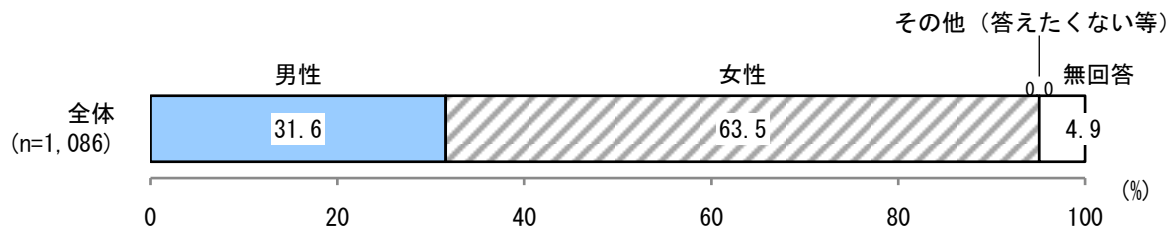
要介護度別でみると、「単身世帯」の割合は要介護度が重度になるほど低く、「要介護3以上」では26.2%となっています。(図1-2-1)



(3) 性別

問3 あなたの性別について、御回答ください。〈○は1つ〉

【図1-3 性別】

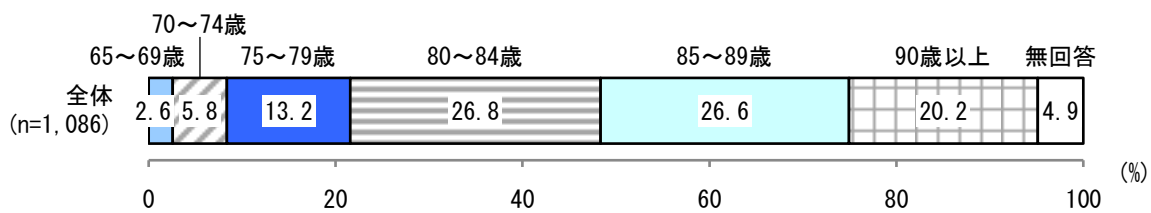


性別は「男性」が31.6%、「女性」が63.5%となっています。(図1-3)

(4) 年齢

問4 あなたの年齢について、御回答ください。〈○は1つ〉

【図1-4 年齢】

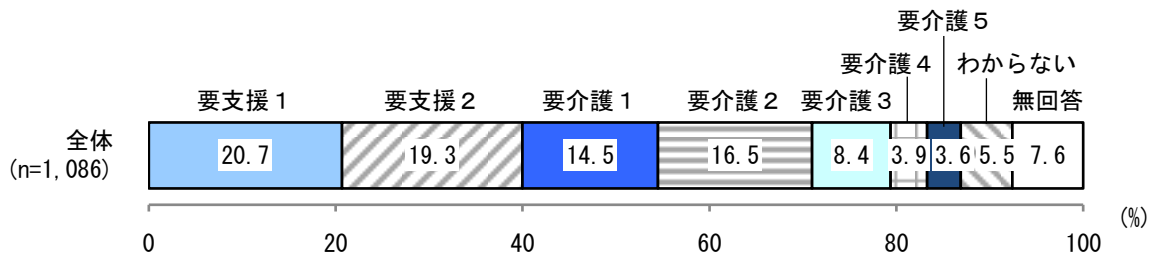


年齢は、「80~84歳」が26.8%で最も多く、次いで「85~89歳」が26.6%、「90歳以上」が20.2%となっています。(図1-4)

(5) 要介護度

問5. あなたの要介護度について、御回答ください。〈○は1つ〉

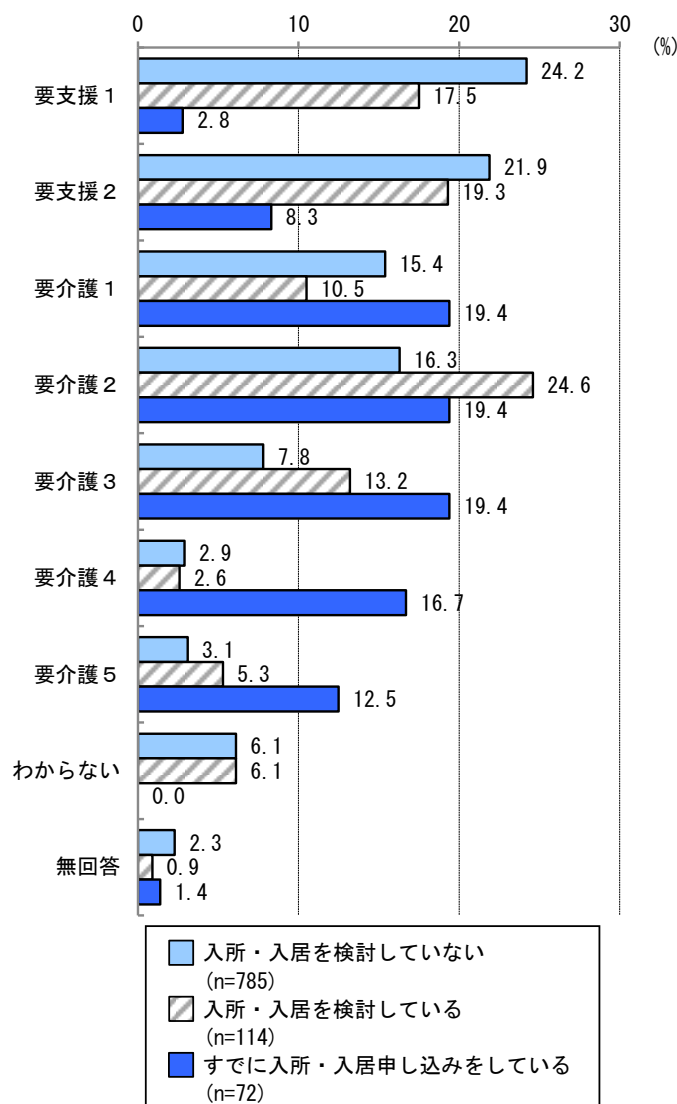
【図1-5 要介護度】



要介護度については、「要支援1」が20.7%で最も多く、次いで「要支援2」が19.3%、「要介護2」が16.5%となっています。(図1-5)

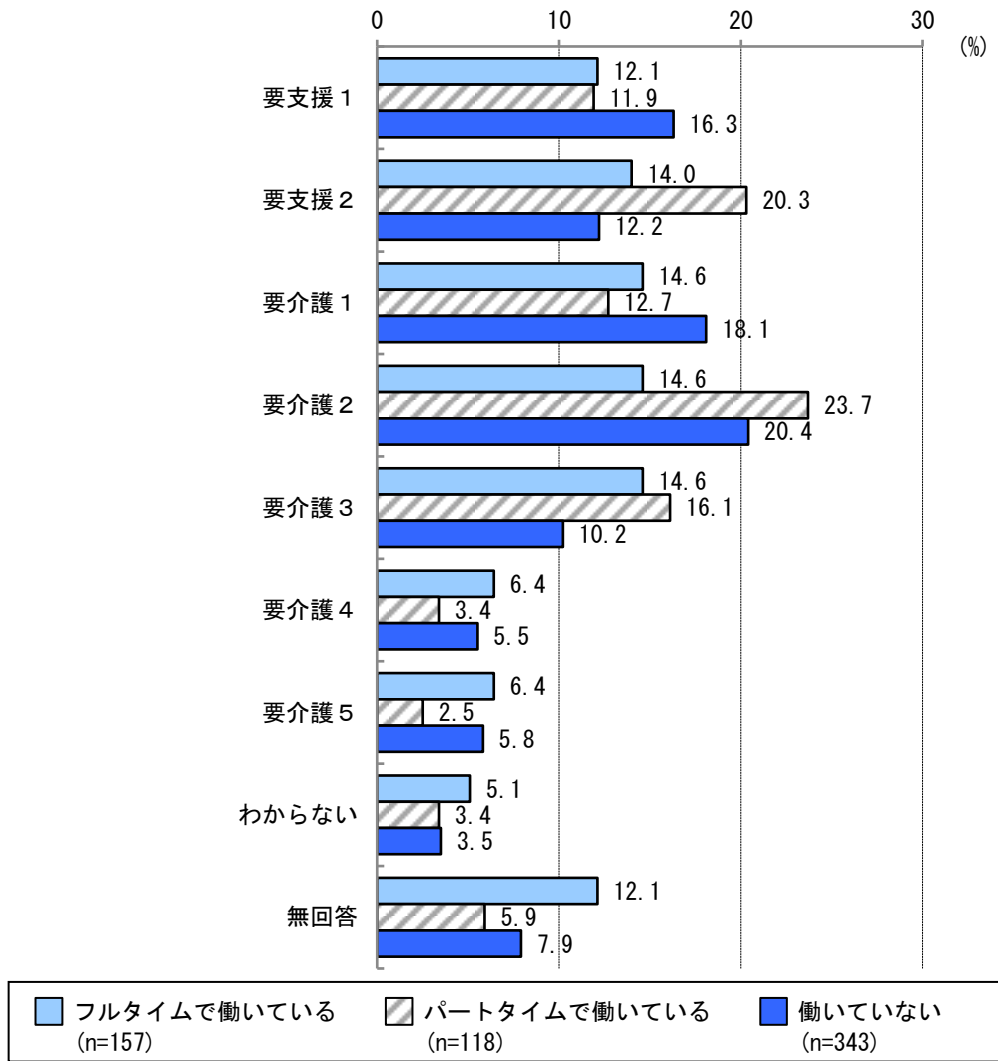
施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”では、「要支援1」が24.2%で最も多く、“入所・入居を検討している”では「要介護2」が24.6%で最も多くなっています。また、“すでに入所・入居申し込みをしている”では「要介護1」、「要介護2」、「要介護3」がそれぞれ19.4%で最も多くなっています。(図1-5-1)

【図1-5-1 施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度】



主な介護者の勤務形態別でみると、“パートタイム勤務”“働いていない”では「要介護2」が最も多く、“フルタイム勤務”は「要介護1」、「要介護2」、「要介護3」が同率の14.6%で高くなっています。(図1-5-2)

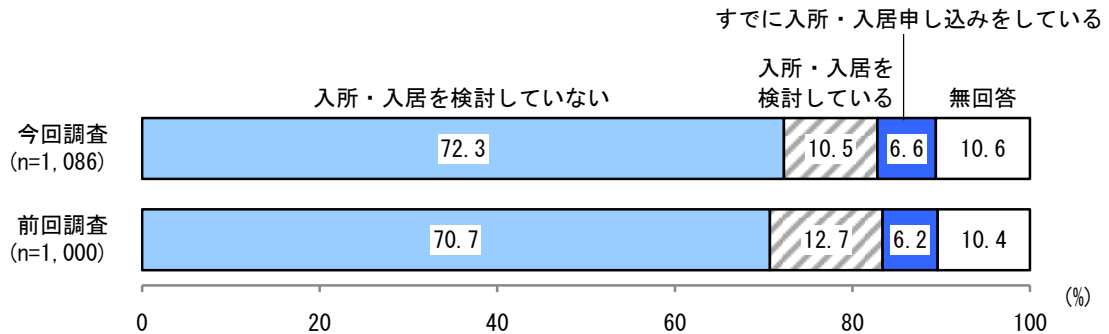
【図1-5-2 主な介護者の勤務形態別 要介護度】



(6) 施設等への入所・入居の検討状況

問6. あなたの現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、御回答ください。
 <○は1つ>

【図1-6 施設等への入所・入居の検討状況】

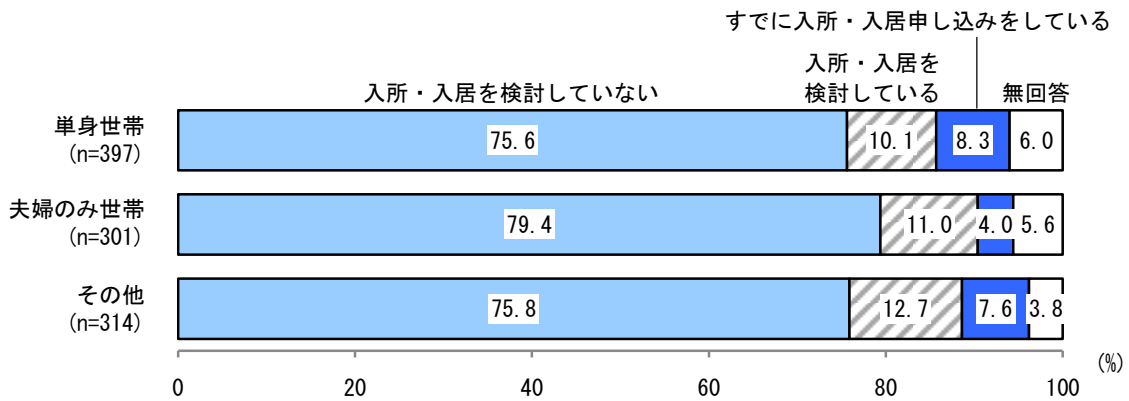


施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居を検討していない」が72.3%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が10.5%となっています。

前回調査と比較しても、大きな差異はみられません。(図1-6)

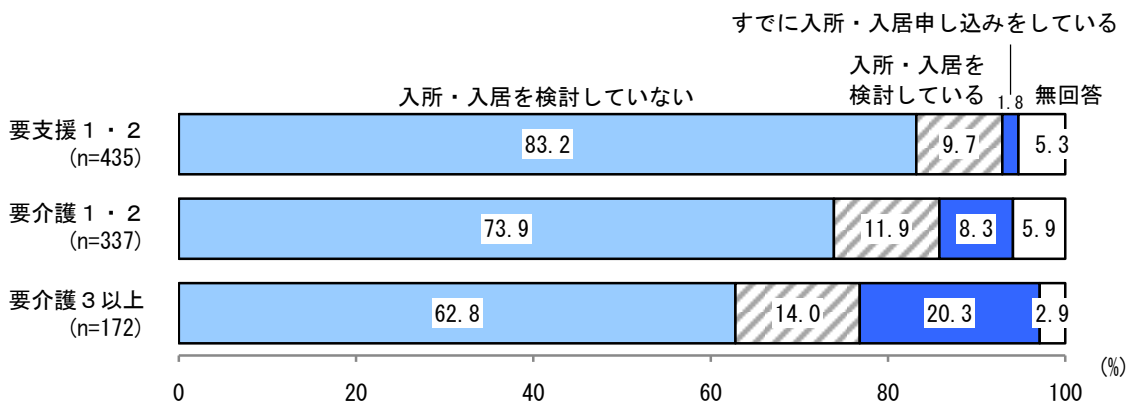
世帯類型別でみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は“単身世帯”(8.3%)で最も高くなっています。(図1-6-1)

【図1-6-1 世帯類型別 施設等への入所・入居の検討状況】



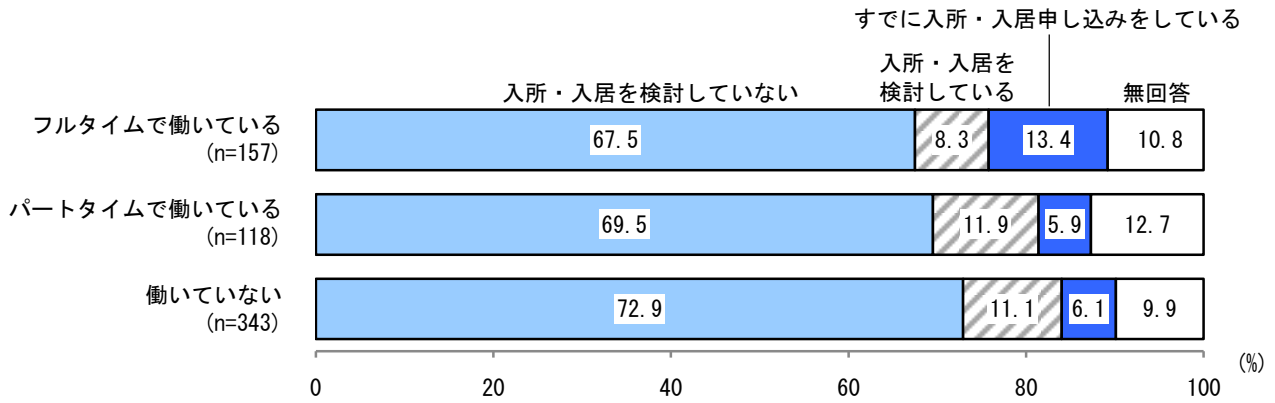
要介護度別でみると、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は要介護度が重度になるほど高く、“要介護3以上”で最も高くなっています。(図1-6-2)

【図1-6-2 要介護度別 施設等への入所・入居の検討状況】



主な介護者の勤務形態別でみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」割合は“フルタイム勤務”で最も高く、13.4%となっています。(図1-6-3)

【図1-6-3 主な介護者の勤務形態別 施設等への入所・入居の検討状況】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】

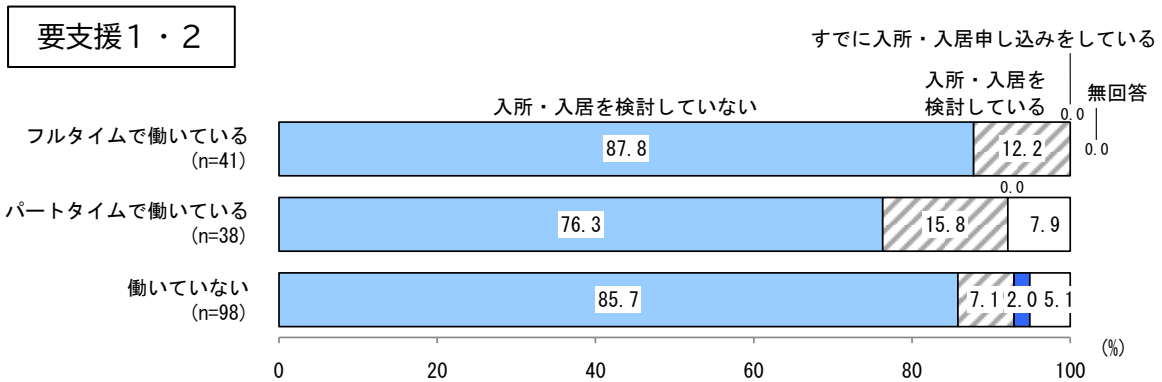
要支援1・2において主な介護者の勤務形態別で見ると、「入所・入居を検討していない」割合は“フルタイム勤務”が87.8%で最も高く、次いで“働いていない”が85.7%となっています。(図1-6-4)

要介護1・2においては、「入所・入居を検討している」割合は“フルタイム勤務”で15.2%と最も高くなっています。「すでに入所・入居申し込みをしている」割合も“フルタイム勤務”で17.4%と最も高くなっています。(図1-6-5)

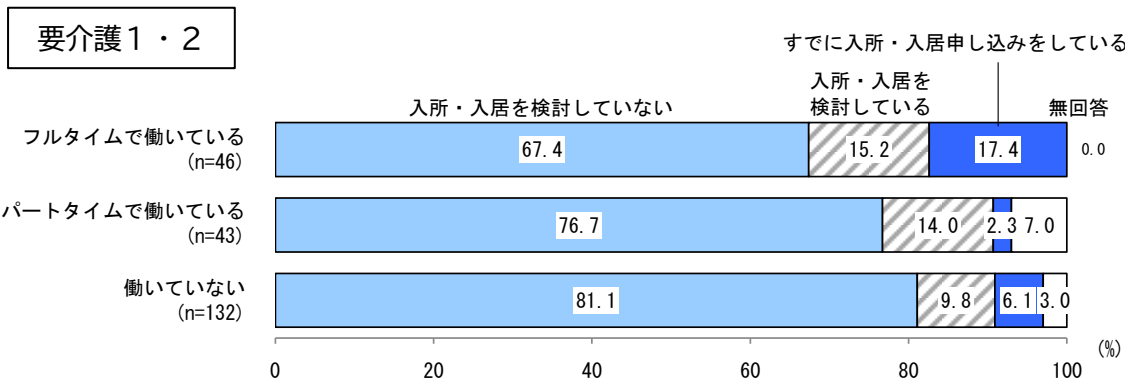
要介護3以上においては、「すでに入所・入居申し込みをしている」割合は“フルタイム勤務”で30.2%と最も高くなっています。(図1-6-6)

“フルタイム勤務”及び“働いていない”では、「入所・入居を検討していない」割合は、要介護度が重度になるほど低くなる傾向にあります。

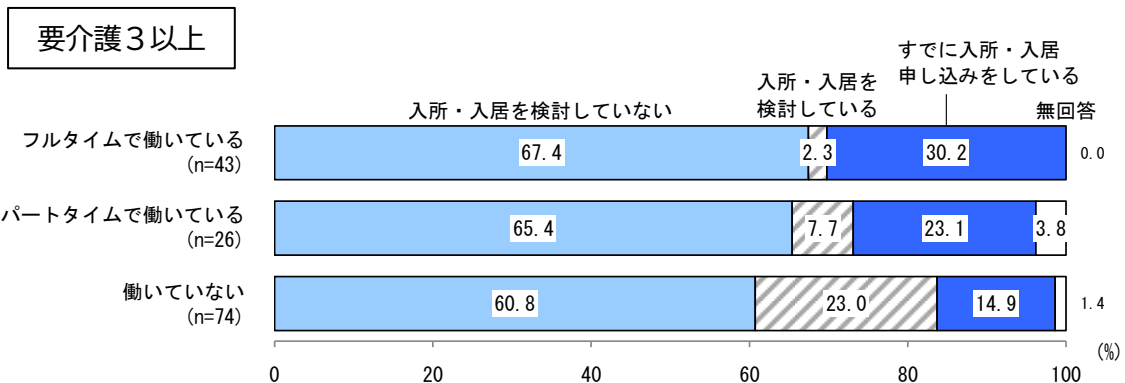
【図1-6-4 主な介護者の勤務形態別 施設等への入所・入居の検討状況（要支援1・2）】



【図1-6-5 主な介護者の勤務形態別 施設等への入所・入居の検討状況（要介護1・2）】



【図1-6-6 主な介護者の勤務形態別 施設等への入所・入居の検討状況（要介護3以上）】

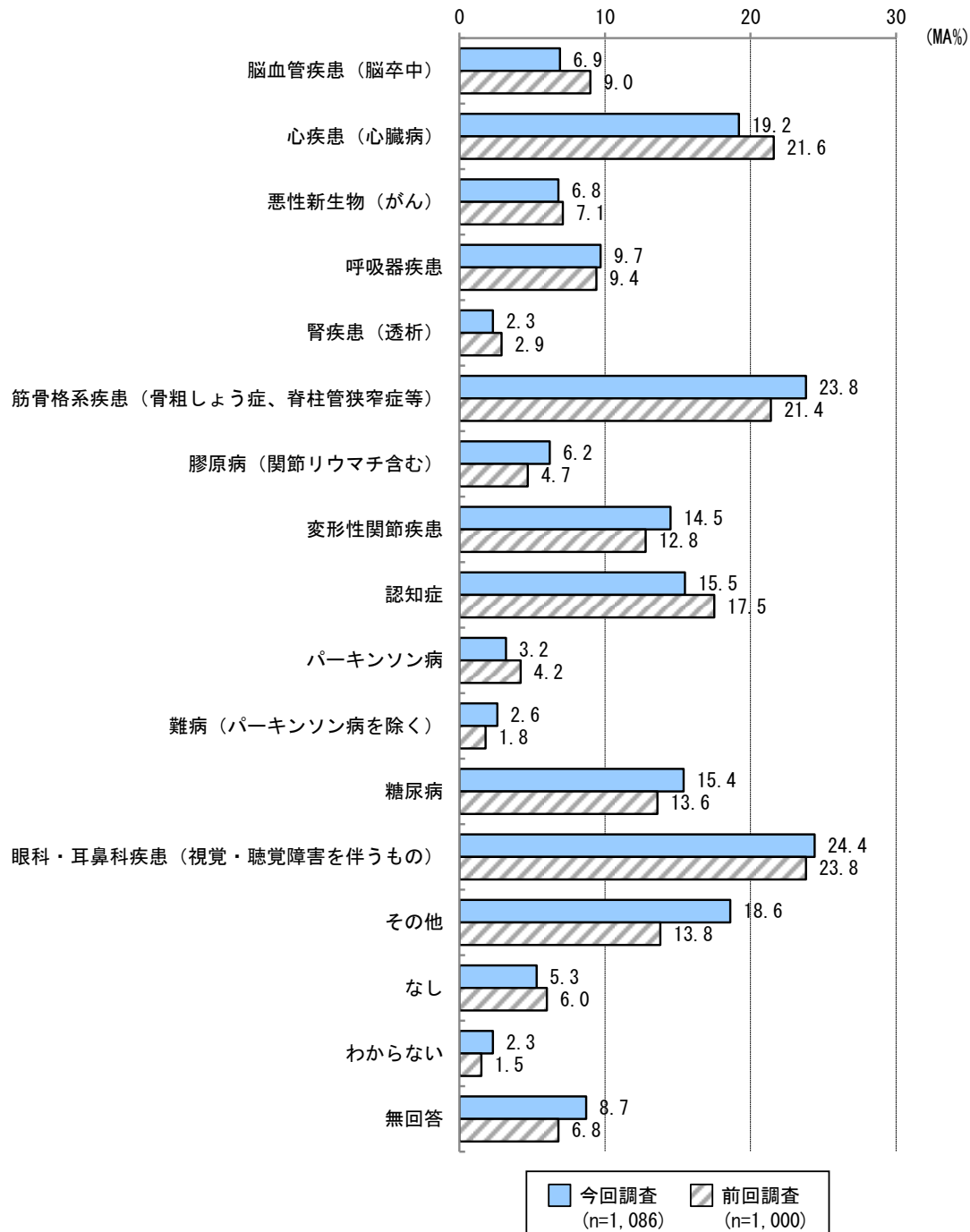


(7) 現在抱えている傷病

問7. あなたが、現在抱えている傷病について、御回答ください。

<あてはまるものすべてに○>

【図1-7 現在抱えている傷病】

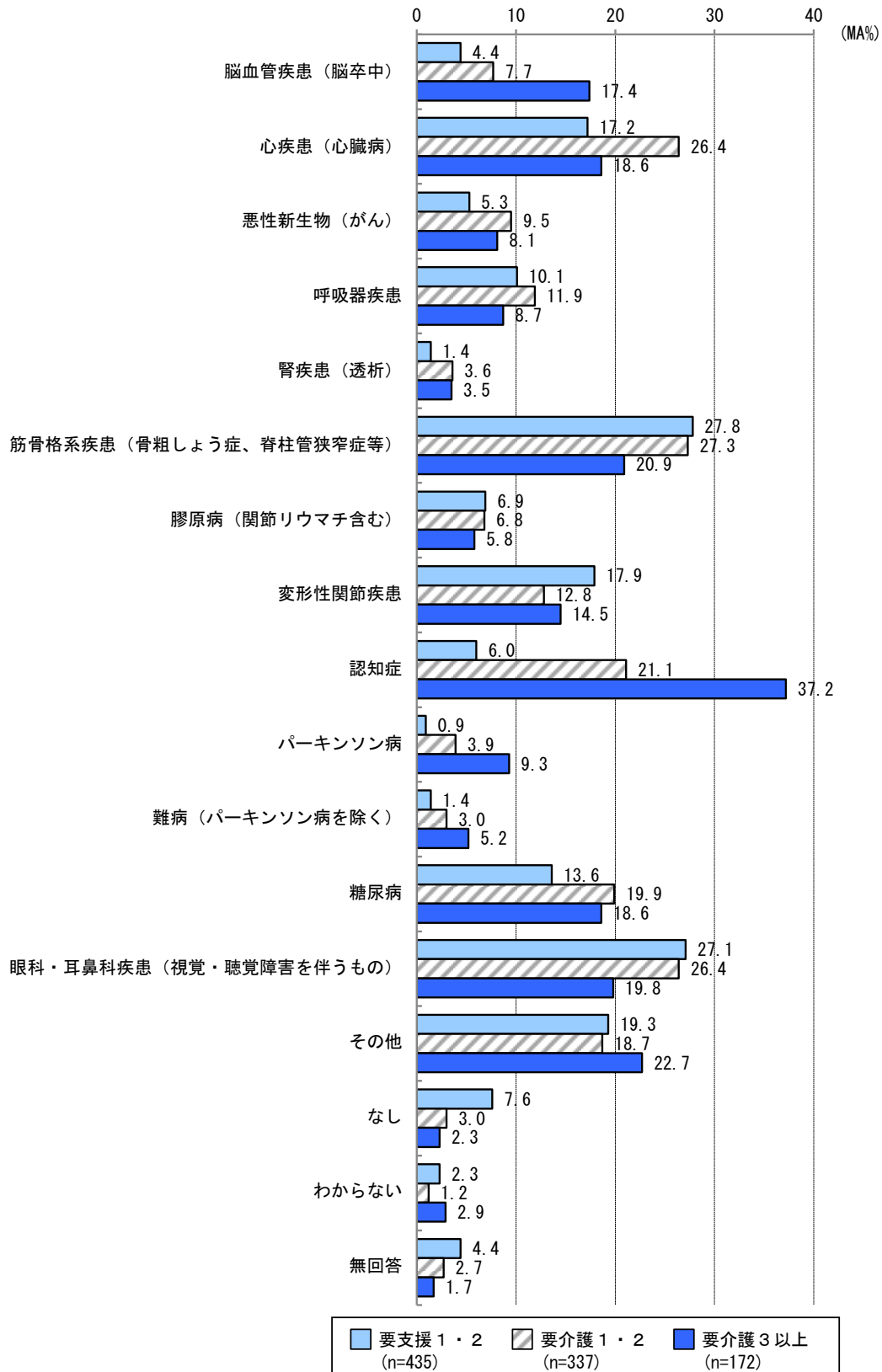


現在抱えている傷病については、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が24.4%で最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が23.8%、「心疾患（心臓病）」が19.2%となっています。

前回調査と比較すると、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が2.4ポイント高くなっています。（図1-7）

要介護度別で見ると、“要支援1・2”と“要介護1・2”では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（要支援1・2 27.8%、要介護1・2 27.3%）が最も多くなっています。“要介護3以上”では「認知症」が37.2%で最も多くなっています。また、「脳血管疾患（脳卒中）」、「認知症」、「パーキンソン病」、「難病（パーキンソン病を除く）」では“要介護3以上”が最も高い割合となっています。（図1-7-1）

【図1-7-1 要介護度別 現在抱えている傷病】

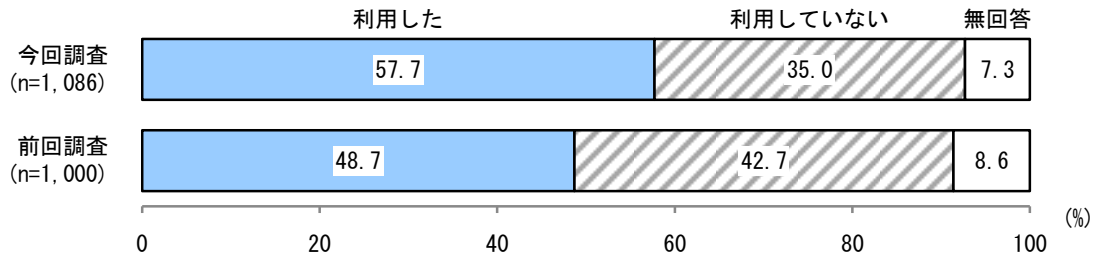


2 介護保険サービスの利用について

(1) 介護保険サービスの利用有無

問8. あなたが令和7年8月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか。<○は1つ>

【図2-1 介護保険サービスの利用有無】

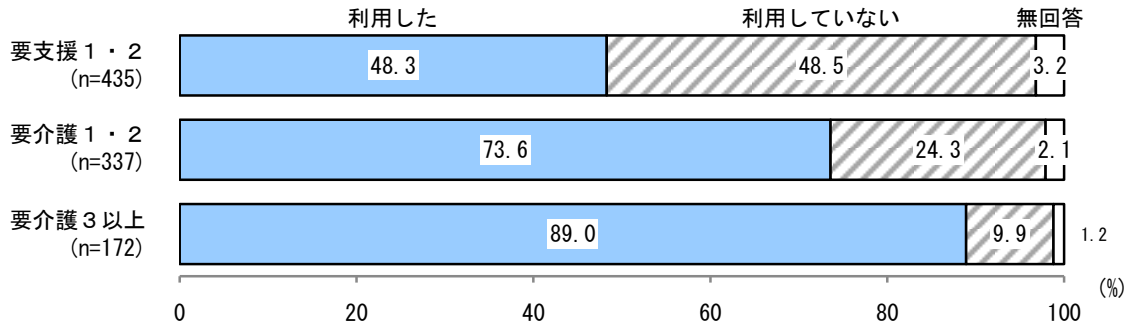


介護保険サービスの8月中の利用有無については、「利用した」が57.7%、「利用していない」が35.0%となっています。

前回調査と比較すると、「利用した」が9.0ポイント高くなっています。(図2-1)

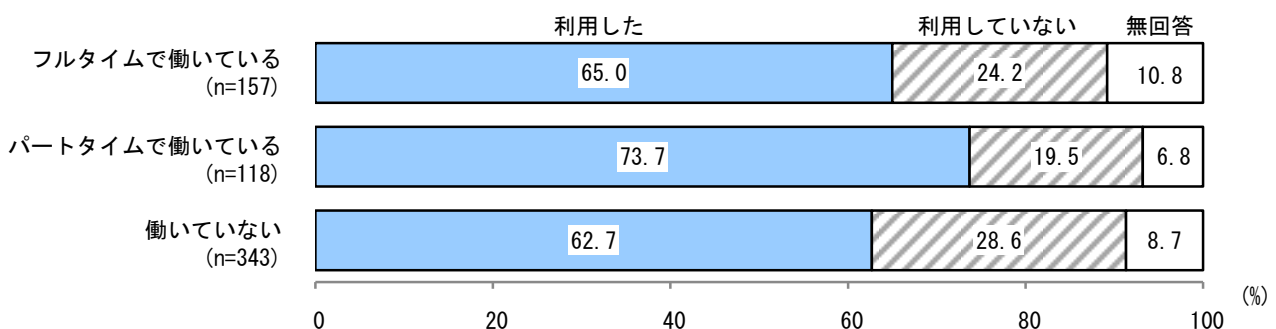
要介護度別でみると、「利用した」割合は要介護度が重度になるほど高く、“要介護3以上”で89.0%となっています。(図2-1-1)

【図2-1-1 要介護度別 介護保険サービスの利用有無】



主な介護者の勤務形態別でみると、「利用した」割合は“パートタイム勤務”が73.7%で最も高くなっています。(図2-1-2)

【図2-1-2 主な介護者の勤務形態別 介護保険サービスの利用有無】



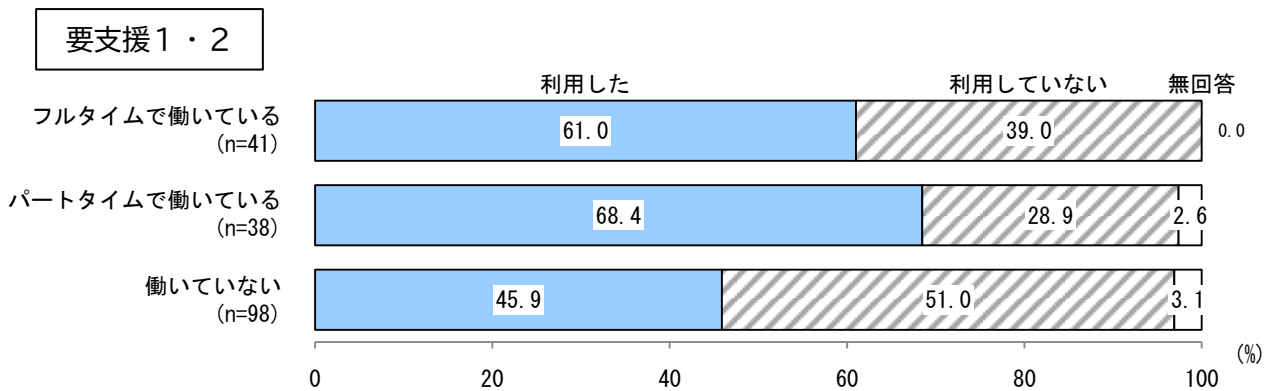
【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】

要支援1・2において主な介護者の勤務形態別で見ると、“フルタイム勤務”“パートタイム勤務”では「利用していない」より「利用した」のほうが多くなっています。「利用した」割合は“パートタイム勤務”が68.4%で最も高くなっています。(図2-1-3)

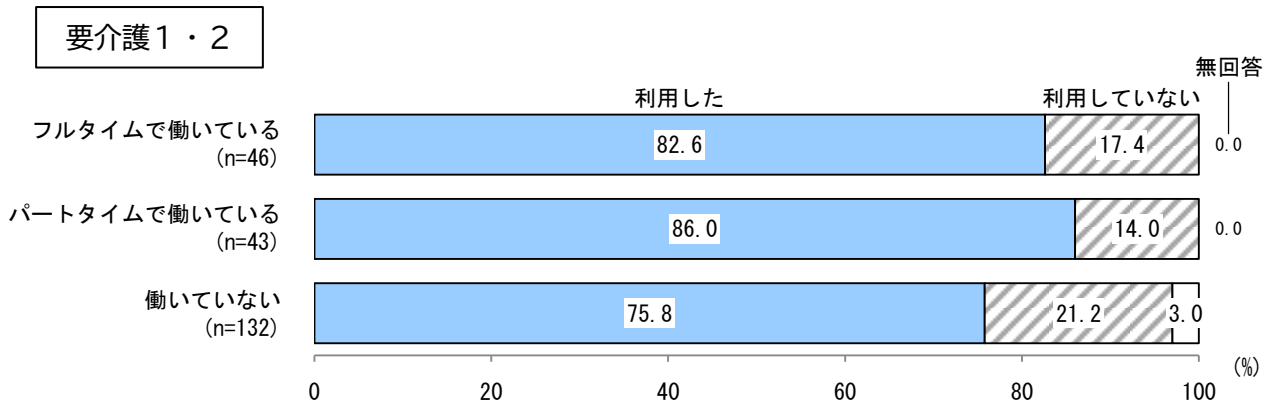
要介護1・2では、いずれの勤務形態も「利用した」割合は7～8割台となっています。(図2-1-4)

要介護3以上では、いずれの勤務形態も「利用した」は9割前後となっています。(図2-1-5)
いずれの勤務形態も、「利用した」割合は要介護が重度なほど高い傾向となっています。

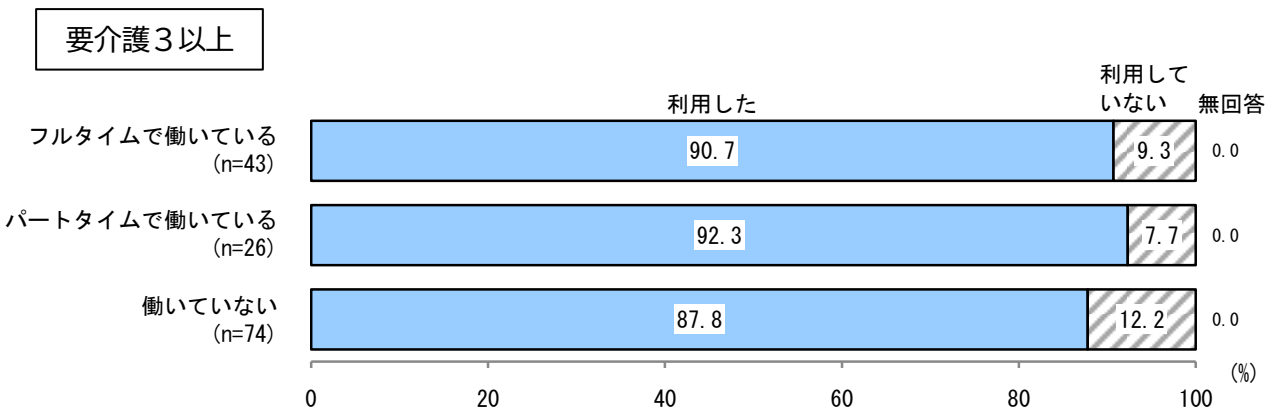
【図2-1-3 主な介護者の勤務形態別 介護保険サービスの利用有無（要支援1・2）】



【図2-1-4 主な介護者の勤務形態別 介護保険サービスの利用有無（要介護1・2）】

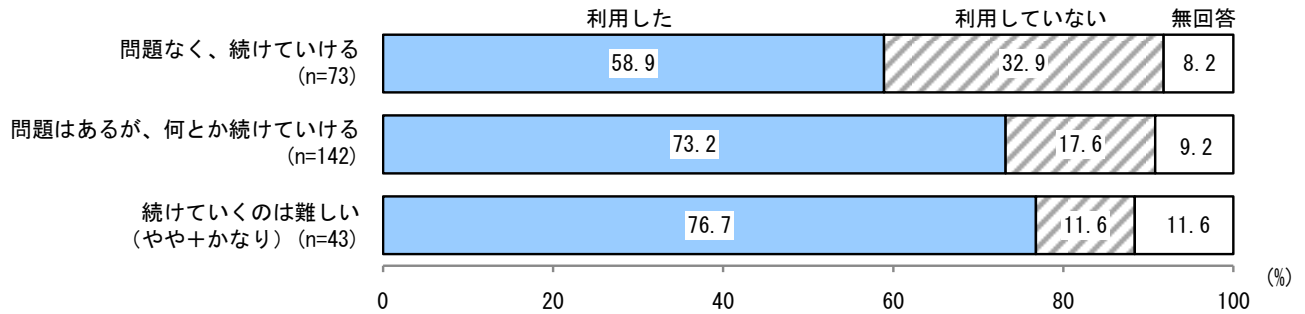


【図2-1-5 主な介護者の勤務形態別 介護保険サービスの利用有無（要介護3以上）】



仕事と介護の両立を継続する困難度別でみると、「利用した」割合は“続けていくのは難しい”が76.7%で最も高くなっています。(図2-1-6)

【図 2-1-6 仕事と介護の両立を継続する困難度別 介護保険サービスの利用有無】



(2) 介護保険サービスの利用状況

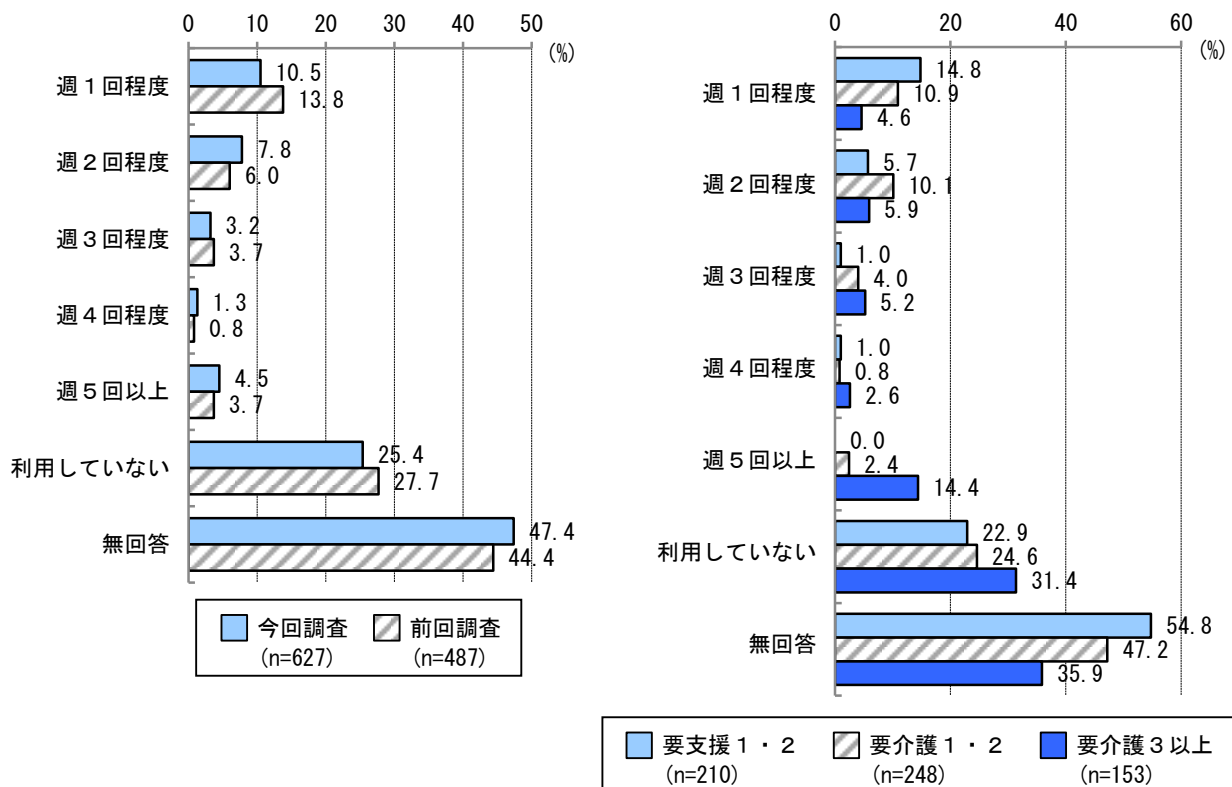
問8-1. 問8で「1. 利用した」と回答した方にお聞きします。

以下の介護保険サービスについて、令和7年8月の1か月間の利用状況を御回答ください。対象の介護保険サービスを利用していない場合は、「利用していない」を選択してください。<〇はそれぞれ1つ>

① 訪問介護（ホームヘルプサービス）

【図2-2-1 訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用状況】

<要介護度別>



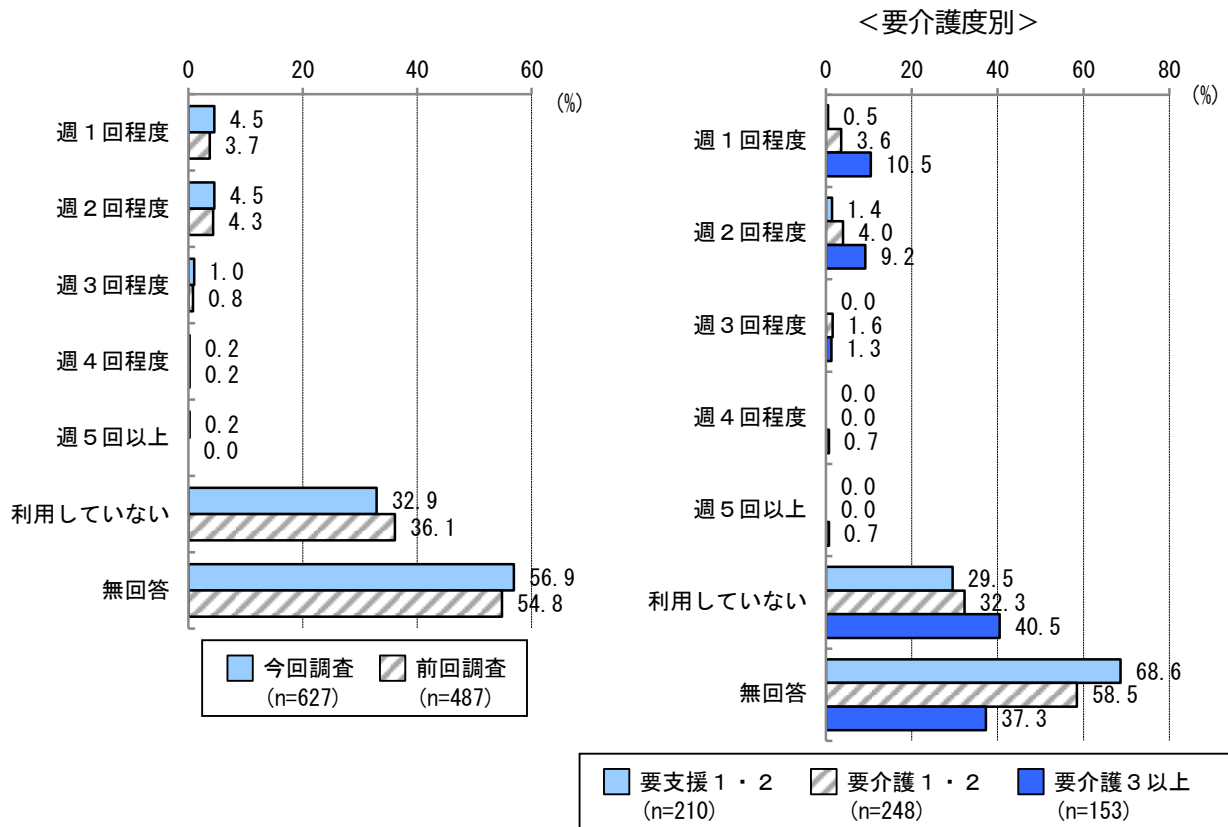
訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用状況について、利用した人の利用頻度をみると「週1回程度」が10.5%で最も多くなっています。一方、「利用していない」は25.4%となっています。

前回調査と比較すると、「週1回程度」は3.3ポイント低くなっています。

要介護度別で見ると、利用頻度はいずれの要介護度も「利用していない」が最も多く、次いで“要支援1・2”、“要介護1・2”では「週1回程度」、「要介護3以上」では「週5回以上」が最も多くなっています。（図2-2-1）

② 訪問入浴介護

【図 2-2-2 訪問入浴介護の利用状況】



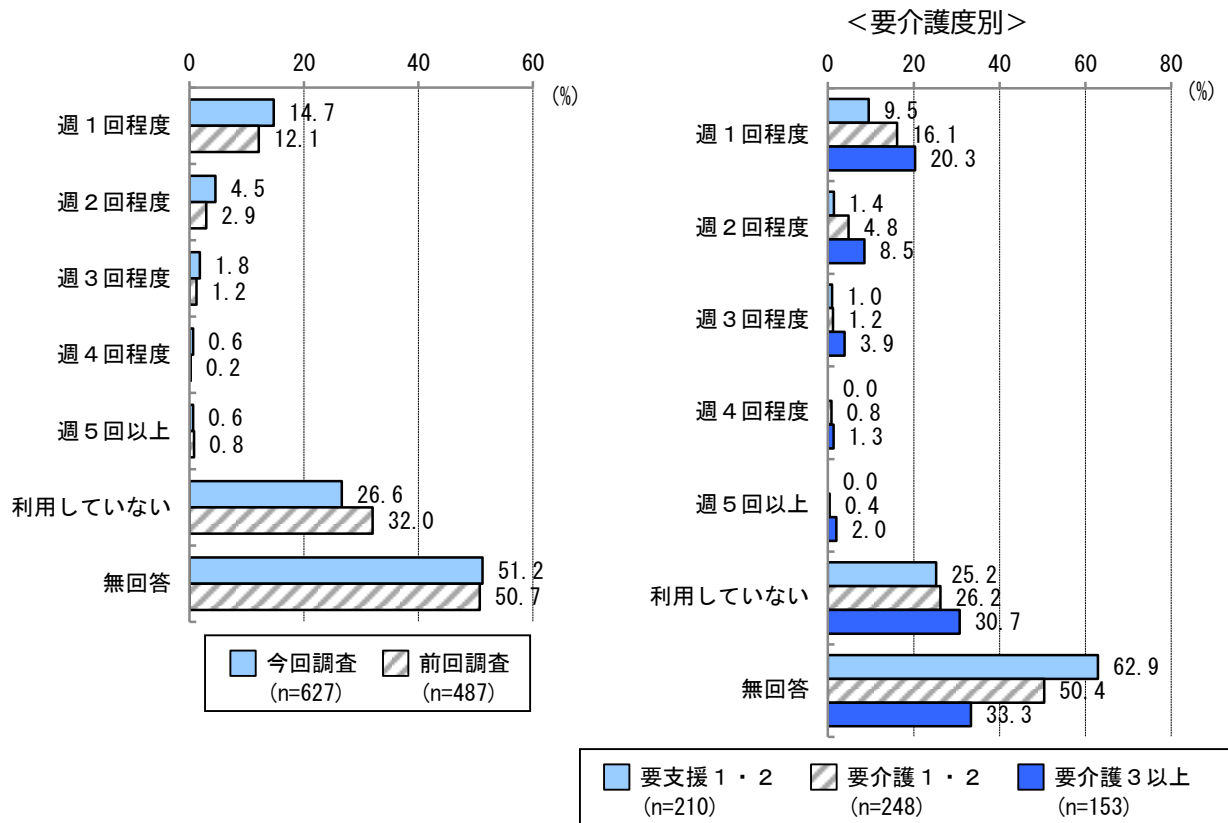
訪問入浴介護の利用状況について、利用した人の利用頻度をみると「週 1 回程度」と「週 2 回程度」がともに4.5%で最も多くなっています。一方、「利用していない」は32.9%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」は3.2ポイント低くなっています。

要介護度別でみると、『利用している(「週 1 回程度」～「週 5 回以上」の合計)』割合は“要介護 3 以上”が22.4%で最も高くなっています。一方、「利用していない」割合は要介護度が重度になるほど高く、“要介護 3 以上”で40.5%となっています。(図2-2-2)

③ 訪問看護

【図 2-2-3 訪問看護の利用状況】



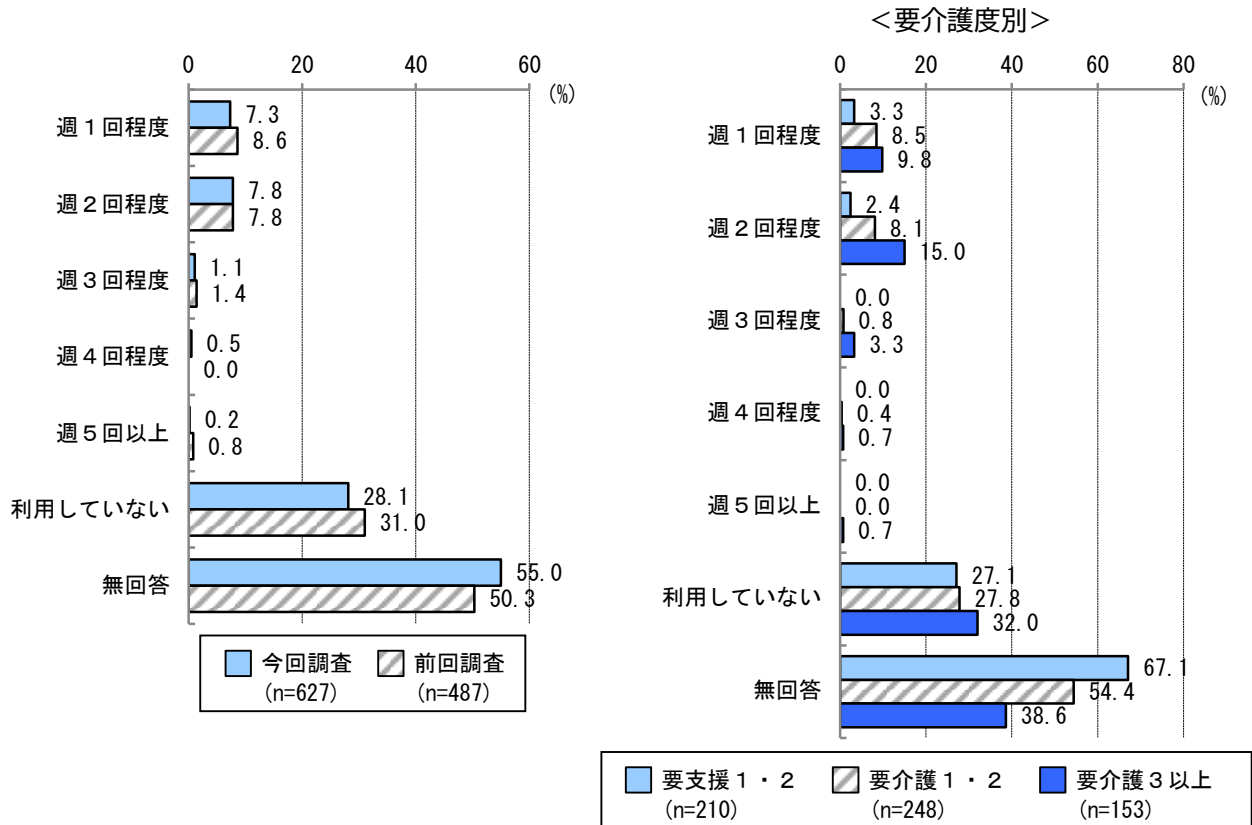
訪問看護の利用状況について、利用した人の利用頻度をみると、「週1回程度」が14.7%で最も多くなっています。一方、「利用していない」は26.6%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」は5.4ポイント低くなっています。

要介護度別でみると、『利用している』割合は“要介護3以上”が36.0%で最も高くなっています。一方、「利用していない」割合も“要介護3以上”が30.7%で最も高くなっています。(図2-2-3)

④ 訪問リハビリテーション

【図 2-2-4 訪問リハビリテーションの利用状況】



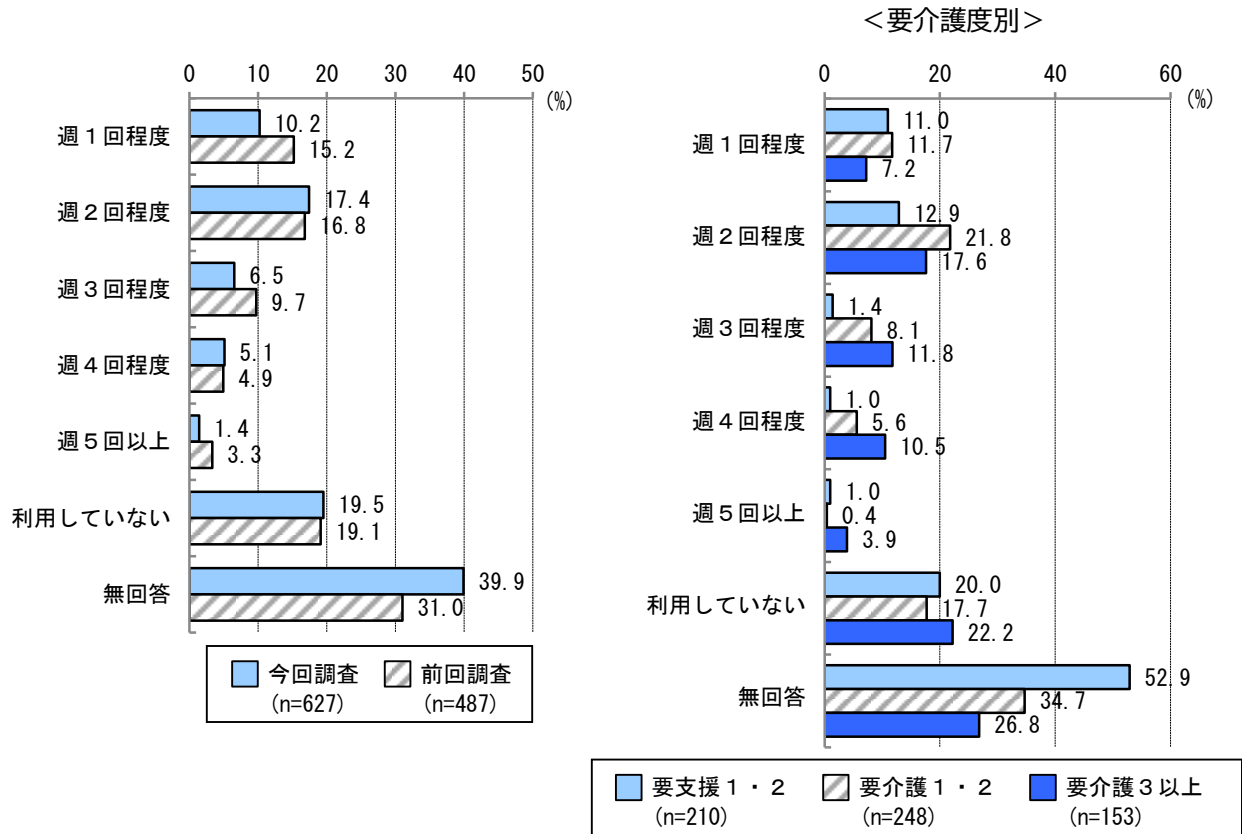
訪問リハビリテーションの利用状況について、利用した人の利用頻度をみると、「週2回程度」が7.8%で最も多くなっています。一方、「利用していない」は28.1%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」は2.9ポイント低くなっています。

要介護度別でみると、『利用している』割合は“要介護3以上”が29.5%で最も高くなっています。一方、「利用していない」割合も“要介護3以上”が32.0%で最も高くなっています。(図2-2-4)

⑤ 通所介護（デイサービス）

【図 2-2-5 通所介護（デイサービス）の利用状況】



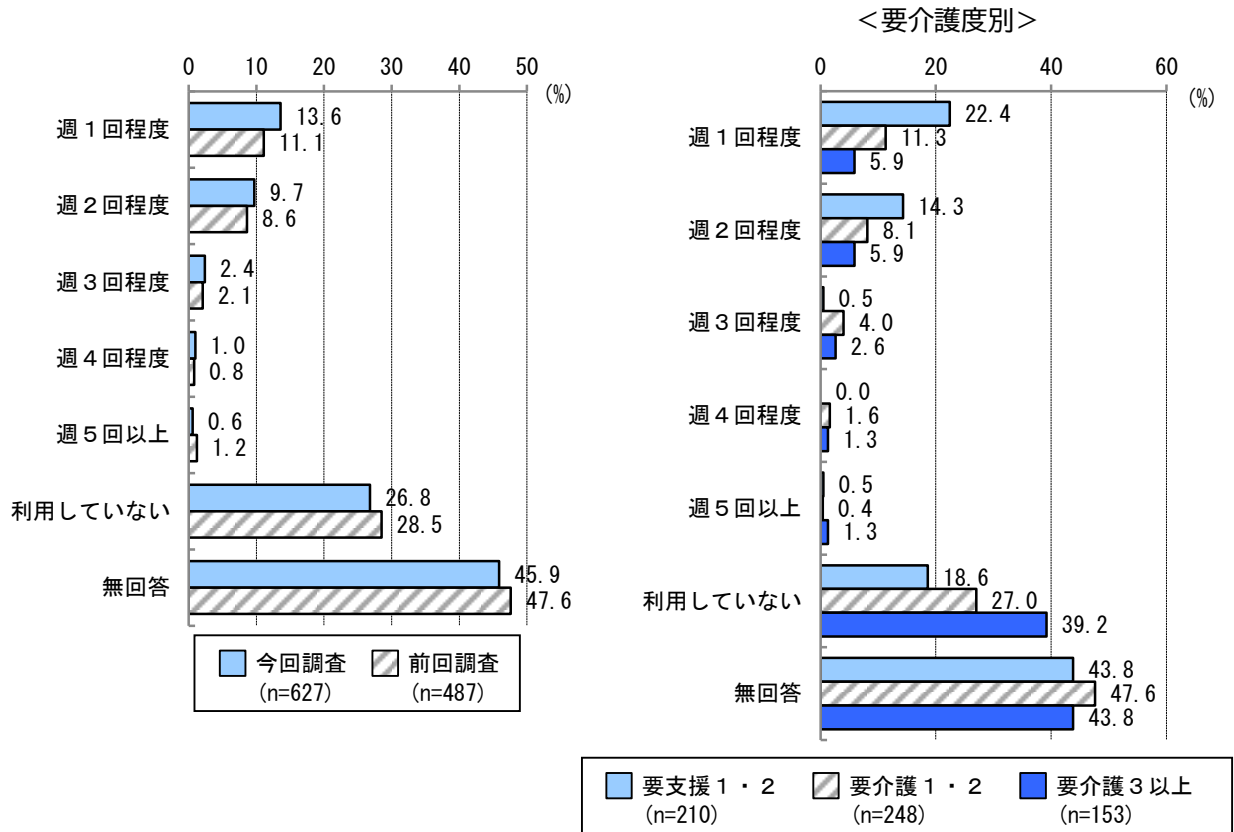
通所介護（デイサービス）の利用状況について、利用した人の利用頻度をみると、「週 2 回程度」が17.4%で最も多くなっています。一方、「利用していない」は19.5%となっています。

前回調査と比較すると、「週 1 回程度」は5.0ポイント低くなっています。

要介護度別でみると、『利用している』割合は“要介護 3 以上”が51.0%で最も高くなっています。一方、「利用していない」割合も“要介護 3 以上”が22.2%で最も高くなっています。(図2-2-5)

⑥ 通所リハビリテーション（デイケア）

【図 2-2-6 通所リハビリテーション（デイケア）の利用状況】



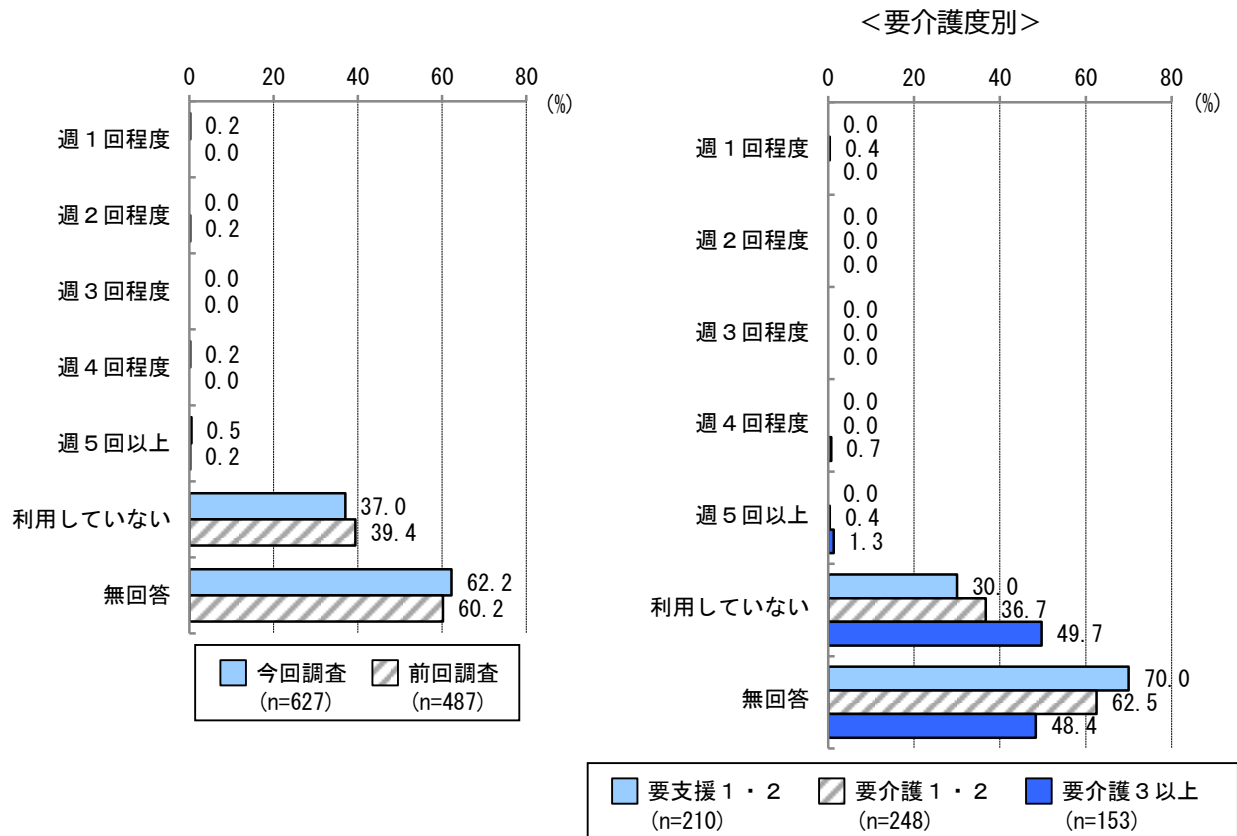
通所リハビリテーション介護（デイケア）の利用状況について、利用した人の利用頻度をみると「週 1 回程度」が13.6%で最も多くなっています。一方、「利用していない」は26.8%となっています。

前回調査と比較すると、「週 1 回程度」は2.5ポイント高くなっています。

要介護度別でみると、『利用している』割合は“要支援 1・2”が37.7%で最も高くなっています。一方、「利用していない」割合は要介護度が重度なほど高く、“要介護 3 以上”が39.2%で最も高くなっています。（図2-2-6）

⑦ 夜間対応型訪問介護

【図 2-2-7 夜間対応型訪問介護の利用状況】



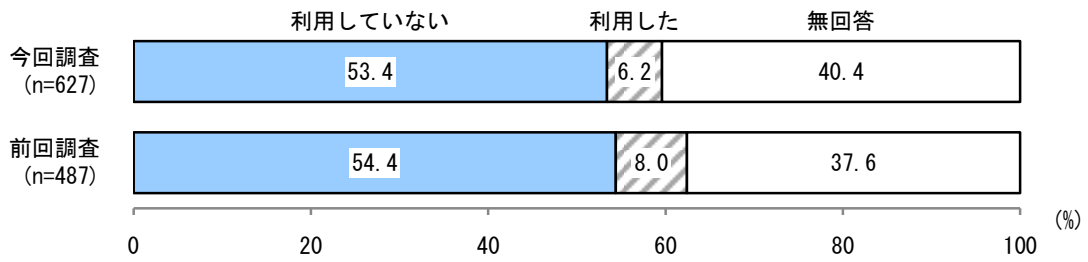
夜間対応型訪問介護の利用状況について、「利用していない」が37.0%となっています。

前回調査と比較しても、大きな差異はみられません。

要介護度別でみると、「利用していない」割合は要介護度が重度になるほど高く、“要介護3以上”が49.7%で最も高くなっています。(図2-2-7)

⑧ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

【図 2-2-8 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用状況】

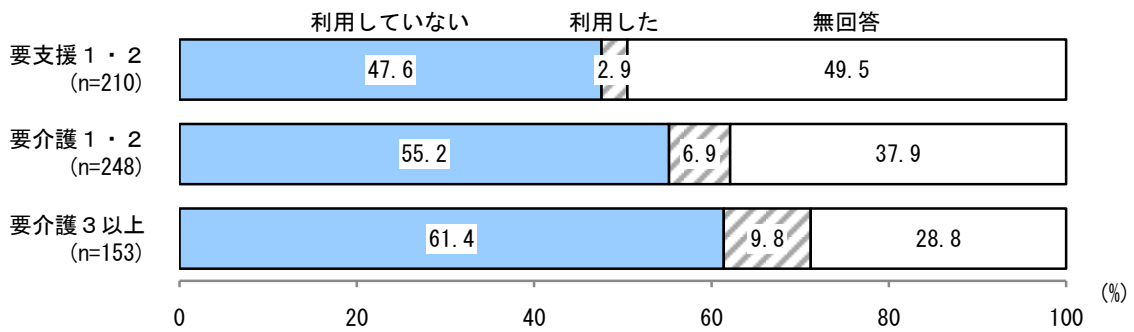


定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用状況について、「利用していない」が53.4%、「利用した」が6.2%となっています。

前回調査と比較しても、大きな差異はみられません。(図2-2-8)

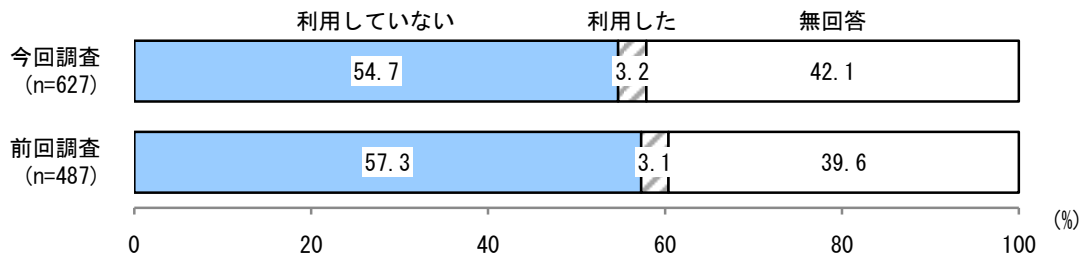
要介護度別でみると、「利用した」割合は“要介護3以上”が9.8%で最も高くなっています。(図2-2-8-1)

【図 2-2-8-1 要介護度別 定期巡回・随時対応型訪問介護看護】



⑨ 小規模多機能型居宅介護

【図 2-2-9 小規模多機能型居宅介護の利用状況】

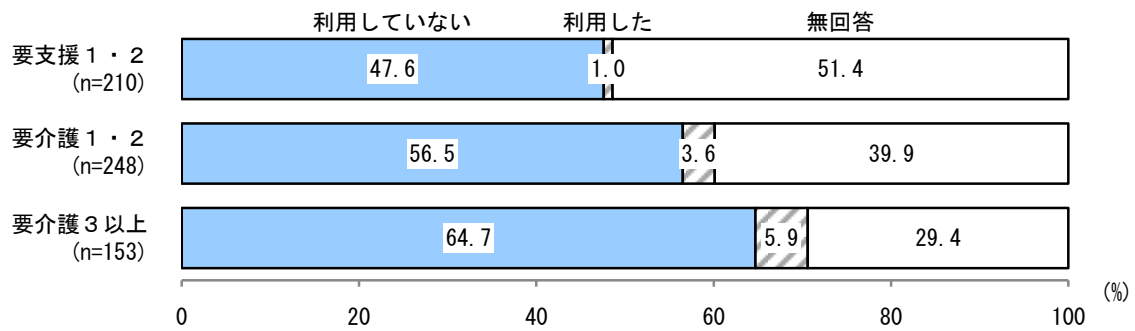


小規模多機能型居宅介護の利用状況について、「利用していない」が54.7%、「利用した」が3.2%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」は2.6ポイント低くなっています。(図2-2-9)

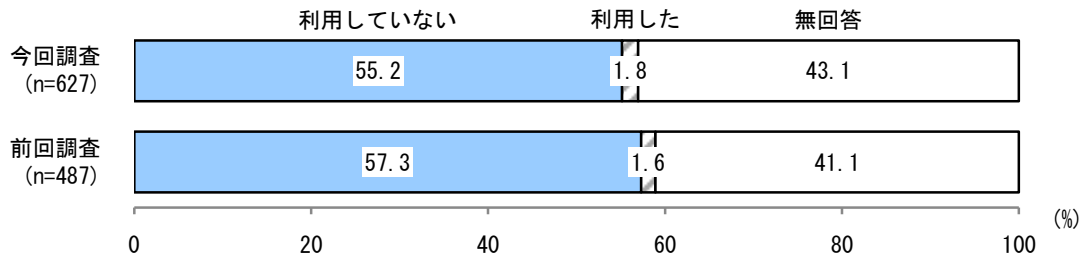
要介護度別でみると、「利用した」割合は“要介護3以上”で5.9%となっています。(図2-2-9-1)

【図 2-2-9-1 要介護度別 小規模多機能型居宅介護の利用状況】



⑩ 看護小規模多機能型居宅介護

【図 2-2-10 看護小規模多機能型居宅介護の利用状況】

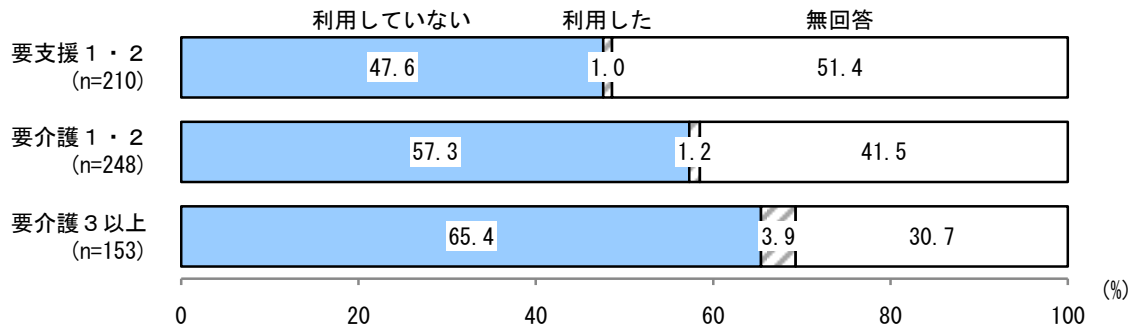


看護小規模多機能型居宅介護の利用状況について、「利用していない」が55.2%、「利用した」が1.8%となっています。

前回調査と比較しても、大きな差異はみられません。(図2-2-10)

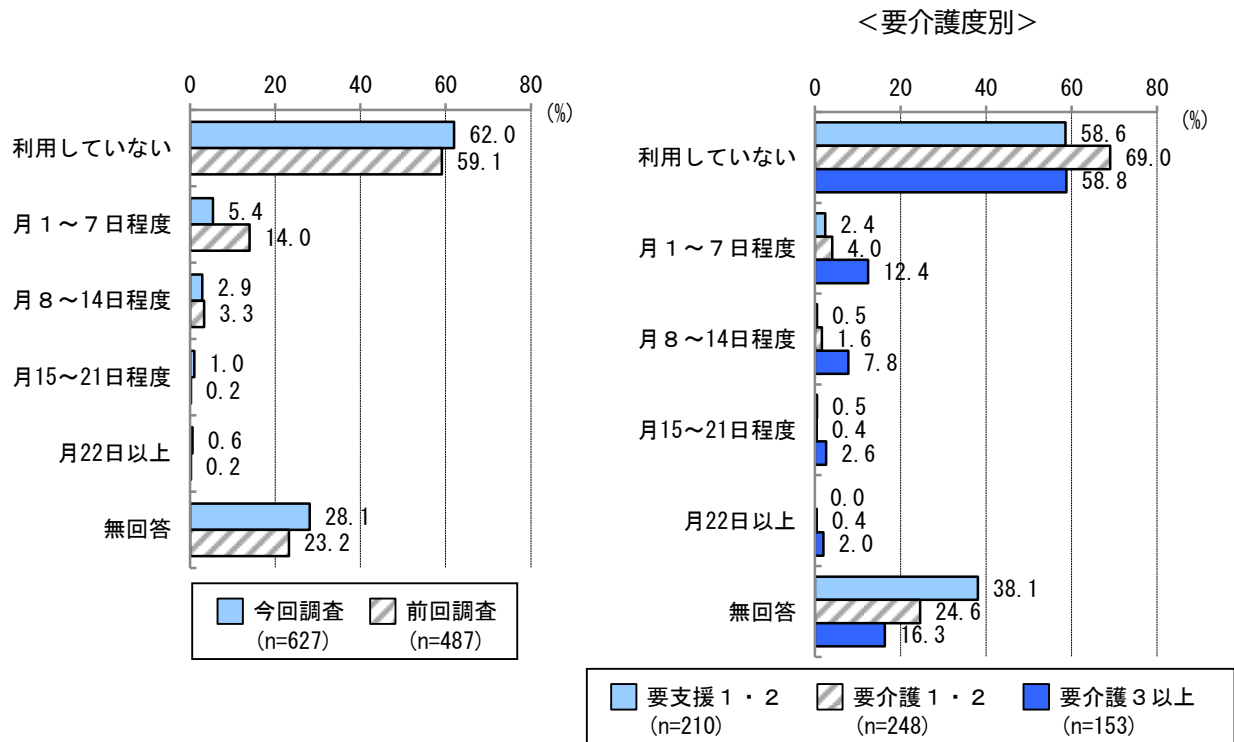
要介護度別でみると、「利用していない」割合は重度になるほど高く、“要介護3以上”で65.4%となっています。「無回答」の割合は、逆に要介護度が重度になるほど低くなっており、「無回答」は利用していないと考えられることから、実質的に要介護度による差異はないと考えられます。(図2-2-10-1)

【図 2-2-10-1 要介護度別 看護小規模多機能型居宅介護の利用状況】



⑪ ショートステイ

【図 2-2-11 ショートステイの利用状況】



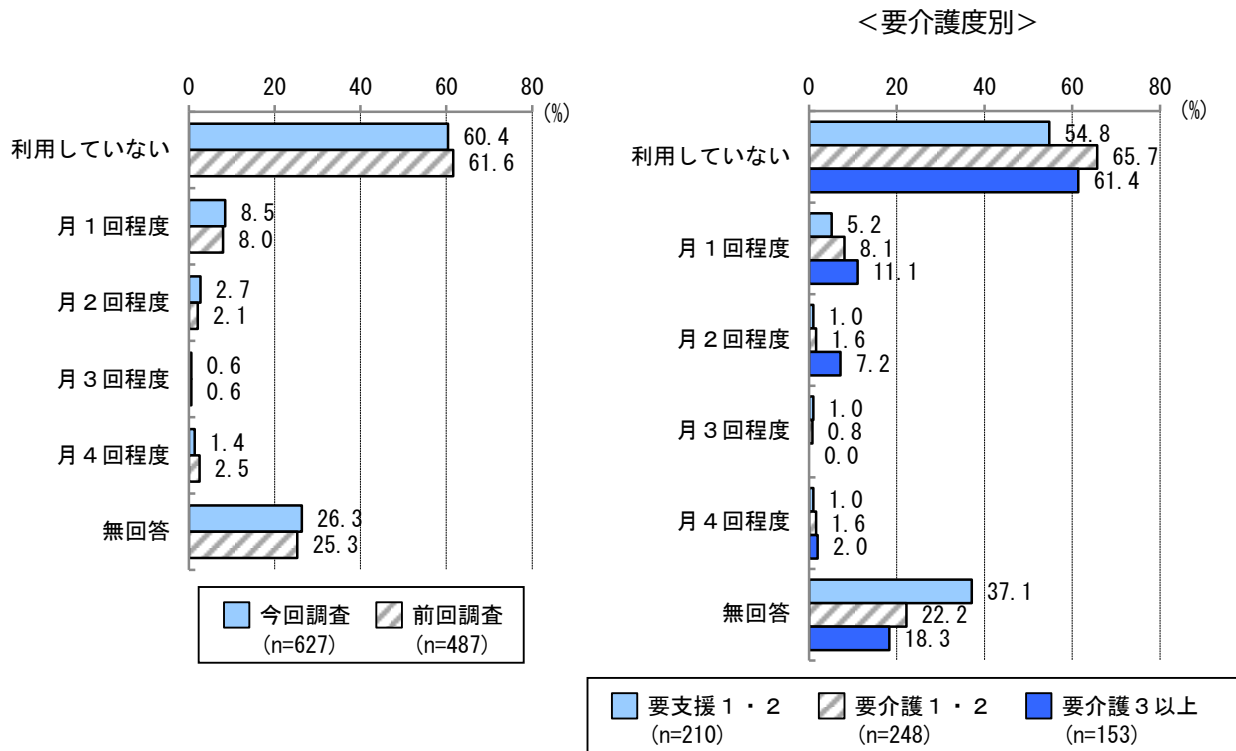
ショートステイの利用状況について、利用した人の利用頻度をみると「月1～7日程度」が5.4%で最も多くなっています。一方、「利用していない」は62.0%となっています。

前回調査と比較すると、「月1～7日程度」は8.6ポイント低くなっています。

要介護度別で見ると、「月1～7日程度」の割合は“要介護3以上”が12.4%で最も高くなっています。(図2-2-11)

⑫ 居宅療養管理指導

【図 2-2-12 居宅療養管理指導の利用状況】



居宅療養管理指導の利用状況について、利用した人の利用頻度をみると「月1回程度」が8.5%で最も多くなっています。一方、「利用していない」は60.4%となっています。

前回調査と比較しても、大きな差異はみられません。

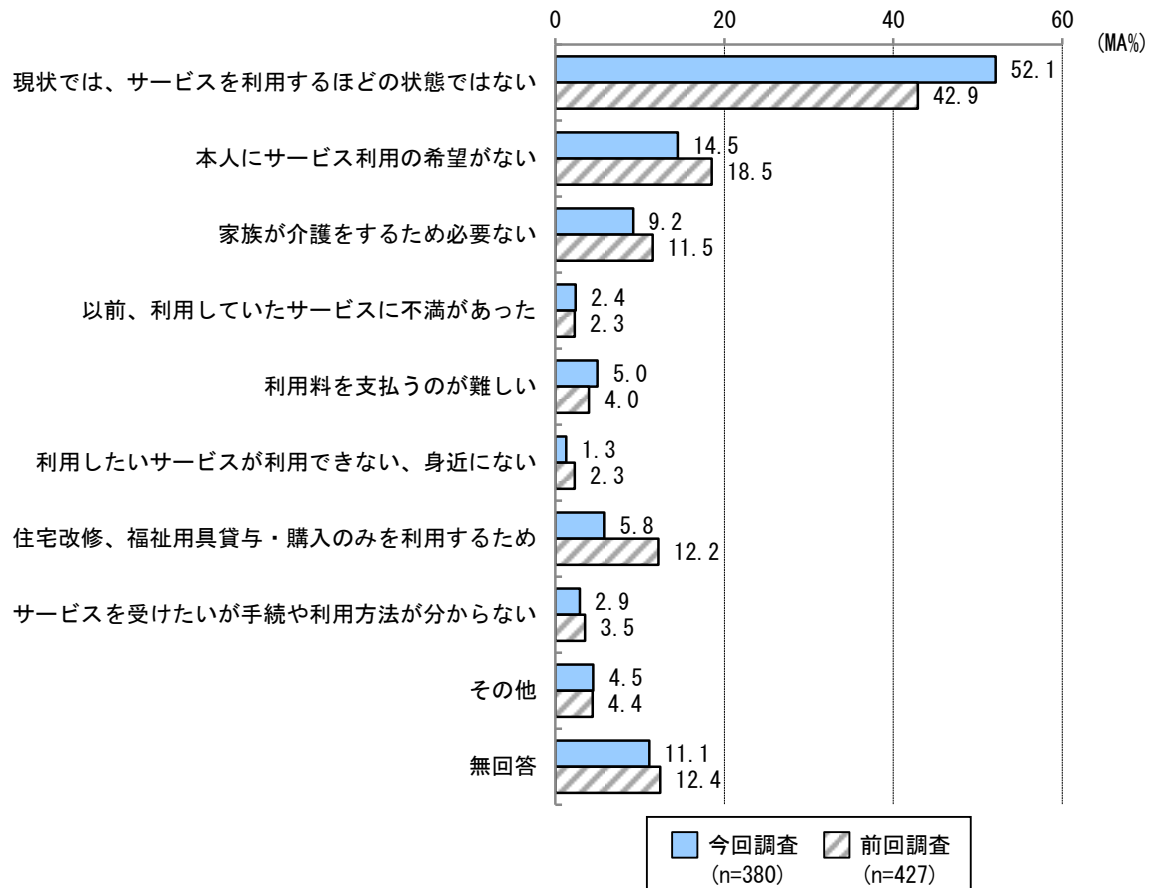
要介護度別で見ると、「月1回程度」の割合は“要介護3以上”が11.1%で最も高くなっています。(図2-2-12)

(3) 介護保険サービス未利用の理由

問8-2. 問8で「2. 利用していない」と回答した方にお聞きします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

【図2-3 介護保険サービス未利用の理由】

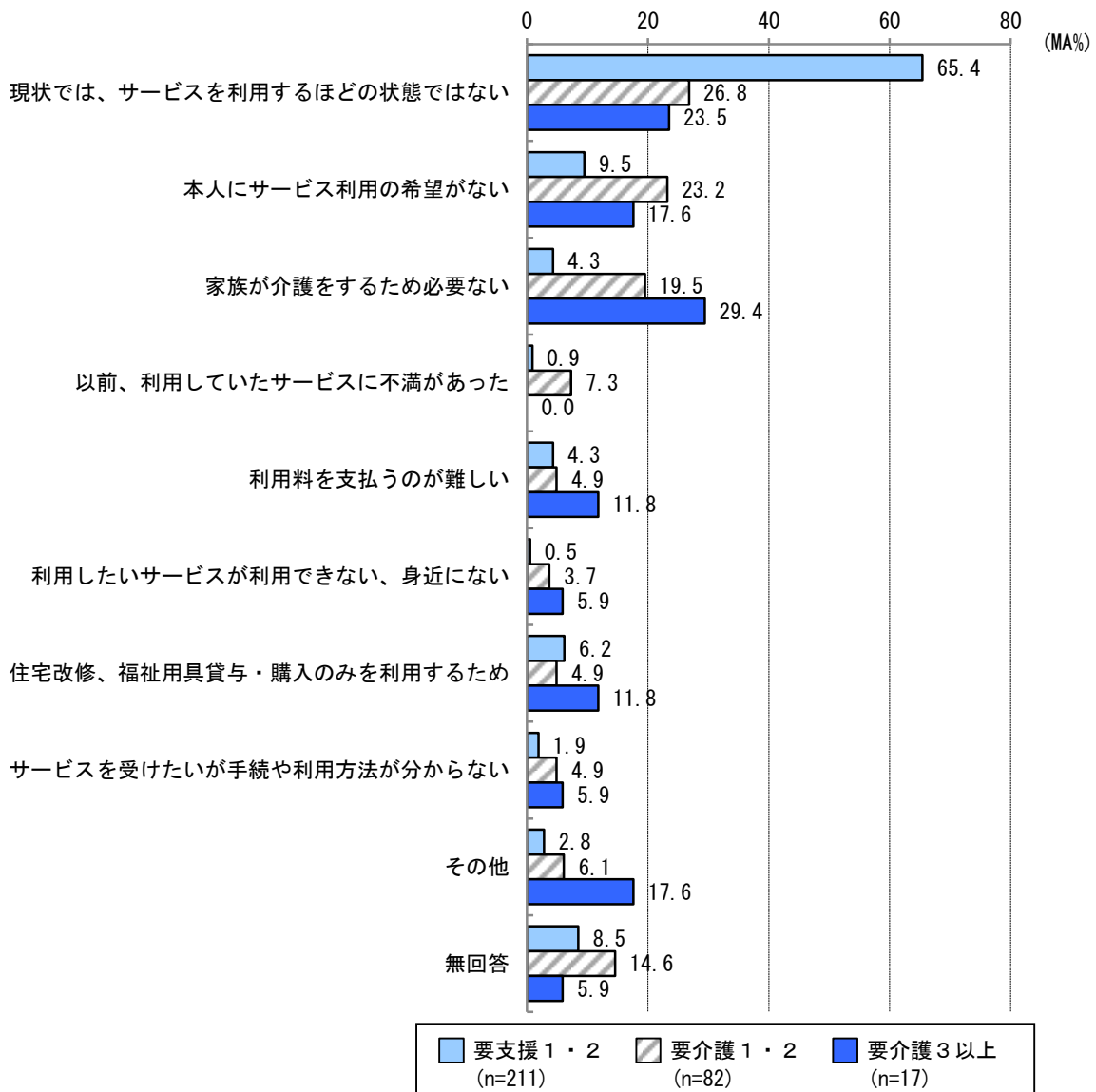


介護保険サービス未利用の理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が52.1%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が14.5%、「家族が介護をするため必要ない」が9.2%となっています。

前回調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」は9.2ポイント高くなっています。(図2-3)

要介護度別で見ると、“要支援1・2”と“要介護1・2”では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」がそれぞれ65.4%、26.8%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」がそれぞれ9.5%、23.2%となっています。“要介護3以上”では「家族が介護をするため必要ない」が29.4%で最も多く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が23.5%となっています。また、「家族が介護をするため必要ない」割合は要介護度が重度になるほど高くなっています。(図2-3-1)

【図2-3-1 要介護度別 介護保険サービス未利用の理由】

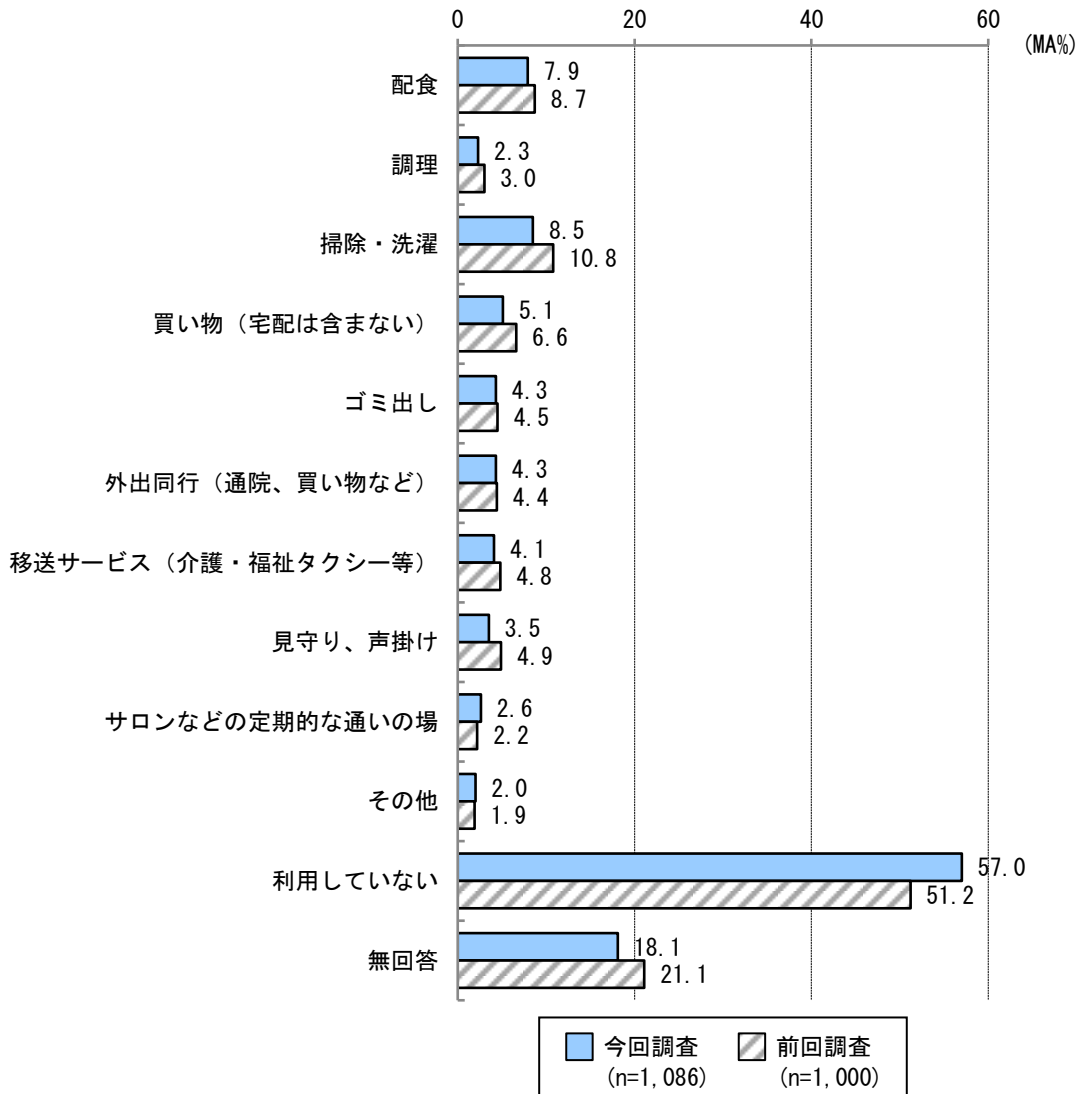


3 介護保険以外のサービスなどについて

(1) 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス

問9. あなたが現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、御回答ください。〈あてはまるものすべてに○〉

【図3-1 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス】

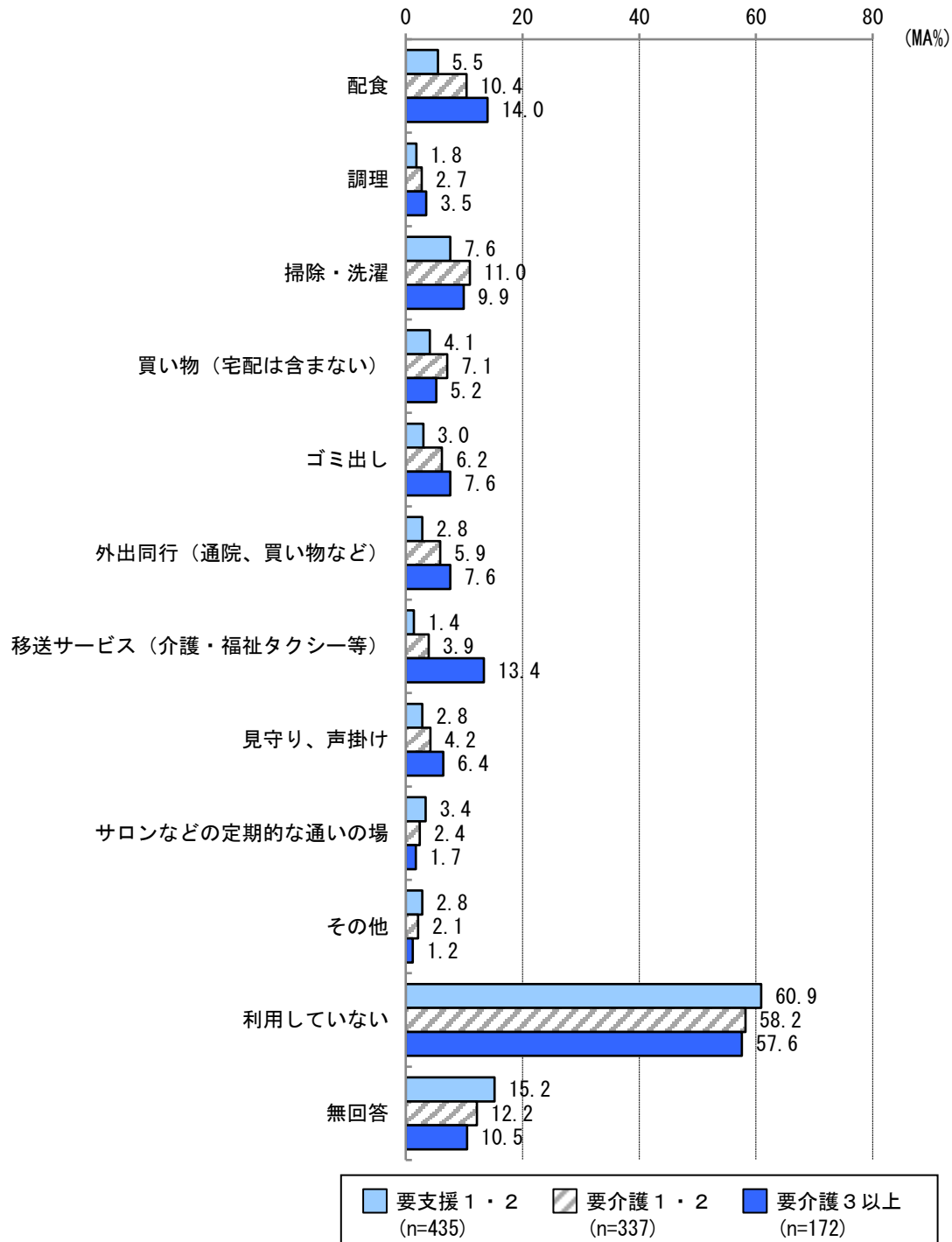


現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「掃除・洗濯」が8.5%で最も多く、次いで「配食」が7.9%、「買い物 (宅配は含まない)」が5.1%となっています。一方、「利用していない」が57.0%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」が5.8ポイント高くなっています。(図3-1)

要介護度別で見ると、“要支援1・2”“要介護1・2”では「掃除・洗濯」がそれぞれ7.6%、11.0%で最も多く、次いで「配食」がそれぞれ5.5%、10.4%となっています。“要介護3以上”では「配食」が14.0%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が13.4%となっています。（図3-1-1）

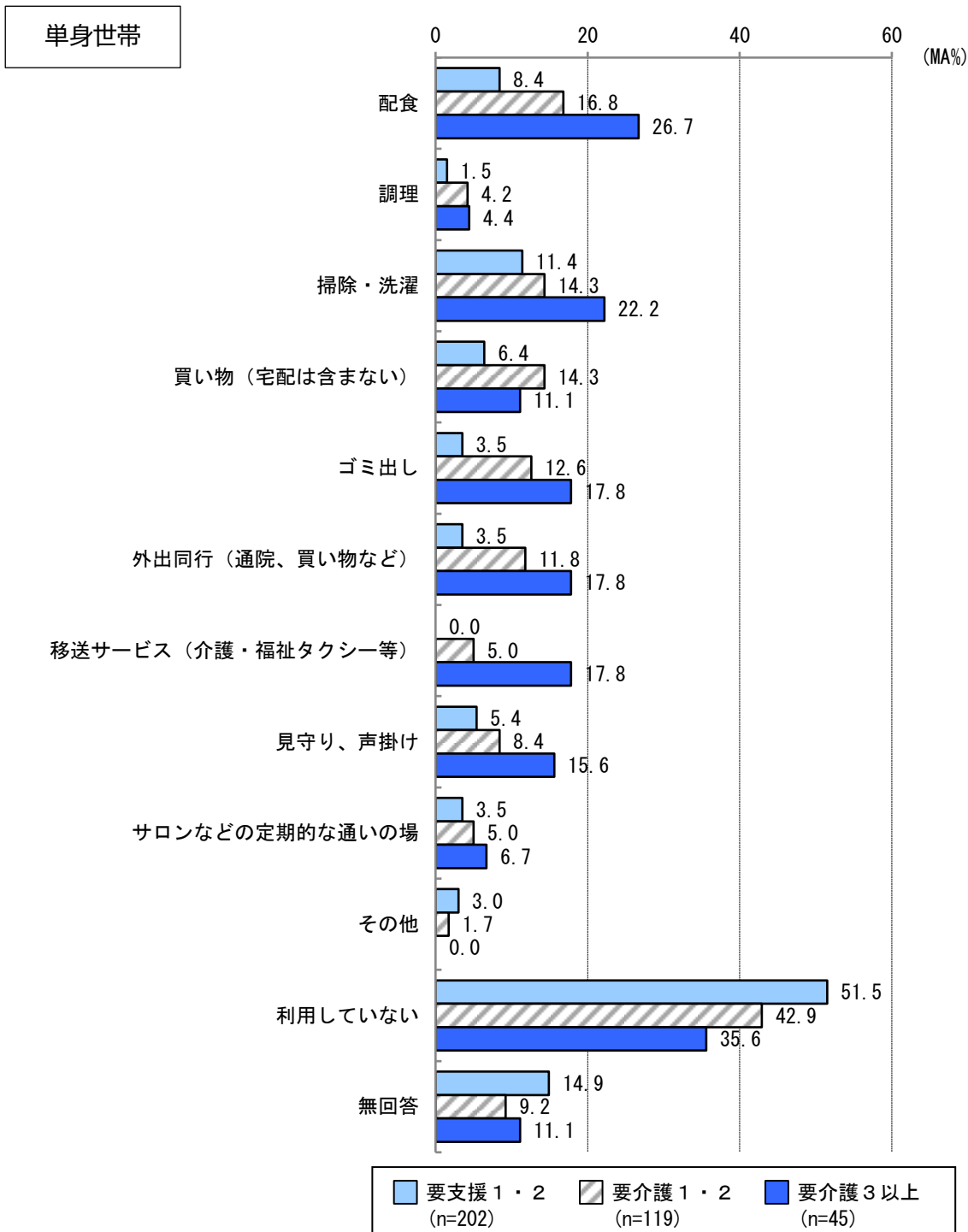
【図3-1-1 要介護度別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス】



【要介護度別 世帯類型別】(単身世帯)

単身世帯において要介護度別で見ると、“要支援1・2”では「掃除・洗濯」が11.4%で最も多く、次いで「配食」が8.4%となっています。“要介護1・2”は「配食」が16.8%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」と「買い物(宅配は含まない)」がともに14.3%、“要介護3以上”では「配食」が26.7%と最も多くなっています。(図3-1-2)

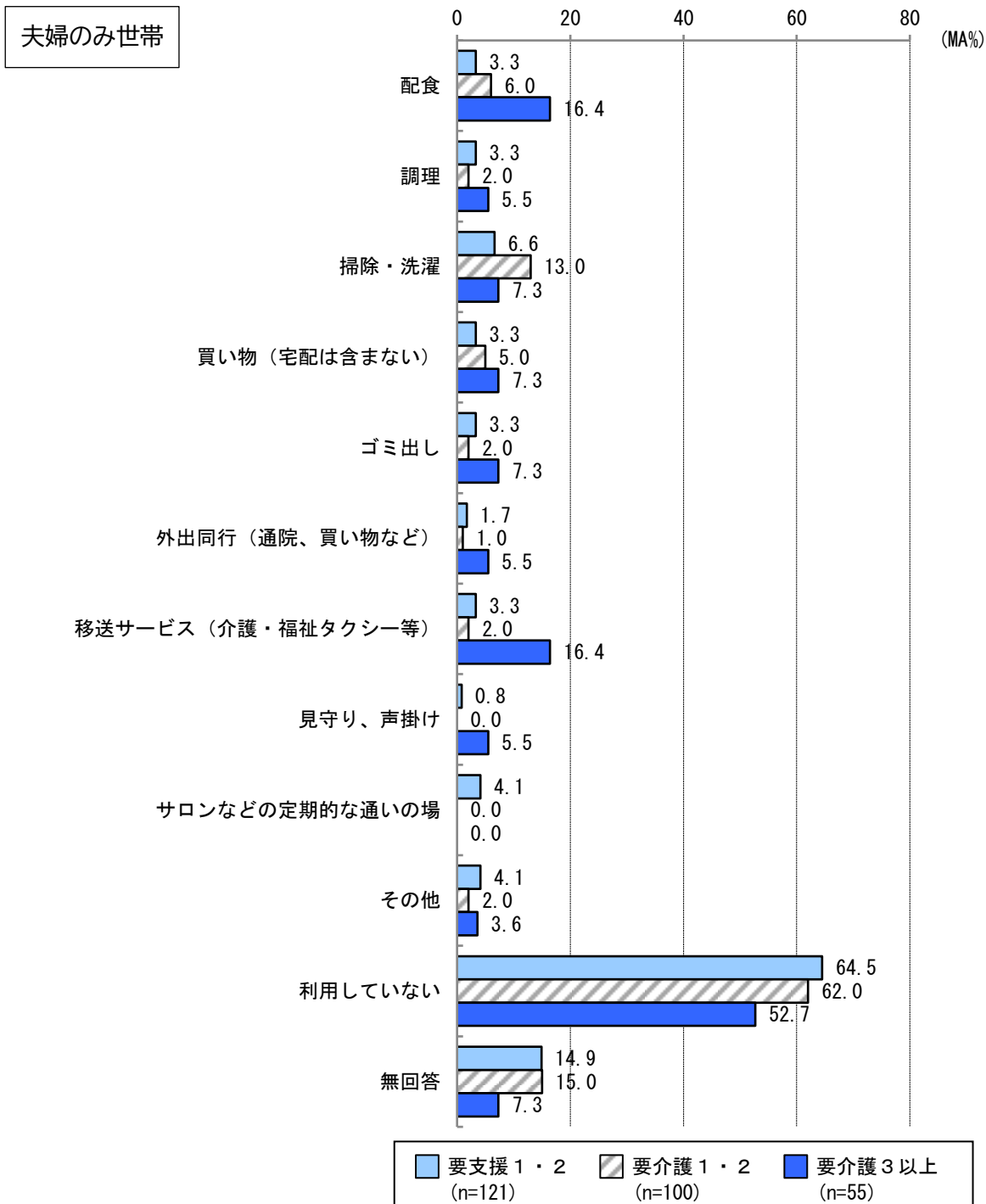
【図3-1-2 要介護度別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス(単身世帯)】



【要介護度別 世帯類型別】(夫婦のみ世帯)

夫婦のみ世帯において要介護度別でみると、“要支援1・2”と“要介護1・2”では「掃除・洗濯」がそれぞれ6.6%、13.0%と最も多く、次いで“要支援1・2”は「サロンなどの定期的な通いの場」が4.1%、“要介護1・2”は「配食」が6.0%となっています。“要介護3以上”では「配食」と「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」がともに16.4%と最も多く、次いで「掃除・洗濯」「買い物(宅配は含まない)」「ゴミ出し」が7.3%で同率となっています。一方、「利用していない」割合はいずれも5割以上を占めて高くなっています。(図3-1-3)

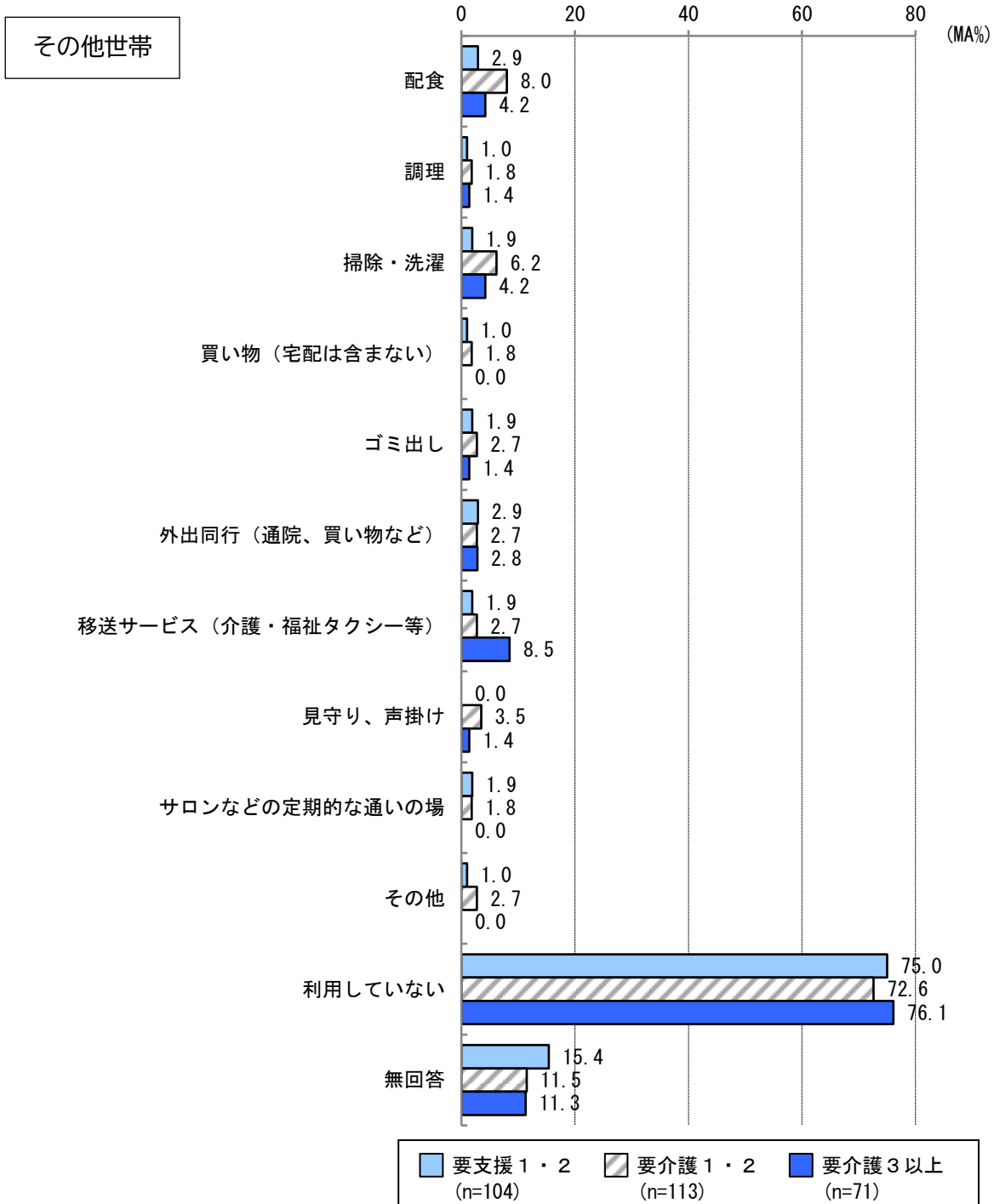
【図3-1-3 要介護度別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス(夫婦のみ世帯)】



【要介護度別 世帯類型別】(その他世帯)

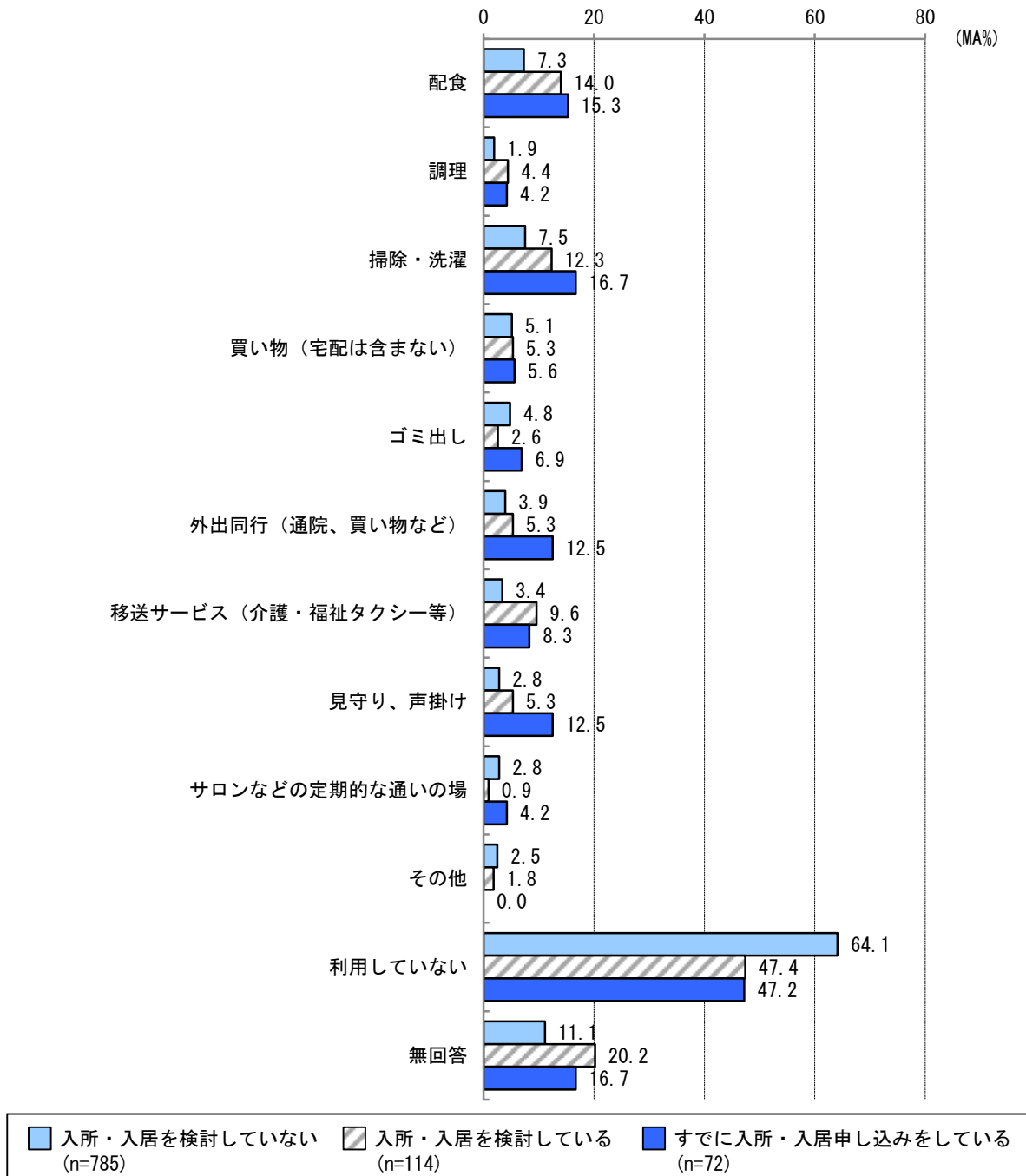
その他世帯において要介護度別で見ると、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっています。一方、「利用していない」はいずれの要介護度も7割台となっています。(図3-1-4)

【図3-1-4 要介護度別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス(その他世帯)】



施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”と“すでに入所・入居申し込みをしている”では「掃除・洗濯」が最も多く、次いで「配食」となっています。“入所・入居を検討している”では「配食」が14.0%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が12.3%となっています。一方、「利用していない」割合は“入所・入居を検討していない”で64.1%と最も高くなっています。(図3-1-5)

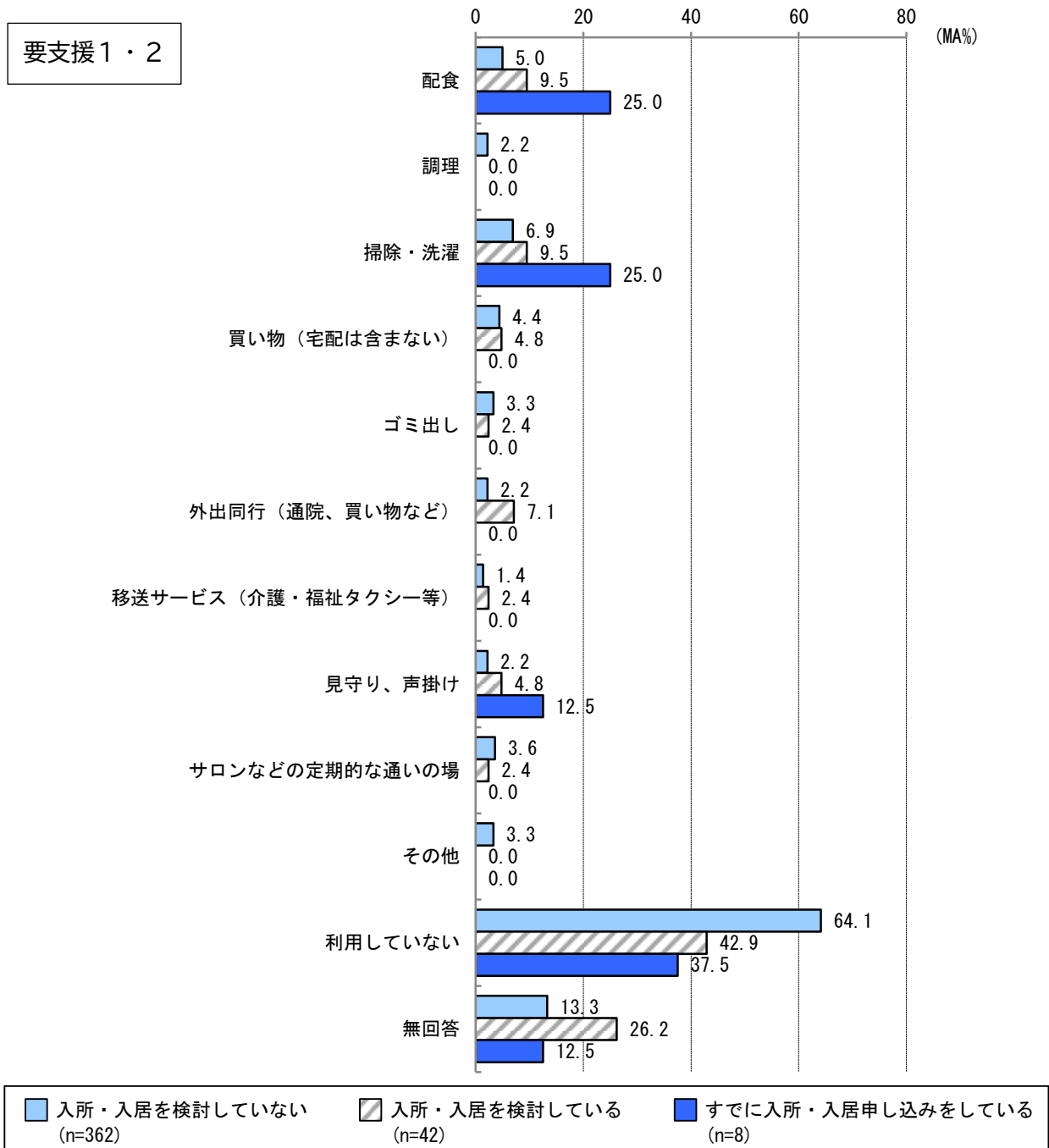
【図3-1-5 施設等への入所・入居の検討状況別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス】



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】(要支援1・2)

要支援1・2において施設等への入所・入居の検討状況別で見ると、いずれの検討状況も「掃除・洗濯」が最も多く、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」では同率で「配食」も最も多くなっています。「利用していない」割合は“入所・入居を検討していない”で64.1%と高くなっています。(図3-1-6)

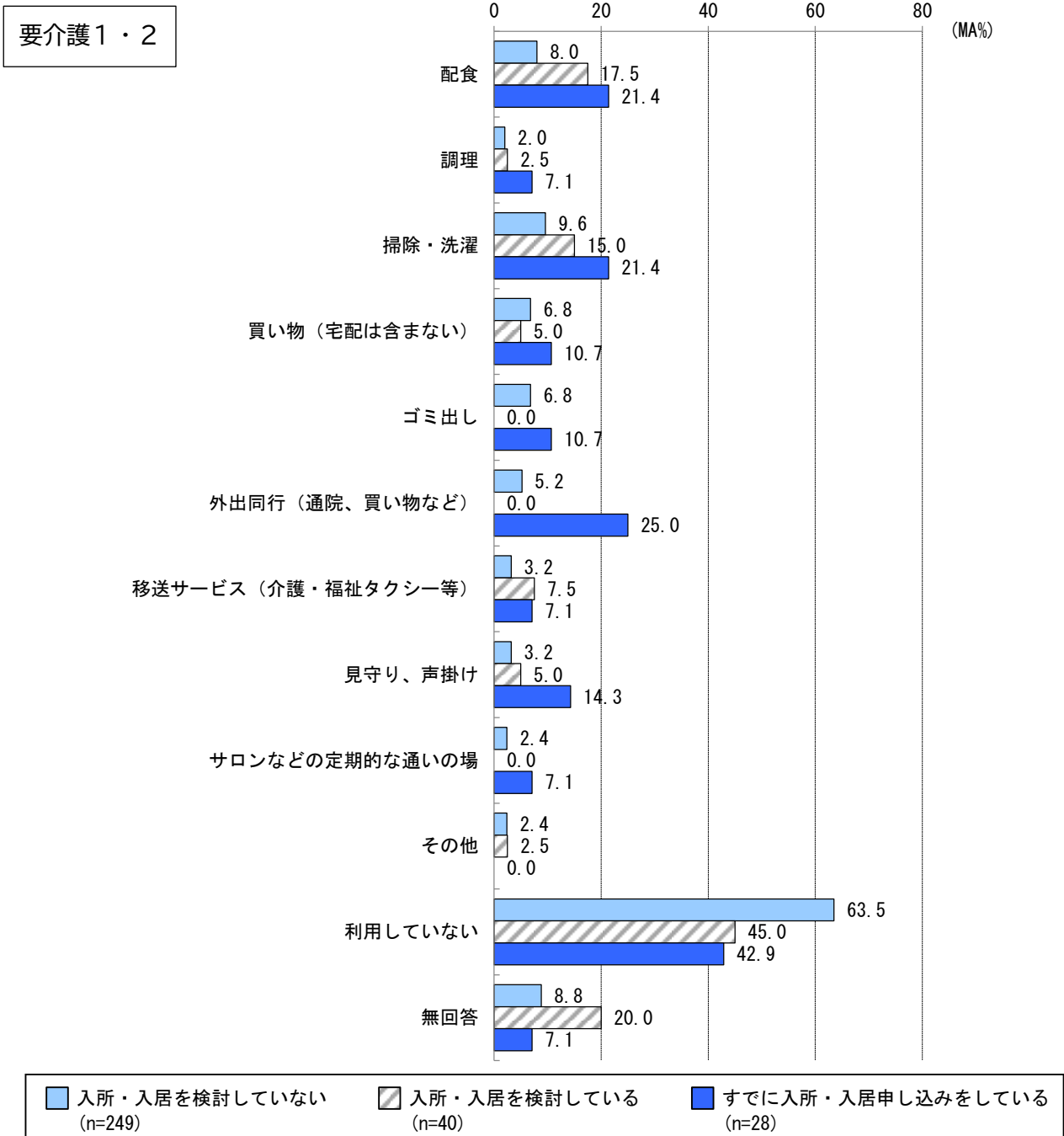
【図3-1-6 施設等への入所・入居の検討状況別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス(要支援1・2)】



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】(要介護1・2)

要介護1・2において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”では「掃除・洗濯」が9.6%で最も多く、次いで「配食」が8.0%となっています。“入所・入居を検討している”では「配食」が17.5%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が15.0%となっています。一方、「利用していない」はいずれの検討状況も4割以上となっています。(図3-1-7)

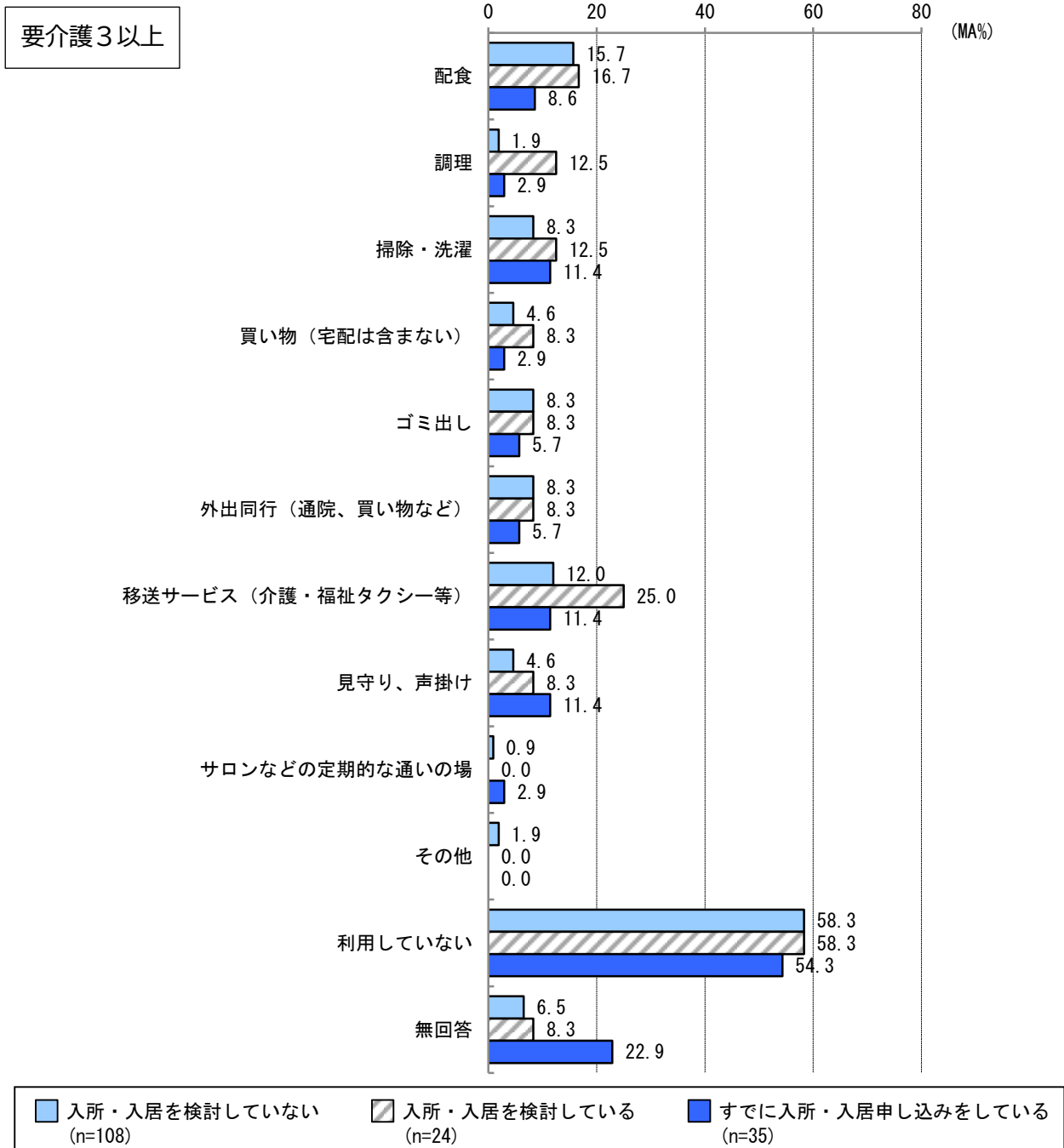
【図3-1-7 施設等への入所・入居の検討状況別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス(要介護1・2)】



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】(要介護3以上)

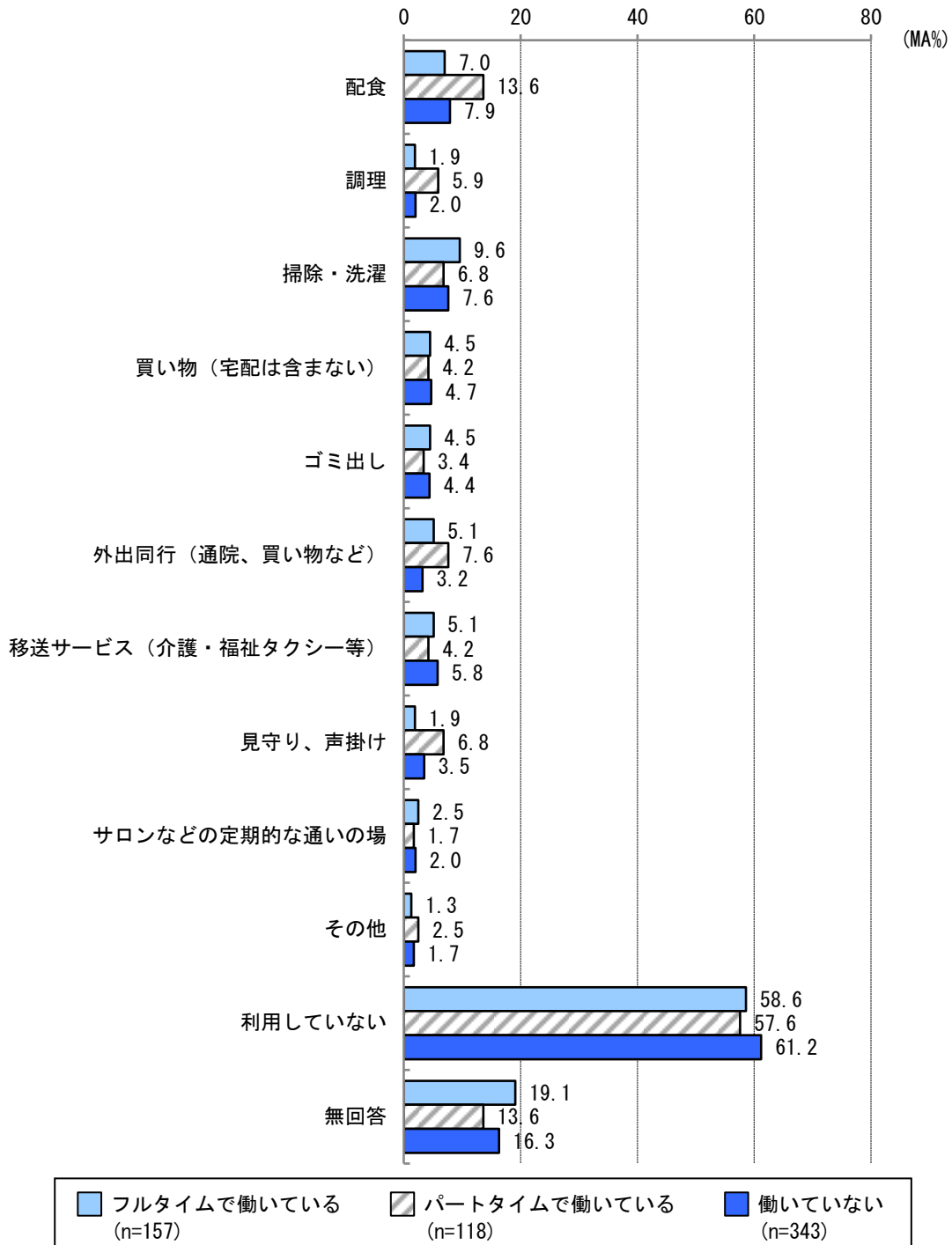
要介護3以上において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居申し込みを検討していない”は「配食」が15.7%で最も多く、“入所・入居を検討している”では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が25.0%で最も多くなっています。一方、「利用していない」はいずれの検討状況も5割台となっています。(図3-1-8)

【図3-1-8 施設等への入所・入居の検討状況別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス(要介護3以上)】



主な介護者の勤務形態別で見ると、“フルタイム勤務”では「掃除・洗濯」が9.6%で最も多く、次いで「配食」が7.0%となっています。“パートタイム勤務”と“働いていない”では「配食」（パートタイム 13.6%、働いていない 7.9%）で最も多く、次いで“パートタイム勤務”は「外出同行（通院、買い物など）」が7.6%、“働いていない”は「掃除・洗濯」が7.6%となっています。一方、「利用していない」割合はいずれの勤務形態も6割前後を占めています。（図3-1-9）

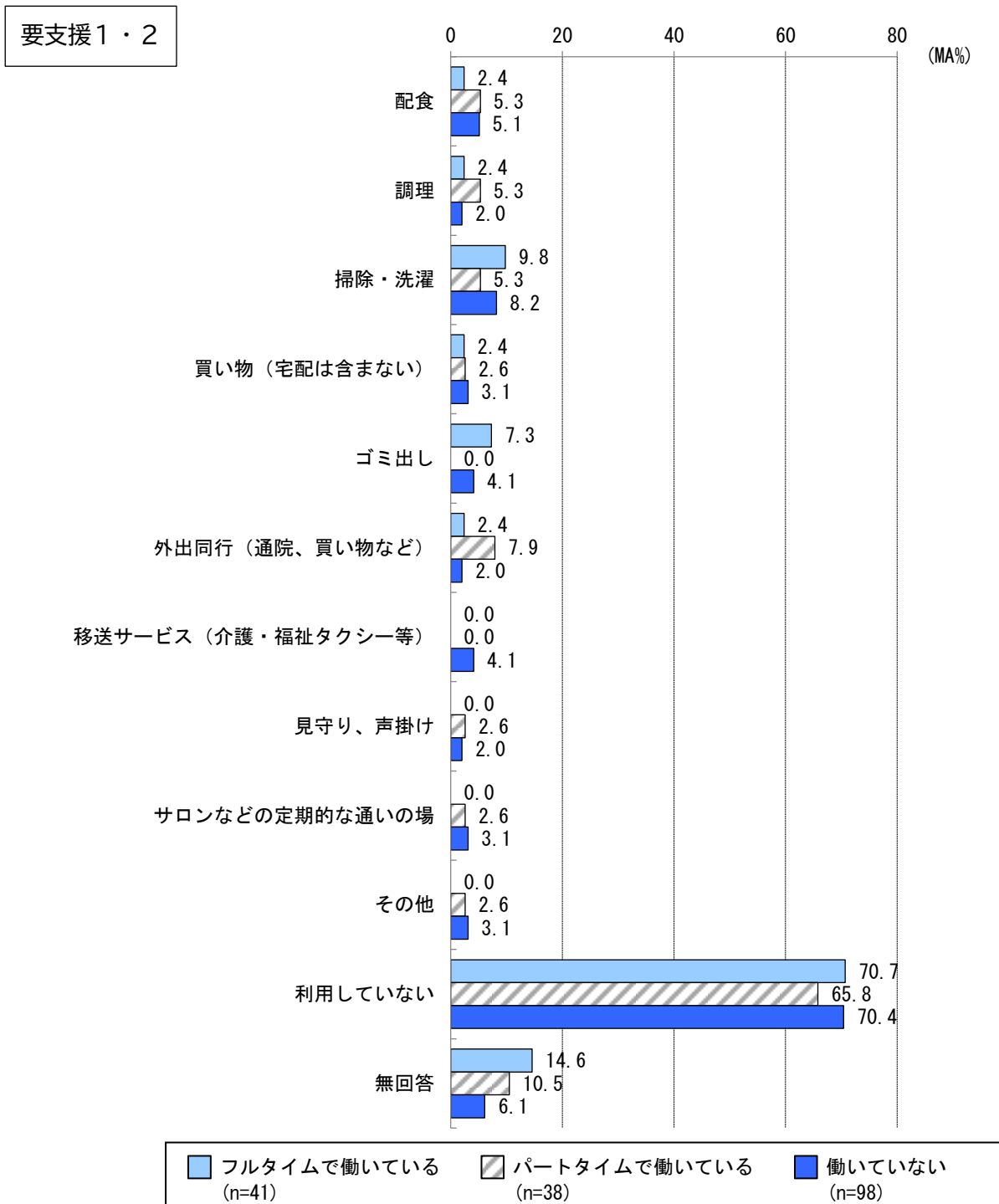
【図3-1-9 主な介護者の勤務形態別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要支援1・2）

要支援1・2において主な介護者の勤務形態別で見ると、“フルタイム勤務”では「掃除・洗濯」が9.8%で最も多く、次いで「ゴミ出し」が7.3%となっています。“パートタイム勤務”では「外出同行（通院、買い物など）」が7.9%で最も多く、次いで「配食」「調理」「掃除・洗濯」がそれぞれ5.3%となっています。“働いていない”では「掃除・洗濯」が8.2%で最も多く、次いで「配食」が5.1%となっています。一方、「利用していない」割合はいずれも7割前後と高くなっています。（図3-1-10）

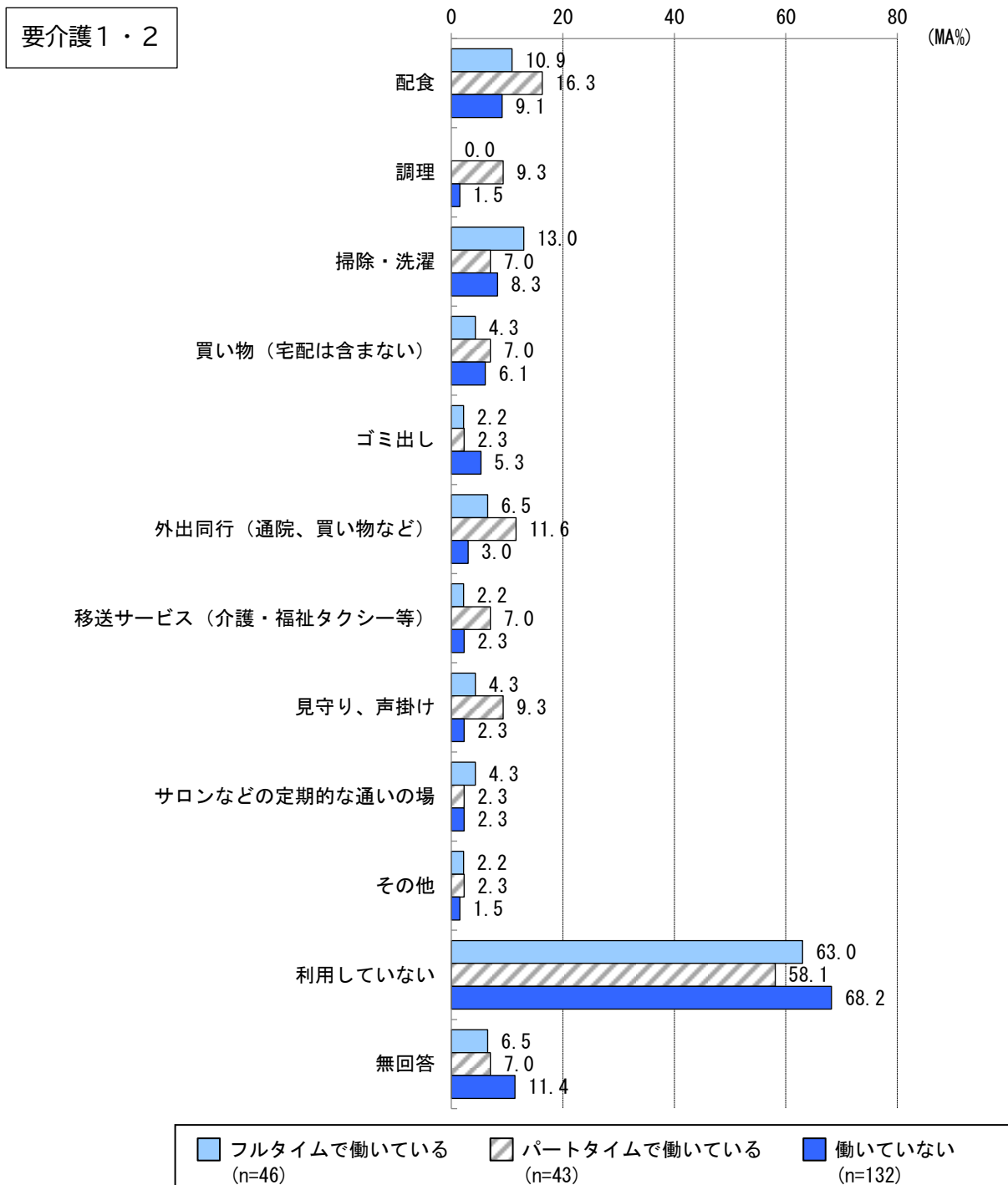
【図3-1-10 主な介護者の勤務形態別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス（要支援1・2）】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要介護1・2）

要介護1・2において主な介護者の勤務形態別で見ると、“フルタイム勤務”では「掃除・洗濯」が13.0%で最も多く、次いで「配食」が10.9%となっています。“パートタイム勤務”では「配食」が16.3%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が11.6%となっています。“働いていない”では「配食」が9.1%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が8.3%となっています。一方、「利用していない」割合はいずれも5～6割台となっています。（図3-1-11）

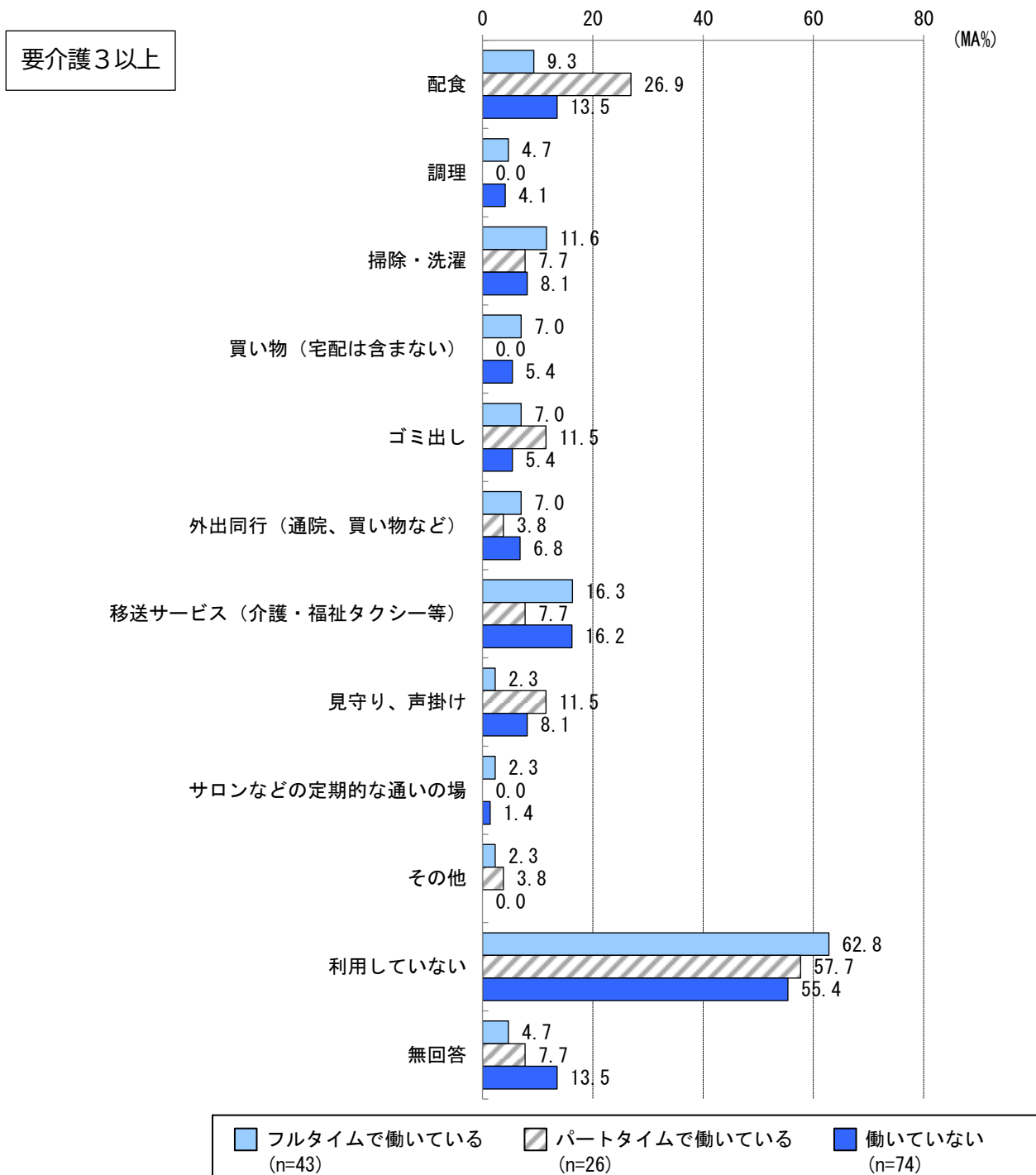
【図3-1-11 主な介護者の勤務形態別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス（要介護1・2）】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要介護3以上）

要介護3以上において主な介護者の勤務形態別で見ると“フルタイム勤務”と“働いていない”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がそれぞれ16.3%、16.2%で最も多く、次いで、“フルタイム勤務”では「掃除・洗濯」が11.6%、“働いていない”では「配食」が13.5%となっています。“パートタイム勤務”では「配食」が26.9%で最も多く、次いで「ゴミ出し」と「見守り、声掛け」がともに11.5%となっています。一方、「利用していない」割合は“フルタイム勤務”が62.8%で最も高くなっています。（図3-1-12）

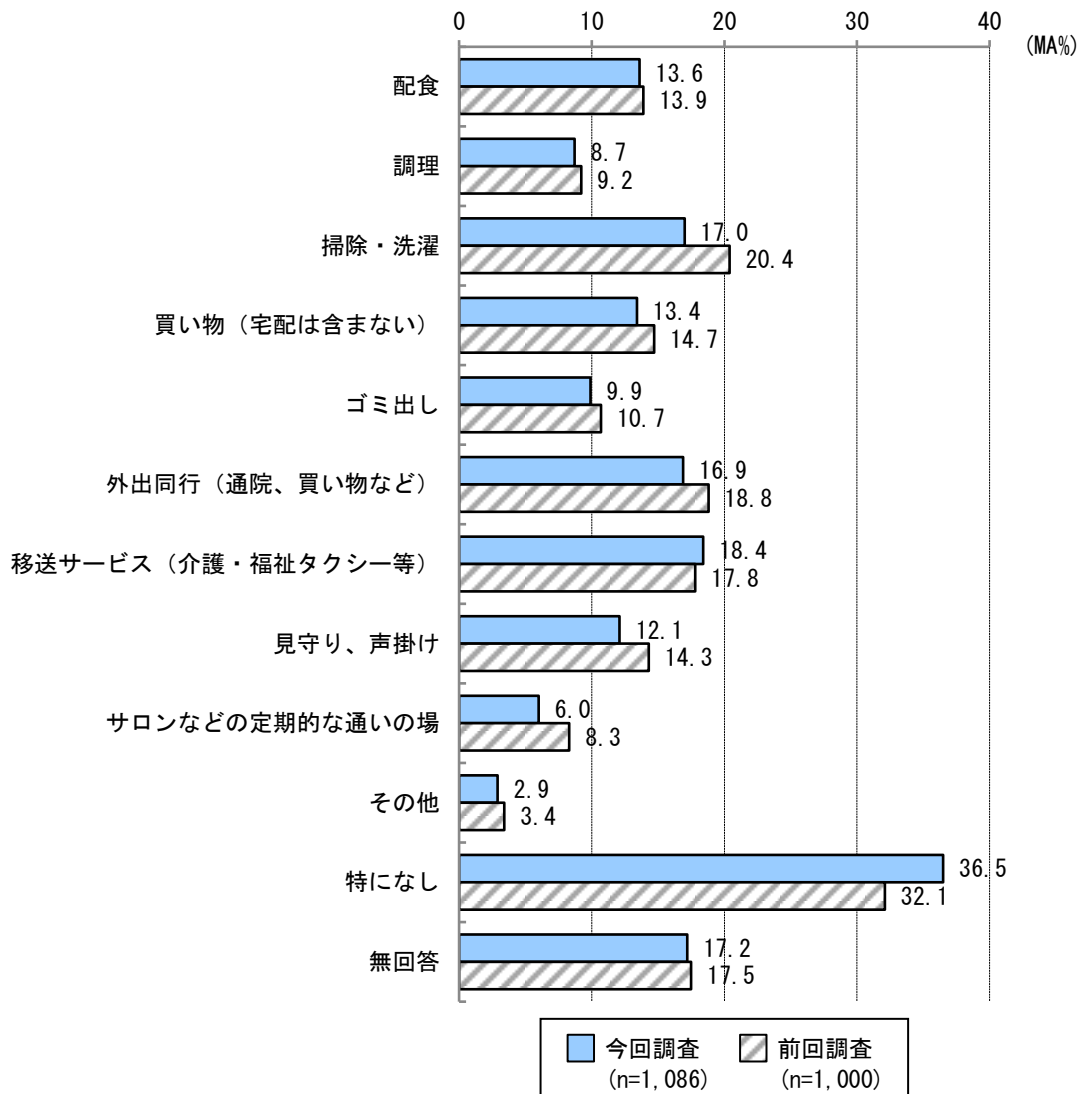
【図 3-1-12 主な介護者の勤務形態別 現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス（要介護3以上）】



(2) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問10. あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む。）について、御回答ください。
 <あてはまるものすべてに○>

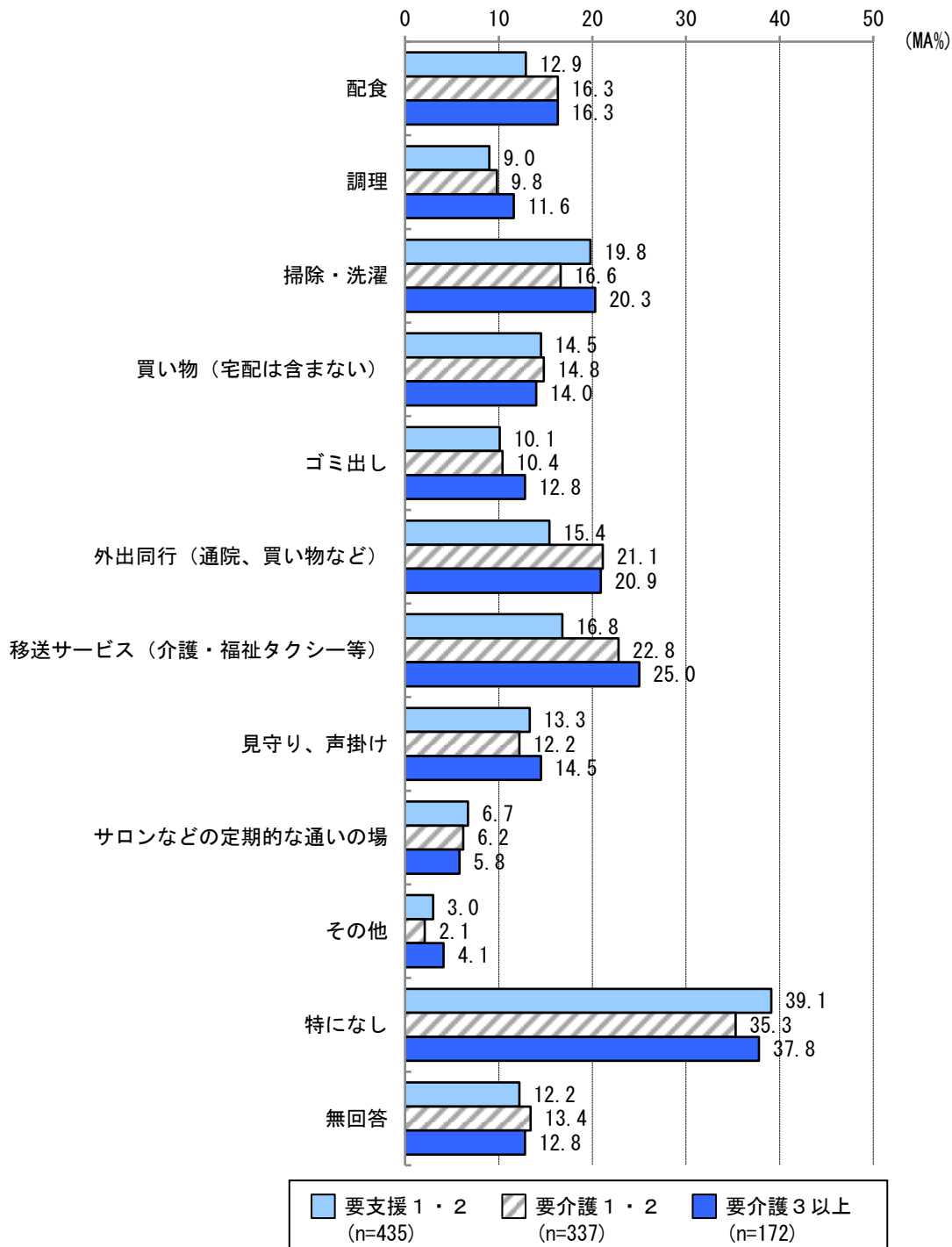
【図 3-2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.4%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が17.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が16.9%、「配食」が13.6%となっています。一方、「特になし」が36.5%となっています。前回調査と比較すると、「掃除・洗濯」が3.4ポイント低くなっています。（図3-2）

要介護度別で見ると、“要支援1・2”では「掃除・洗濯」が19.8%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が16.8%となっています。“要介護1・2”と“要介護3以上”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（要介護1・2 22.8%、要介護3以上 25.0%）が最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（要介護1・2 21.1%、要介護3以上 20.9%）となっています。一方、「特になし」はいずれの要介護度も3割台となっています。（図3-2-1）

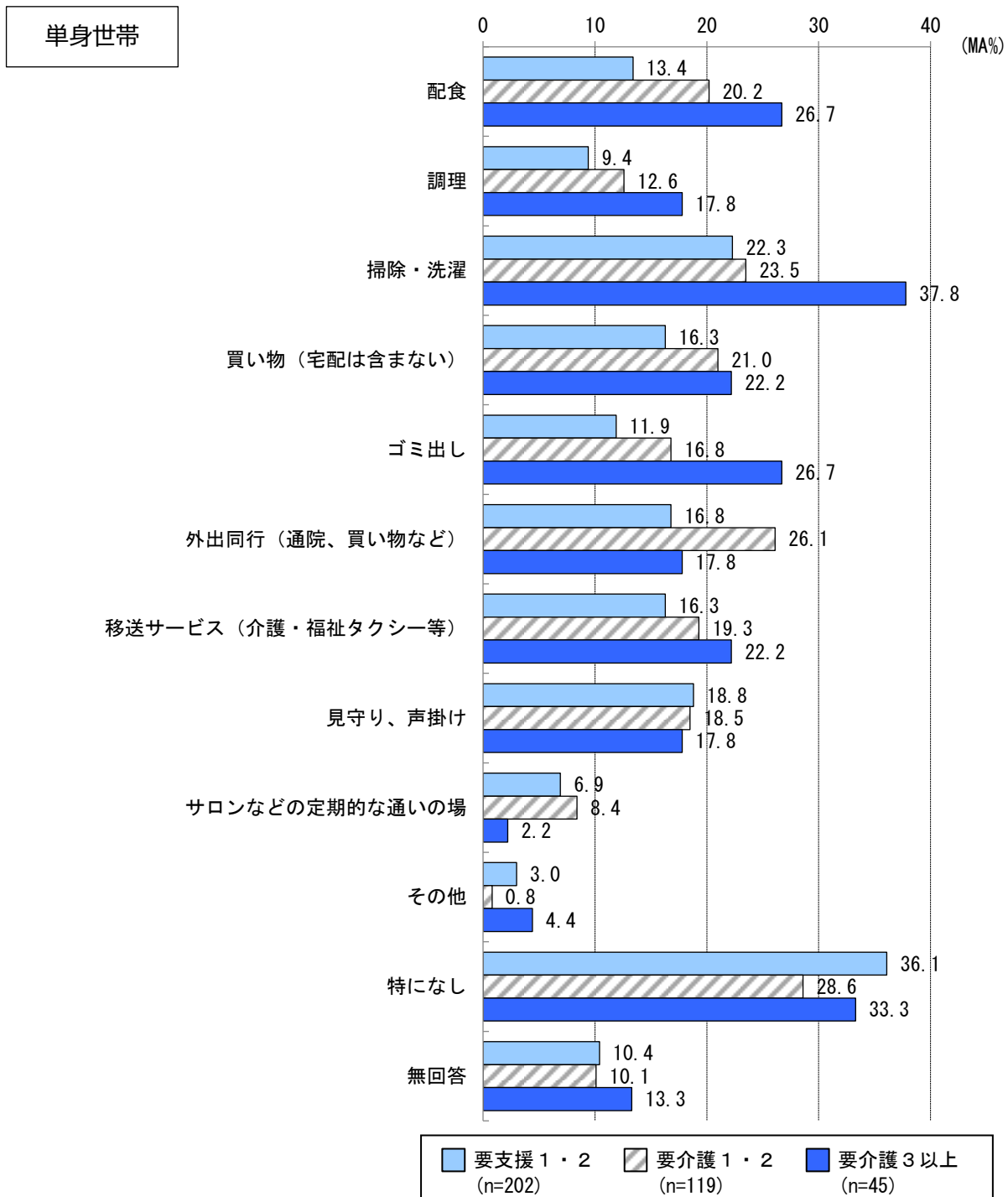
【図3-2-1 要介護度別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



【要介護度別 世帯類型別】(単身世帯)

単身世帯において要介護度別で見ると、“要支援1・2”と“要介護3以上”では「掃除・洗濯」がそれぞれ22.3%、37.8%で最も多くなっています。次いで“要支援1・2”では「見守り、声掛け」が18.8%、“要介護3以上”では「配食」と「ゴミ出し」が同率の26.7%となっています。“要介護1・2”では「外出同行（通院、買い物など）」が最も多く、次いで「掃除・洗濯」となっています。一方、「特になし」は“要支援1・2”で36.1%となっており、他の要介護度に比べ高くなっています。(図3-2-2)

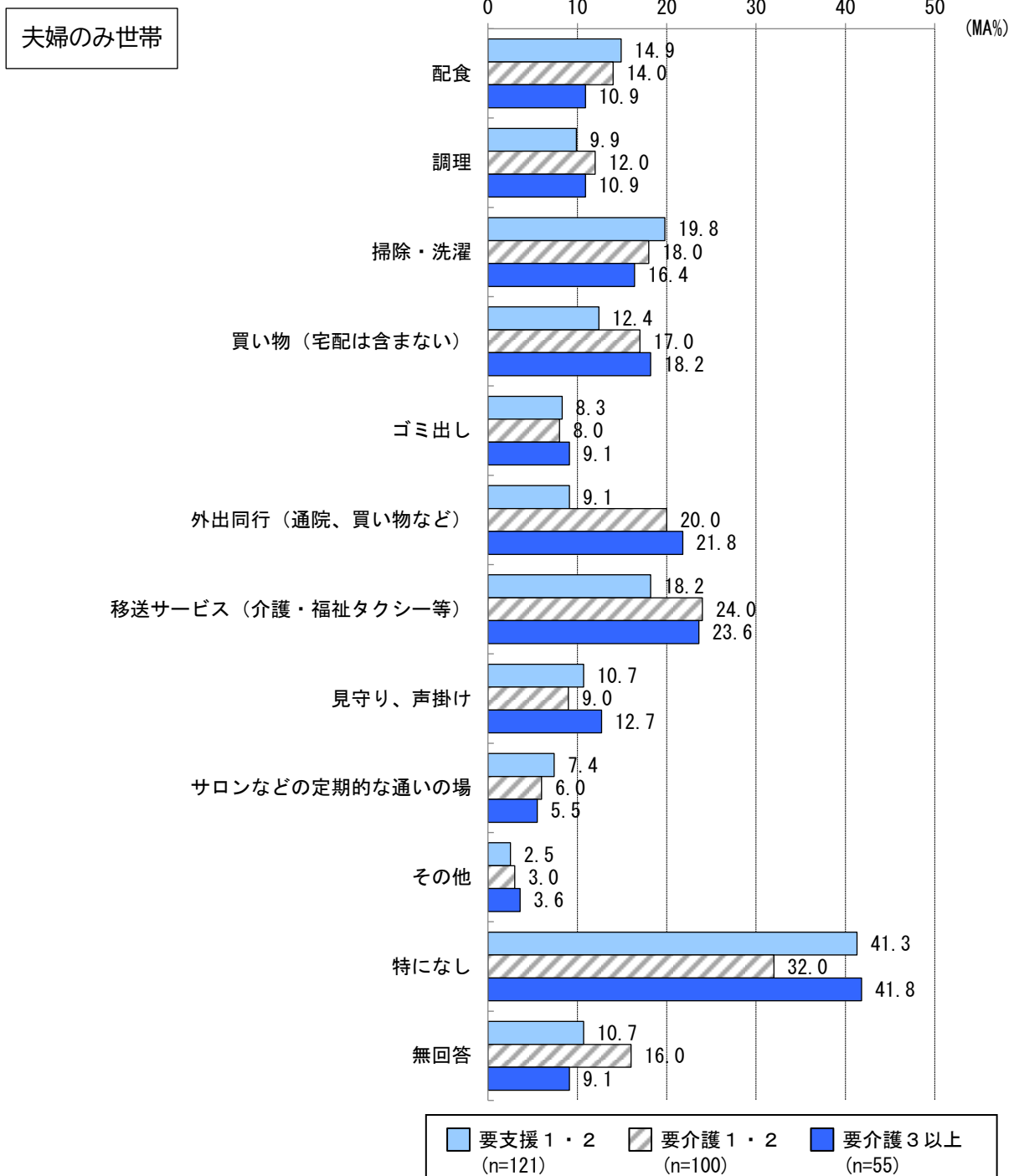
【図3-2-2 要介護度別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (単身世帯)】



【要介護度別 世帯類型別】(夫婦のみ世帯)

夫婦のみ世帯において要介護度別でみると、“要支援1・2”では「掃除・洗濯」が19.8%で最も多く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が18.2%となっています。“要介護1・2”と“要介護3以上”では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」がそれぞれ24.0%、23.6%で最も多く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」がそれぞれ20.0%、21.8%となっています。一方、「特になし」の割合は“要介護3以上”で41.8%、“要支援1・2”で41.3%となっています。(図3-2-3)

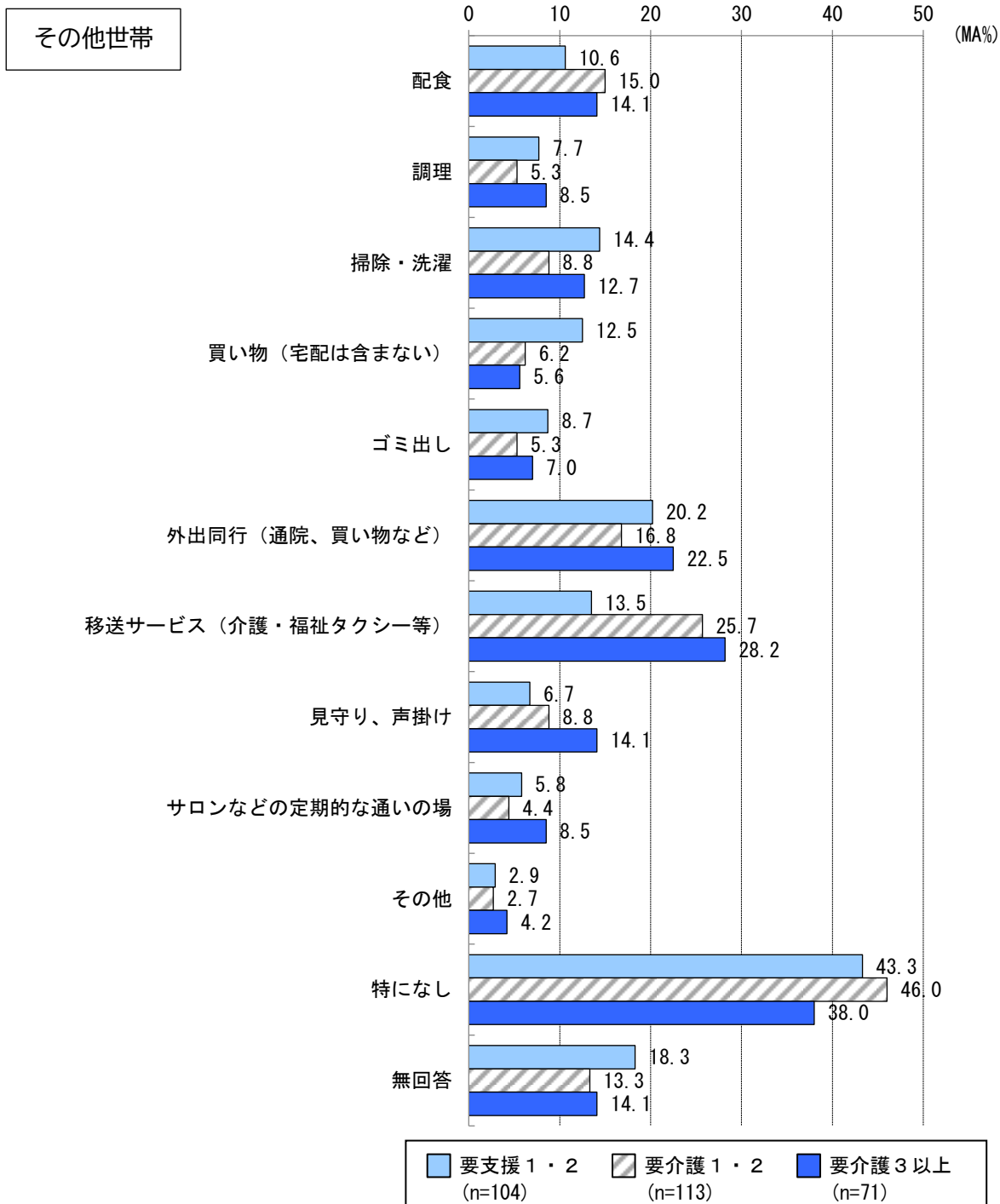
【図3-2-3 要介護度別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)】



【要介護度別 世帯類型別】(その他世帯)

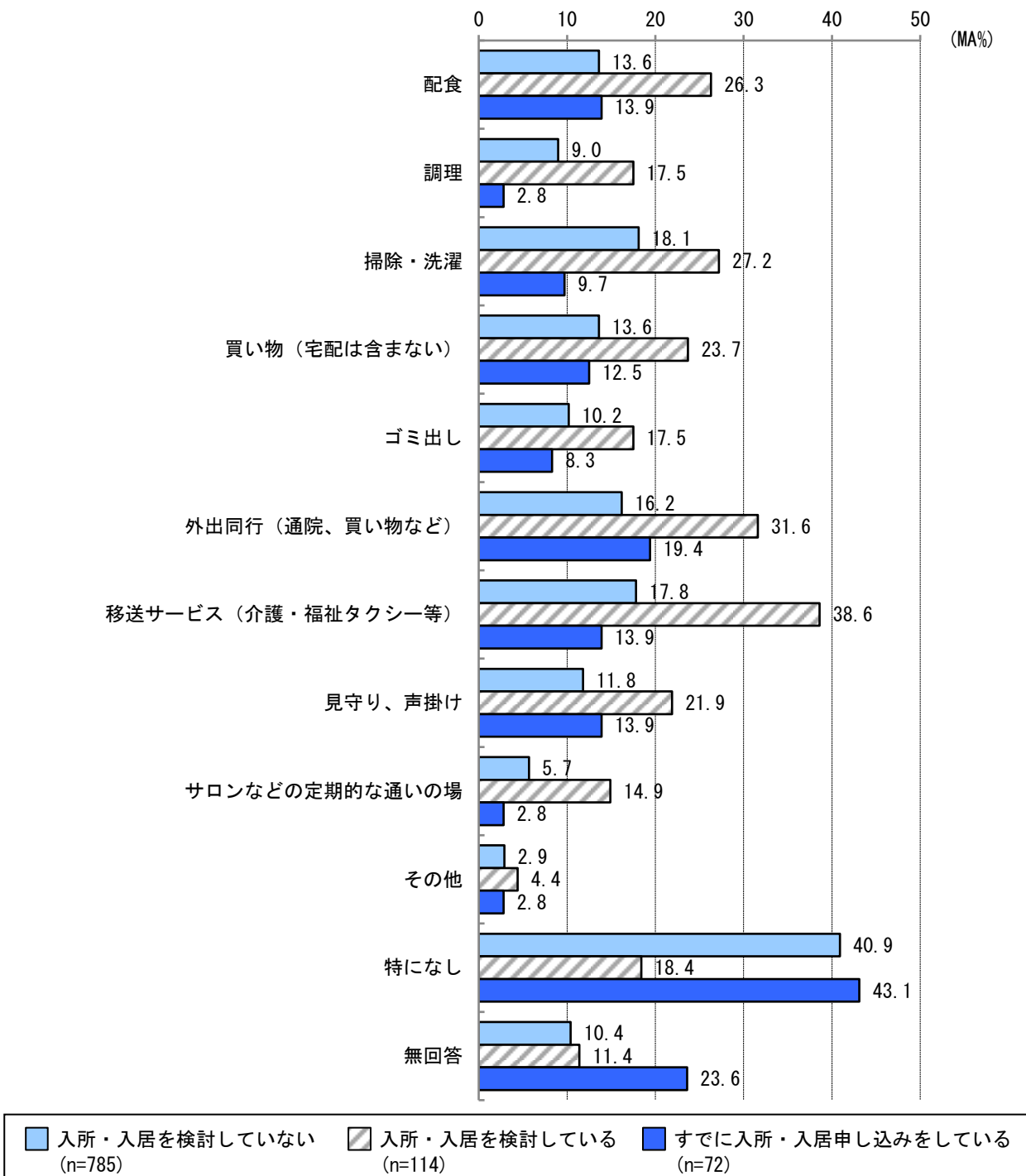
その他世帯において要介護度別で見ると、“要支援1・2”では「外出同行(通院、買い物など)」が20.2%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が14.4%となっています。“要介護1・2”と“要介護3以上”では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」がそれぞれ25.7%、28.2%で最も多く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」がそれぞれ16.8%、22.5%となっています。一方、「特になし」の割合は、“要介護1・2”が46.0%で最も高く、次いで“要支援1・2”が43.3%となっています。(図3-2-4)

【図3-2-4 要介護度別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)】



施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”では「掃除・洗濯」が18.1%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.8%となっています。“入所・入居を検討している”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が38.6%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が31.6%となっています。“すでに入所・入居申し込みをしている”では「外出同行（通院、買い物など）」が19.4%で最も多く、次いで「配食」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声掛け」がそれぞれ13.9%となっています。一方、「特になし」の割合は“すでに入所・入居申し込みをしている”で43.1%と最も高く、“入所・入居を検討している”で18.4%と低くなっています。（図3-2-5）

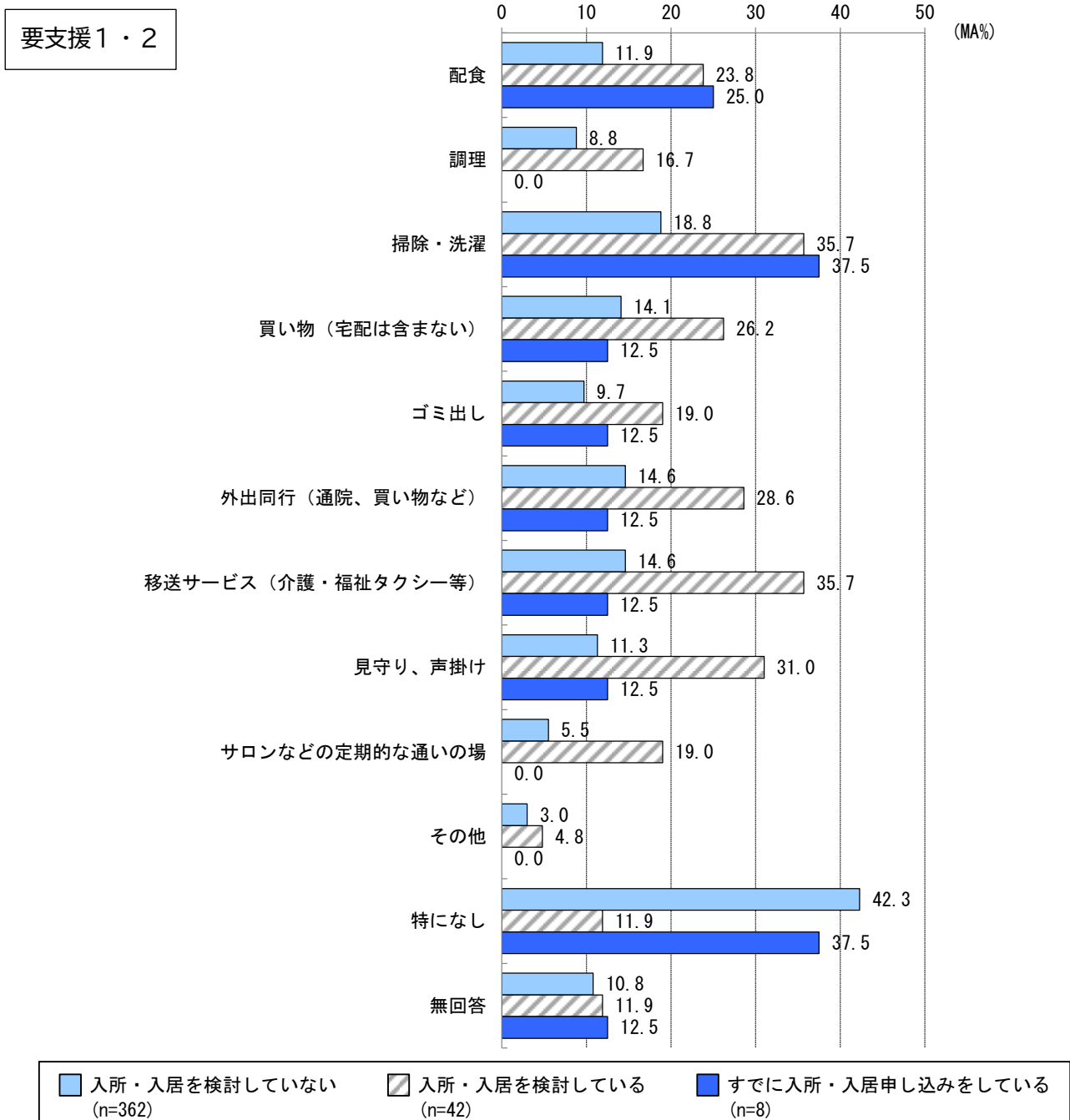
【図3-2-5 施設等への入所・入居の検討状況別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】(要支援1・2)

要支援1・2において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、いずれの検討状況も「掃除・洗濯」が最も多く、「入所・入居を検討している」では同率(35.7%)で「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」も最も多くなっています。次いで「入所・入居を検討していない」では「外出同行(通院、買い物など)」と「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」がともに14.6%で続いており、「すでに入所・入居申し込みをしている」では「配食」が25.0%となっています。一方、「特になし」の割合は「入所・入居を検討していない」が42.3%で最も高くなっています。(図3-2-6)

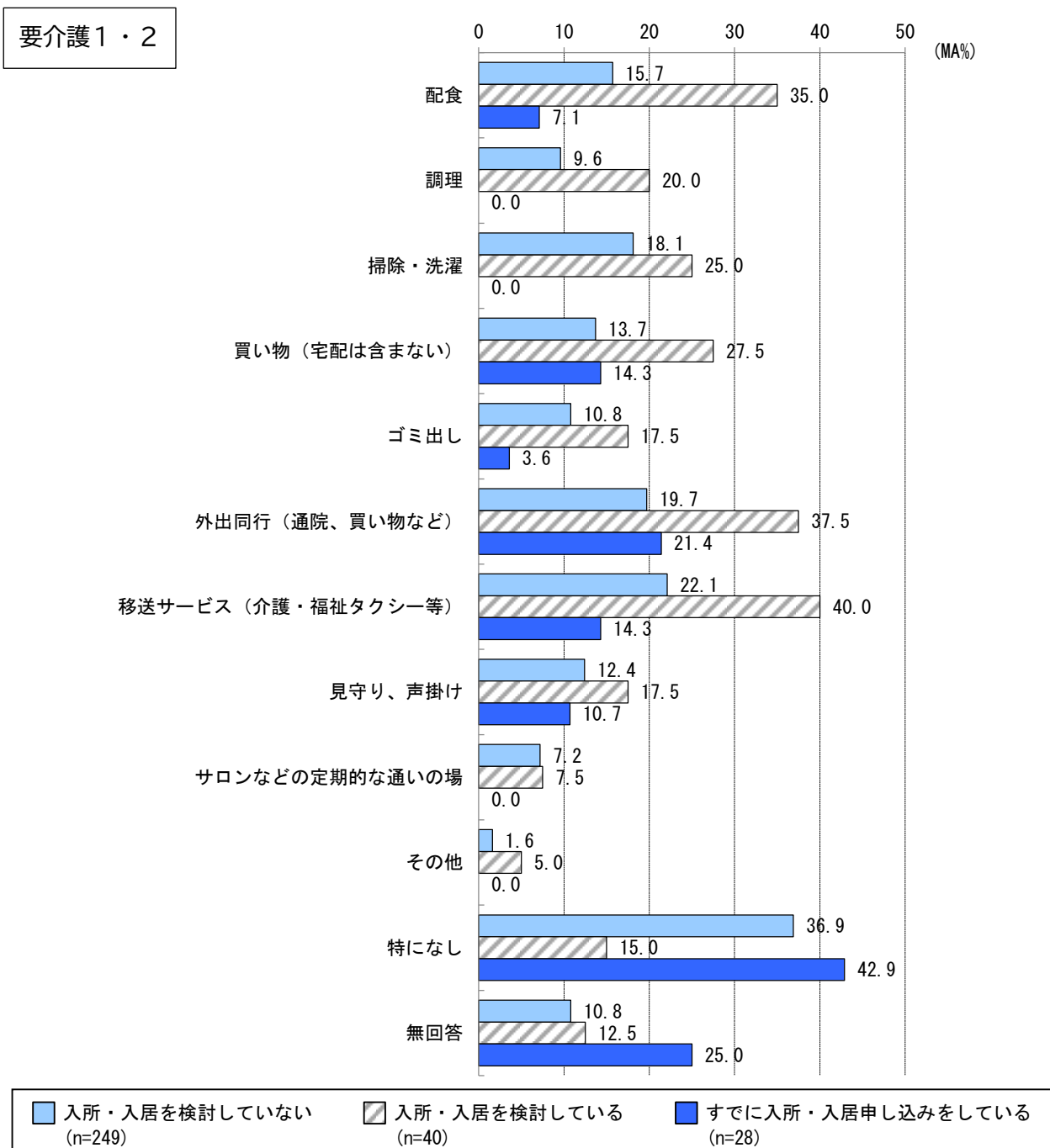
【図3-2-6 施設等への入所・入居の検討状況別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(要支援1・2)】



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】（要介護1・2）

要介護1・2において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”と“入所・入居を検討している”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が、それぞれ22.1%、40.0%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が、それぞれ19.7%、37.5%となっています。“すでに入所・入居申し込みをしている”では「外出同行（通院、買い物など）」が21.4%で最も多く、次いで「買い物（宅配は含まない）」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がともに14.3%となっています。一方、「特になし」の割合は“すでに入所・入居申し込みをしている”が42.9%で最も高くなっています。（図3-2-7）

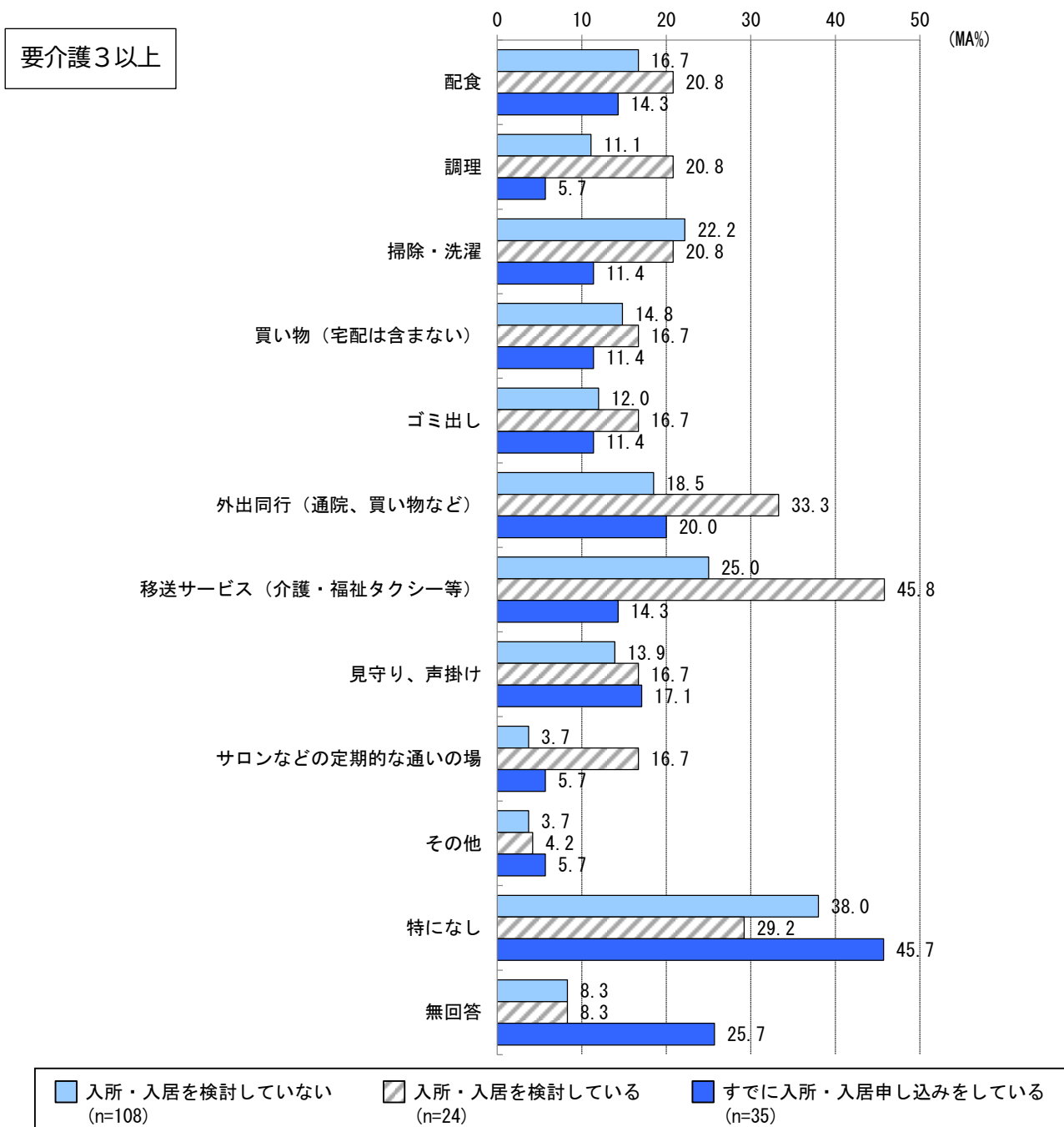
【図3-2-7 施設等への入所・入居の検討状況別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（要介護1・2）】



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】(要介護3以上)

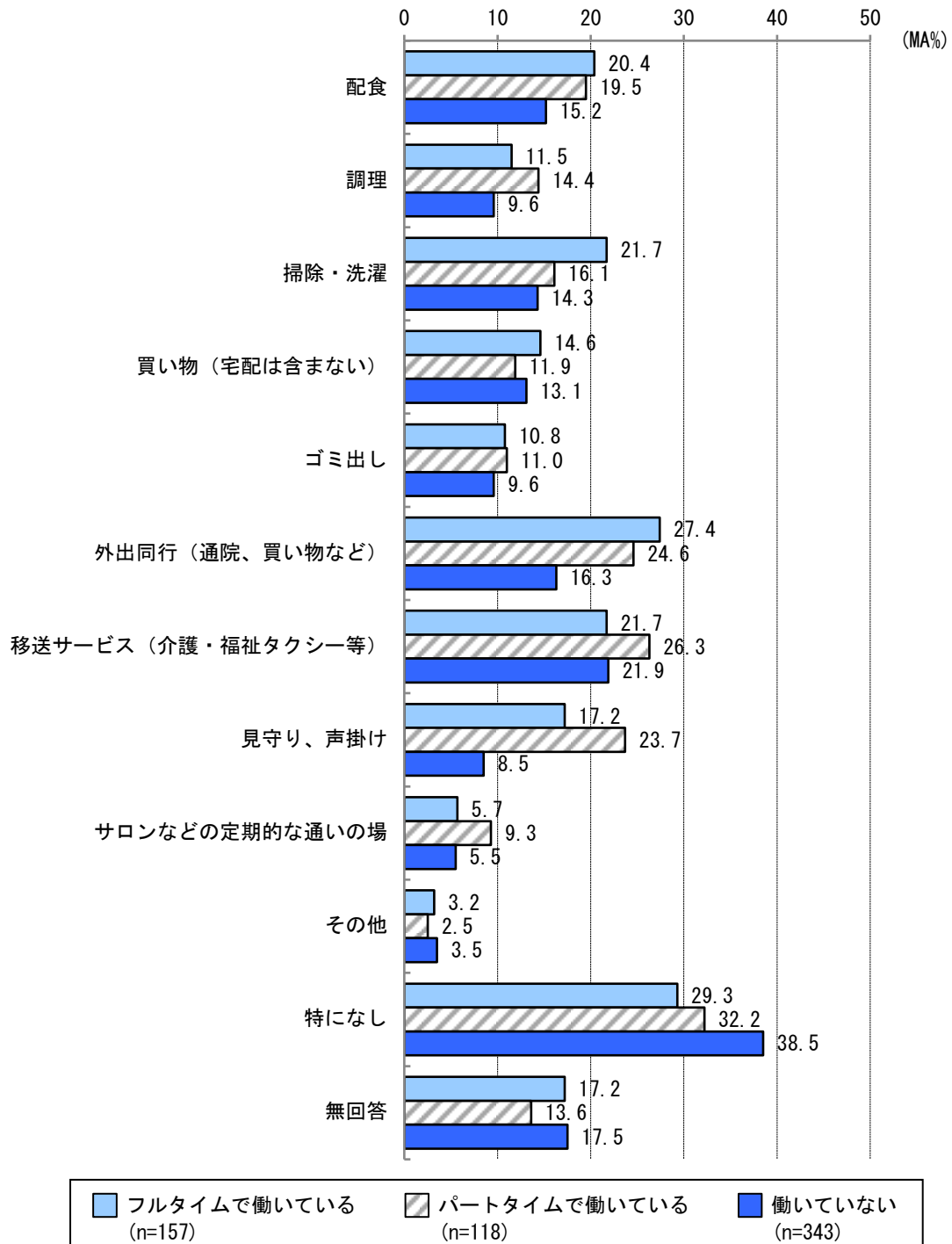
要介護3以上において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”と“入所・入居を検討している”では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」がそれぞれ25.0%、45.8%で最も多く、次いで“入所・入居を検討していない”は「掃除・洗濯」が22.2%、“入所・入居を検討している”では「外出同行(通院、買い物など)」が33.3%となっています。“すでに入所・入居申し込みをしている”では「外出同行(通院、買い物など)」が20.0%で最も多く、次いで「見守り、声掛け」が17.1%となっています。一方、「特になし」の割合は“すでに入所・入居申し込みをしている”が45.7%で最も高くなっています。(図3-2-8)

【図3-2-8 施設等への入所・入居の検討状況別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(要介護3以上)】



主な介護者の勤務形態別でみると、“フルタイム勤務”では「外出同行（通院、買い物など）」が27.4%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がともに21.7%となっています。“パートタイム勤務”と“働いていない”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がそれぞれ26.3%、21.9%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」がそれぞれ24.6%、16.3%となっています。一方で、「特になし」の割合が、勤務形態に関係なく3～4割程度となっています。（図3-2-9）

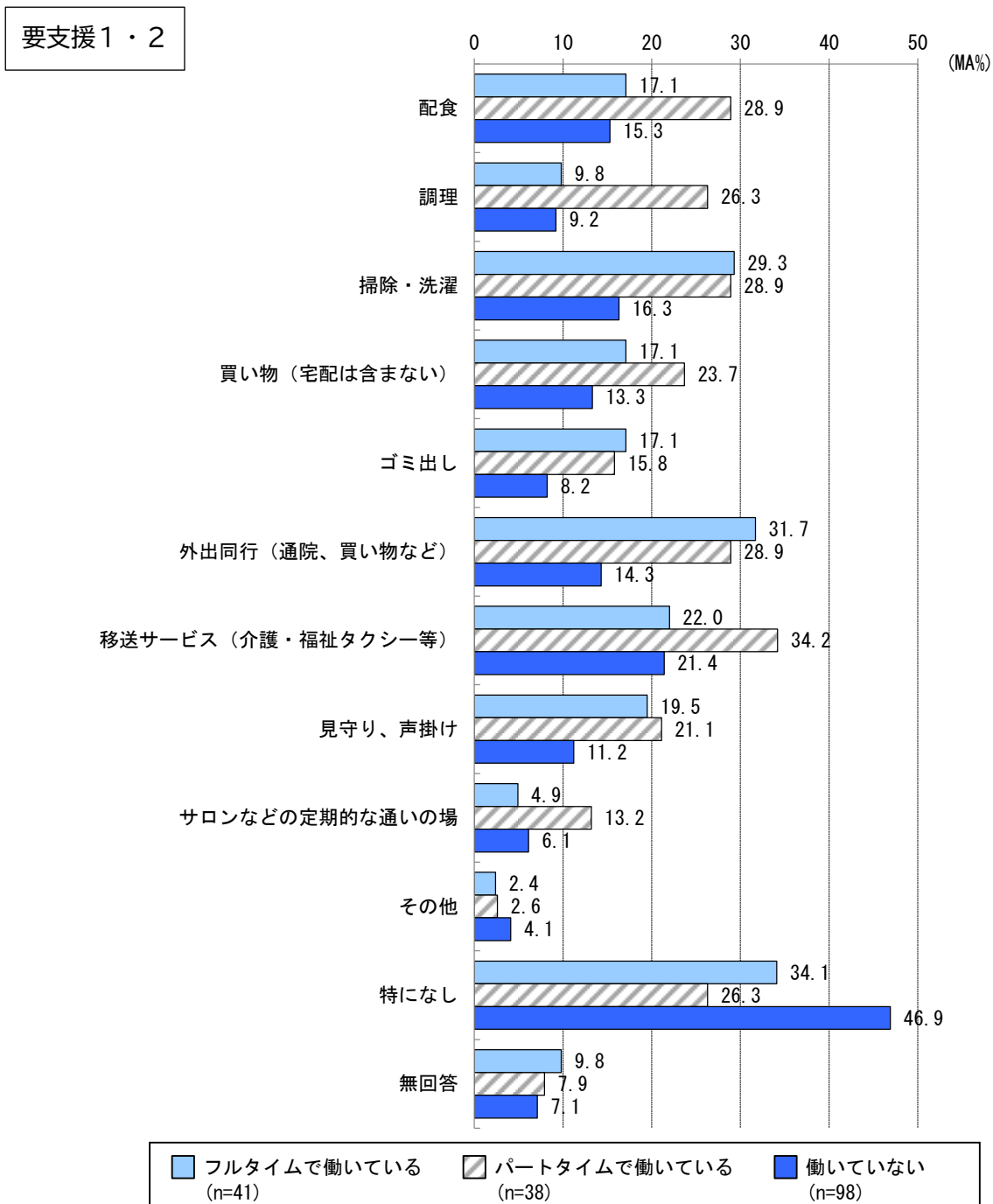
【図3-2-9 主な介護者の勤務形態別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要支援1・2）

要支援1・2において主な介護者の勤務形態別でみると、“フルタイム勤務”では「外出同行（通院、買い物など）」が31.7%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が29.3%となっています。“パートタイム勤務”と“働いていない”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（パートタイム 34.2%、働いていない 21.4%）が最も多く、次いで“パートタイム勤務”では「配食」「掃除・洗濯」「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも28.9%、“働いていない”では「掃除・洗濯」が16.3%となっています。一方、「特になし」の割合は“働いていない”で46.9%と最も高くなっています。（図3-2-10）

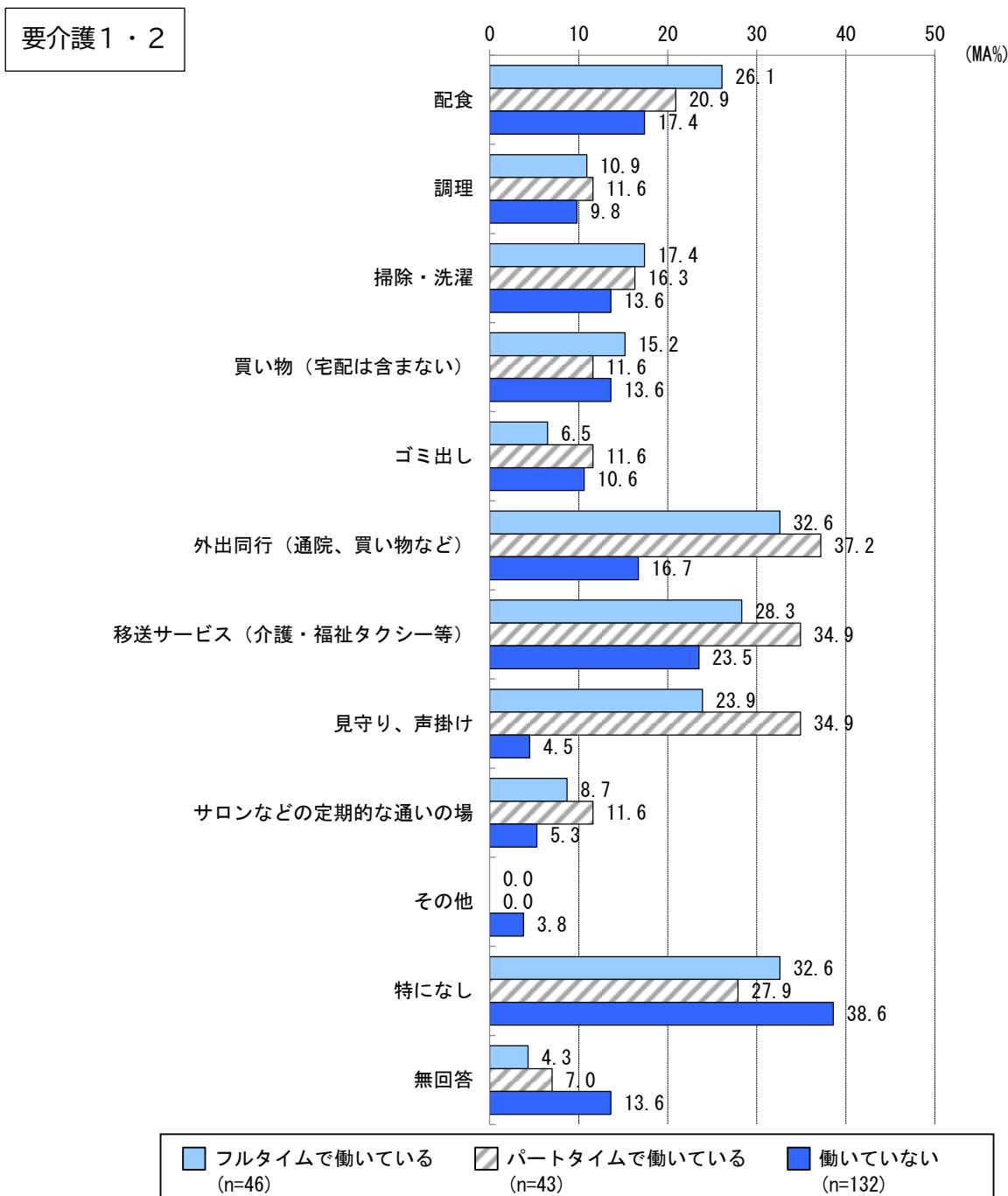
【図3-2-10 主な介護者の勤務形態別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（要支援1・2）】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要介護1・2）

要介護1・2において主な介護者の勤務形態別で見ると、“フルタイム勤務”と“パートタイム勤務”では「外出同行（通院、買い物など）」（フルタイム 32.6%、パートタイム 37.2%）が最も多く、次いで“フルタイム勤務”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.3%、“パートタイム勤務”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」と「見守り、声掛け」がともに34.9%となっています。“働いていない”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.5%で最も多く、次いで「配食」が17.4%となっています。一方、「特になし」の割合は“働いていない”で38.6%と最も高くなっています。（図3-2-11）

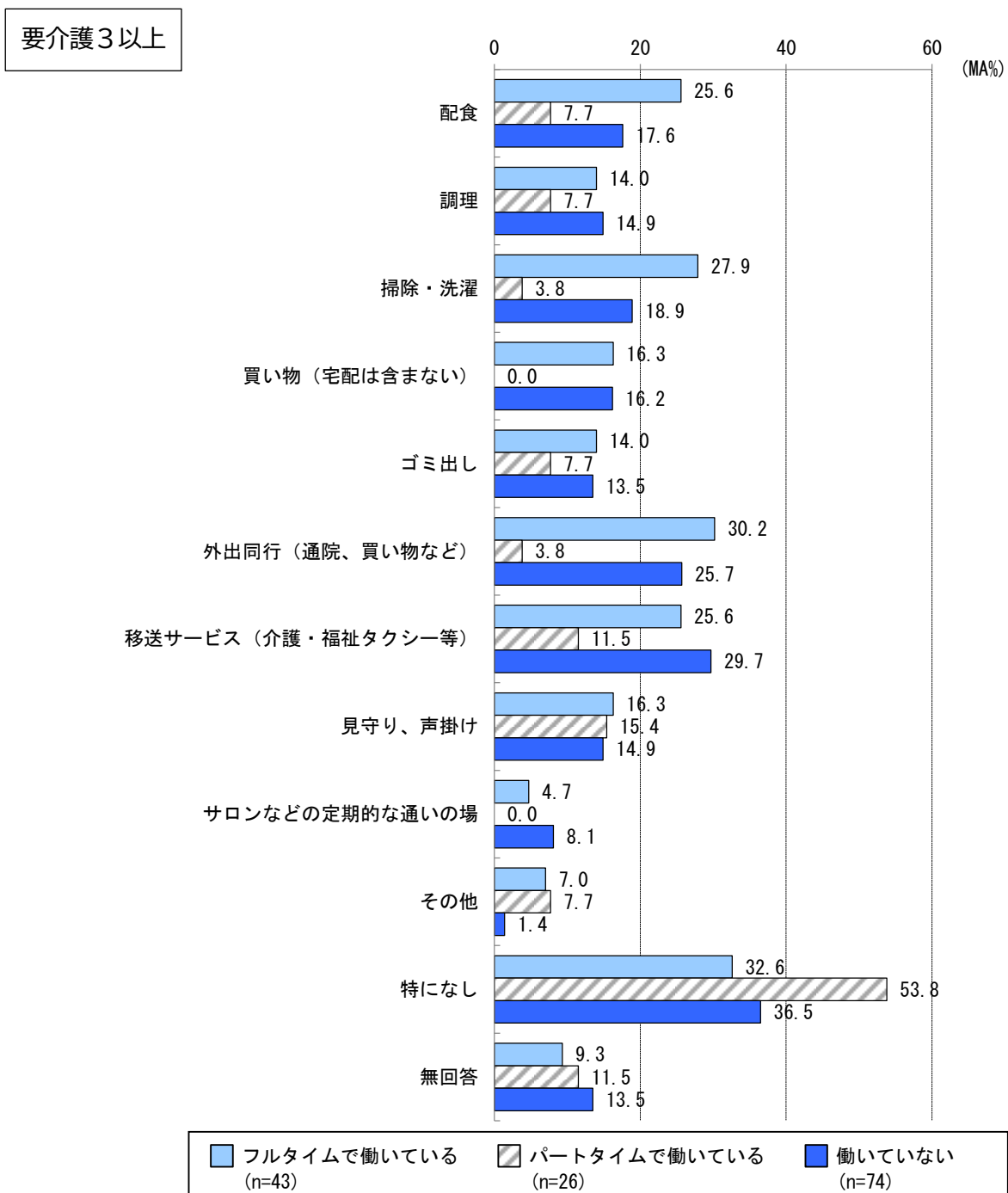
【図3-2-11 主な介護者の勤務形態別 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（要介護1・2）】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要介護3以上）

要介護3以上において主な介護者の勤務形態別でみると、“フルタイム勤務”では「外出同行（通院、買い物など）」が30.2%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が27.9%となっています。“パートタイム勤務”では「見守り、声掛け」が15.4%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.5%となっています。“働いていない”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.7%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が25.7%となっています。一方、「特になし」の割合は、“パートタイム勤務”が53.8%と最も高くなっています。（図3-2-12）

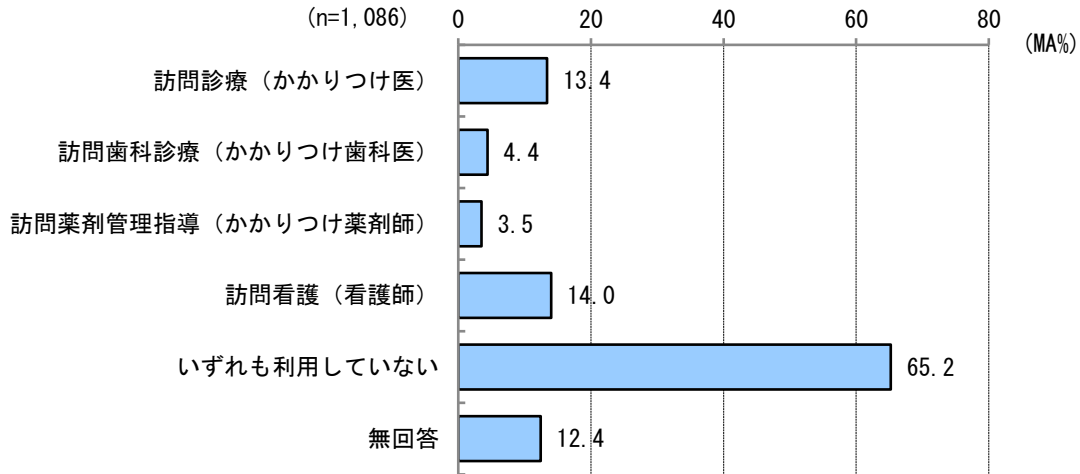
【図3-2-12 主な介護者の勤務形態別 在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（要介護3以上）】



(3) 定期的に居宅訪問する医療サービスで利用しているもの

問11. あなたは現在、特定の医療関係者が計画を立て、定期的に居宅を訪問するようなサービスを利用していますか。〈あてはまるものすべてに○〉

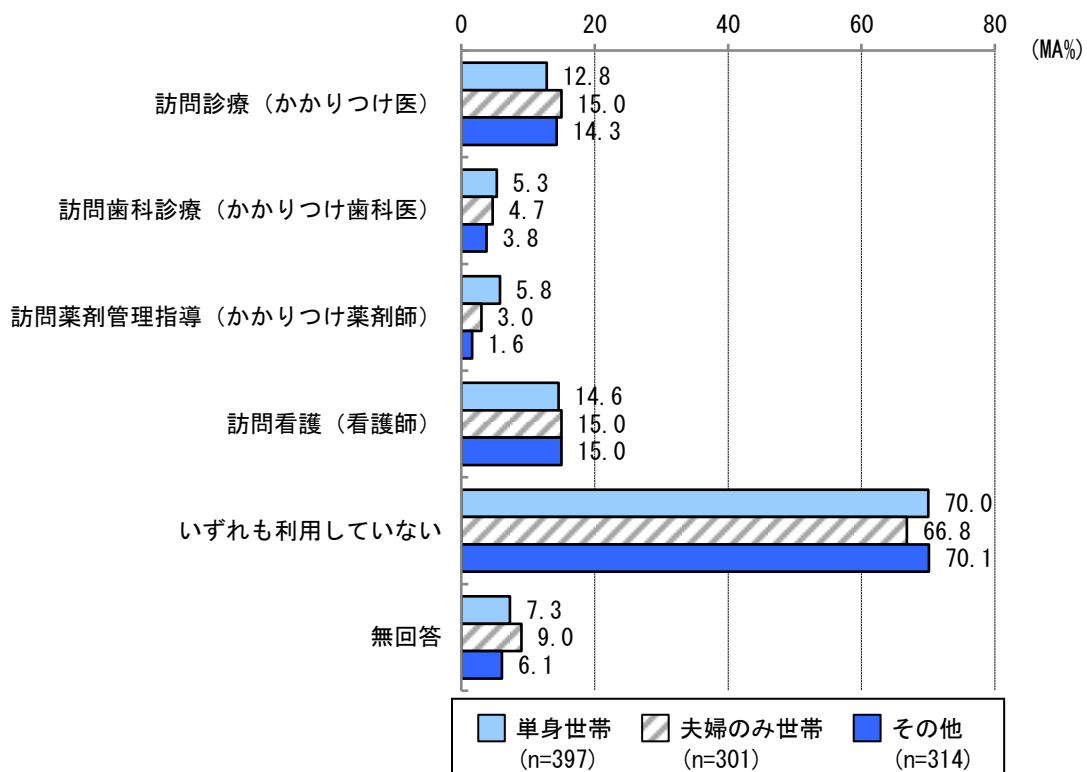
【図3-3 定期的に居宅訪問する医療サービスで利用しているもの】



定期的に居宅訪問する医療サービスで利用しているものについては、「いずれも利用していない」が65.2%で最も多く、次いで「訪問看護 (看護師)」が14.0%、「訪問診療 (かかりつけ医)」が13.4%となっています。(図3-3)

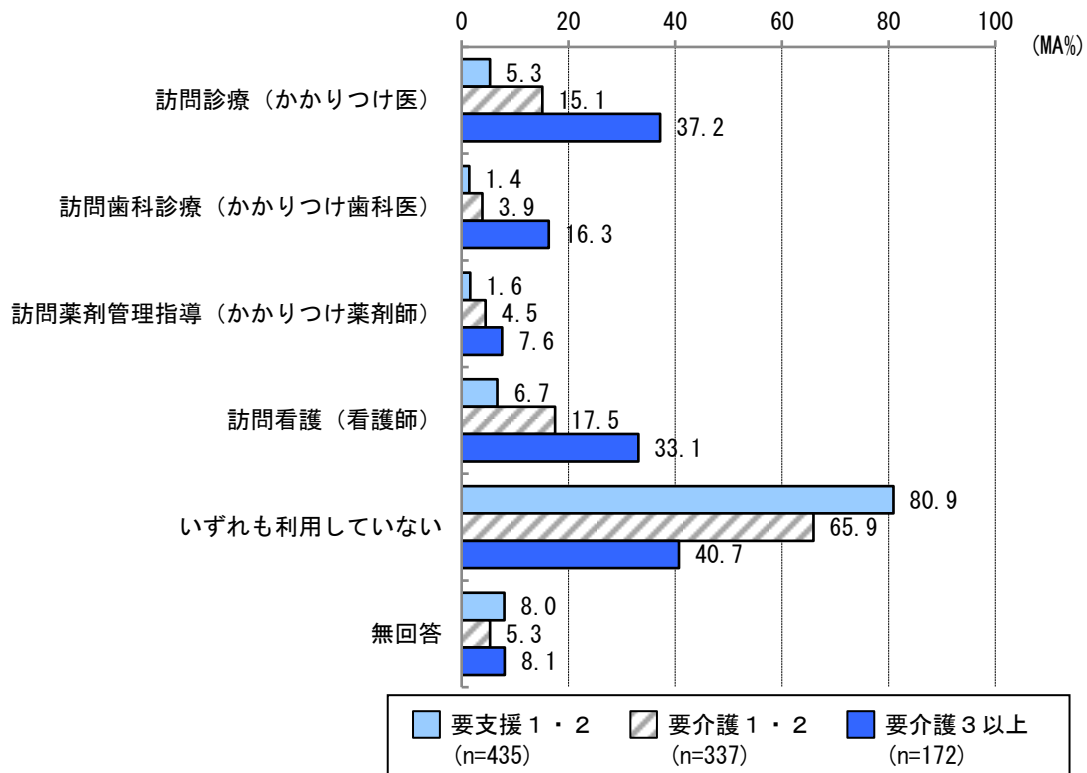
世帯類型別でみると、いずれの世帯も「いずれも利用していない」が最も多く、7割前後を占めています。利用している医療サービスでは「訪問診療 (かかりつけ医)」は夫婦のみの世帯で15.0%と他の世帯よりやや高くなっています。(図3-3-1)

【図3-3-1 世帯類型別 定期的に居宅訪問する医療サービスで利用しているもの】



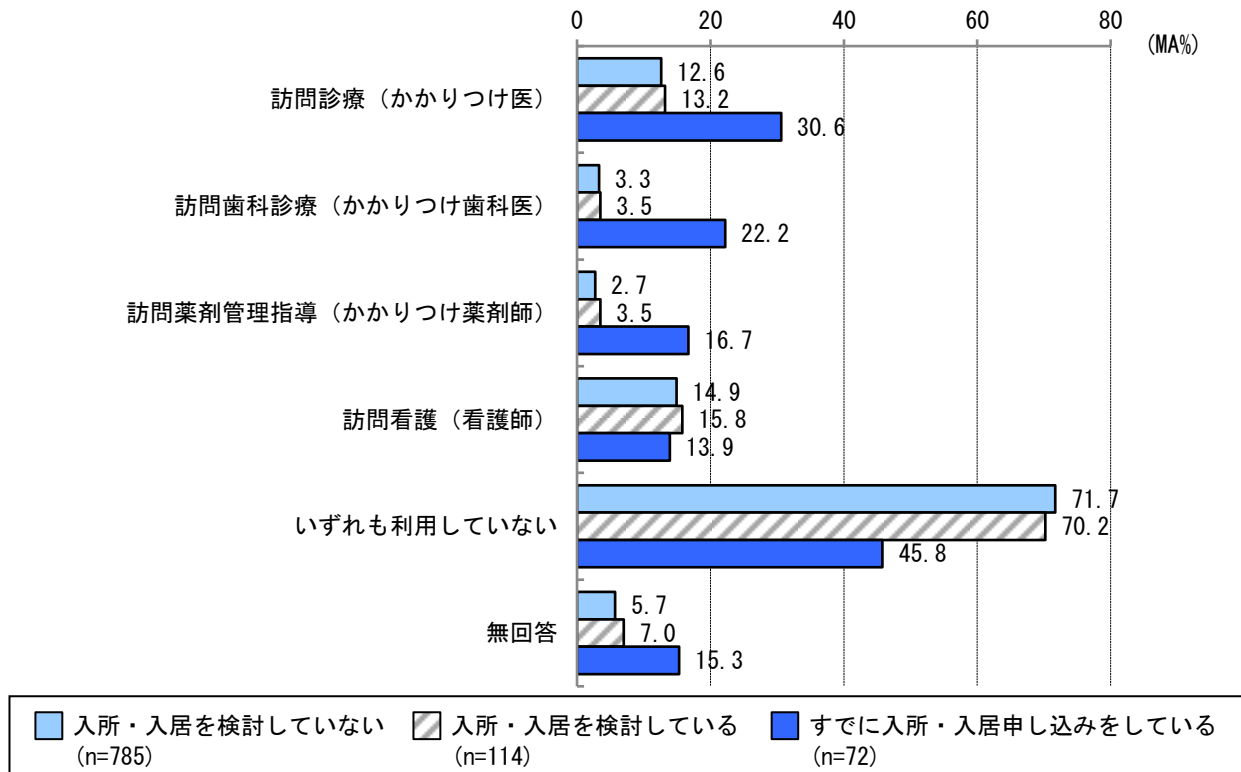
要介護度別で見ると、利用している医療サービスはいずれも重度になるほど割合が高く、要介護3以上が最も高くなっています。(図3-3-2)

【図3-3-2 要介護度別 定期的に居宅訪問する医療サービスで利用しているもの】



施設等への入所・入居の検討状況別でみると、利用している医療サービスは、「訪問診療（かかりつけ医）」、「訪問歯科診療（かかりつけ歯科医）」、「訪問薬剤管理指導（かかりつけ薬剤師）」では“すでに入所・入居申し込みをしている”が最も高くなっています。（図3-3-3）

【図 3-3-3 施設等への入所・入居の検討状況別 定期的に居宅訪問する医療サービスで利用しているもの】

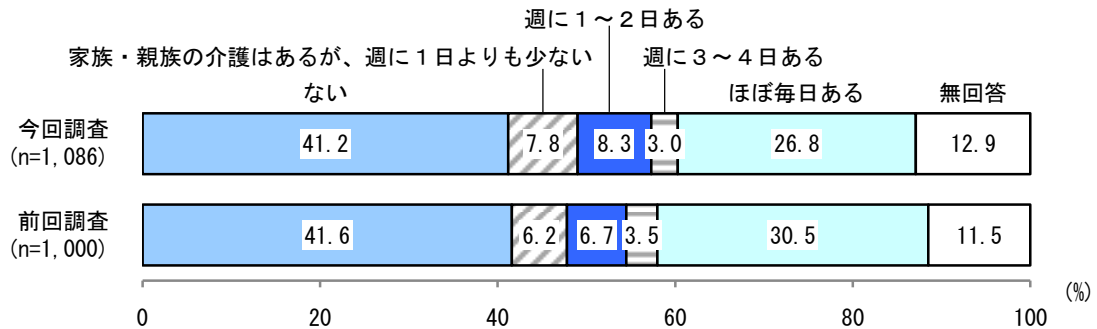


4 家族や親族からの介護について

(1) 家族や親族からの介護の頻度

問12. あなたに対する御家族や御親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。<○は1つ>

【図4-1 家族や親族からの介護の頻度】

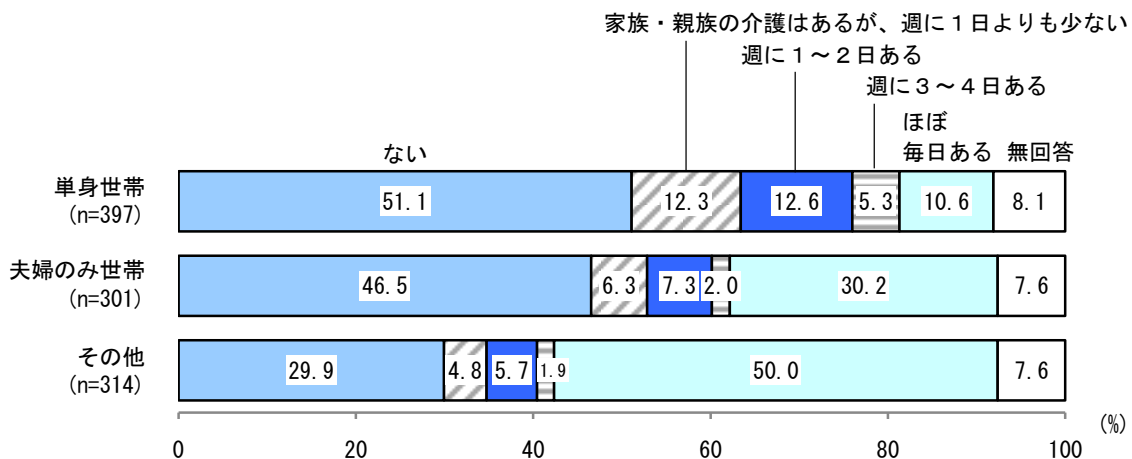


家族や親族からの介護の頻度については、「ない」が41.2%で最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」が26.8%、「週に1～2日ある」が8.3%となっています。

前回調査と比較すると、「ほぼ毎日ある」が3.7ポイント低くなっています。（図4-1）

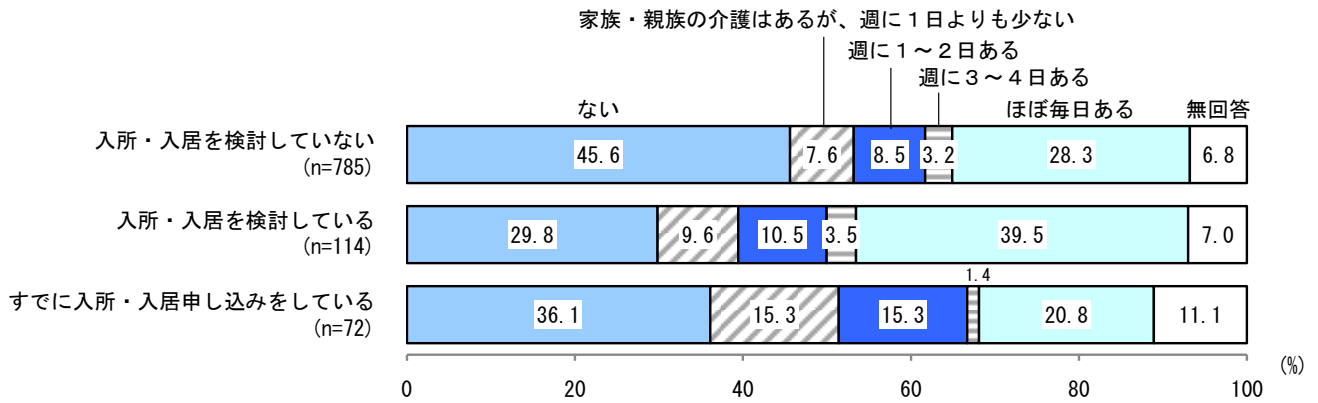
世帯類型別でみると、「ない」割合は“単身世帯”で51.1%と最も高くなっています。「ほぼ毎日ある」の割合は“その他世帯”で50.0%と最も高くなっています。（図4-1-1）

【図4-1-1 世帯類型別 家族や親族からの介護の頻度】



施設等への入所・入居の検討状況別でみると、「ない」割合は“入所・入居を検討していない”で45.6%と最も高くなっています。「ほぼ毎日ある」の割合は“入所・入居を検討している”で39.5%と最も高くなっています。(図4-1-2)

【図 4-1-2 施設等への入所・入居の検討状況別 家族や親族からの介護の頻度】



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】

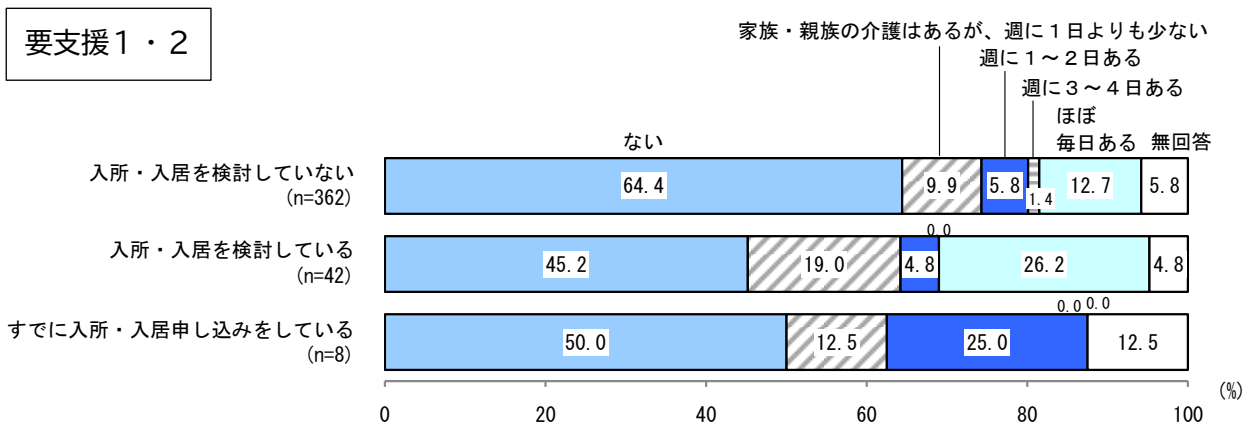
施設等への入所・入居の検討状況別でみると、要支援1・2においては、いずれの区分でも「ない」(45.2%~64.4%)の割合が最も高くなっています。(図4-1-3)

要介護1・2においては、“入所・入居を検討していない”“入所・入居を検討している”では「ほぼ毎日ある」が、それぞれ39.4%、45.0%で最も高く、“すでに入所・入居申し込みをしている”では「ない」が39.3%で最も高くなっています。(図4-1-4)

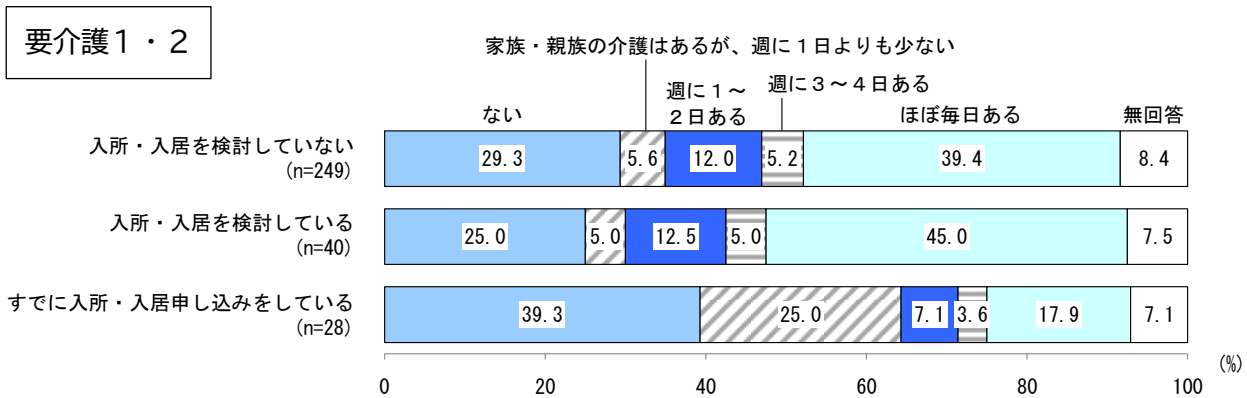
要介護3以上においては、“入所・入居を検討していない”“入所・入居を検討している”では「ほぼ毎日ある」が、それぞれ64.8%、66.7%で最も高く、“すでに入所・入居申し込みをしている”では「ない」が31.4%で最も高くなっています。(図4-1-5)

“入所・入居を検討していない”と“入所・入居を検討している”では、要介護度が重度になるほど「ない」割合が低くなり、「ほぼ毎日ある」割合が高くなっています。

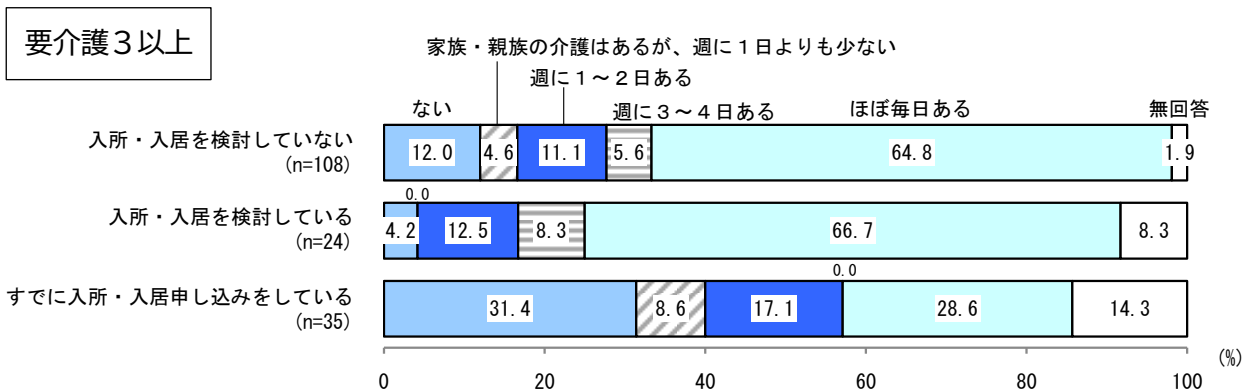
【図4-1-3 施設等への入所・入居の検討状況別 家族や親族からの介護の頻度(要支援1・2)】



【図4-1-4 施設等への入所・入居の検討状況別 家族や親族からの介護の頻度(要介護1・2)】

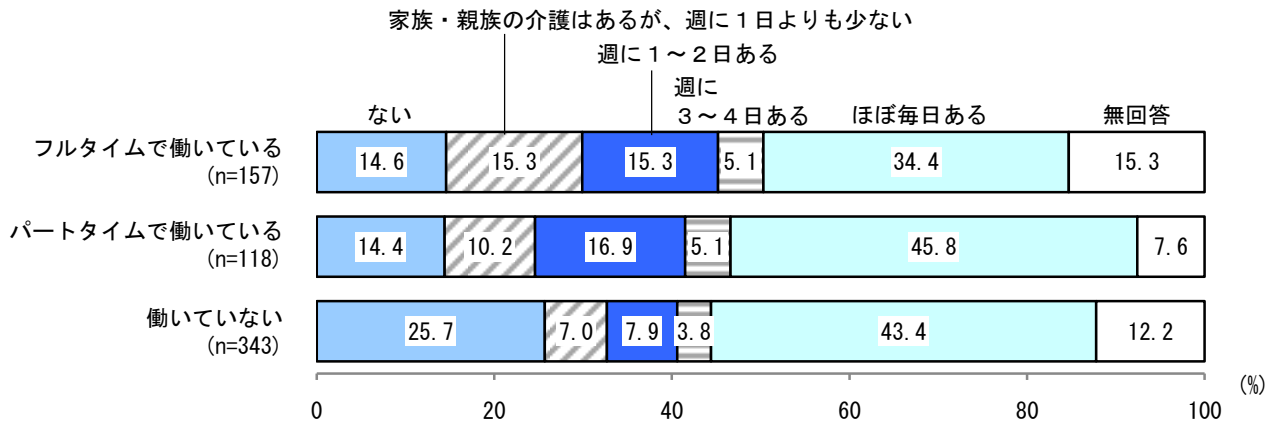


【図4-1-5 施設等への入所・入居の検討状況別 家族や親族からの介護の頻度(要介護3以上)】



主な介護者の勤務形態別でみると、“働いていない”において「ない」の割合が25.7%と他の区分と比べて高く、「ほぼ毎日ある」の割合は“パートタイム勤務”が45.8%で最も高くなっています。(図4-1-6)

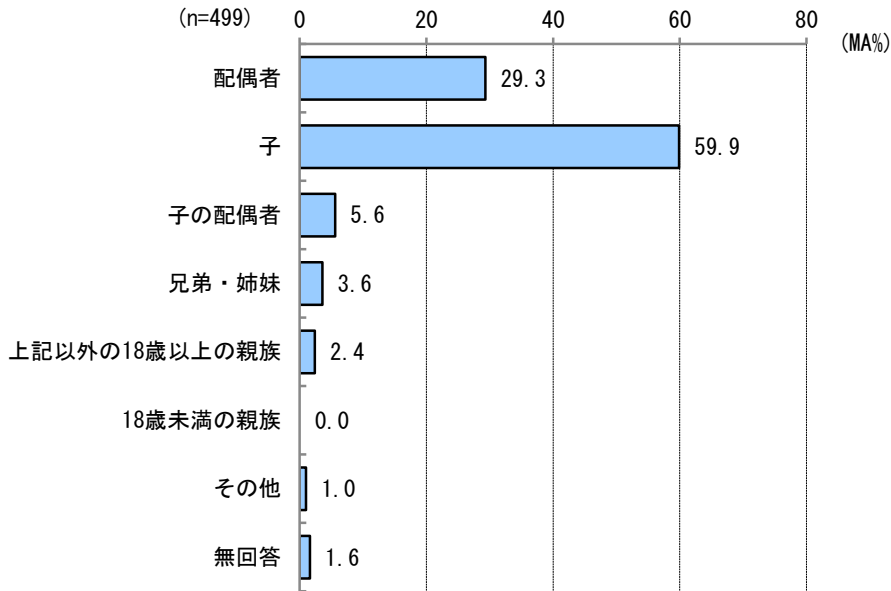
【図 4-1-6 主な介護者の勤務形態別 家族や親族からの介護の頻度】



(2) 主な介護者

問13. あなたは、御家族や御親族の中で、主にどなたから介護を受けておられますか。
 <○は1つ>

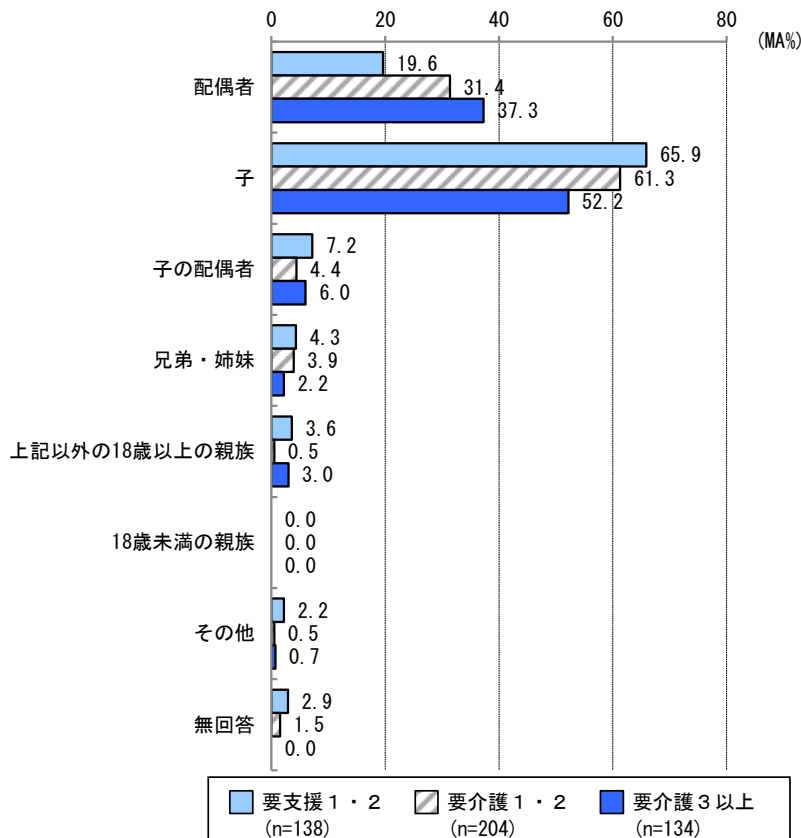
【図 4-2 主な介護者】



主な介護者については、「子」が59.9%で最も多く、次いで「配偶者」が29.3%、「子の配偶者」が5.6%となっています。(図4-2)

要介護度別でみると、「配偶者」の割合は重度になるほど高く、「子」の割合は重度になるほど低くなっています。(図4-2-1)

【図 4-2-1 要介護度別 主な介護者】

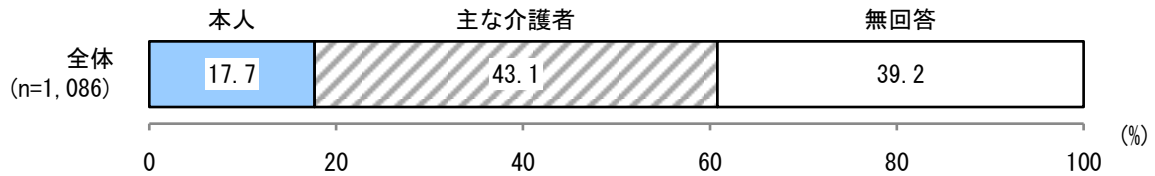


5 介護者に対する調査

(1) 介護者調査の記入者

問1. 現在、この調査票に御回答をいただいているのは、どなたですか。〈○は1つ〉

【図5-1 調査票の回答者】

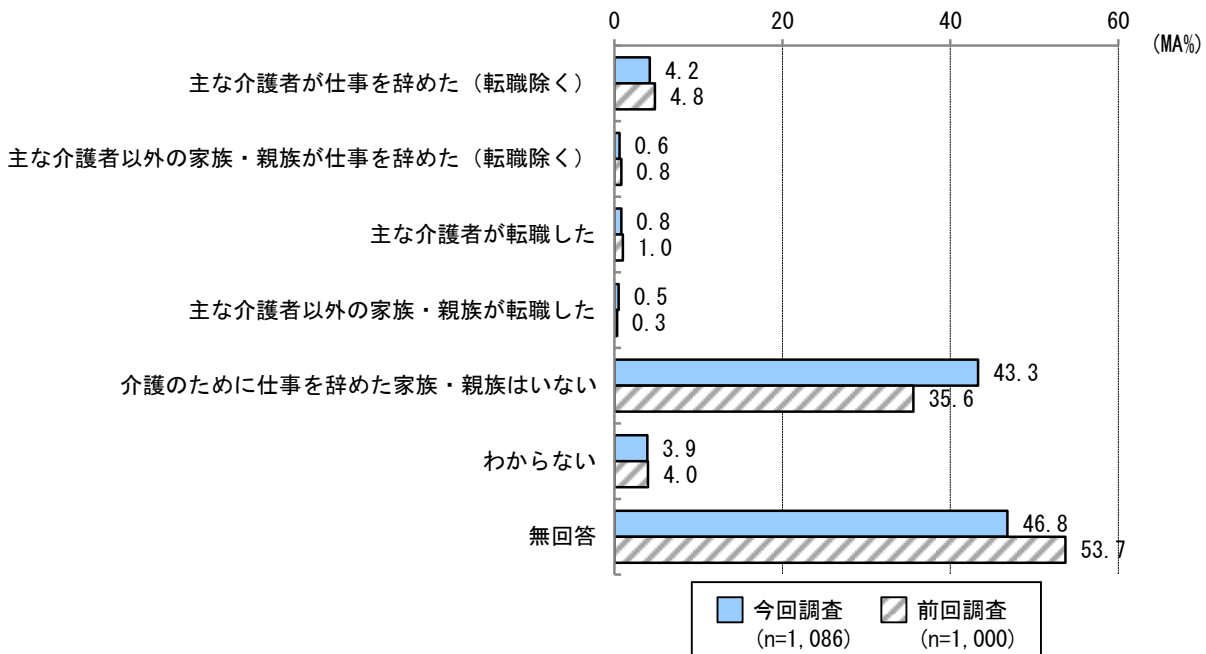


介護者調査の記入者については、「本人」が17.7%、「主な介護者」が43.1%となっています。(図5-1)

(2) 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無

問2. 御家族や御親族の中で、御本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。) ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。〈あてはまるものすべてに○〉

【図5-2 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無】

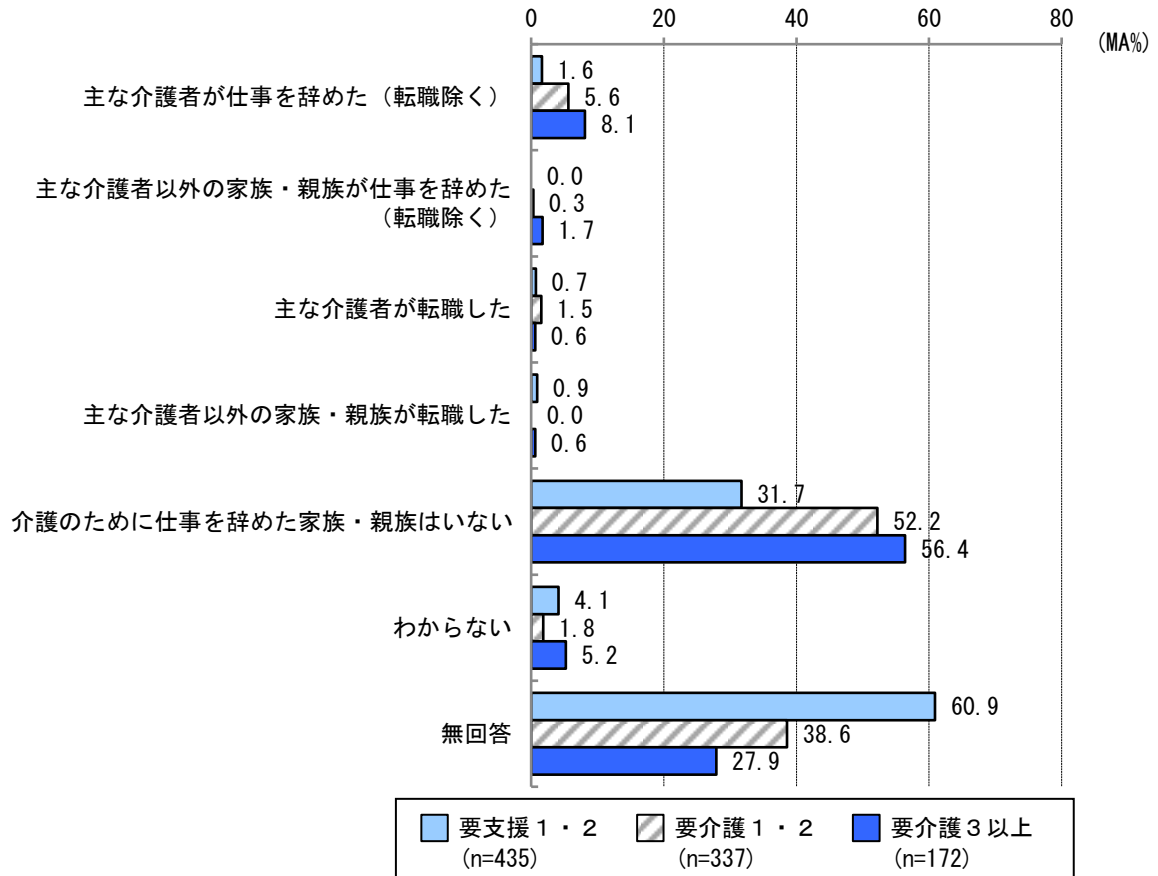


介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が43.3%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)」が4.2%、「主な介護者が転職した」が0.8%となっています。

前回調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は7.7ポイント高くなっています。(図5-2)

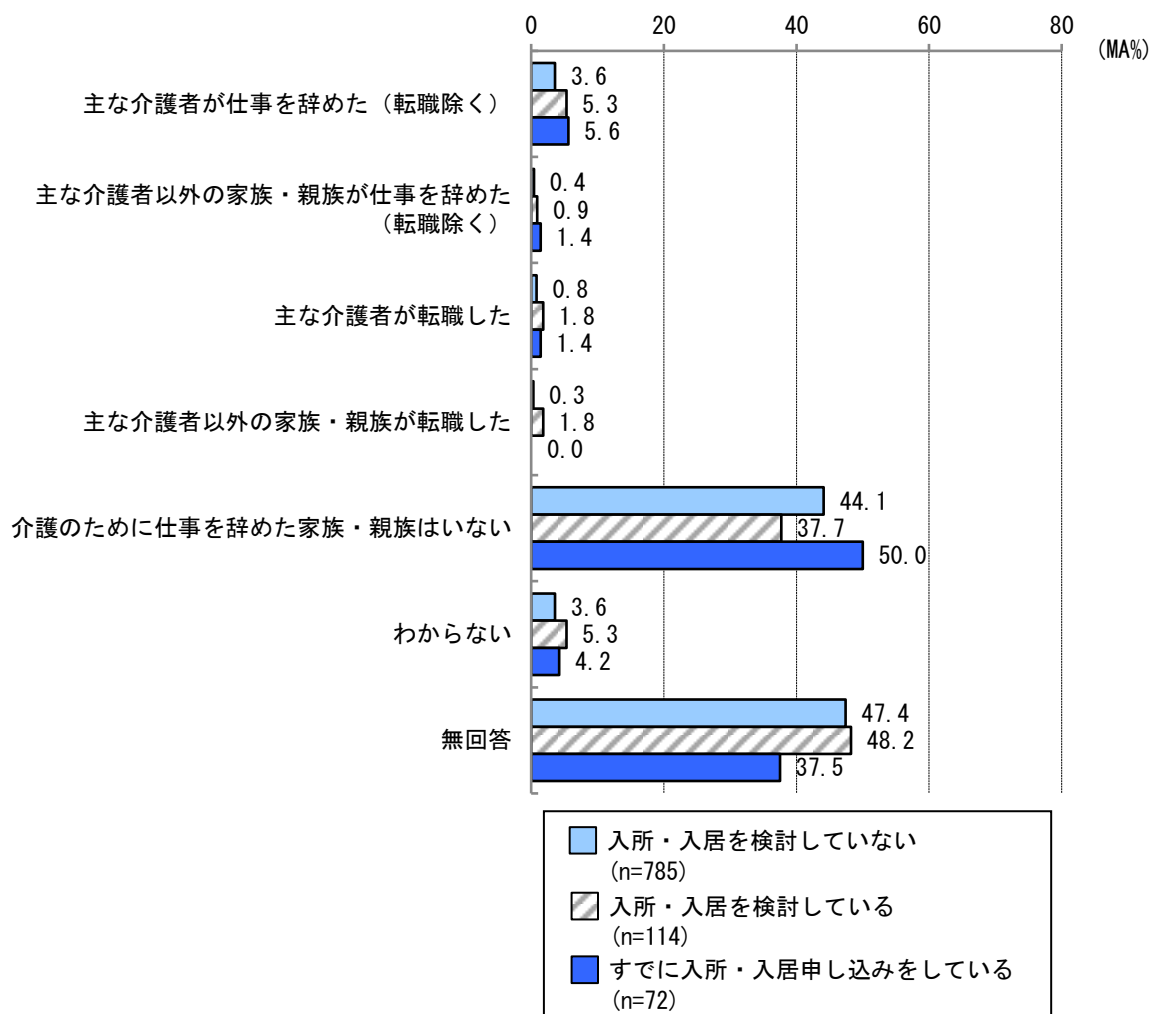
要介護度別で見ると、いずれの要介護度も「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多くなっています。「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」割合は、要介護度が重度になるほど高く、“要介護3以上”で8.1%と最も高くなっています。（図5-2-1）

【図5-2-1 要介護度別 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無】



施設等への入所・入居の検討状況別でみると、いずれの検討状況も「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多くなっていますが、“入所・入居を検討している”では37.7%と他の検討状況に比べて低くなっています。「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」割合は、“入所・入居を検討している”及び“すでに入所・入居申し込みをしている”では5%台となっています。（図5-2-2）

【図 5-2-2 施設等への入所・入居の検討状況別 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無】

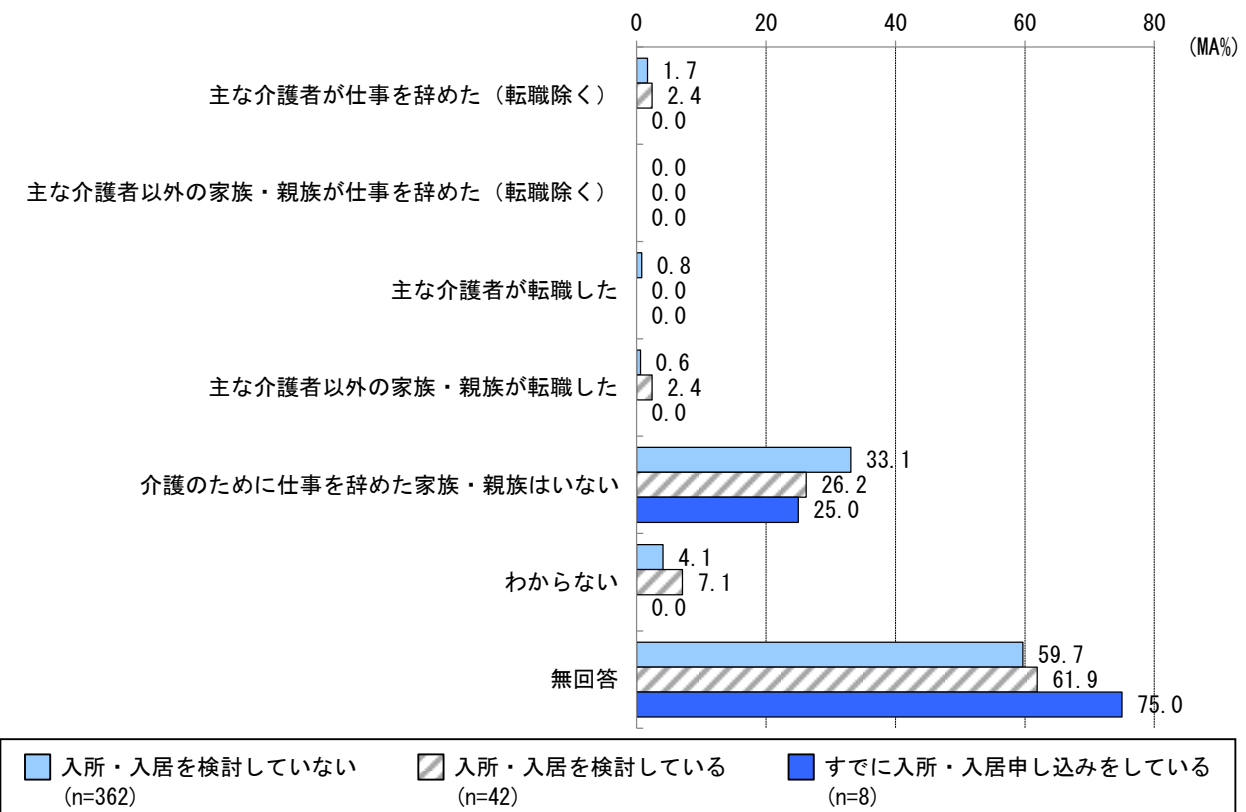


【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】（要支援1・2）

要支援1・2において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」割合は“入所・入居を検討している”で2.4%と最も高くなっています。（図5-2-3）

【図5-2-3 施設等への入所・入居の検討状況別 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無（要支援1・2）】

要支援1・2

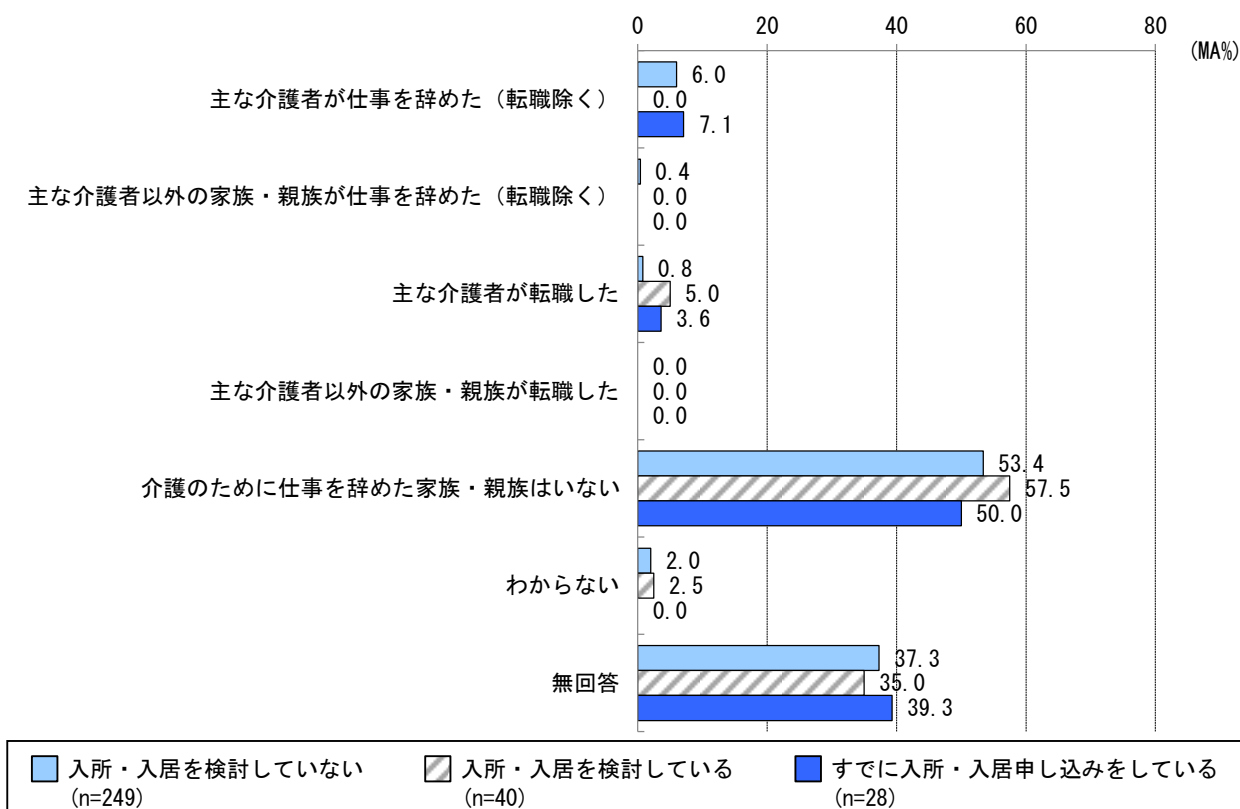


【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】（要介護1・2）

要介護1・2において施設等への入所・入居の検討状況別で見ると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」割合は“すでに入所・入居申し込みをしている”で7.1%と最も高くなっています。（図5-2-4）

【図5-2-4 施設等への入所・入居の検討状況別 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無（要介護1・2）】

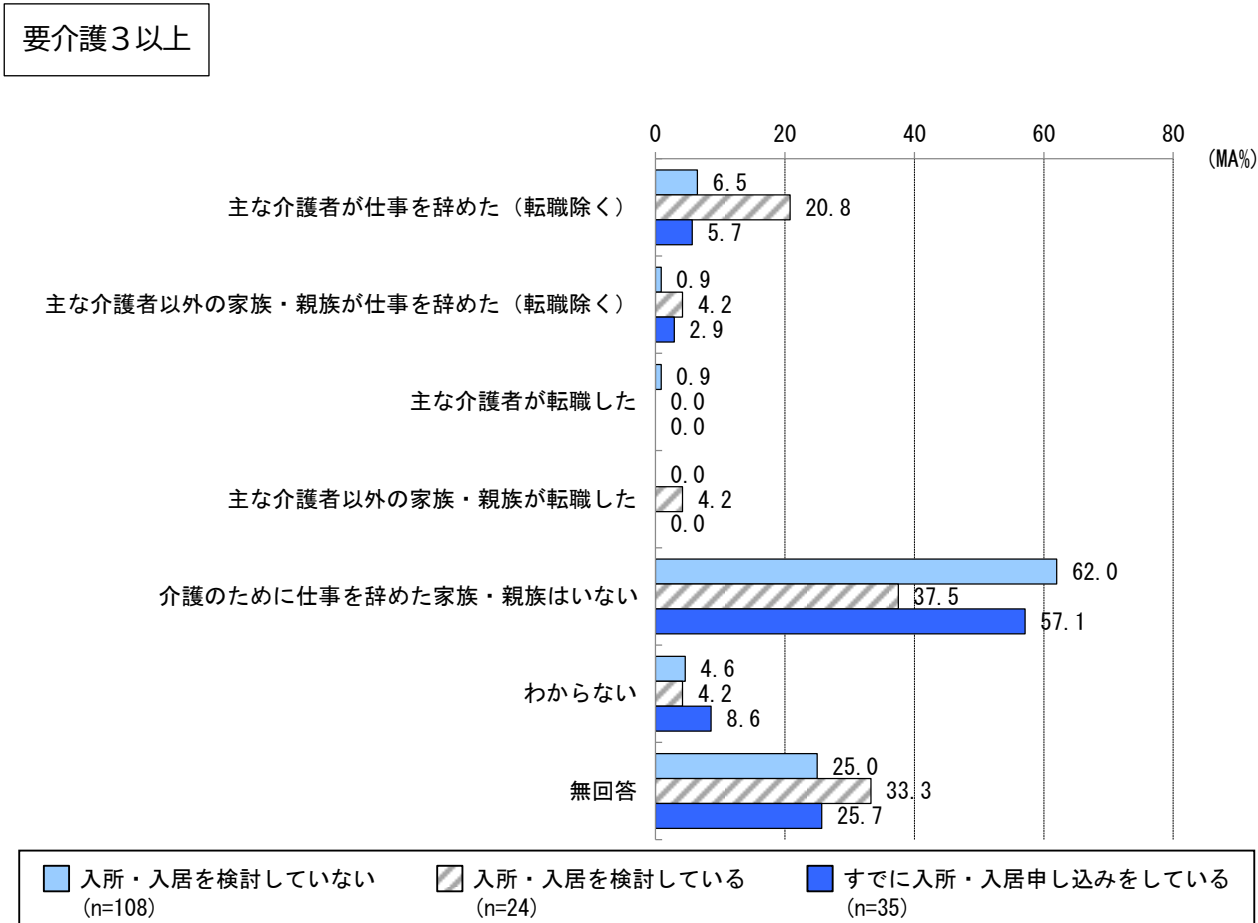
要介護1・2



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】(要介護3以上)

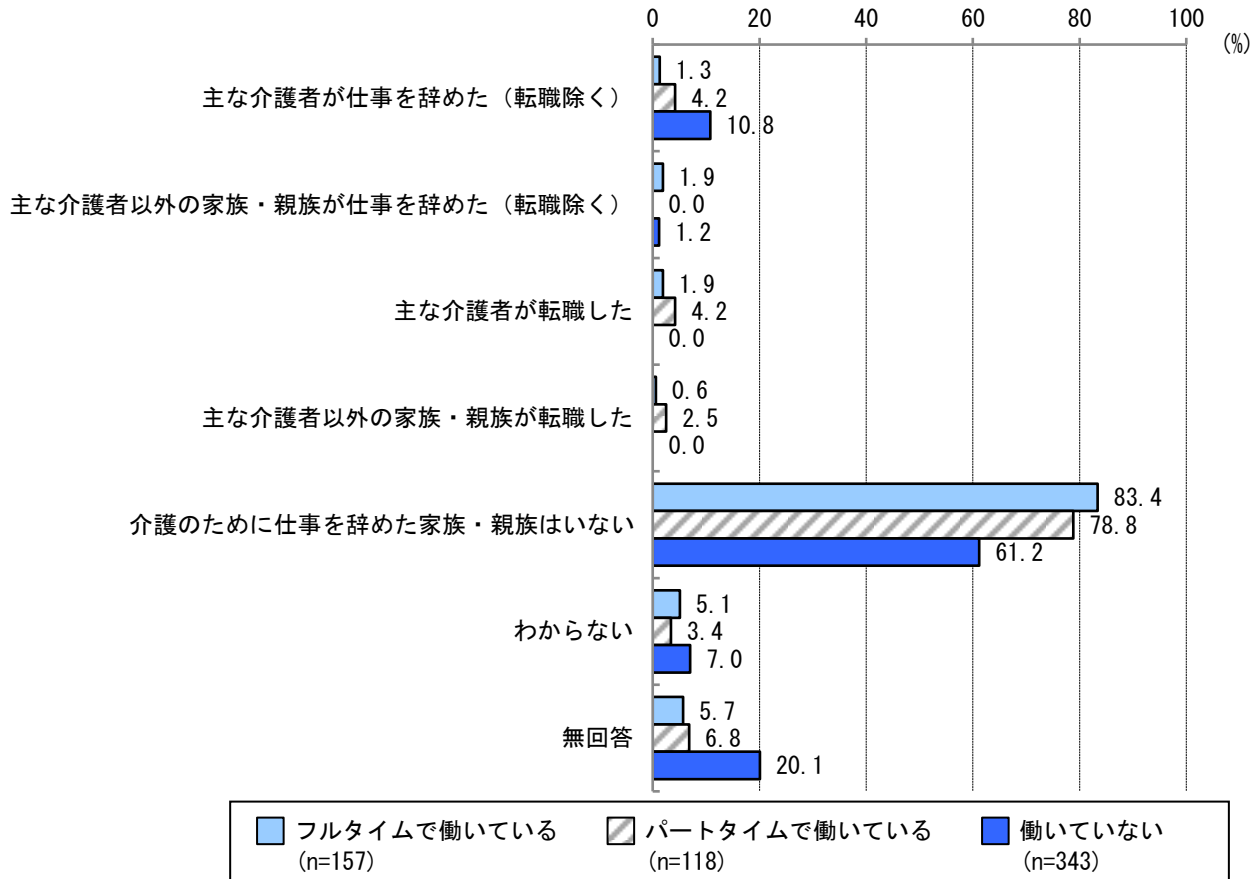
要介護3以上において施設等への入所・入居の検討状況別で見ると、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」割合は“入所・入居を検討している”で20.8%と最も高くなっています。(図5-2-5)

【図5-2-5 施設等への入所・入居の検討状況別 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無(要介護3以上)】



主な介護者の勤務形態別でみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」割合は、“働いていない”で10.8%と最も高くなっています。（図5-2-6）

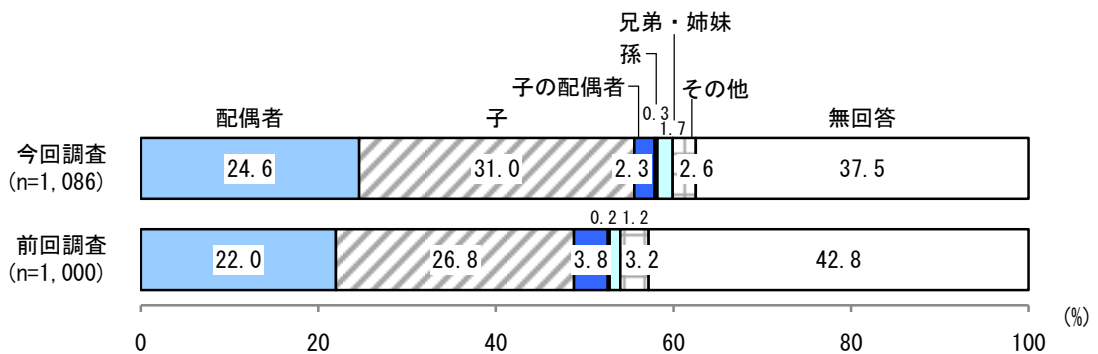
【図5-2-6 主な介護者の勤務形態別 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無】



(3) 主な介護者の続柄

問3. 主な介護者の方は、どなたですか。〈○は1つ〉

【図 5-3 主な介護者の続柄】



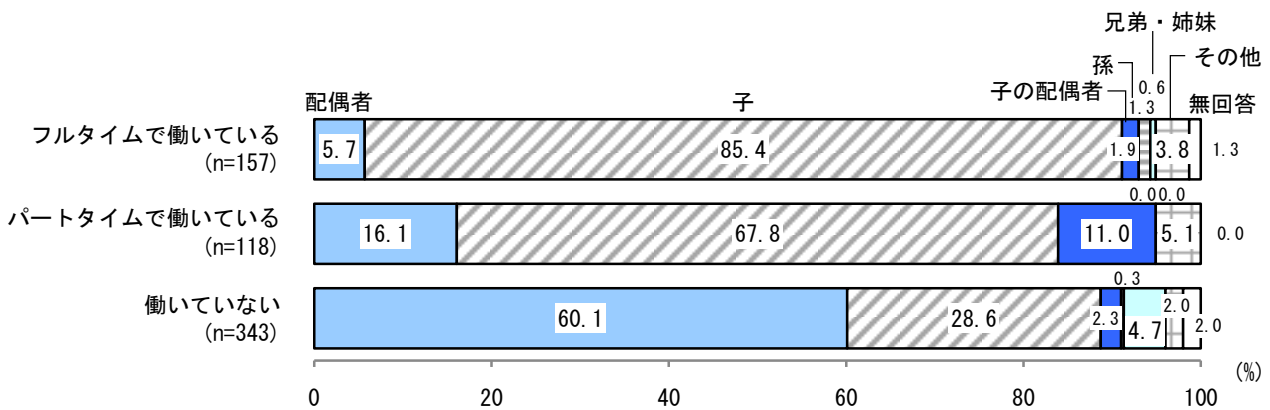
主な介護者の続柄については、「子」が31.0%で最も多く、次いで「配偶者」が24.6%、「子の配偶者」が2.3%となっています。

前回調査と比較すると、「子」が4.2ポイント高くなっています。(図5-3)

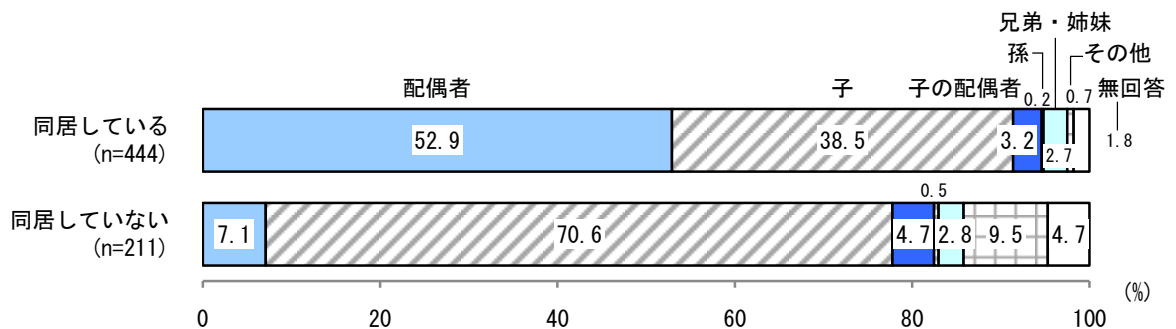
主な介護者の勤務形態別で見ると、“フルタイム勤務”と“パートタイム勤務”では「子」がそれぞれ85.4%、67.8%と最も多くなっています。“働いていない”では「配偶者」が60.1%で最も多く、次いで「子」が28.6%となっています。(図5-3-1)

介護を受けている人との同居有無別で見ると、同居している介護者は「配偶者」が52.9%で最も多く、次いで「子」の38.5%となっています。同居していない介護者では「子」が70.6%で最も多く、次いで「配偶者」が7.1%、「子の配偶者」が4.7%となっています。(図5-3-2)

【図 5-3-1 主な介護者の勤務形態別 主な介護者の続柄】



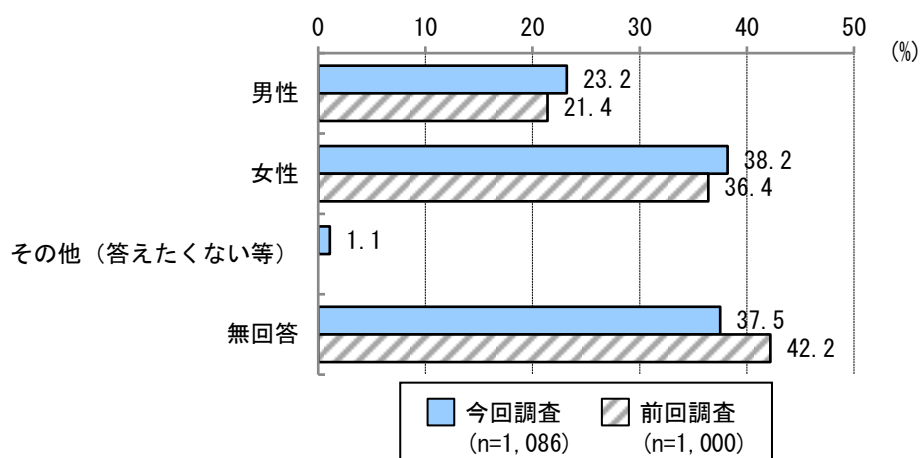
【図 5-3-2 介護を受けている人との同居有無別 主な介護者の続柄】



(4) 主な介護者の性別

Q4 主な介護者の方の性別について御回答ください。〈○は1つ〉

【図5-4 主な介護者の性別】

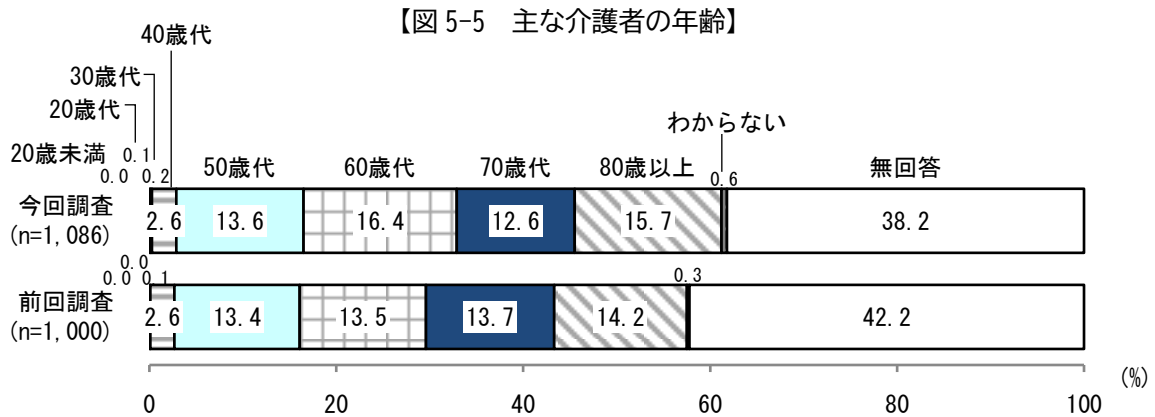


※今回調査の「その他 (答えたくない等)」は新規項目です。

主な介護者の性別は、「男性」が23.2%、「女性」が38.2%となっています。
前回調査と比較しても、大きな差異はみられません。(図5-4)

(5) 主な介護者の年齢

問5. 主な介護者の方の年齢について御回答ください。<○は1つ>



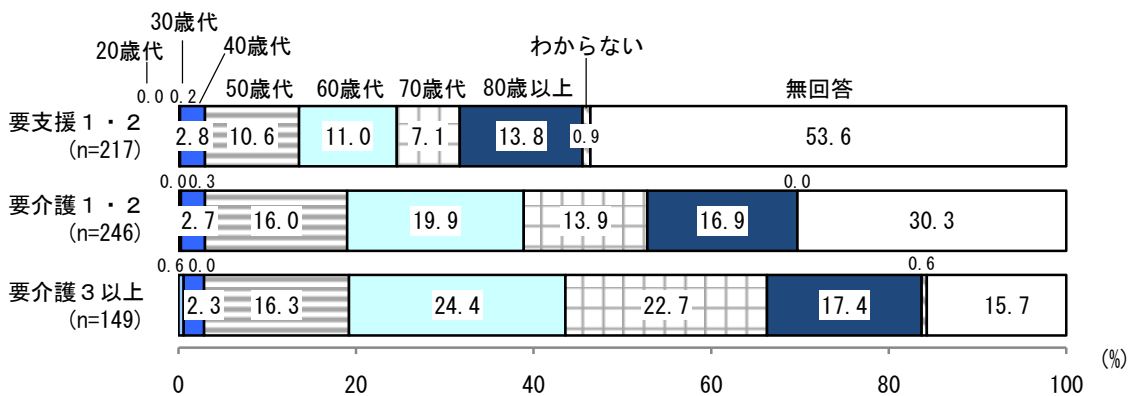
主な介護者の年齢は、「60歳代」が16.4%で最も多く、次いで「80歳以上」が15.7%、「50歳代」が13.6%となっています。

前回調査と比較すると、「60歳代」が2.9ポイント高くなっています。(図5-5)

要介護度別で見ると、“要支援1・2”では「80歳以上」が13.8%で最も多く、次いで「60歳代」が11.0%となっています。“要介護1・2”と“要介護3以上”では「60歳代」がそれぞれ19.9%、24.4%で最も多く、次いで“要介護1・2”では「80歳以上」が16.9%、“要介護3以上”では「70歳代」が22.7%となっています。(図5-5-1)

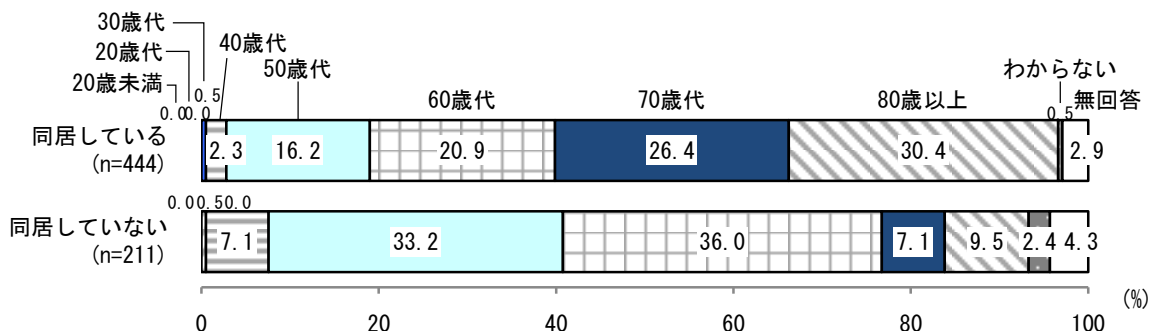
介護を受けている人との同居有無別で見ると、同居している介護者では「80歳以上」が30.4%で最も多くなっていますが、同居していない介護者では「60歳代」が36.0%で最も多く、次いで「50歳代」が33.2%となっています。(図5-5-2)

【図 5-5-1 要介護度別 主な介護者の年齢】



※20歳未満(n=0)は割愛します。

【図 5-5-2 介護を受けている人との同居有無別 主な介護者の年齢】

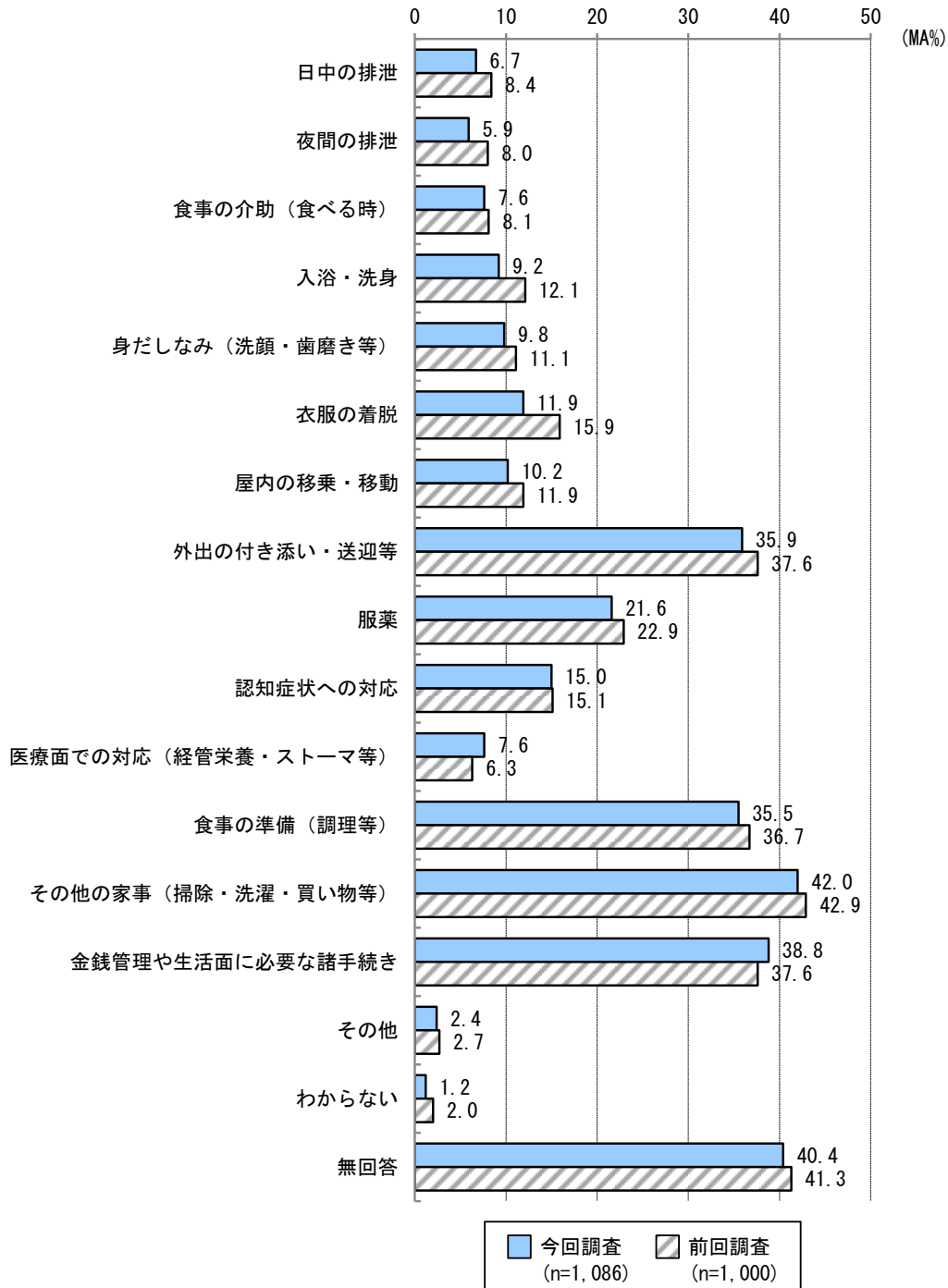


(6) 主な介護者が行っている介護等

問6. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について御回答ください。

<あてはまるものすべてに○>

【図5-6 主な介護者が行っている介護等】



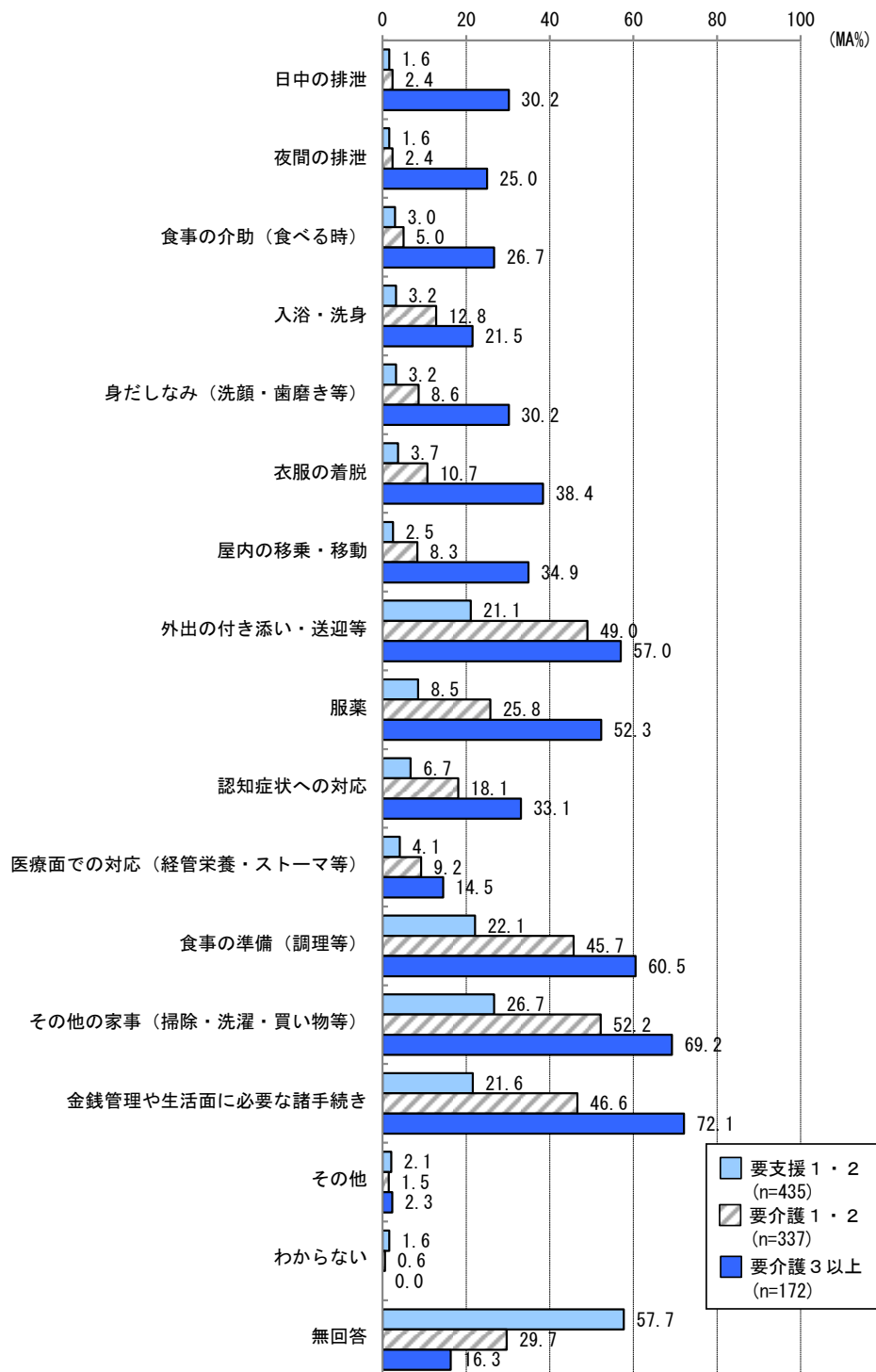
主な介護者が行っている介護等については、「その他の家事 (掃除・洗濯・買い物等)」が42.0%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が38.8%、「外出の付き添い・送迎等」が35.9%、「食事の準備 (調理等)」が35.5%となっています。

前回調査と比較すると、「医療面での対応」及び「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を除く各項目の割合は、それぞれ低くなっています。(図5-6)

要介護度別で見ると、“要支援1・2”と“要介護1・2”では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」がそれぞれ26.7%、52.2%で最も多く、次いで“要支援1・2”では「食事の準備（調理等）」が22.1%、“要介護1・2”では「外出の付き添い・送迎等」が49.0%となっています。“要介護3以上”では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が72.1%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が69.2%となっています。

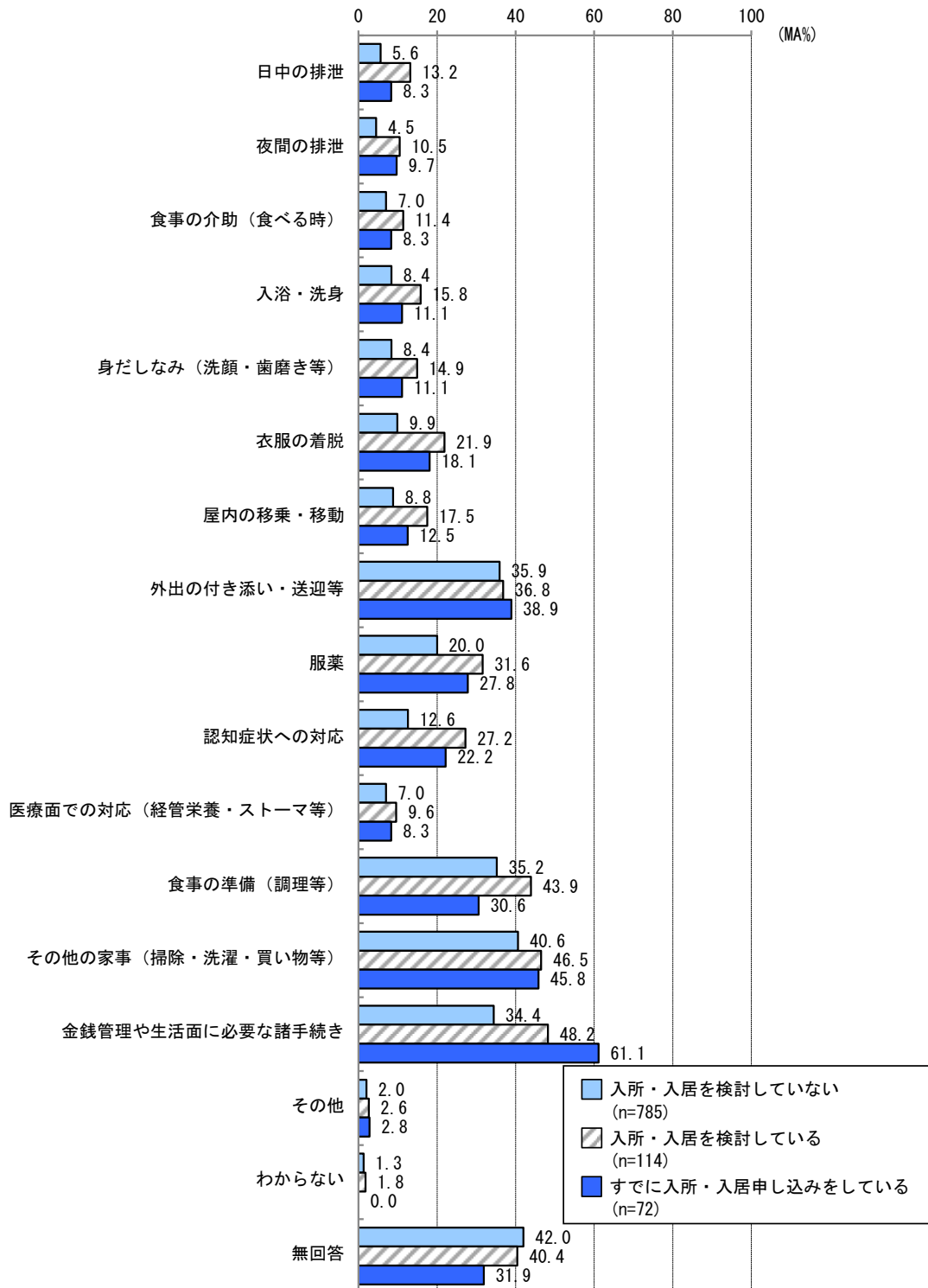
いずれの項目も要介護度が重度になるほど割合が高くなっています。特に、“要介護3以上”の「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「服薬」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合は、“要支援1・2”“要介護1・2”より20ポイント以上高くなっています。（図5-6-1）

【図5-6-1 要介護度別 主な介護者が行っている介護等】



施設等への入所・入居の検討状況別でみると、「入所・入居を検討していない」では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が40.6%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」が35.9%となっています。「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がそれぞれ48.2%、61.1%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」がそれぞれ46.5%、45.8%となっています。（図5-6-2）

【図 5-6-2 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者が行っている介護等】

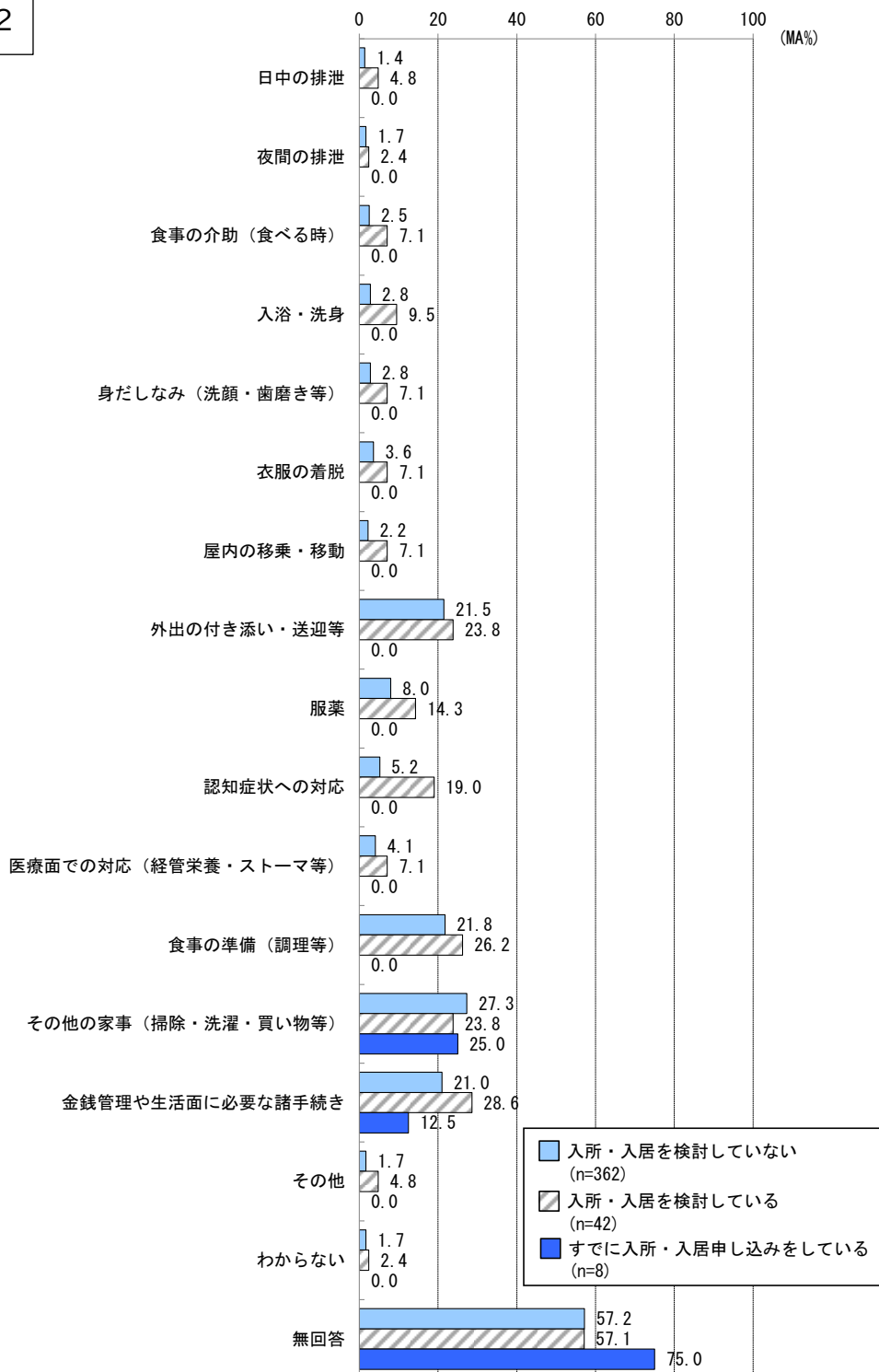


【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】（要支援1・2）

要支援1・2において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”は「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が27.3%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が21.8%となっています。“入所・入居を検討している”では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が28.6%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が26.2%となっています。（図5-6-3）

【図5-6-3 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者が行っている介護等（要支援1・2）】

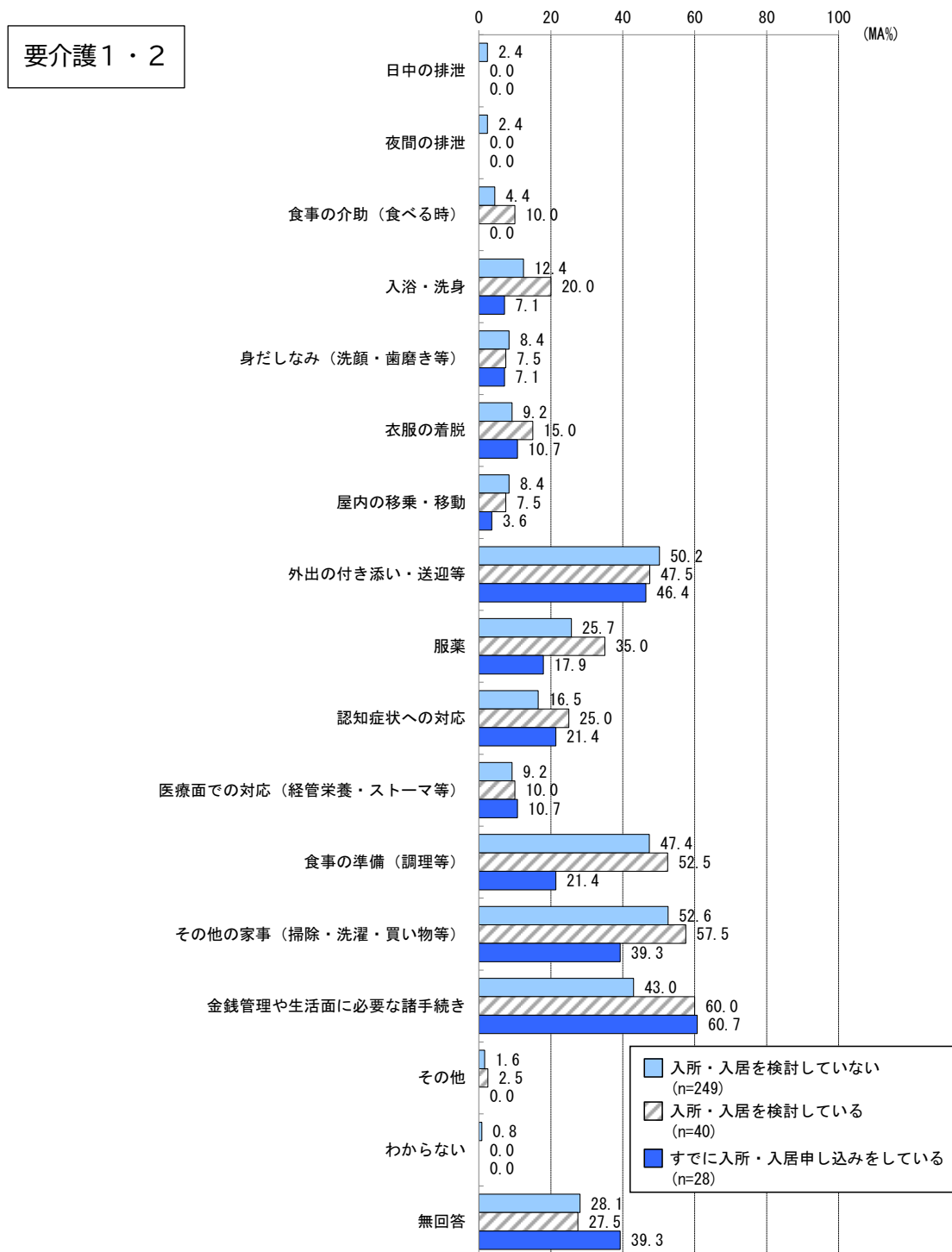
要支援1・2



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】(要介護1・2)

要介護1・2において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”は「その他の家事(掃除・洗濯・買い物等)」が52.6%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」が50.2%となっています。“入所・入居を検討している”と“すでに入所・入居申し込みをしている”では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が、それぞれ60.0%、60.7%で最も多く、次いで“入所・入居を検討している”は「その他の家事(掃除・洗濯・買い物等)」が57.5%、“すでに入所・入居申し込みをしている”は「外出の付き添い・送迎等」が46.4%となっています。(図5-6-4)

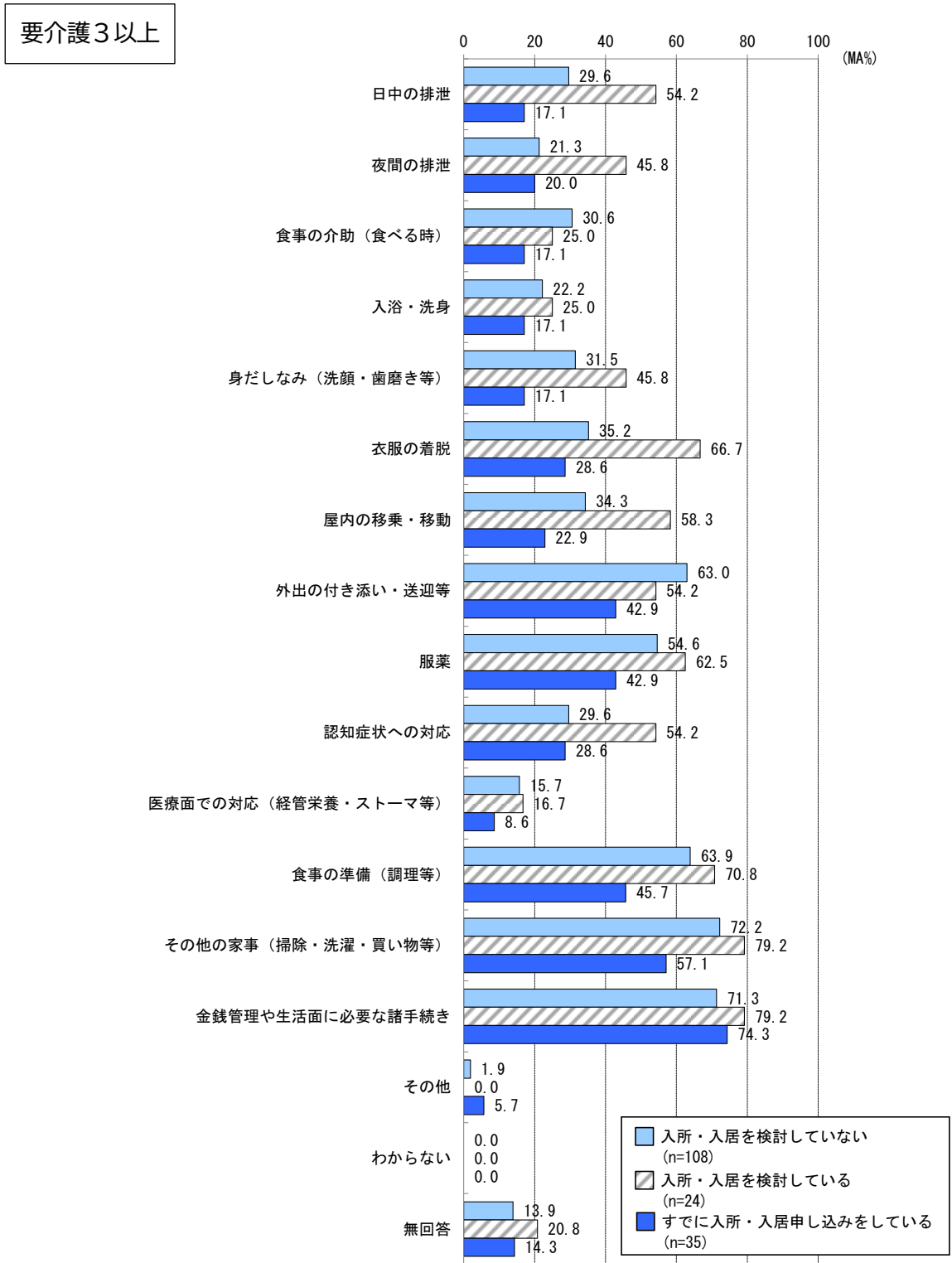
【図5-6-4 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者が行っている介護等(要介護1・2)】



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】(要介護3以上)

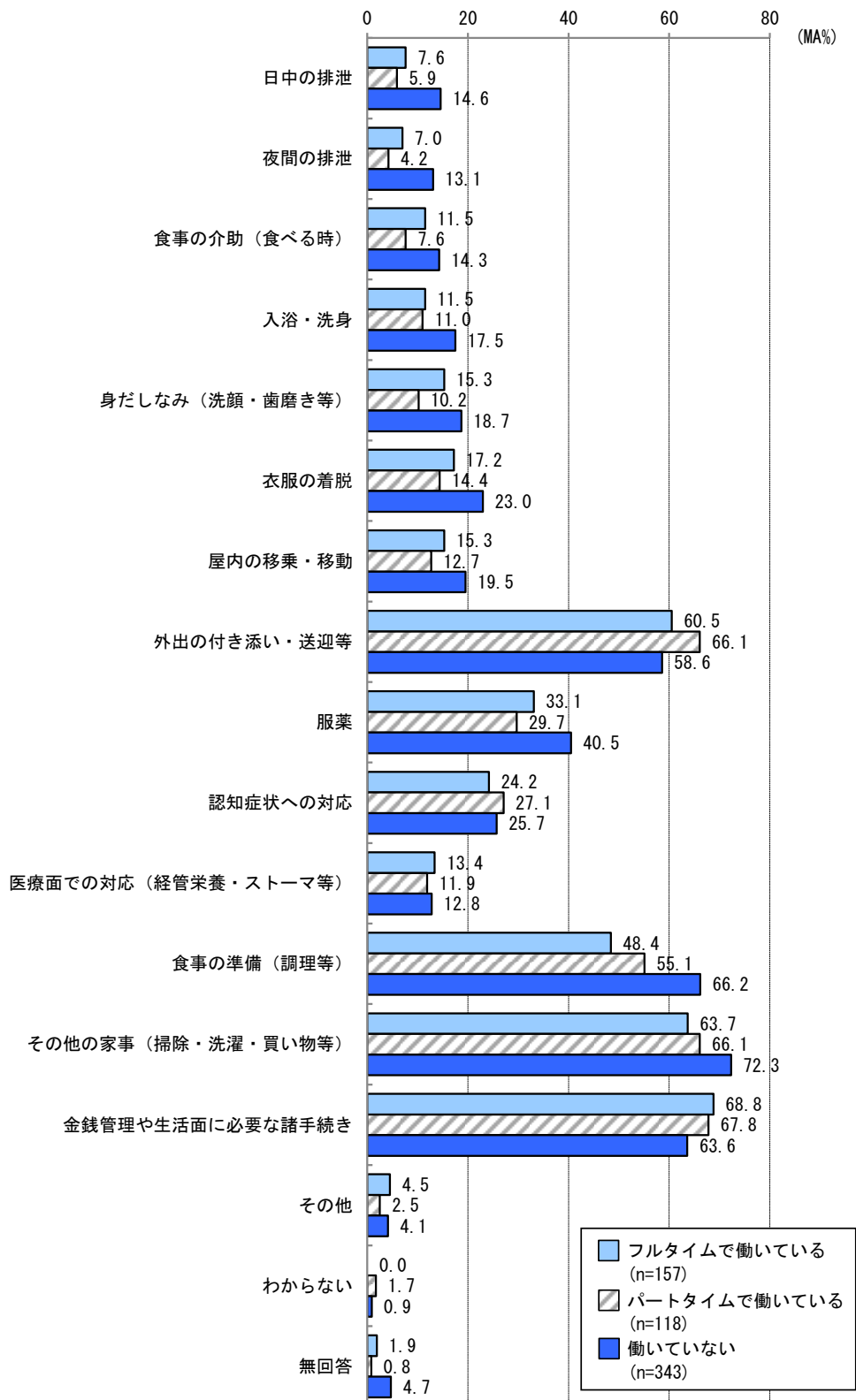
要介護3以上において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”と“入所・入居を検討している”では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が、それぞれ72.2%、79.2%で最も多く、“入所・入居を検討している”では同率で「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」も最も多くなっています。“すでに入所・入居申し込みをしている”では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が74.3%で最も多くなっています。（図5-6-5）

【図5-6-5 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者が行っている介護等（要介護3以上）】



主な介護者の勤務形態別でみると、“フルタイム勤務”と“パートタイム勤務”では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がそれぞれ68.8%、67.8%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」がそれぞれ63.7%、66.1%、“パートタイム勤務”では同率（66.1%）で「外出の付き添い・送迎等」も多くなっています。“働いていない”は「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が72.3%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が66.2%となっています。（図5-6-6）

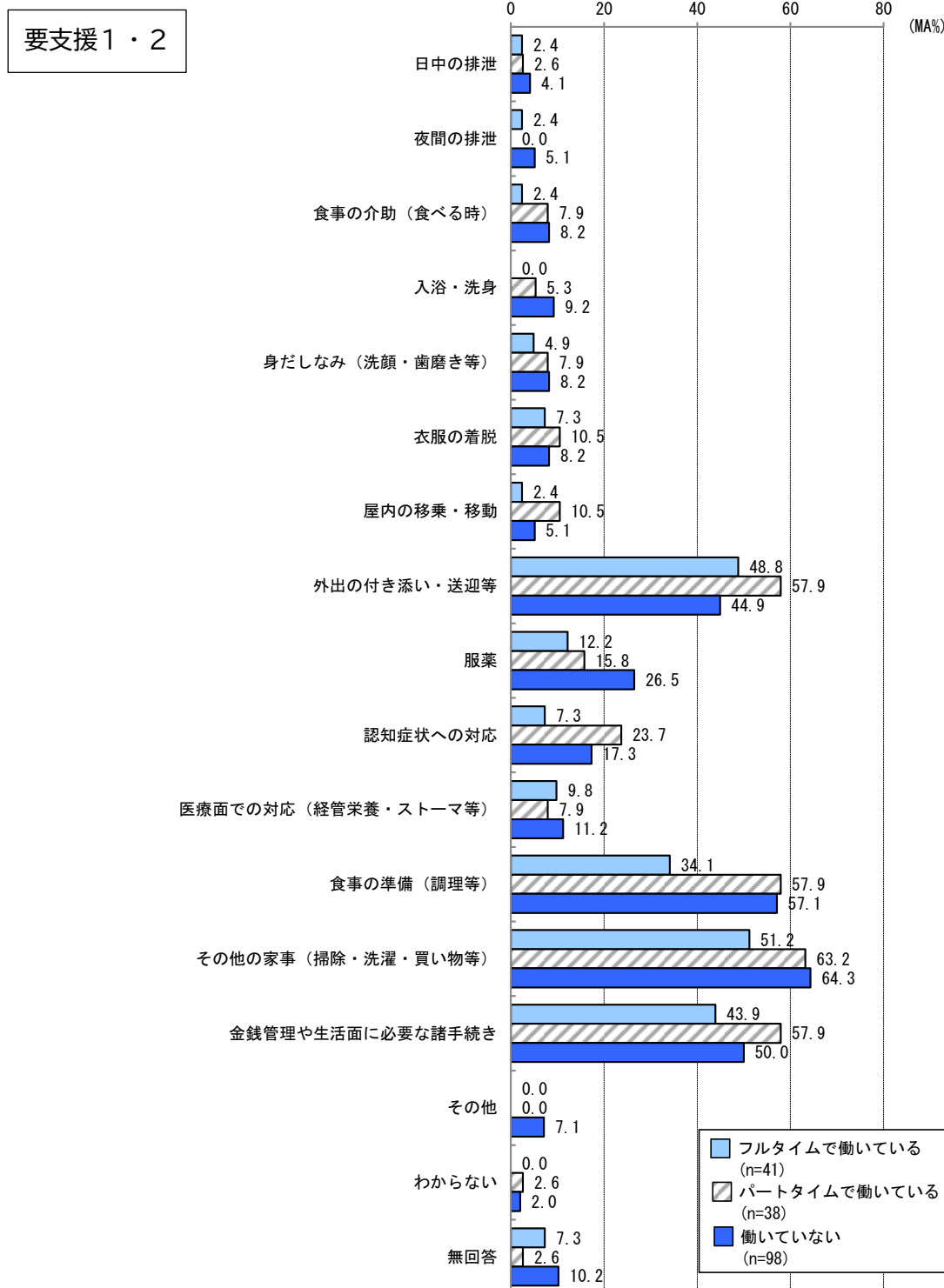
【図5-6-6 主な介護者の勤務形態別 主な介護者が行っている介護等】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要支援1・2）

要支援1・2において主な介護者の勤務形態別で見ると、いずれの勤務形態も「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が最も多く、次いで“フルタイム勤務では”「外出の付き添い・送迎等」が48.8%、“パートタイム勤務”では「外出の付き添い・送迎等」「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がいずれも57.9%、“働いていない”では「食事の準備（調理等）」が57.1%となっています。（図5-6-7）

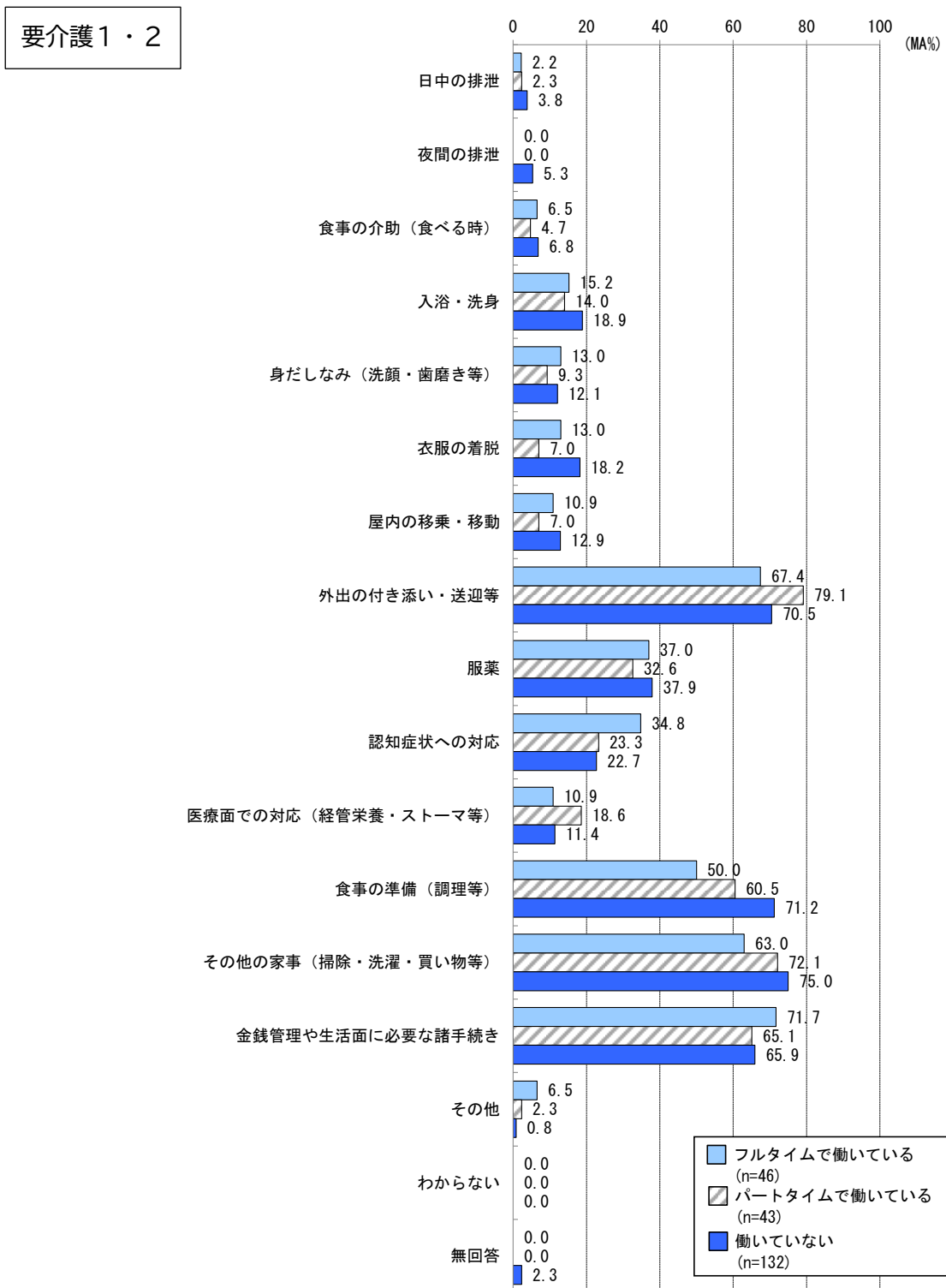
【図 5-6-7 主な介護者の勤務形態別 主な介護者が行っている介護等（要支援1・2）】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要介護1・2）

要介護1・2において主な介護者の勤務形態別で見ると、“フルタイム勤務”では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が71.7%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」が67.4%となっています。“パートタイム勤務”では「外出の付き添い・送迎等」が79.1%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が72.1%となっています。“働いていない”では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が75.0%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が71.2%となっています。（図5-6-8）

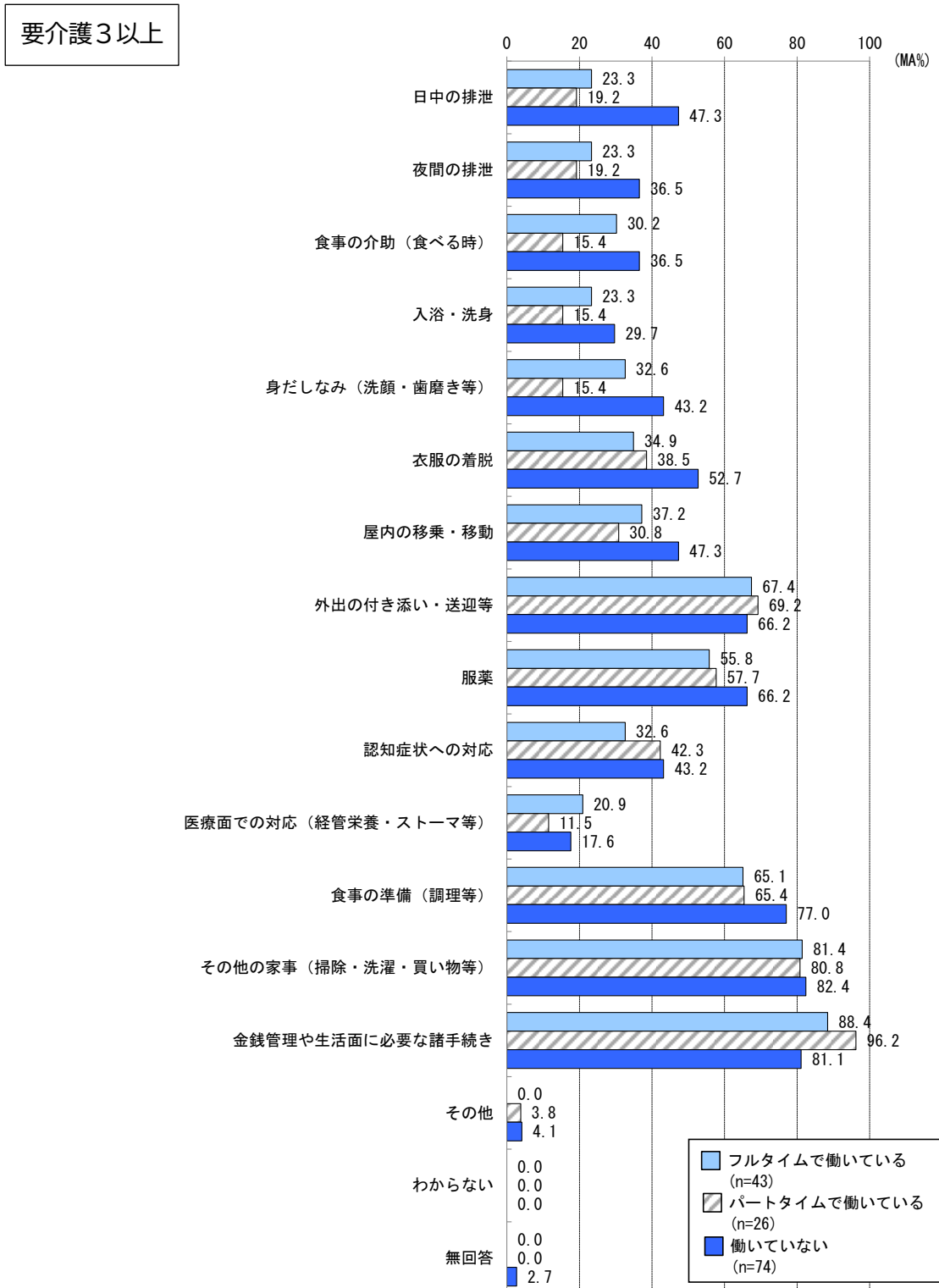
【図 5-6-8 主な介護者の勤務形態別 主な介護者が行っている介護等（要介護1・2）】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要介護3以上）

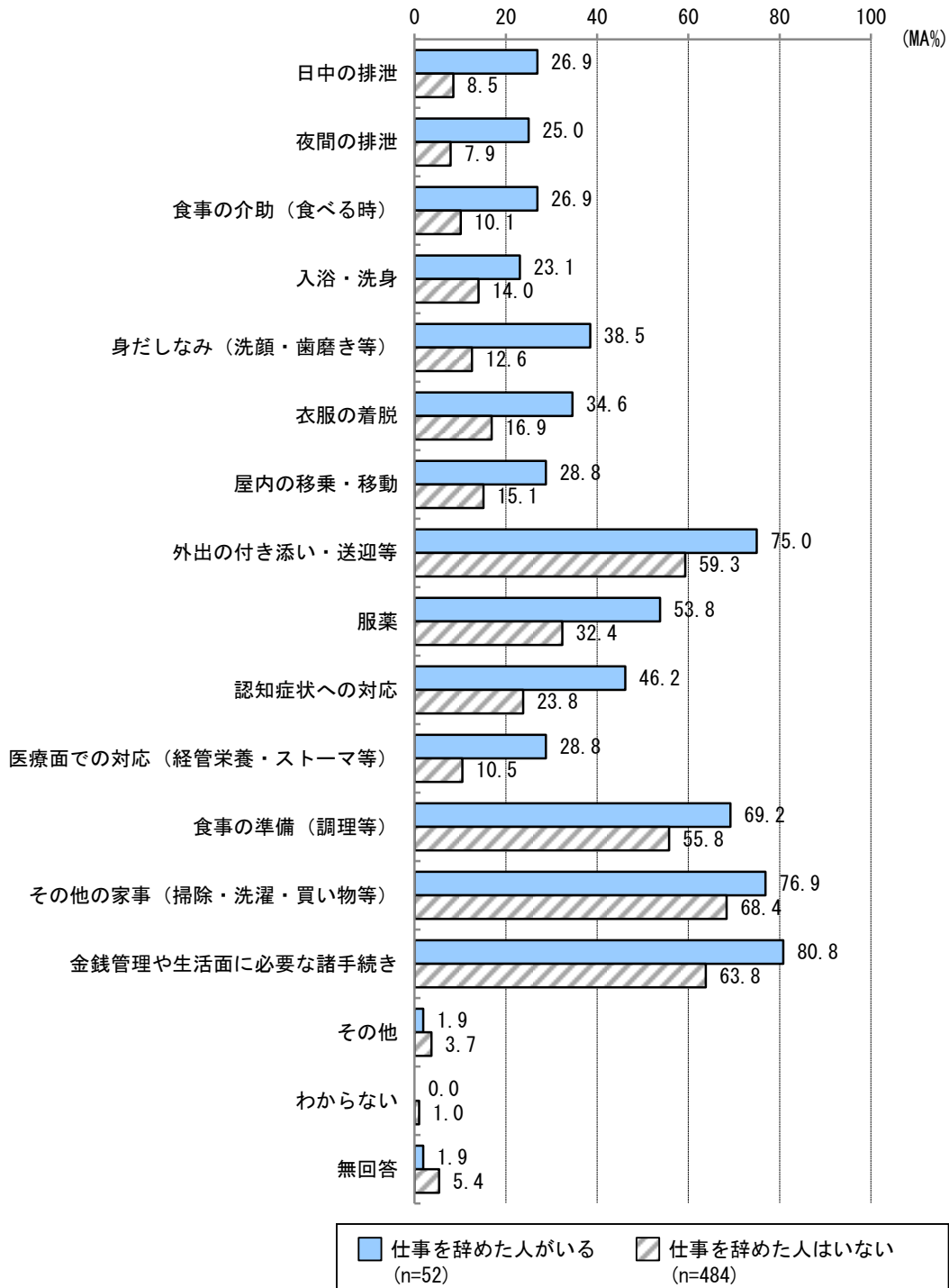
要介護3以上において主な介護者の勤務形態別でみると、“フルタイム勤務”と“パートタイム勤務”では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がそれぞれ88.4%、96.2%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」がそれぞれ81.4%、80.8%となっています。
 “働いていない”では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が82.4%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が81.1%となっています。（図5-6-9）

【図 5-6-9 主な介護者の勤務形態別 主な介護者が行っている介護等（要介護3以上）】



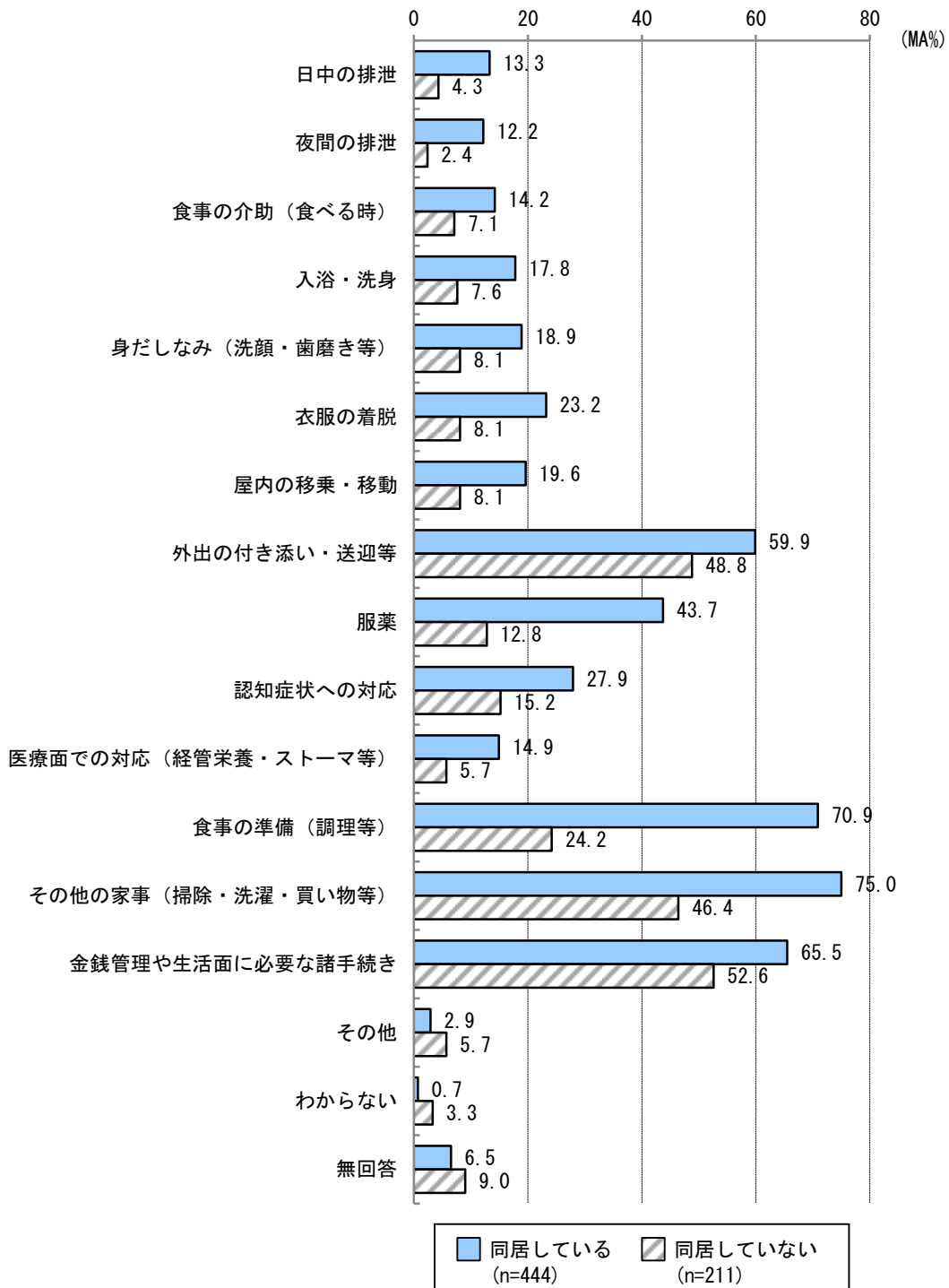
介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無別でみると、仕事を辞めた人がいる人は、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が80.8%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が76.9%、「外出の付き添い・送迎等」が75.0%となっています。仕事を辞めた人はいない人では、「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が68.4%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が63.8%、「外出の付き添い・送迎等」が59.3%となっています。（図5-6-10）

【図5-6-10 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無別 主な介護者が行っている介護等】



介護を受けている人との同居有無別でみると、同居している介護者では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が75.0%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が70.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（65.5%）となっています。同居していない介護者では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が52.6%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」が48.8%、「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が46.4%となっています。（図5-6-11）

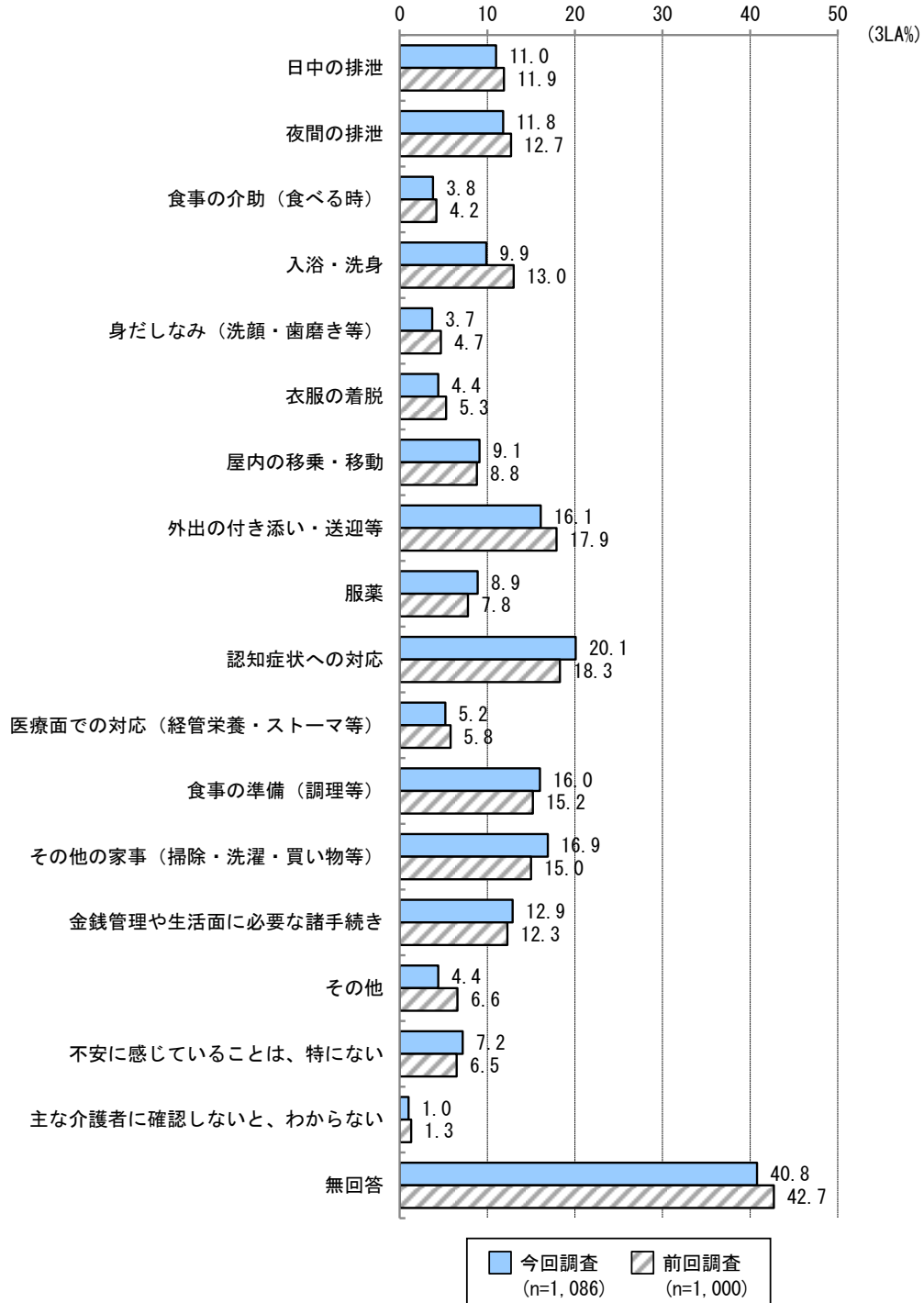
【図 5-6-11 介護を受けている人との同居有無別 主な介護者が行っている介護等】



(7) 生活を継続するにあたり、主な介護者が不安に感じる介護等

問7. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について御回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。<〇は3つまで>

【図5-7 生活を継続するにあたり、主な介護者が不安に感じる介護等】

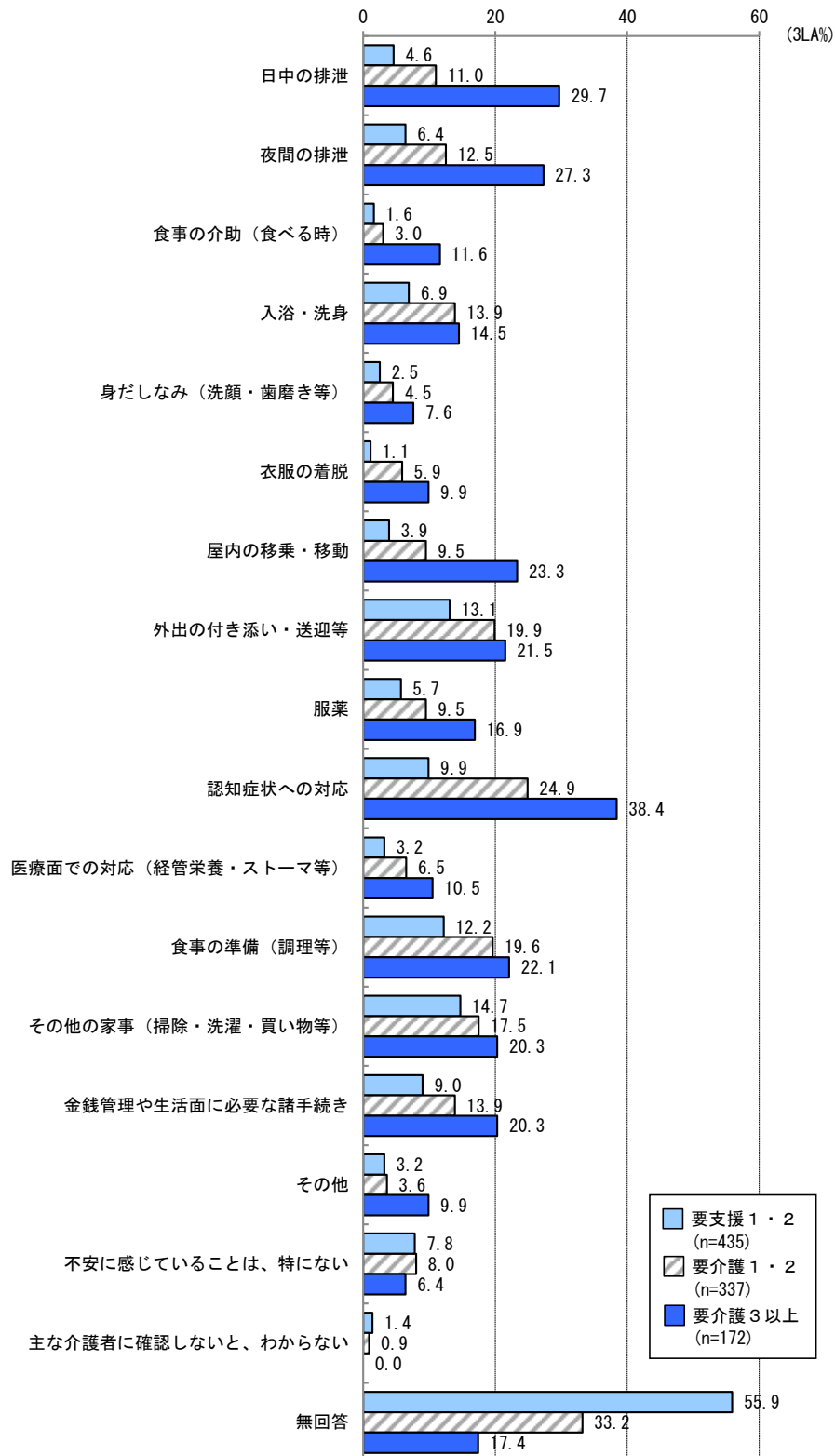


現在の生活を継続するにあたり、主な介護者が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が20.1%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が16.9%、「外出の付き添い・送迎等」が16.1%、「食事の準備（調理等）」が16.0%となっています。

前回調査と比較すると、全体を通して各項目の割合に大きな変動はみられない中、「入浴・洗身」は3.1ポイント低くなっています。（図5-7）

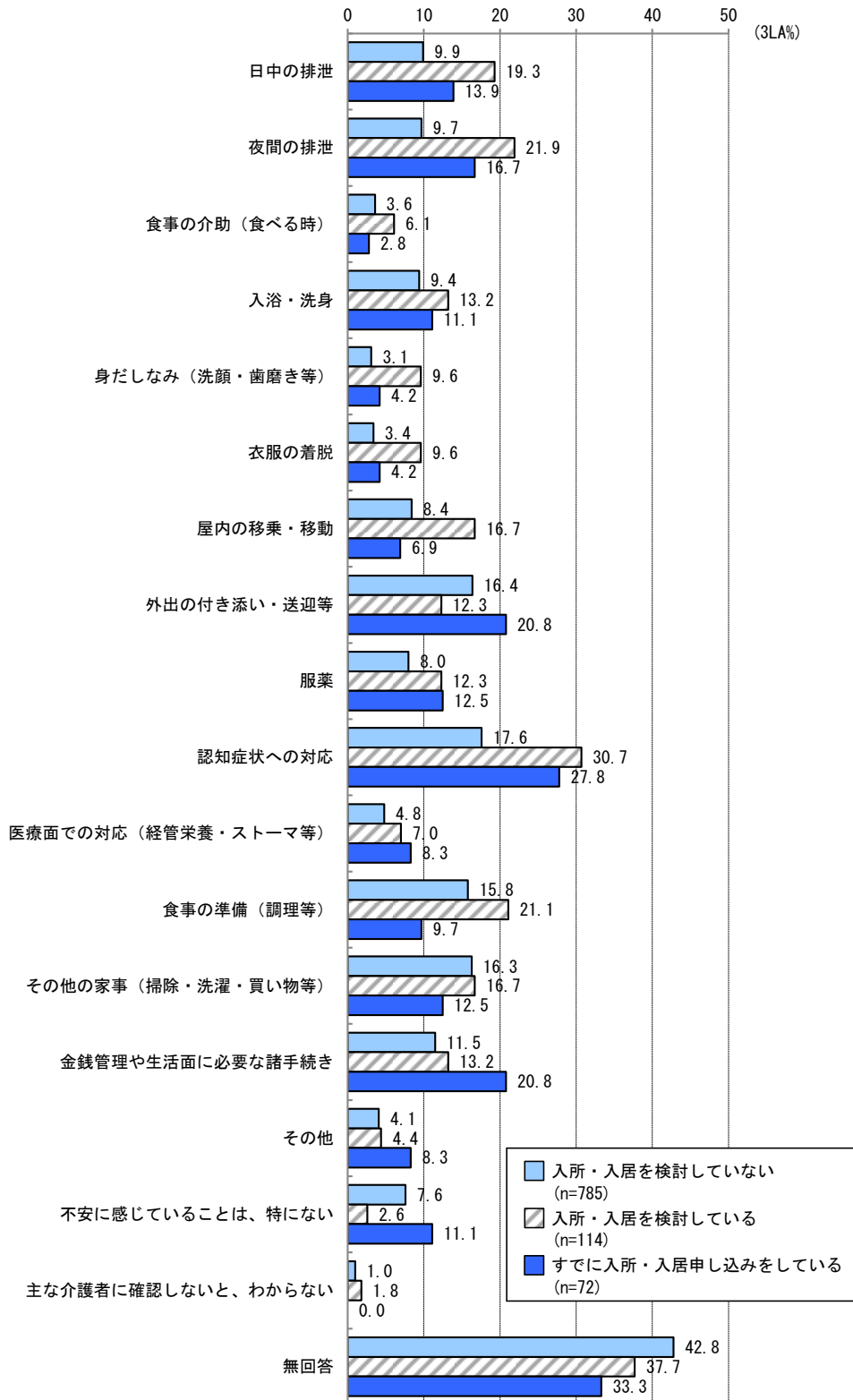
要介護度別で見ると、“要支援1・2”では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が14.7%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」が13.1%となっています。“要介護1・2”と“要介護3以上”では「認知症状への対応」が、それぞれ24.9%、38.4%で最も多く、次いで“要介護1・2”は「外出の付き添い・送迎等」が19.9%、“要介護3以上”は「日中の排泄」が29.7%となっています。（図5-7-1）

【図5-7-1 要介護度別 生活を継続するにあたり、主な介護者が不安を感じる介護等】



施設等への入所・入居の検討状況別でみると、いずれの検討状況も「認知症状への対応」が最も多く、次いで“入所・入居を検討していない”では「外出の付き添い・送迎等」が16.4%、“入所・入居を検討している”では「夜間の排泄」が21.9%となっています。“すでに入所・入居申し込みをしている”では次いで「外出の付き添い・送迎等」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が20.8%となっています。(図5-7-2)

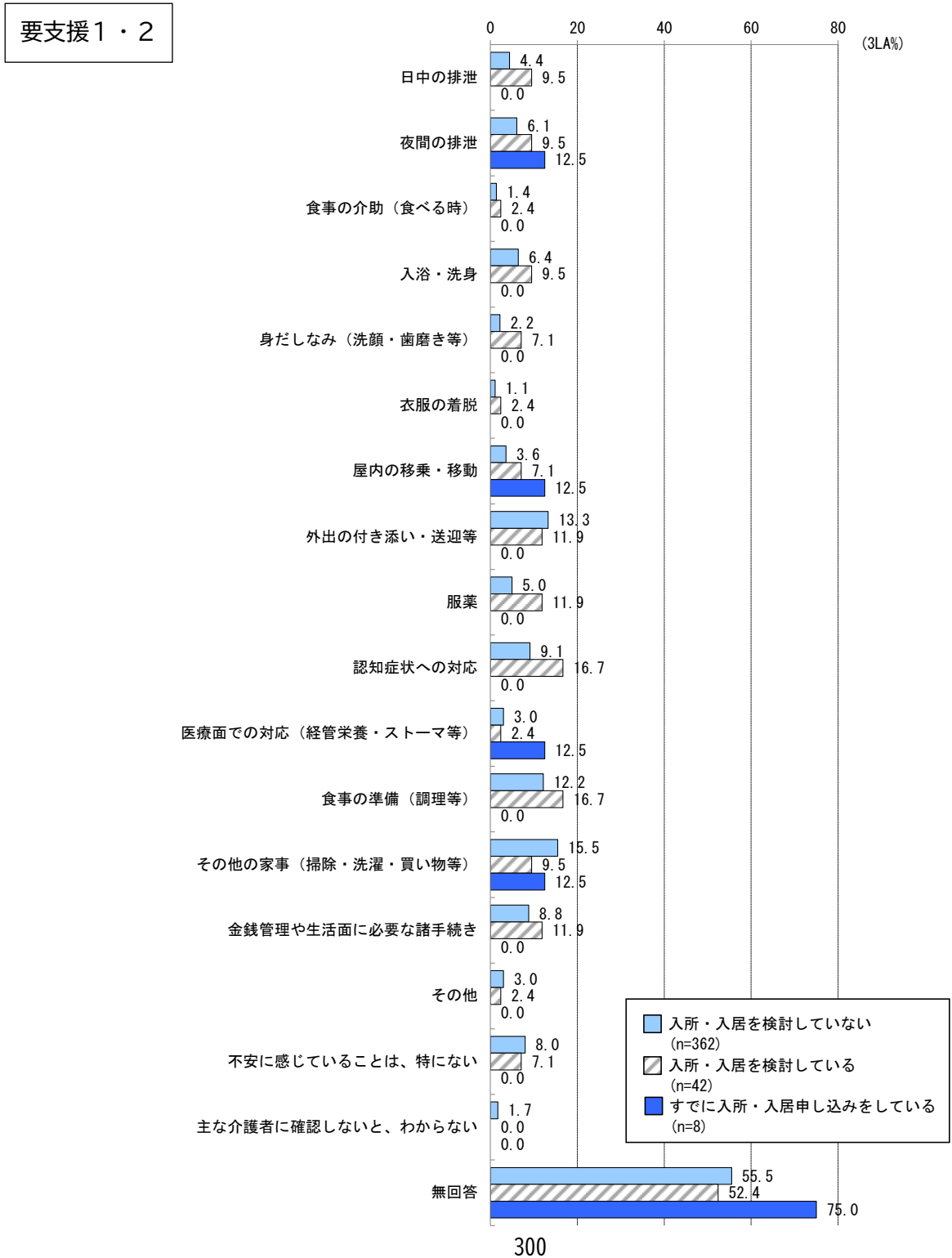
【図 5-7-2 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者が不安に感じる介護等】



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】(要支援1・2)

要支援1・2において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が15.5%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」が13.3%となっています。入所・入居を検討している”では「認知症状への対応」と「食事の準備（調理等）」がともに16.7%で最も多くなっています。“すでに入所・入居申し込みをしている”では「夜間の排泄」をはじめ4項目が12.5%となっています。（図5-7-3）

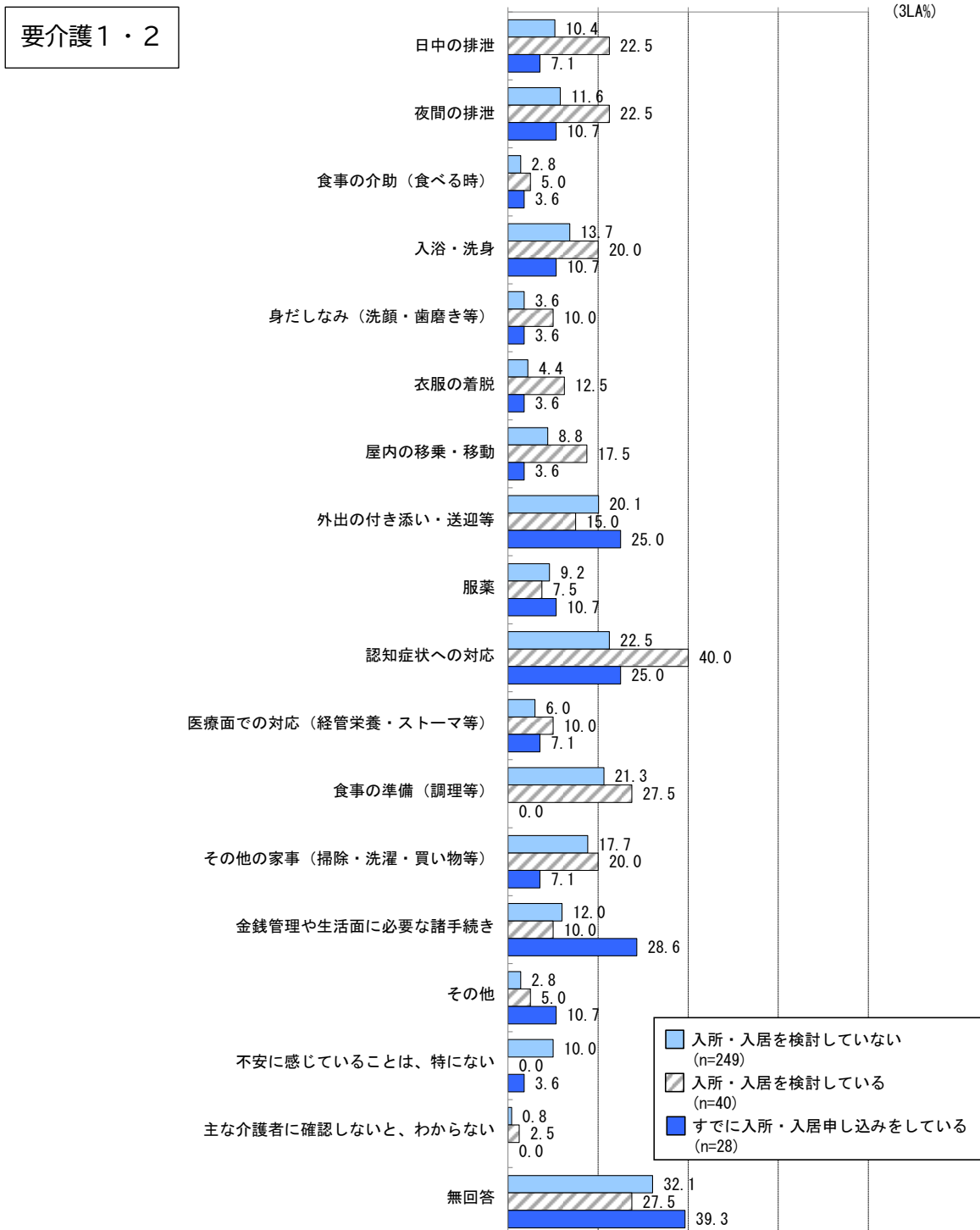
【図5-7-3 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者が不安に感じる介護等（要支援1・2）】



【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】（要介護1・2）

要介護1・2において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”と“入所・入居を検討している”は「認知症状への対応」がそれぞれ22.5%、40.0%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」がそれぞれ21.3%、27.5%となっています。“すでに入所・入居申し込みをしている”では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が28.6%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」と「認知症状への対応」がともに25.0%となっています。（図5-7-4）

【図 5-7-4 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者が不安に感じる介護等（要介護1・2）】

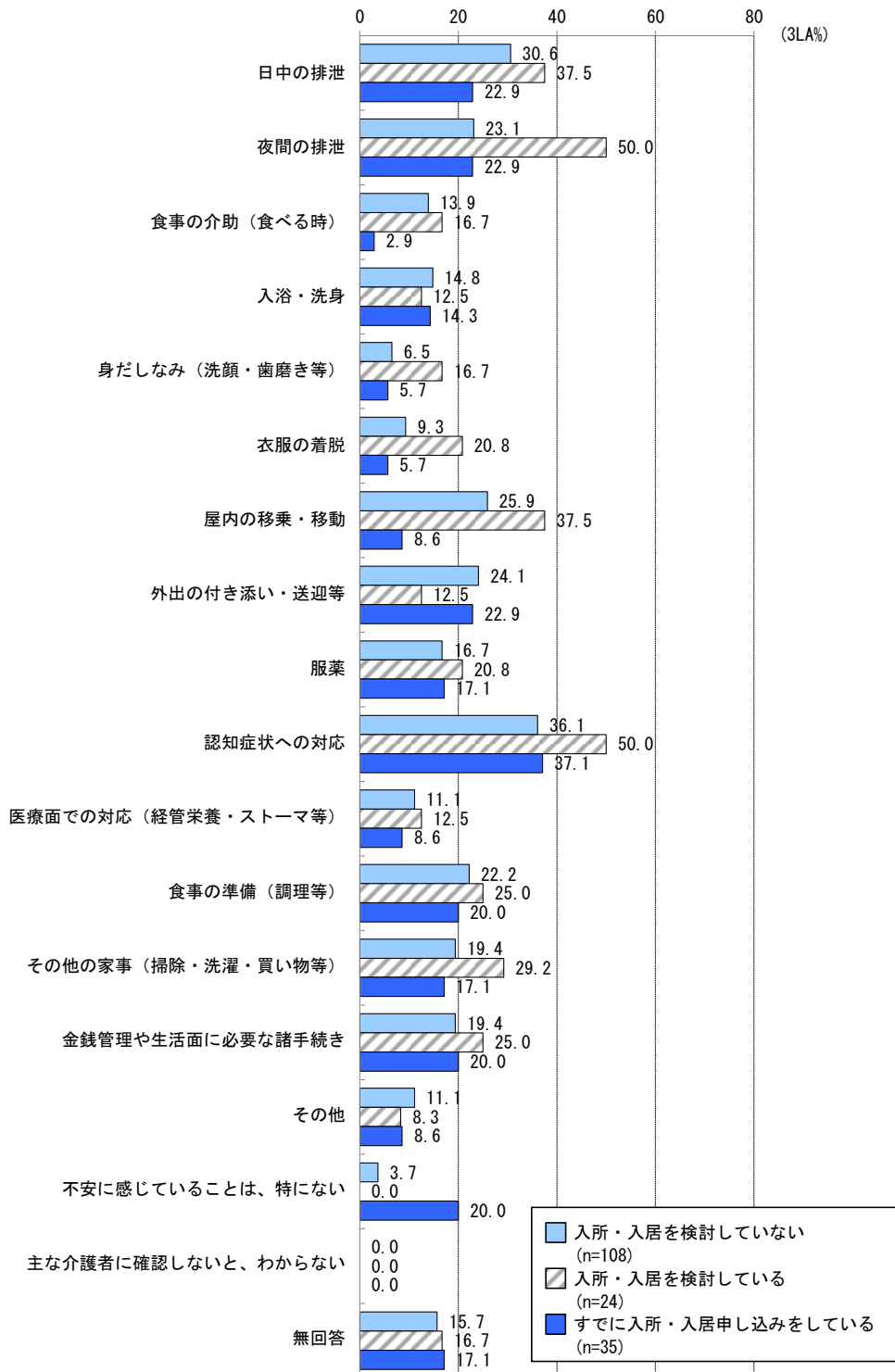


【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】（要介護3以上）

要介護3以上において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、いずれの検討状況も「認知症状への対応」が最も多く（36.1%～50.0%）、“入所・入居を検討している”では同率で「夜間の排泄」も最も多くなっています。（図5-7-5）

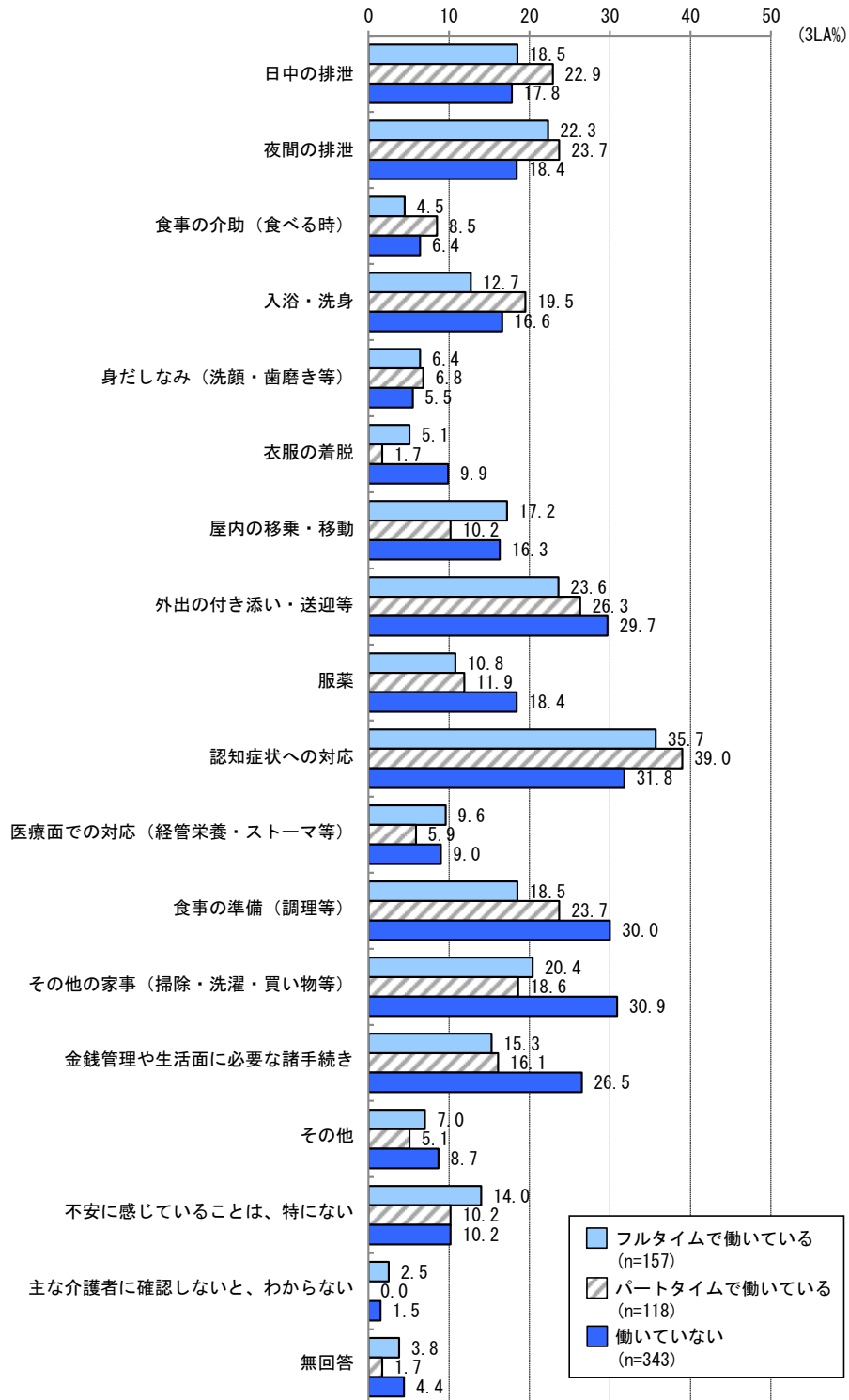
【図 5-7-5 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者が不安に感じる介護等（要介護3以上）】

要介護3以上



主な介護者の勤務形態別でみると、いずれの勤務形態も「認知症状への対応」が最も多く、次いで“フルタイム勤務”と“パートタイム勤務”では「外出の付き添い・送迎等」がそれぞれ23.6%、26.3%となっています。“働いていない”は次いで「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が30.9%となっています。（図5-7-6）

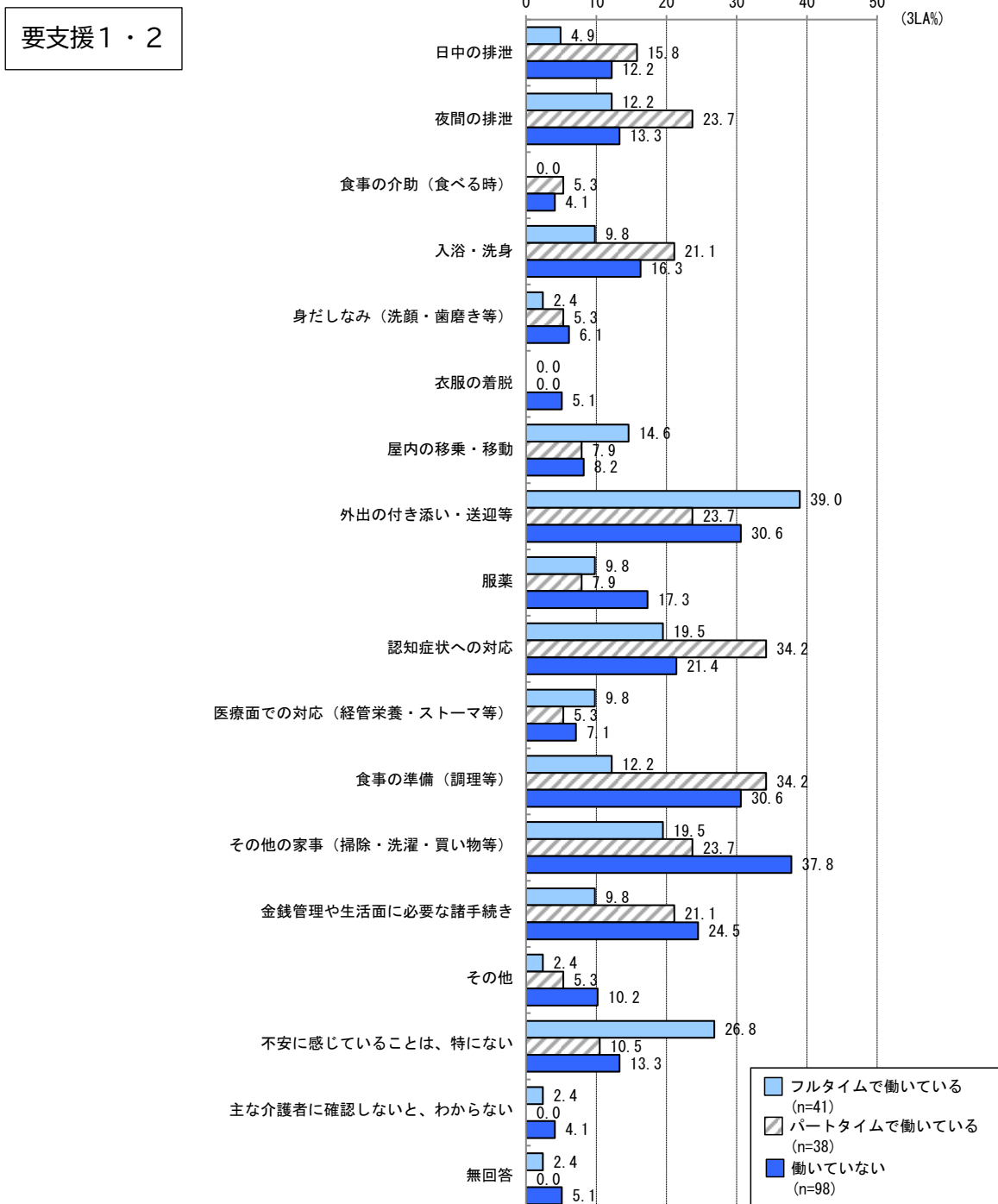
【図 5-7-6 主な介護者の勤務形態別 主な介護者が不安に感じる介護等】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要支援1・2）

要支援1・2において主な介護者の勤務形態別で見ると、“フルタイム勤務”では「外出の付き添い・送迎等」が39.0%で最も多く、次いで「認知症状への対応」と「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」がそれぞれ19.5%となっています。“パートタイム勤務”は、「認知症状への対応」と「食事の準備（調理等）」がそれぞれ34.2%で最も多く、次いで「夜間の排泄」と「外出の付き添い・送迎等」、「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」がそれぞれ23.7%となっています。“働いていない”は、「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が37.8%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」、「食事の準備（調理等）」がそれぞれ30.6%となっています。（図5-7-7）

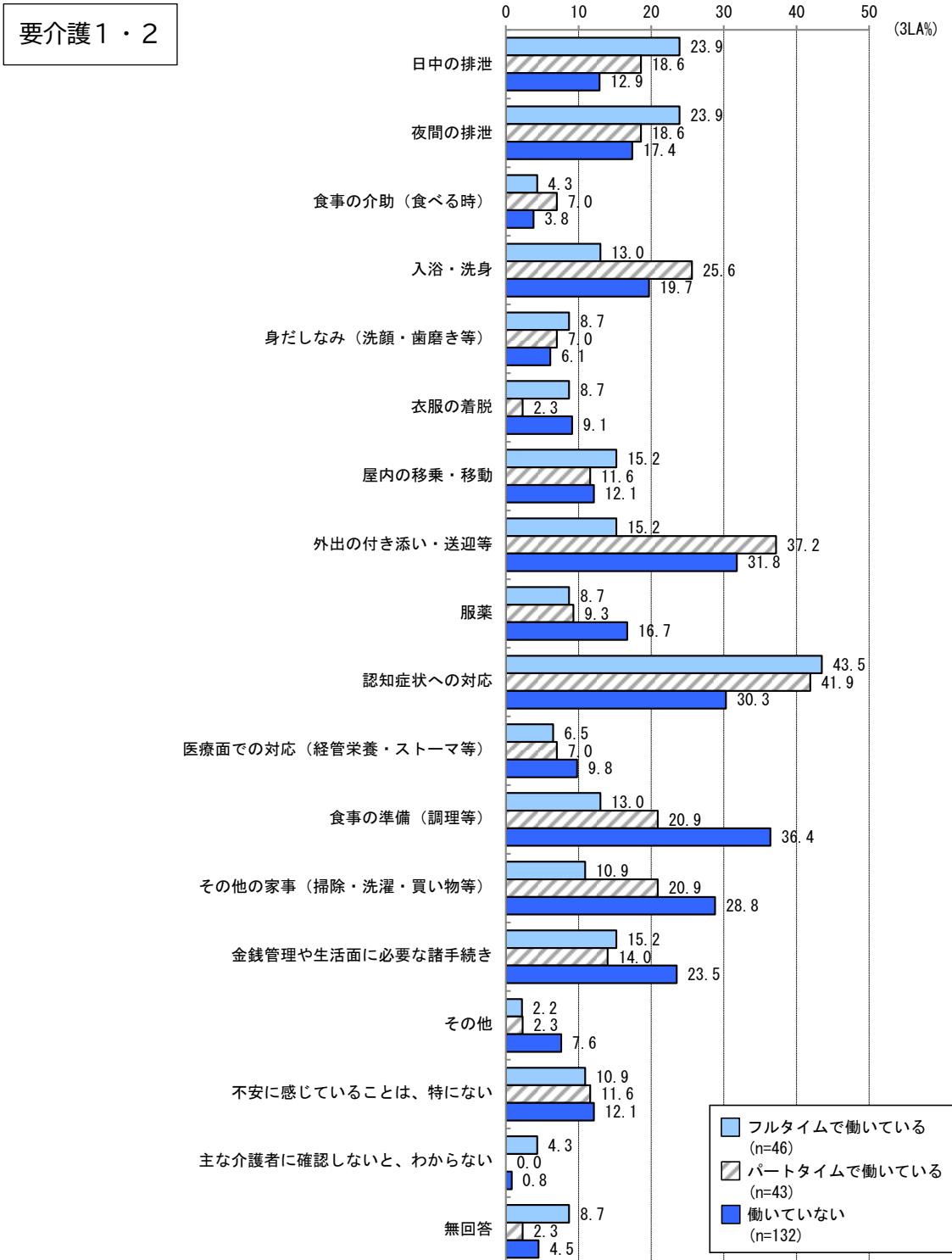
【図5-7-7 主な介護者の勤務形態別 主な介護者が不安に感じる介護等（要支援1・2）】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要介護1・2）

要介護1・2において主な介護者の勤務形態別で見ると、“フルタイム勤務”と“パートタイム勤務”では「認知症状への対応」が、それぞれ43.5%、41.9%で最も多く、次いで“フルタイム勤務”では「日中の排泄」と「夜間の排泄」と「夜間の排泄」がともに23.9%、“パートタイム勤務”では「外出の付き添い・送迎等」が37.2%となっています。“働いていない”では「食事の準備（調理等）」が36.4%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」が31.8%となっています。（図5-7-8）

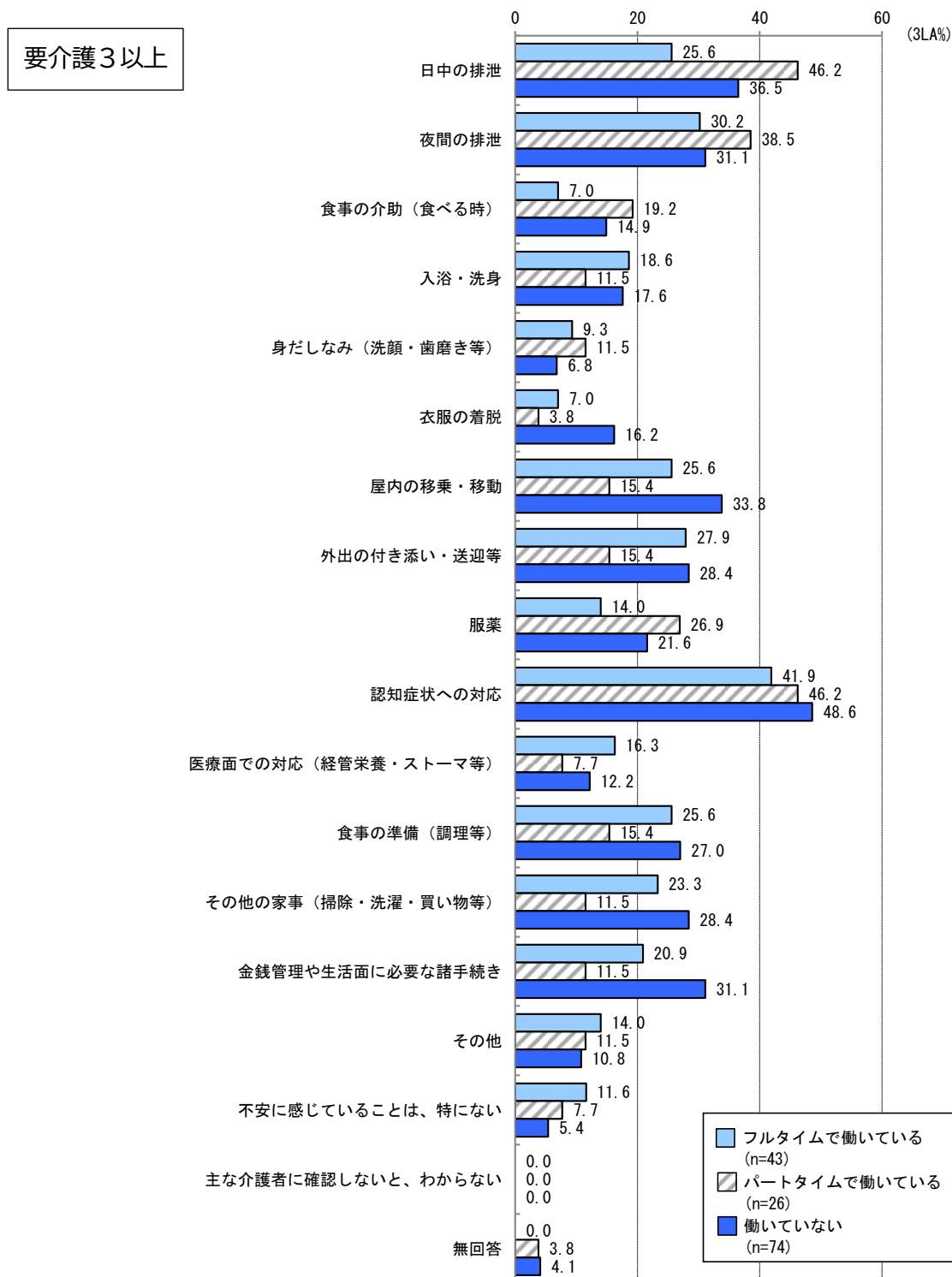
【図5-7-8 主な介護者の勤務形態別 主な介護者が不安に感じる介護等（要介護1・2）】



【主な介護者の勤務形態別 要介護度別】（要介護3以上）

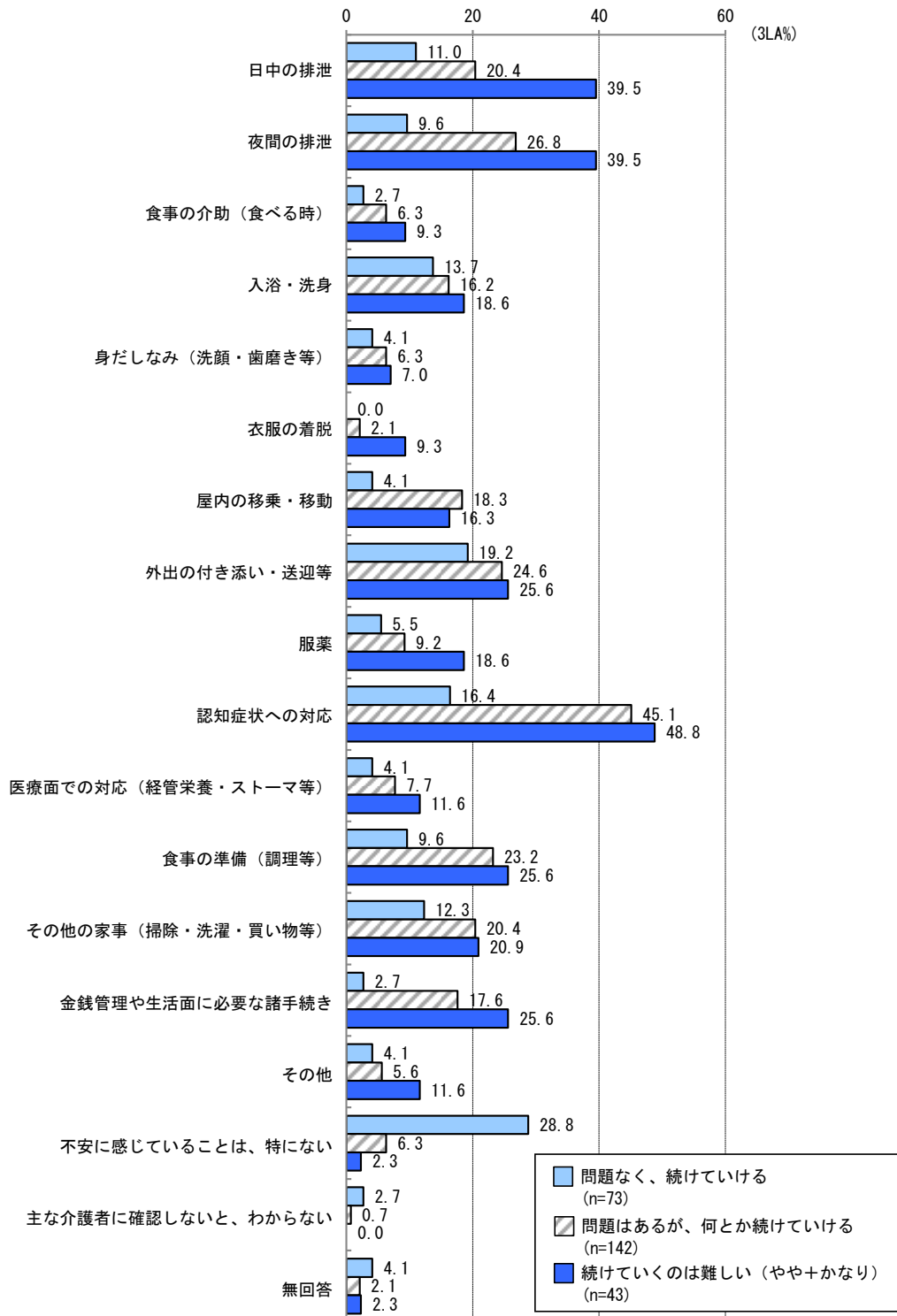
要介護3以上において主な介護者の勤務形態別で見ると、いずれの勤務形態も「認知症状への対応」（41.9%～48.6%）が最も多く、「パートタイム勤務」では同率で「日中の排泄」も最も多くなっています。次いで“フルタイム勤務” “パートタイム勤務”では「夜間の排泄」がそれぞれ30.2%、38.5%、“働いていない”では「日中の排泄」が36.5%となっています。（図5-7-9）

【図5-7-9 主な介護者の勤務形態別 主な介護者が不安に感じる介護等（要介護3以上）】



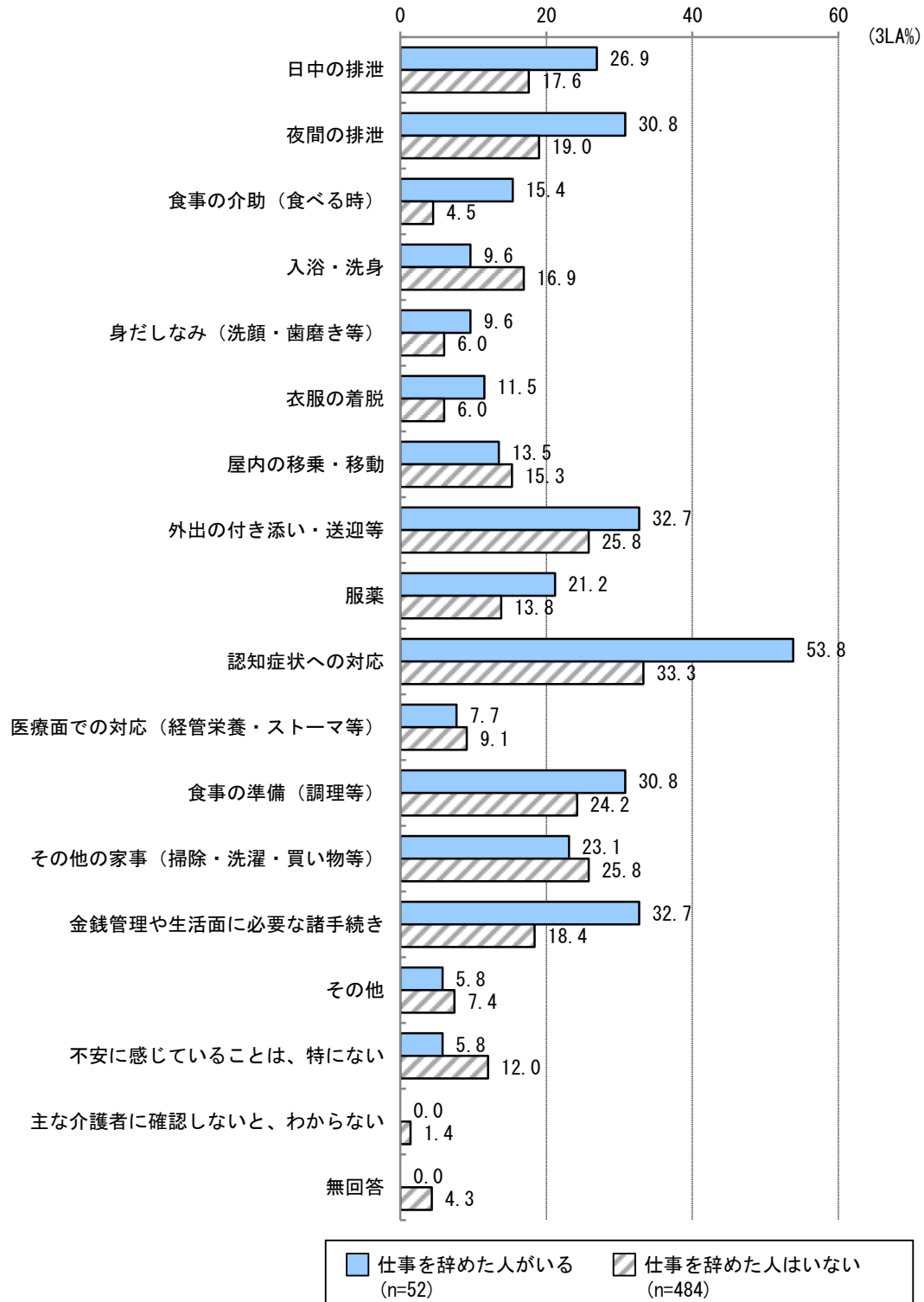
主な介護者のうち働いている人の就労継続見込み別でみると、“問題なく、続けていける”では「不安に感じていることは、特にない」が28.8%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」が19.2%となっています。“問題はあるが、何とか続けていける”と“続けていくのは、難しい”では「認知症状への対応」がそれぞれ45.1%、48.8%で最も多く、次いで“問題はあるが、何とか続けていける”では「夜間の排泄」が26.8%、“続けていくのは、難しい”では、「日中の排泄」と「夜間の排泄」がともに39.5%となっています。(図5-7-10)

【図5-7-10 働いている主な介護者の就労継続見込み別 主な介護者が不安に感じる介護等】



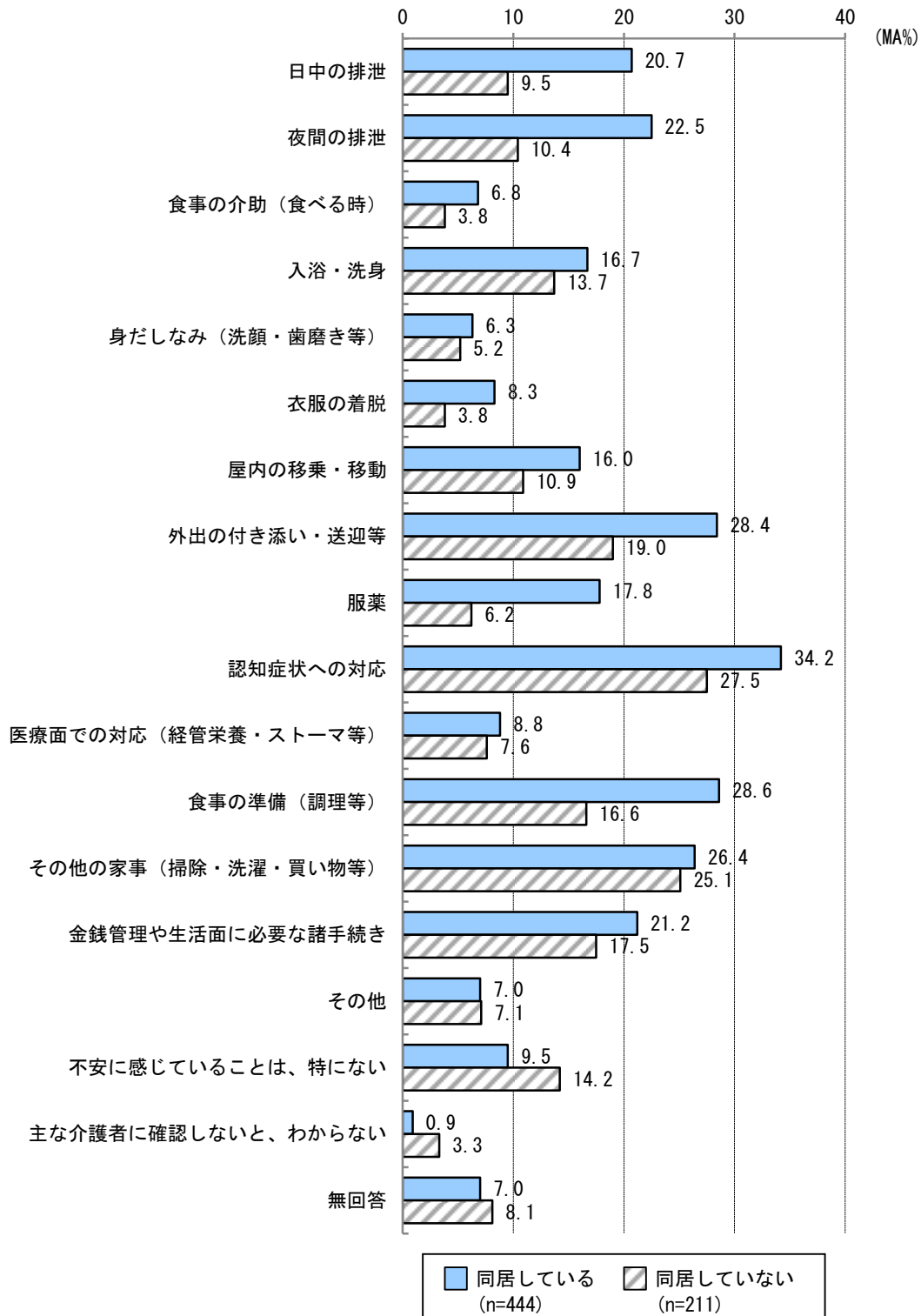
介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無別でみると、仕事を辞めた人がいる人では、「認知症状への対応」が53.8%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がそれぞれ32.7%となっています。仕事を辞めた人はいない人では、「認知症状への対応」が33.3%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」と「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」がそれぞれ25.8%となっています。（図5-7-11）

【図 5-7-11 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無別 主な介護者が不安に感じる介護等】



介護を受けている人との同居有無別でみると、同居している介護者では「認知症状への対応」が34.2%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が28.6%、「外出の付き添い・送迎等」が28.4%となっています。同居していない介護者でも「認知症状への対応」が27.5%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」（25.1%）、「外出の付き添い・送迎等」（19.0%）となっています。（図5-17-12）

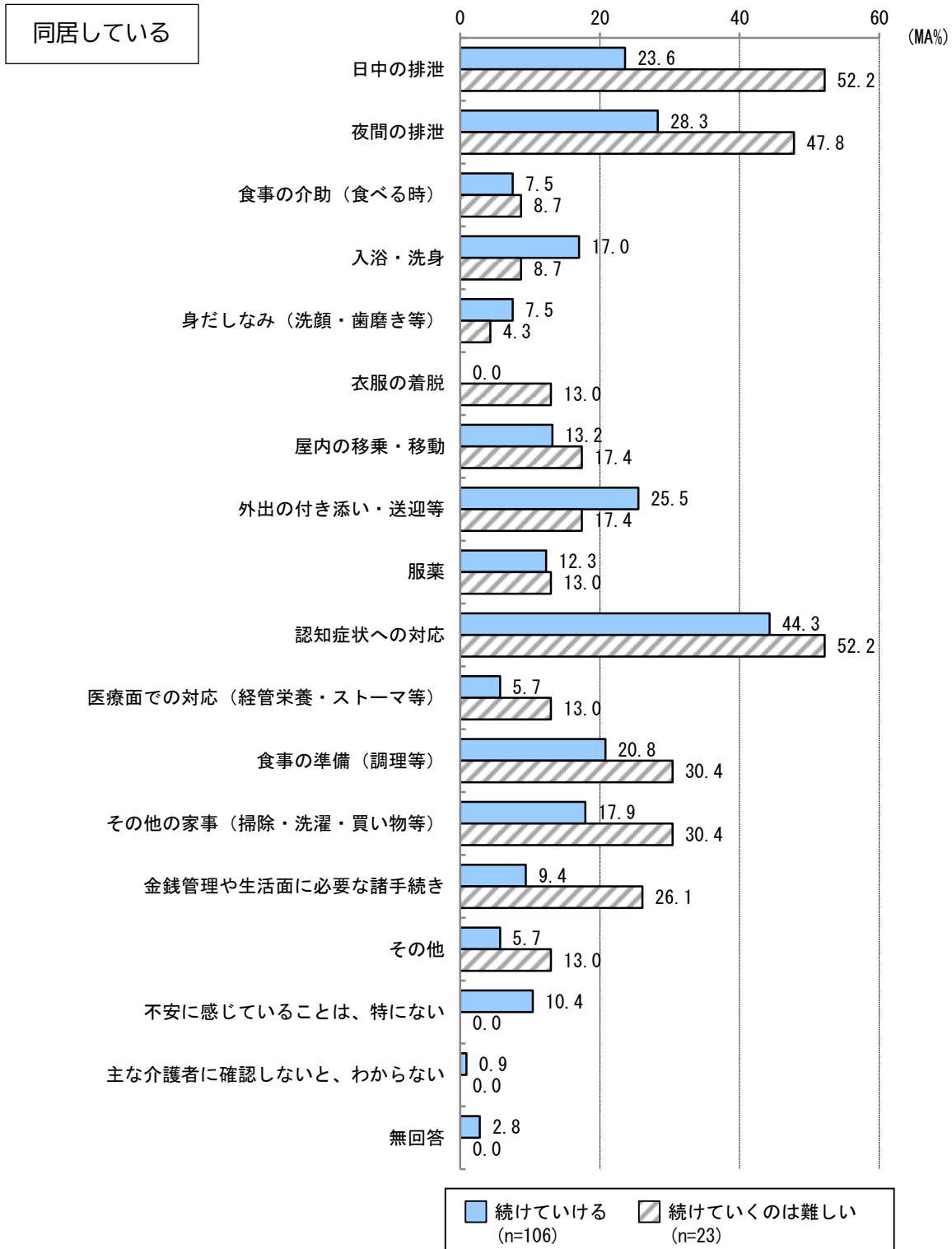
【図 5-7-12 介護を受けている人との同居有無別 主な介護者が不安に感じる介護等】



【働いている主な介護者の就労継続見込み別 介護を受けている人との同居有無別】（同居している）

働いている主な介護者の就労継続見込み別でみると、同居しており、続けていくのは難しい人では「日中の排泄」と「認知症状への対応」がともに52.2%で最も多く、次いで「夜間の排泄」が47.8%となっています。（図5-7-13）

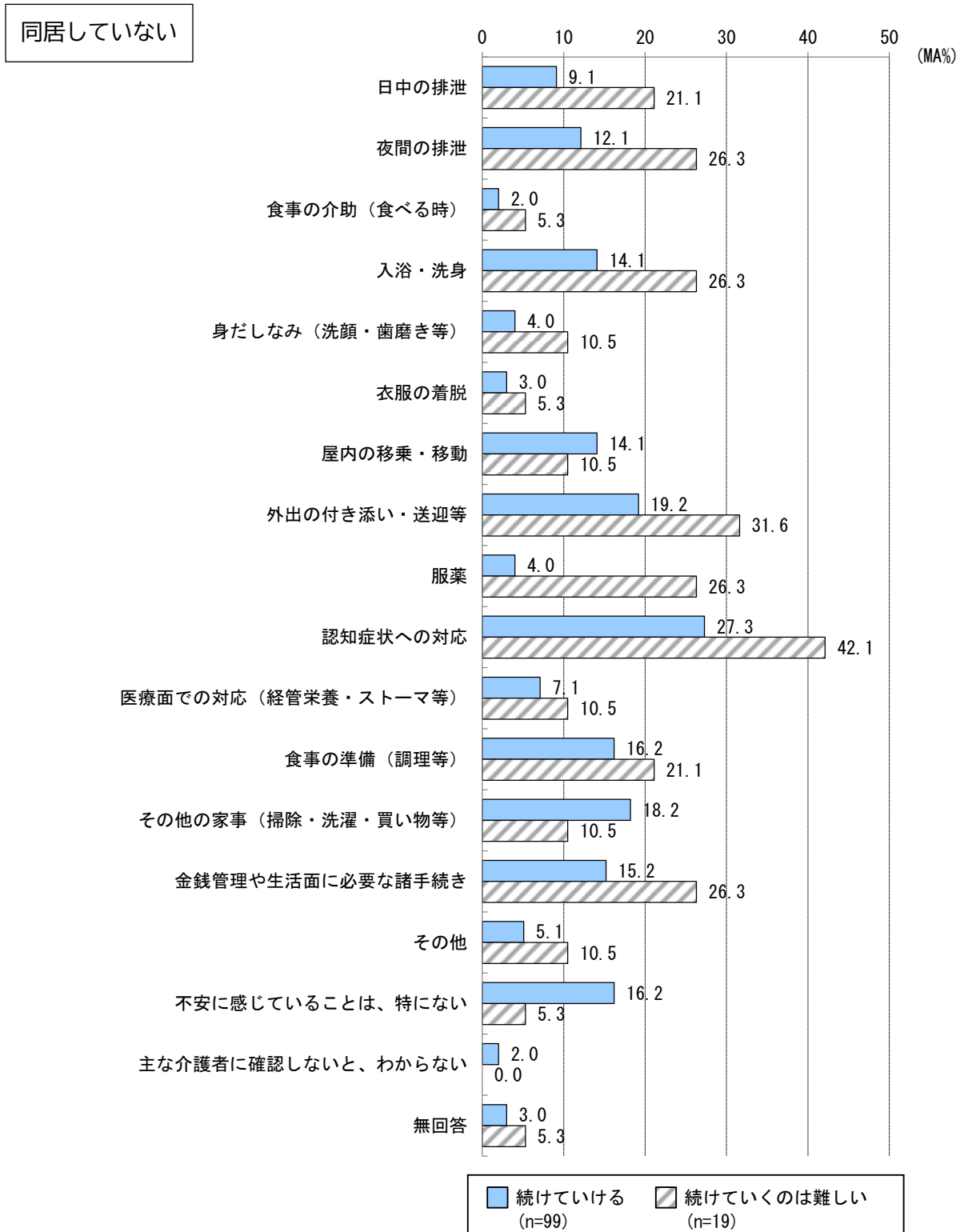
【図 5-7-13 働いている主な介護者の就労継続見込み別 主な介護者が不安に感じる介護等】



【働いている主な介護者の就労継続見込み別 介護を受けている人との同居有無別】（同居していない）

働いている主な介護者の就労継続見込み別でみると、同居しておらず、続けていくのは難しい人では「認知症状への対応」が42.1%で最も多く、次いで「外出の付き添い・送迎等」が31.6%となっています。（図5-7-14）

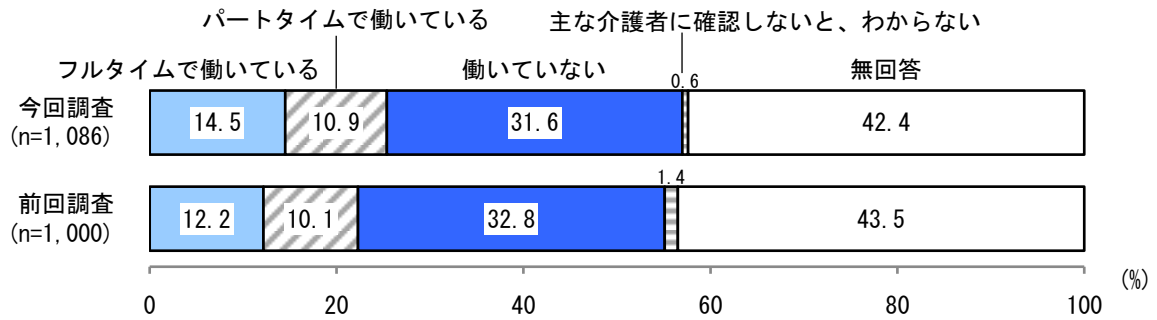
【図 5-7-14 働いている主な介護者の就労継続見込み別 主な介護者が不安に感じる介護等（同居していない）】



(8) 主な介護者の勤務形態

問8. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、御回答ください。〈○は1つ〉

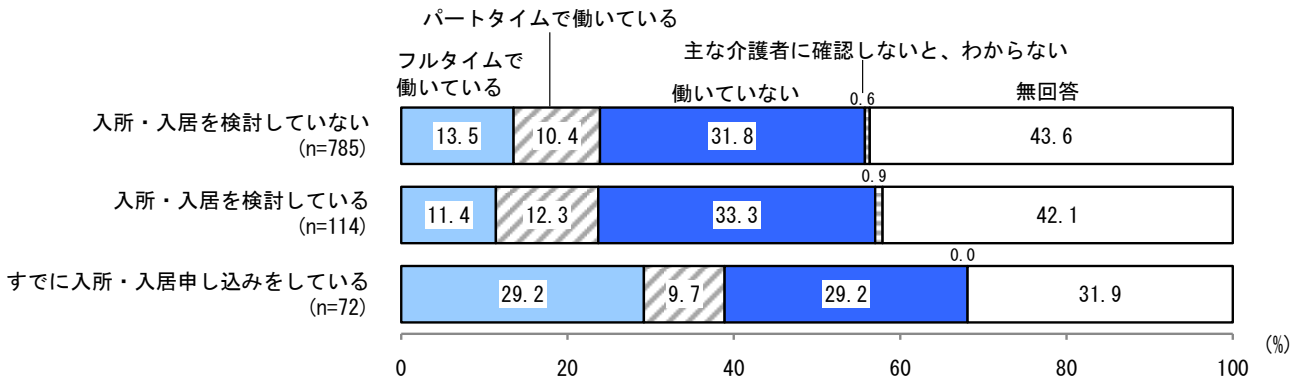
【図 5-8 主な介護者の勤務形態】



主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が31.6%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が14.5%、「パートタイムで働いている」が10.9%となっています。

前回調査と比較すると、「フルタイムで働いている」は2.3ポイント高くなっています。(図5-8) 施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”と“入所・入居を検討している”では「働いていない」が3割台を占め最も多くなっています。“すでに入所・入居申し込みをしている”では「フルタイムで働いている」と「働いていない」がともに29.2%で最も多くなっています。(図5-8-1)

【図 5-8-1 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者の勤務形態】



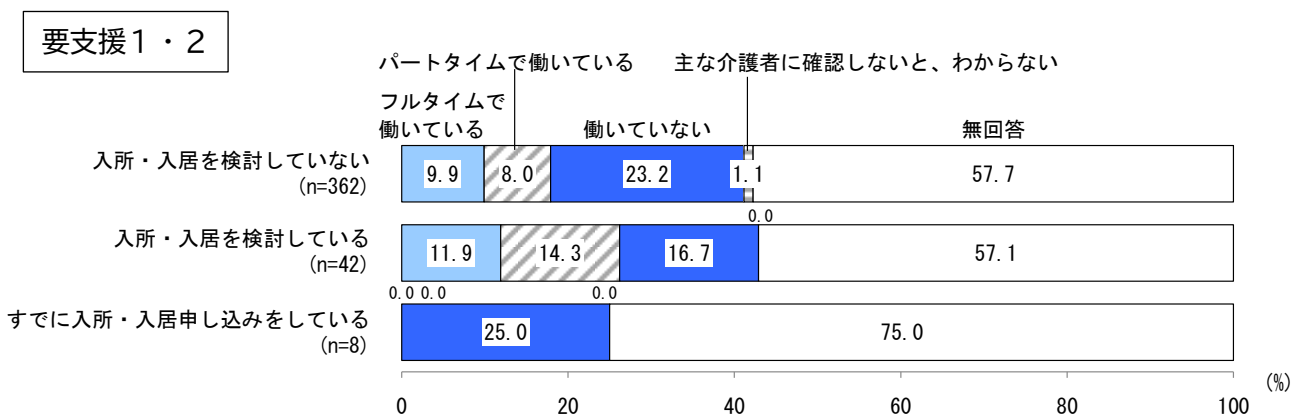
【施設等への入所・入居の検討状況別 要介護度別】

要支援1・2において施設等への入所・入居の検討状況別でみると、『働いている』（「フルタイムで働いている」＋「パートタイムで働いている」）割合は、“入所・入居を検討している”（26.2%）より“入所・入居を検討していない”（17.9%）のほうが低くなっています。（図5-8-2）

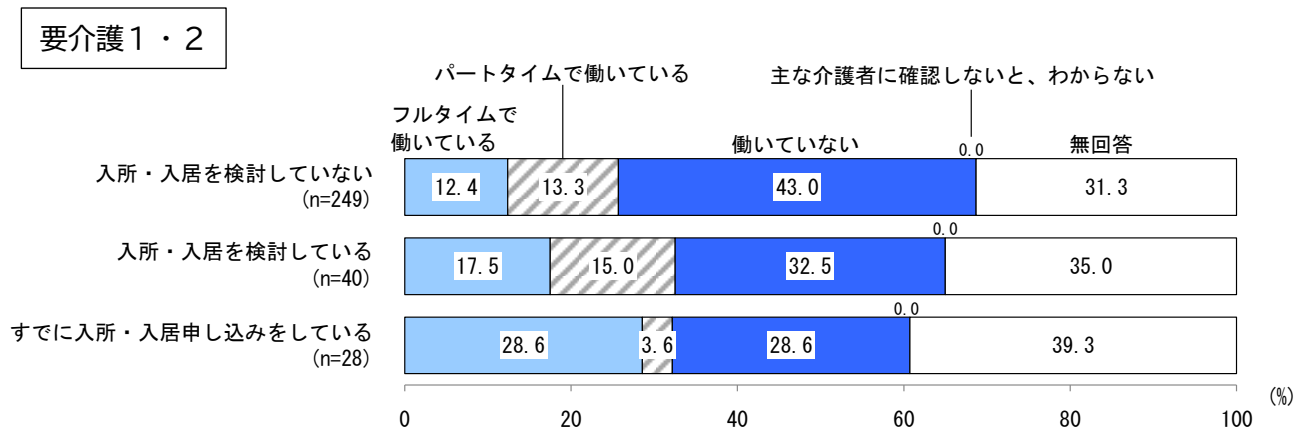
要介護1・2では、『働いている』割合は“入所・入居を検討していない”が25.7%で最も低くなっています。（図5-8-3）

要介護3以上では、『働いている』割合は“入所・入居を検討している”が12.5%で最も低く、“すでに入所・入居申し込みをしている”が54.2%で最も高くなっています。（図5-8-4）

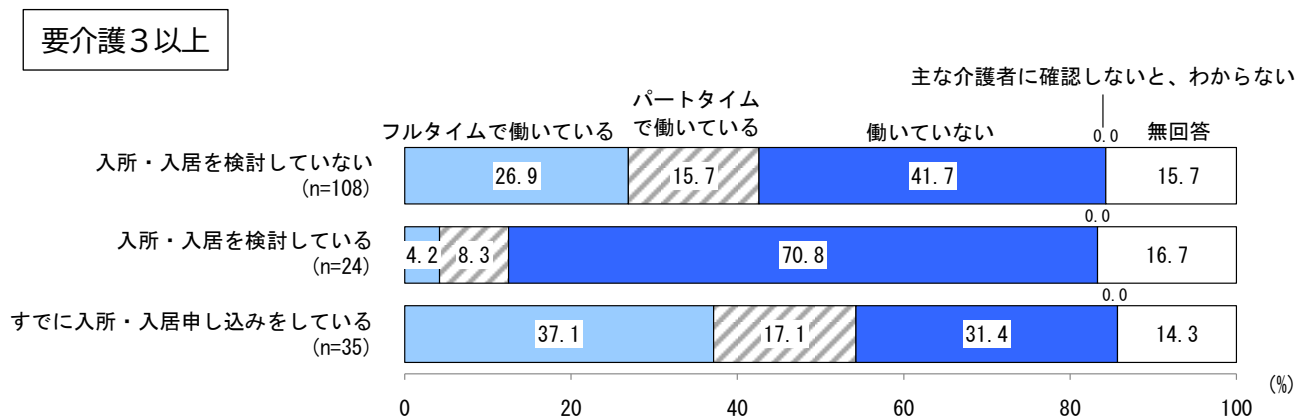
【図5-8-2 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者の勤務形態（要支援1・2）】



【図5-8-3 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者の勤務形態（要介護1・2）】

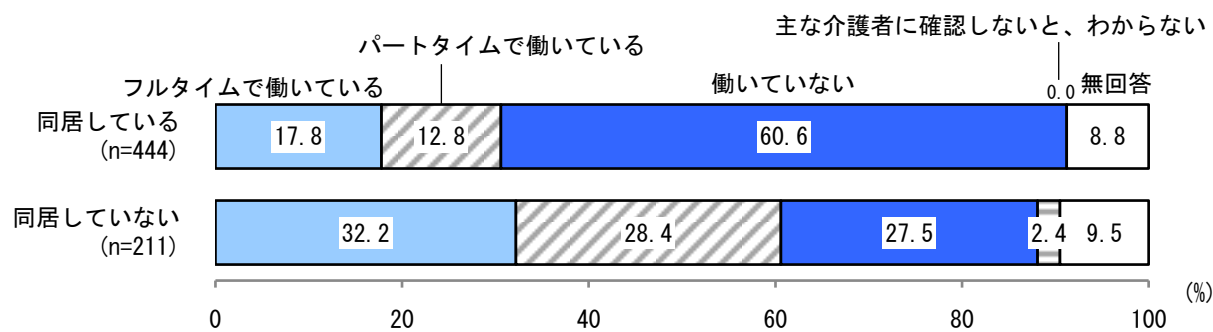


【図5-8-4 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者の勤務形態（要介護3以上）】



介護を受けている人との同居有無別で見ると、同居している介護者では「働いていない」が60.6%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が17.8%となっています。一方、同居していない介護者では「フルタイムで働いている」が32.2%で最も多く、次いで「パートタイムで働いている」が28.4%となっています。(図5-8-5)

【図 5-8-5 介護を受けている人との同居有無別 主な介護者の勤務形態】

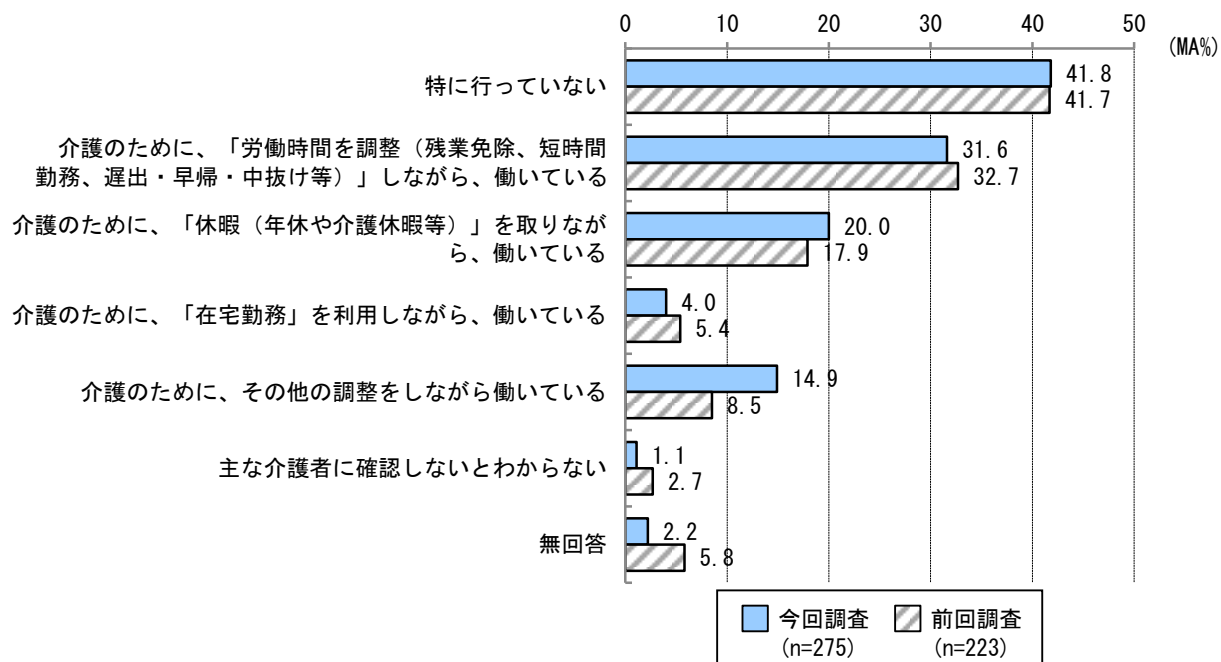


(9) 主な介護者の働き方の調整等の状況

問8-1. 問8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。

(1) 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていま
すか。〈あてはまるものすべてに○〉

【図 5-9 主な介護者の働き方の調整等の状況】

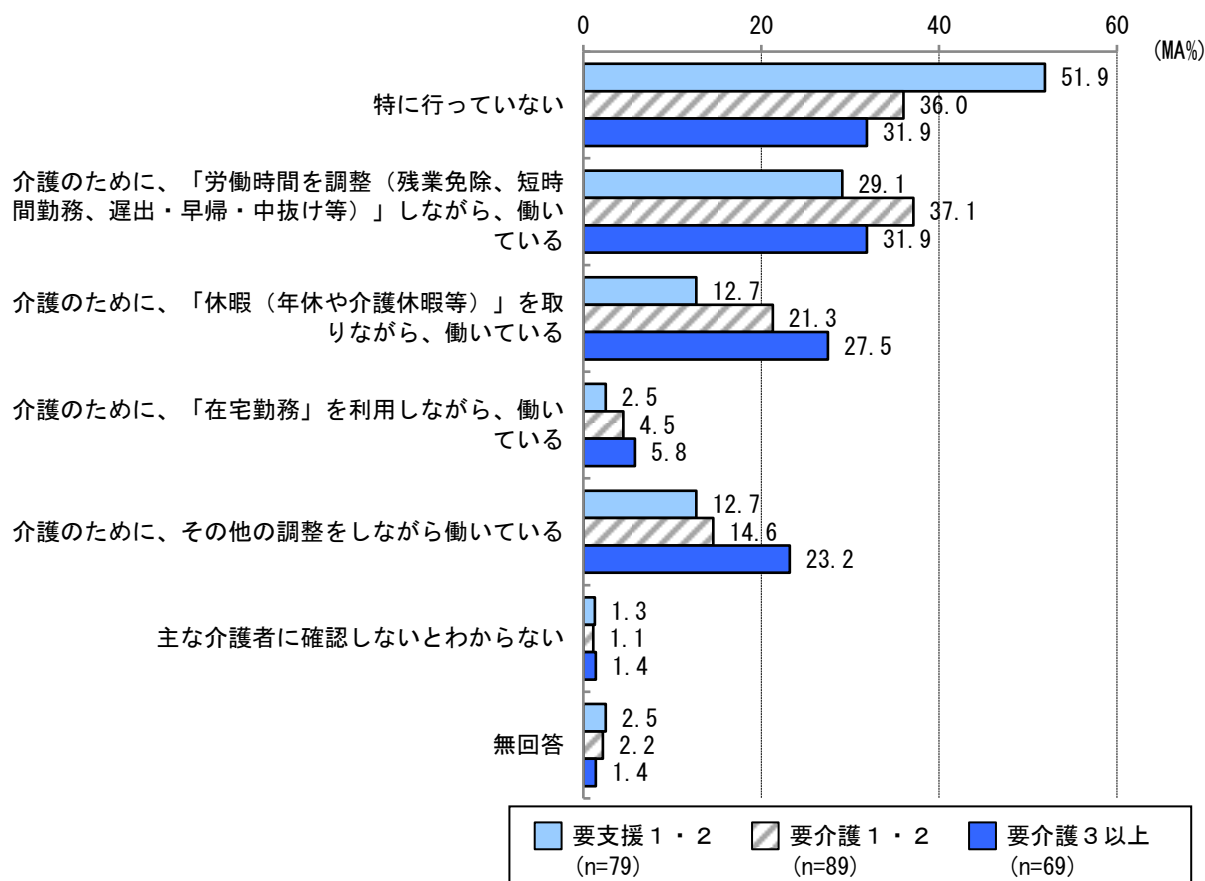


フルタイムまたはパートタイムで働いていると回答した人に、働き方の調整等を行っているかをたずねたところ、「特に行っていない」が41.8%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が31.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が20.0%となっています。

前回調査と比較すると、「介護のために、その他の調整をしながら働いている」は6.4ポイント高くなっています。（図5-9）

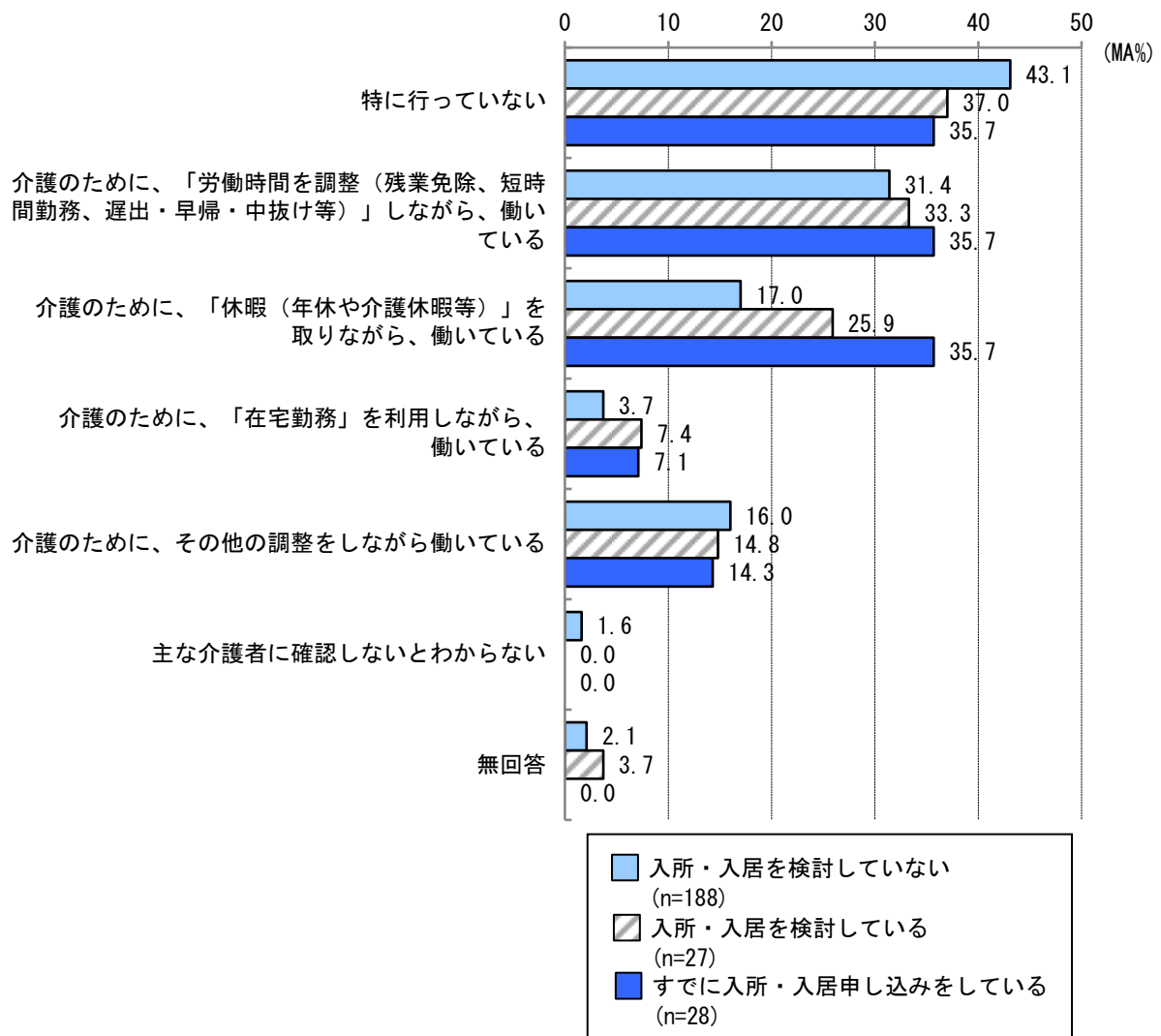
要介護度別で見ると、「特に行っていない」割合は要介護度が軽度なほど高くなっています。
 “要介護3以上”では「特に行っていない」と「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」がともに31.9%で最も多くなっています。（図5-9-1）

【図 5-9-1 要介護度別 主な介護者の働き方の調整等の状況】



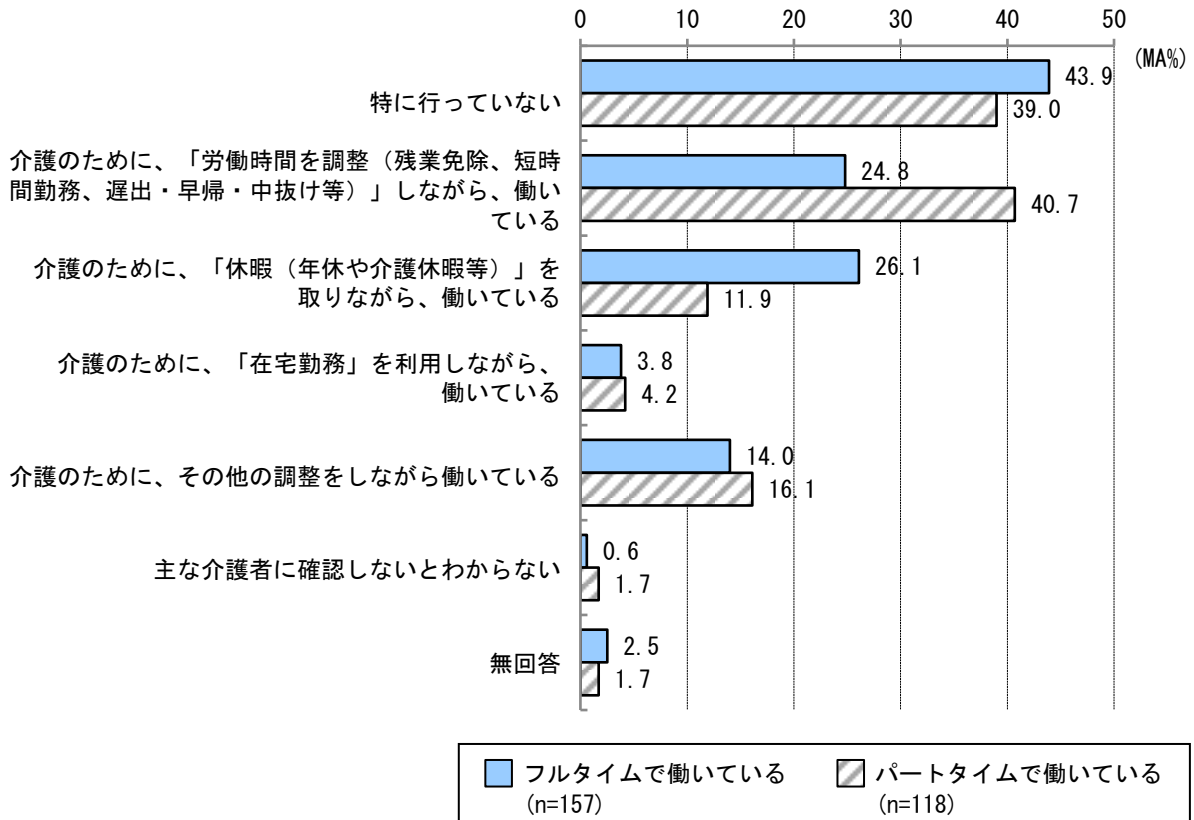
施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”と“入所・入居を検討している”では「特に行っていない」が、それぞれ43.1%、37.0%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が、それぞれ31.4%、33.3%となっています。“すでに入所・入居申し込みをしている”では「特に行っていない」「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」がいずれも35.7%で最も多くなっています。（図5-9-2）

【図5-9-2 施設等への入所・入居の検討状況別 主な介護者の働き方の調整等の状況】



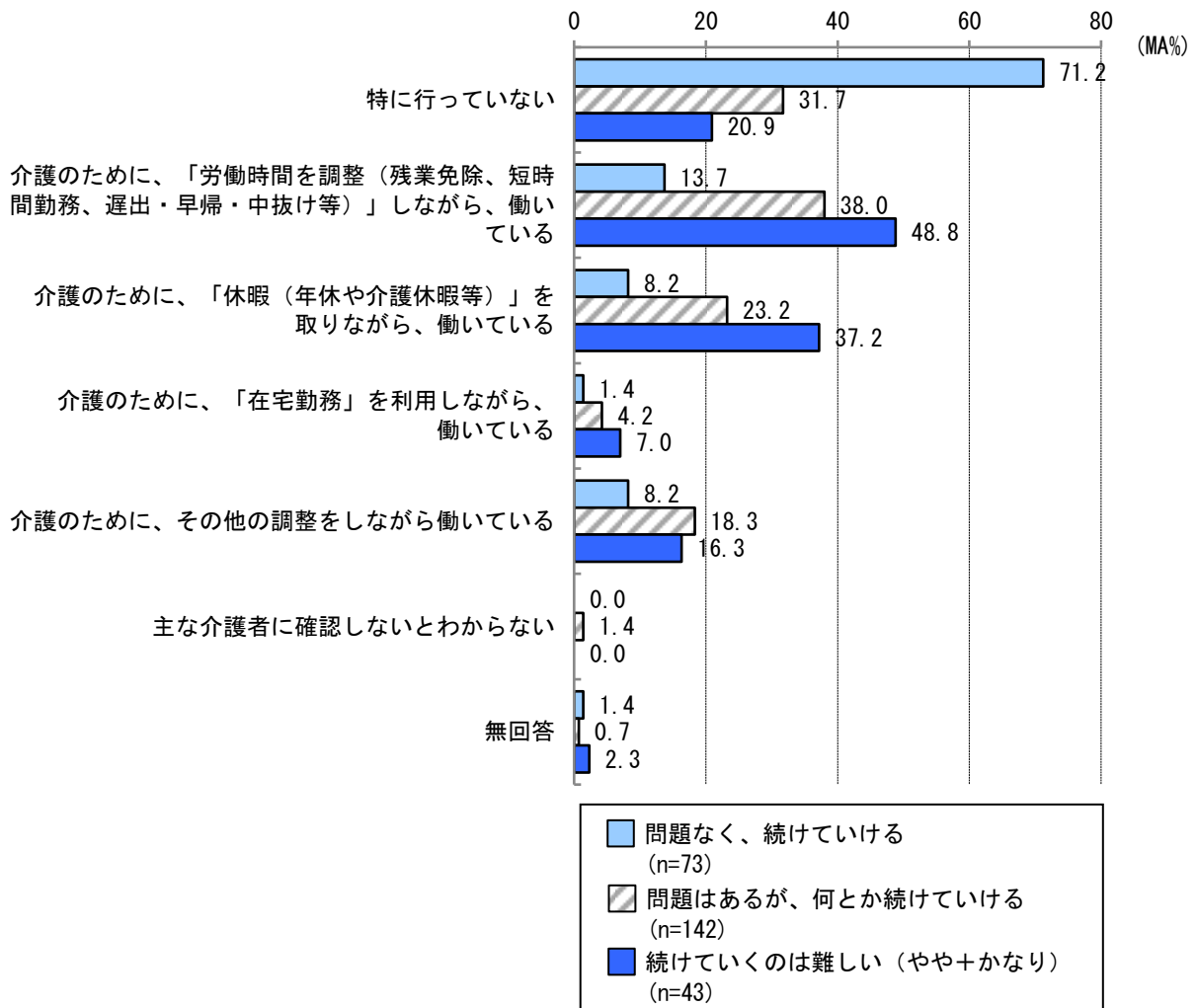
主な介護者の勤務形態別でみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」割合は“パートタイム勤務”のほうが“フルタイム勤務”よりも15.9ポイント高くなっています。「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」割合は“フルタイム勤務”のほうが14.2ポイント高くなっています。（図5-9-3）

【図 5-9-3 主な介護者の勤務形態別 主な介護者の働き方の調整等の状況】



主な介護者のうち働いている人の就労継続見込み別で見ると、“問題はあるが、何とか続けていける”と“続けていくのは難しい”では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」がそれぞれ38.0%、48.8%で最も多くなっています。「特に行っていない」割合は“問題なく、続けていける”で71.2%と最も高くなっています。（図5-9-4）

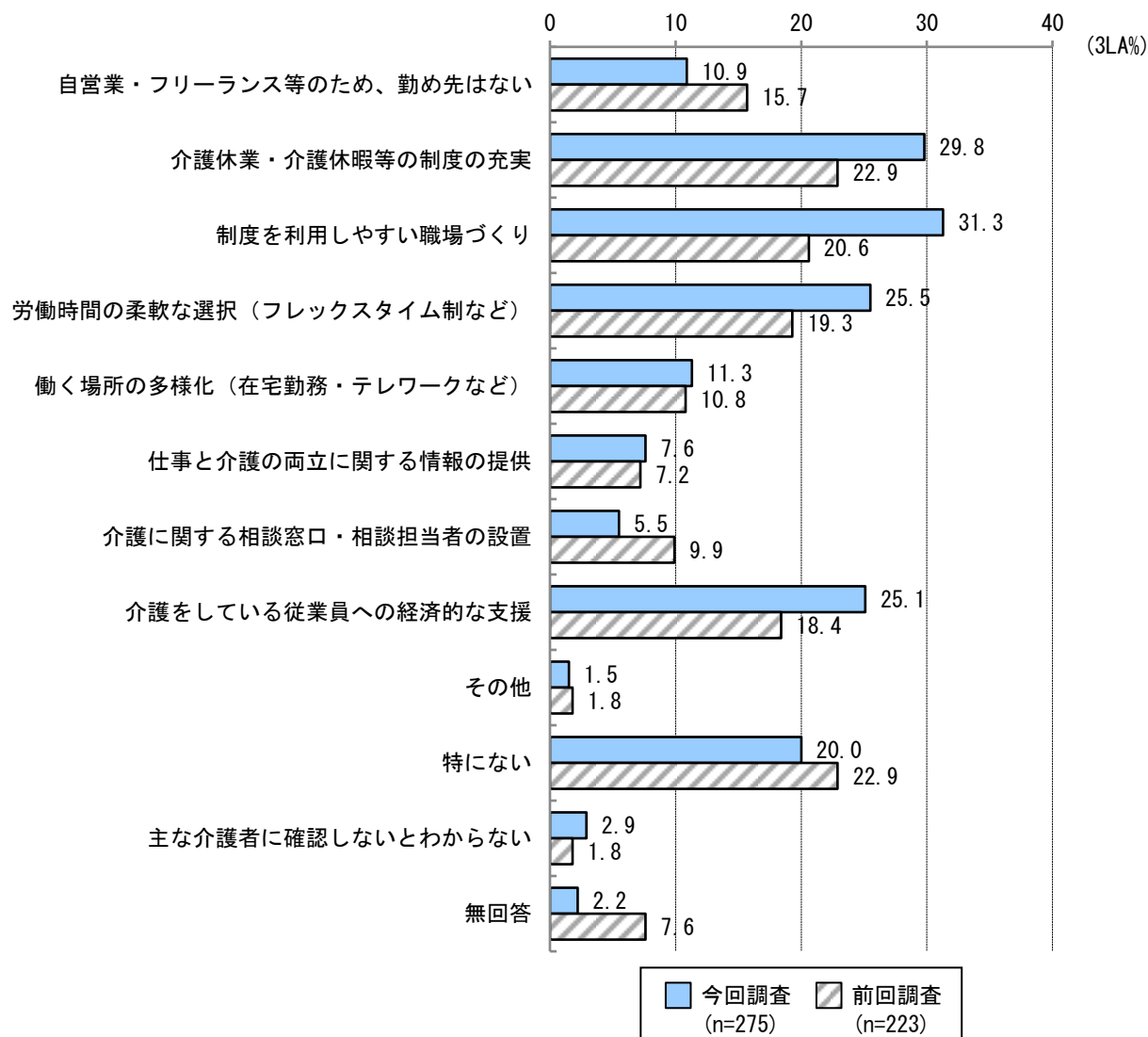
【図 5-9-4 働いている主な介護者の就労継続見込み別 主な介護者の働き方の調整等の状況】



(10) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

(2) 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。〈○は3つまで〉

【図 5-10 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援】

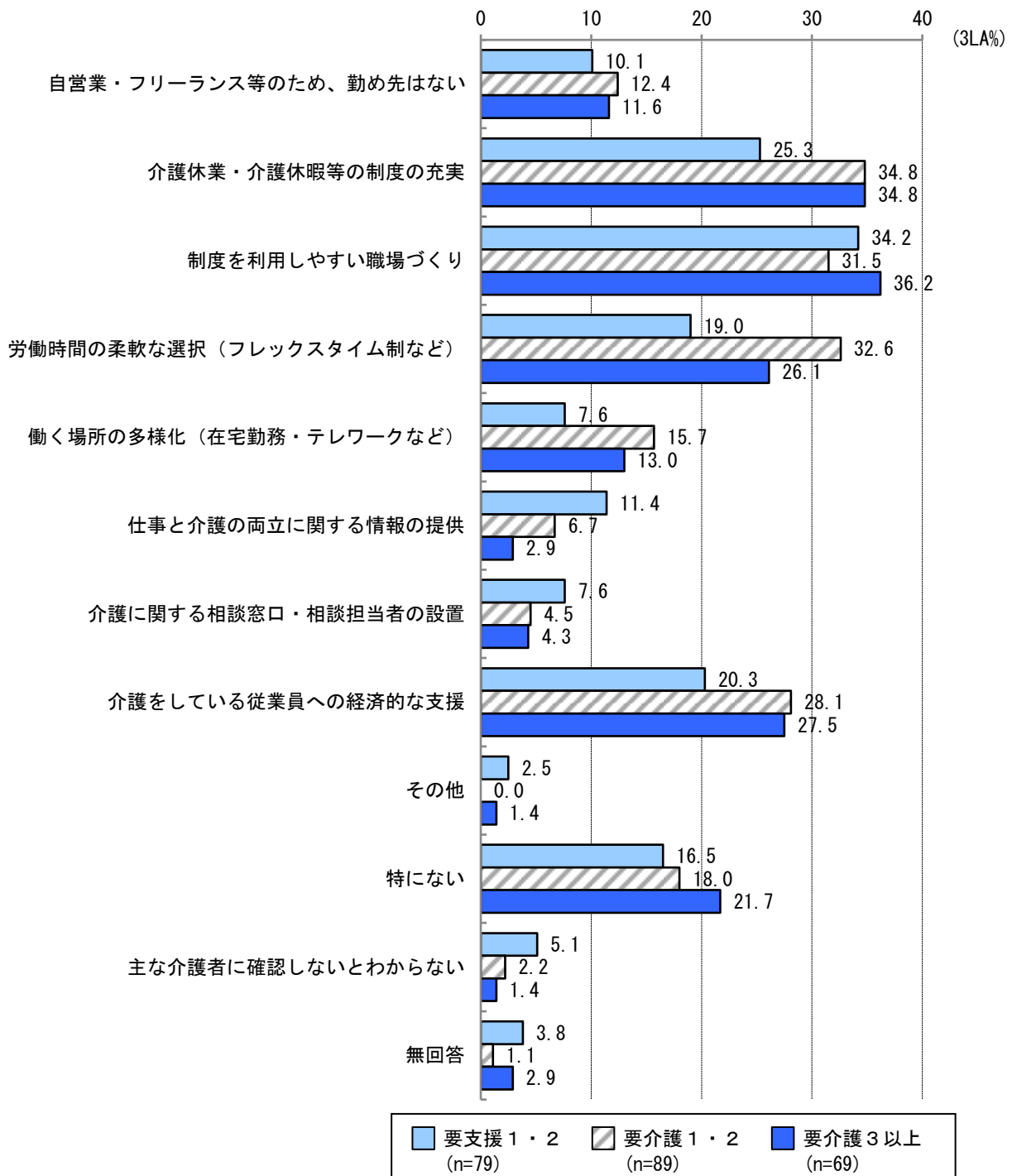


仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援については、「制度を利用しやすい職場づくり」が31.3%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.8%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が25.5%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が25.1%となっています。一方で、「特にない」が20.0%となっています。

前回調査と比較すると、「制度を利用しやすい職場づくり」は10.7ポイント、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」は6.9ポイント、「介護をしている従業員への経済的な支援」は6.7ポイント、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」は6.2ポイント、それぞれ高くなっています。（図5-10）

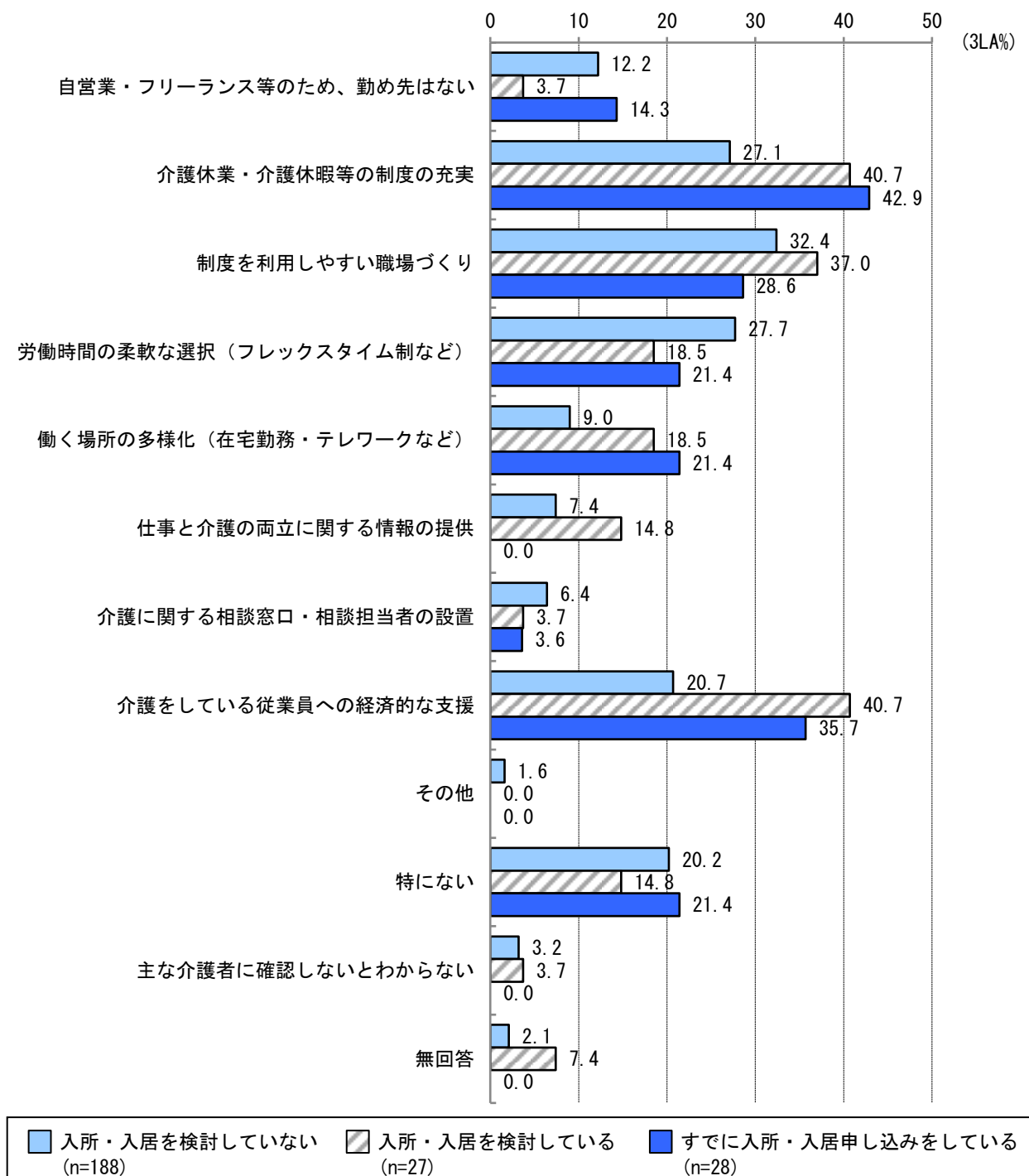
要介護度別で見ると、“要支援1・2”と“要介護3以上”では「制度を利用しやすい職場づくり」がそれぞれ34.2%、36.2%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」がそれぞれ25.3%、34.8%となっています。“要介護1・2”では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.8%で最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が32.6%となっています。（図5-10-1）

【図 5-10-1 要介護度別 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援】



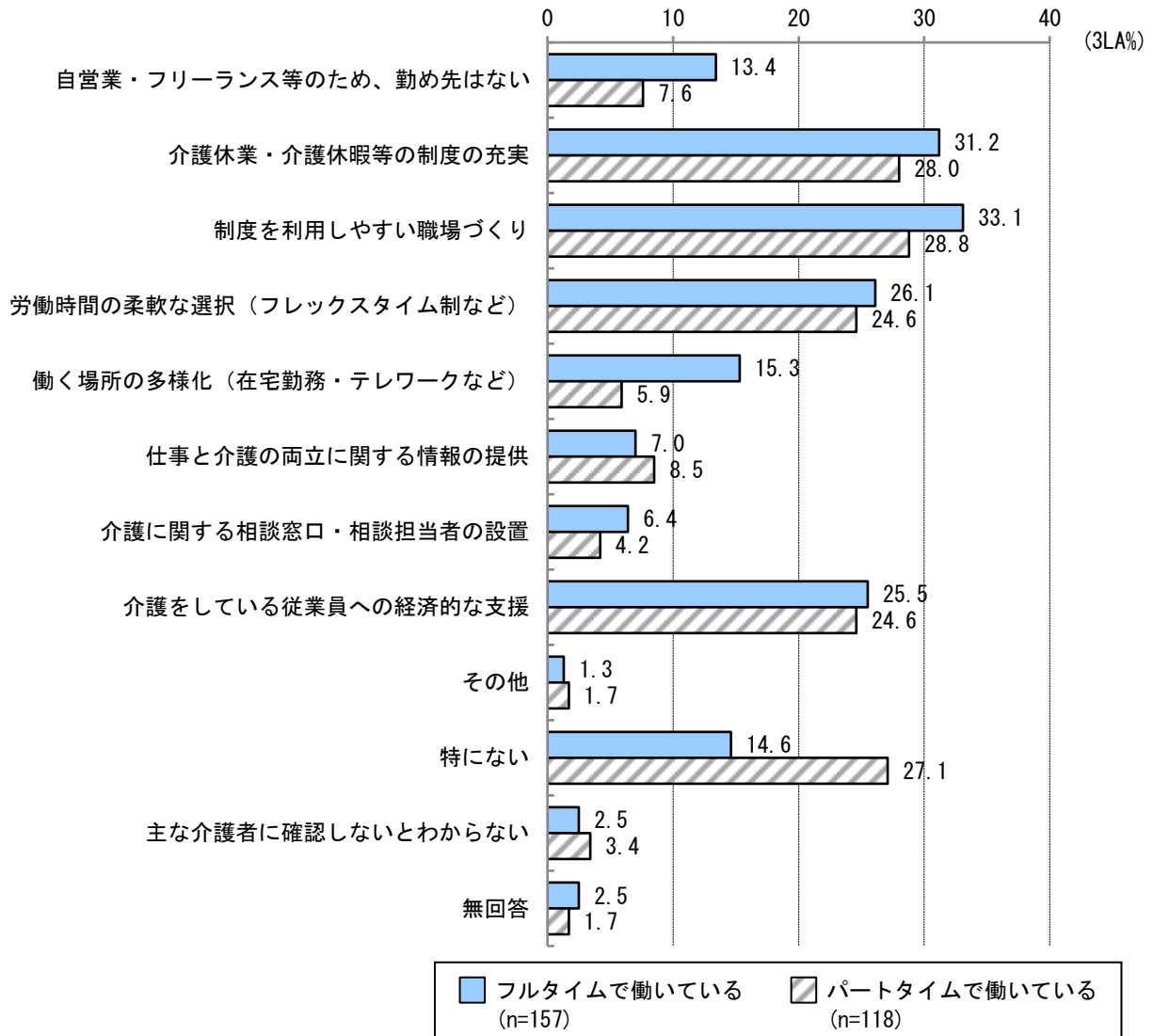
施設等への入所・入居の検討状況別でみると、「入所・入居を検討していない」では、「制度を利用しやすい職場づくり」が32.4%で最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が27.7%となっています。「入所・入居を検討している」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と「介護をしている従業員への経済的な支援」がともに40.7%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が37.0%となっています。「すでに入所・入居申し込みをしている」では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が42.9%で最も多く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が35.7%となっています。（図5-10-2）

【図 5-10-2 施設等への入所・入居の検討状況別 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援】



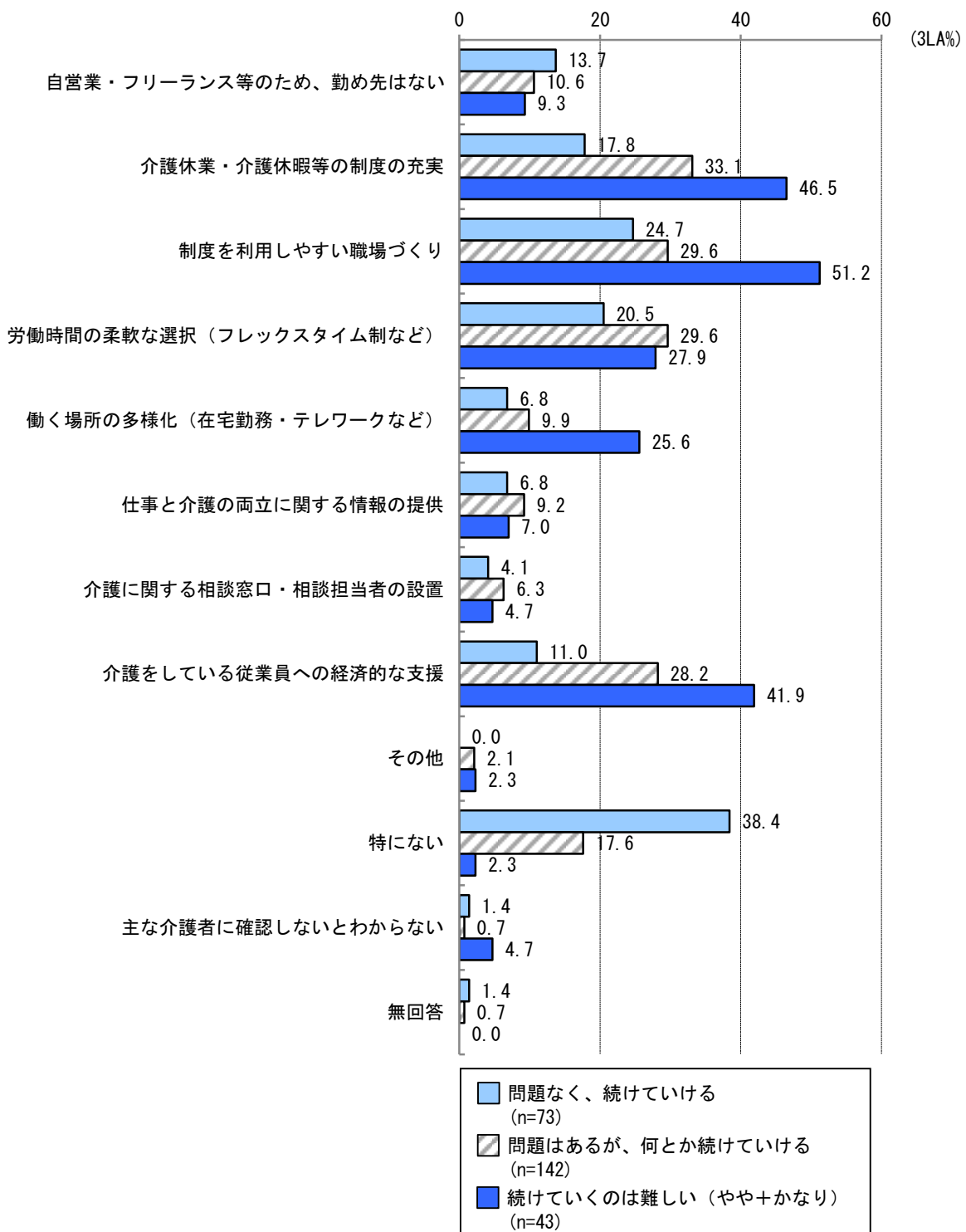
主な介護者のうち働いている人の勤務形態別でみると、“フルタイム勤務”と“パートタイム勤務”では「制度を利用しやすい職場づくり」がそれぞれ33.1%、28.8%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」がそれぞれ31.2%、28.0%となっています。(図5-10-3)

【図 5-10-3 働いている主な介護者の勤務形態別 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援】



主な介護者のうち働いている人の就労継続見込み別でみると、“問題なく、続けていける”は、「制度を利用しやすい職場づくり」が24.7%で最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が20.5%となっています。“問題はあるが、何とか続けていける”は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.1%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」と「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」がそれぞれ29.6%となっています。“続けていくのは難しい”は、「制度を利用しやすい職場づくり」が51.2%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が46.5%となっています。（図5-10-4）

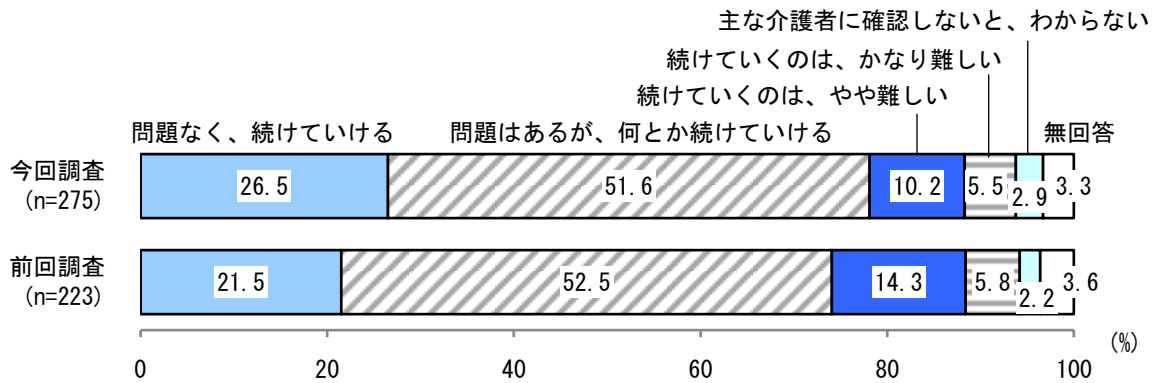
【図5-10-4 働いている主な介護者の就労継続見込み別 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援】



(11) 働いている主な介護者の就労継続見込み

(3) 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。〈○は1つ〉

【図 5-11 働いている主な介護者の就労継続見込み】

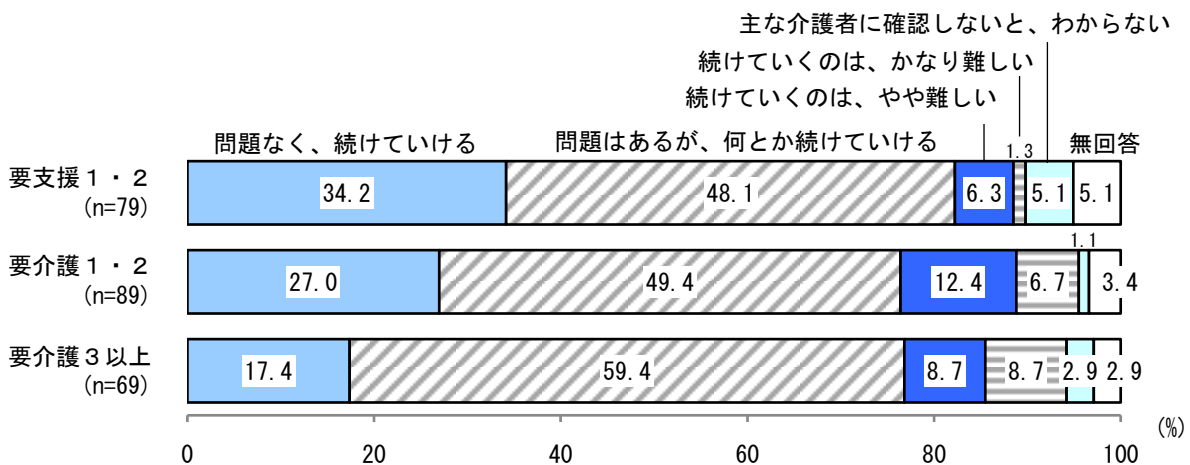


働いている主な介護者の就労継続見込みについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が51.6%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が26.5%、「続けていくのは、やや難しい」が10.2%となっています。

前回調査と比較すると、「問題なく、続けていける」は5.0ポイント高くなっています。(図5-11)

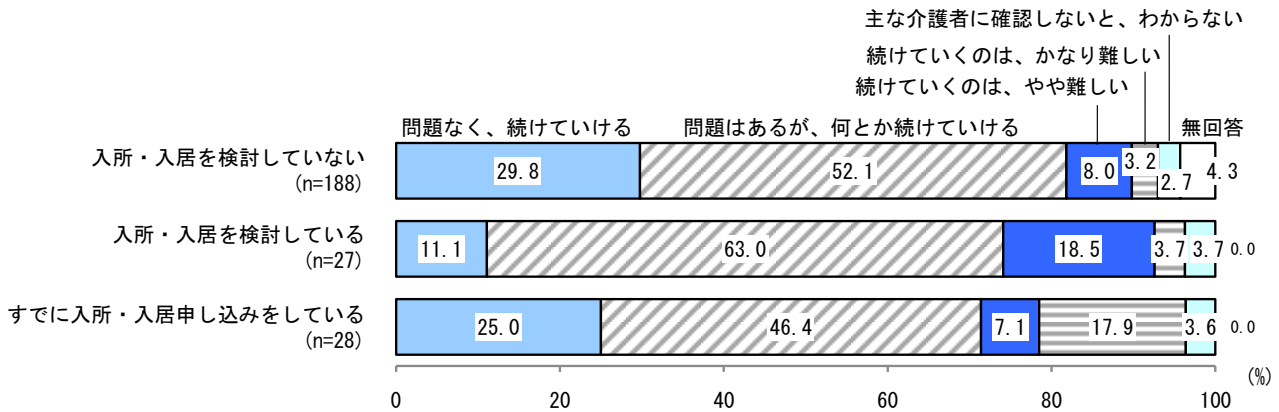
要介護度別で見ると、「問題なく、続けていける」割合は、要介護度が軽度なほど高く、「要支援1・2」で34.2%となっています。一方、「問題はあるが、何とか続けていける」と「続けていくのは、かなり難しい」の割合は要介護度が重度になるほど高くなっています。(図5-11-1)

【図 5-11-1 要介護度別 働いている主な介護者の就労継続見込み】



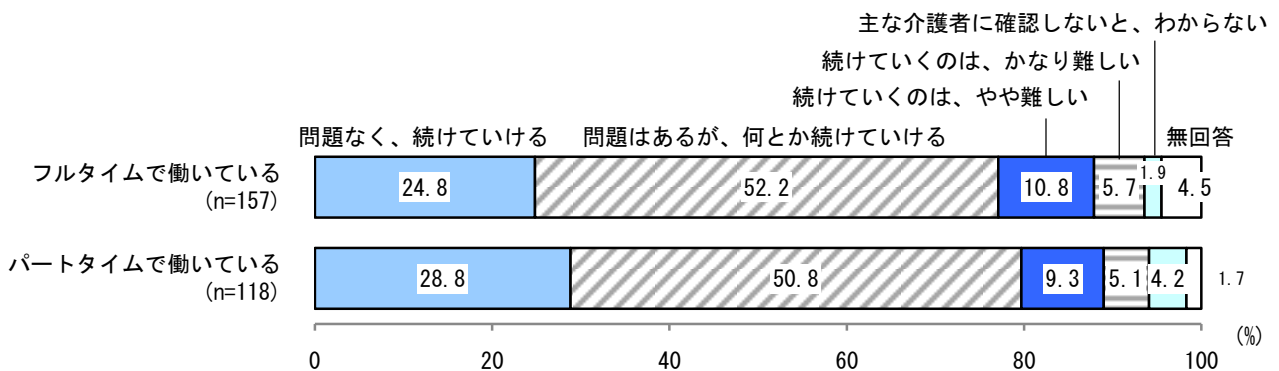
施設等への入所・入居の検討状況別でみると、いずれの検討状況も「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多くなっています。「続けていくのは、やや難しい」の割合は“入所・入居を検討している”が18.5%で最も高く、「続けていくのは、かなり難しい」の割合は“すでに入所・入居申し込みをしている”が17.9%で最も高くなっています。(図5-11-2)

【図 5-11-2 施設等への入所・入居の検討状況別 働いている主な介護者の就労継続見込み】



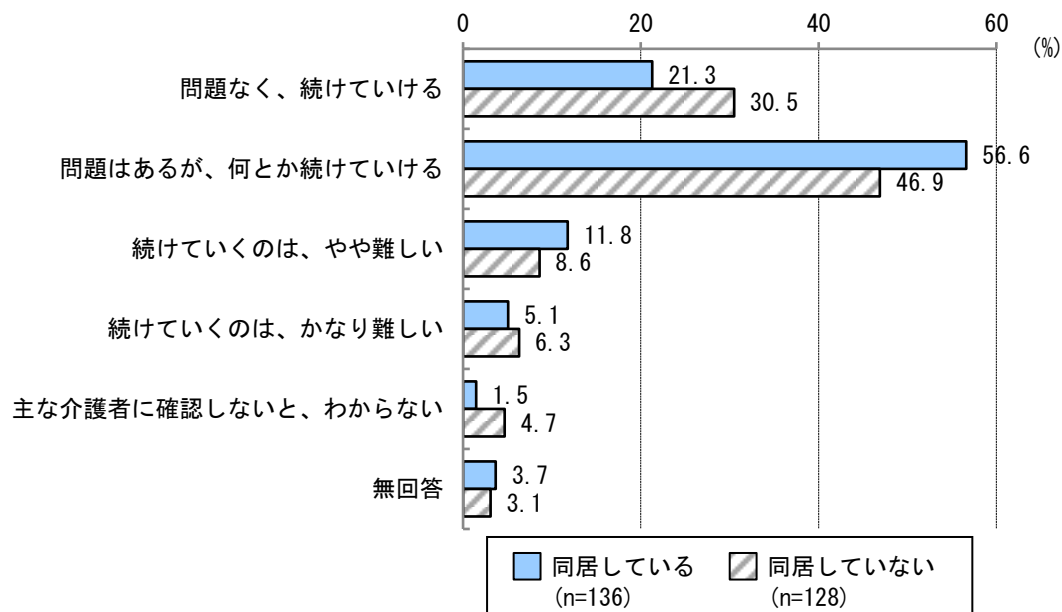
主な介護者のうち働いている人の勤務形態別でみると、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」の割合はいずれも“フルタイム勤務”のほうが高くなっています。(図5-11-3)

【図 5-11-3 主な介護者の勤務形態別 働いている主な介護者の就労継続見込み】



介護を受けている人との同居有無別でみると、同居の有無にかかわらず「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多く、同居している介護者が56.6%、同居していない介護者が46.9%となっています。(図5-11-4)

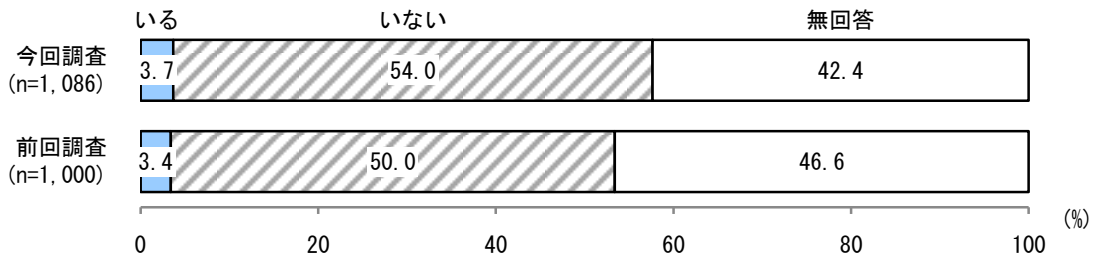
【図5-11-4 介護を受けている人との同居有無別 働いている主な介護者の就労継続見込み】



(12) 18歳未満の子供の有無

問9. 主な介護者の方は18歳未満の子どもがいますか。<○は1つ>

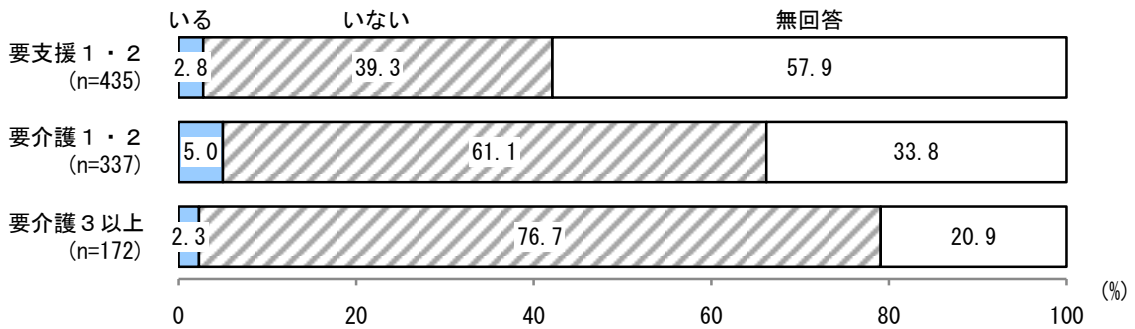
【図5-12 18歳未満の子供の有無】



18歳未満の子供の有無については、「いる」が3.7%、「いない」が54.0%となっています。前回調査と比較すると、「いない」は4.0ポイント高くなっています。(図5-12)

要介護度別でみると、「いる」の割合は“要介護1・2”で5.0%と最も高くなっています。(図5-12-1)

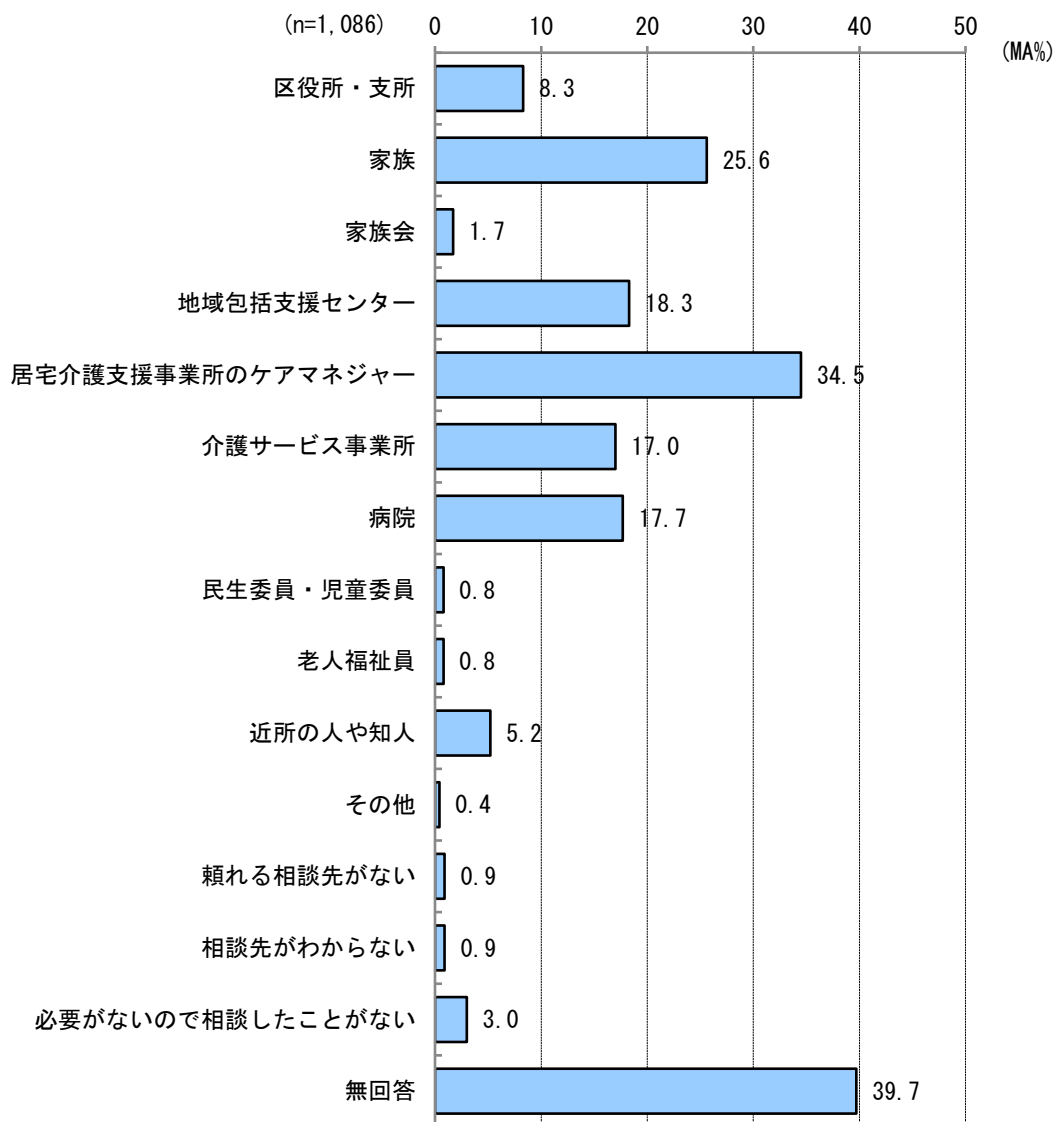
【図5-12-1 要介護度別 18歳未満の子供の有無】



(13) 頼りにしている相談先

問10. 主な介護者の方が頼りにしている相談先を教えてください。
<あてはまるものすべてに○>

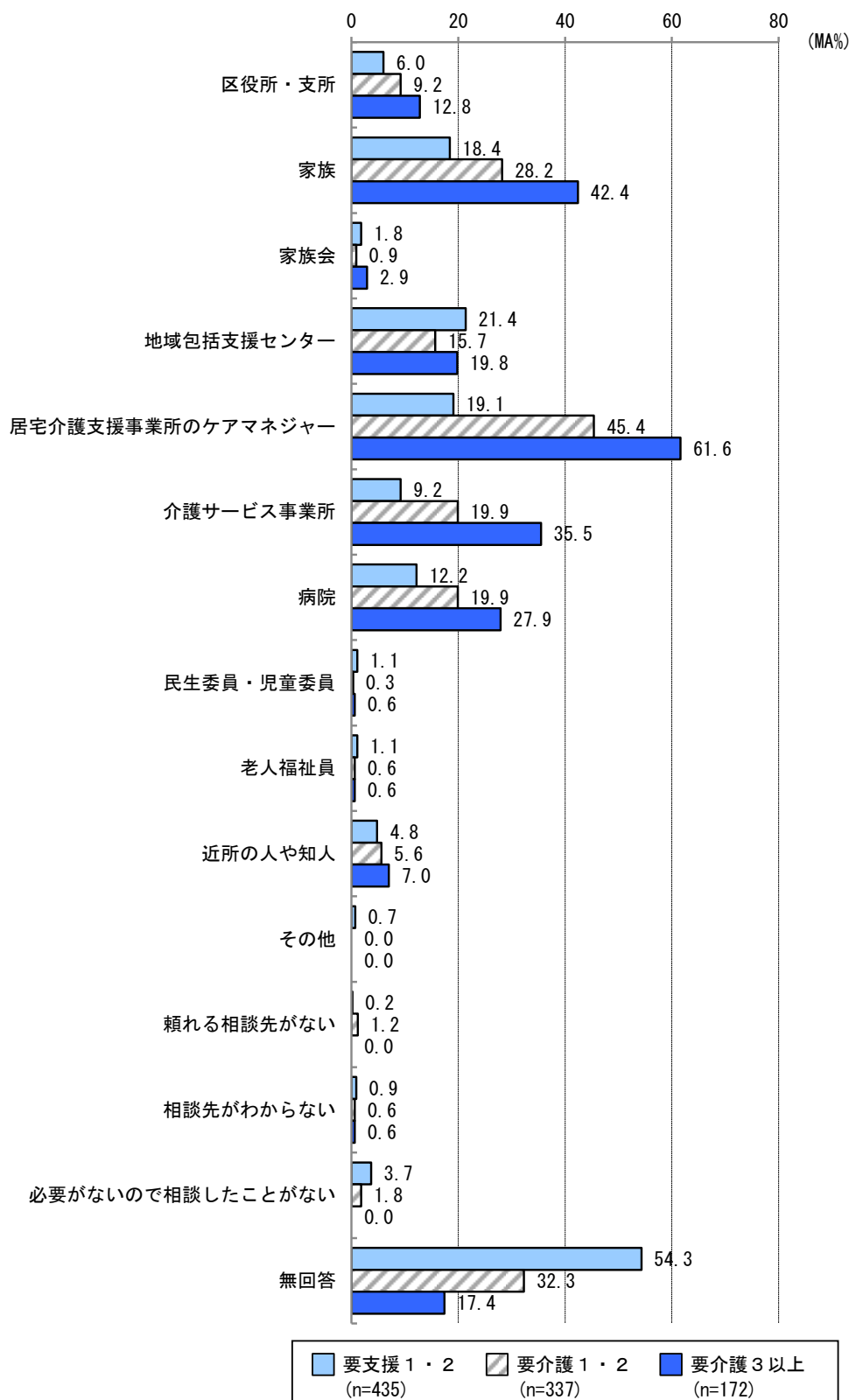
【図 5-13 頼りにしている相談先】



主な介護者が頼りにしている相談先については、「居宅介護支援事業所のケアマネジャー」が34.5%で最も多く、次いで「家族」が25.6%、「地域包括支援センター」が18.3%、「病院」が17.7%となっています。(図5-13)

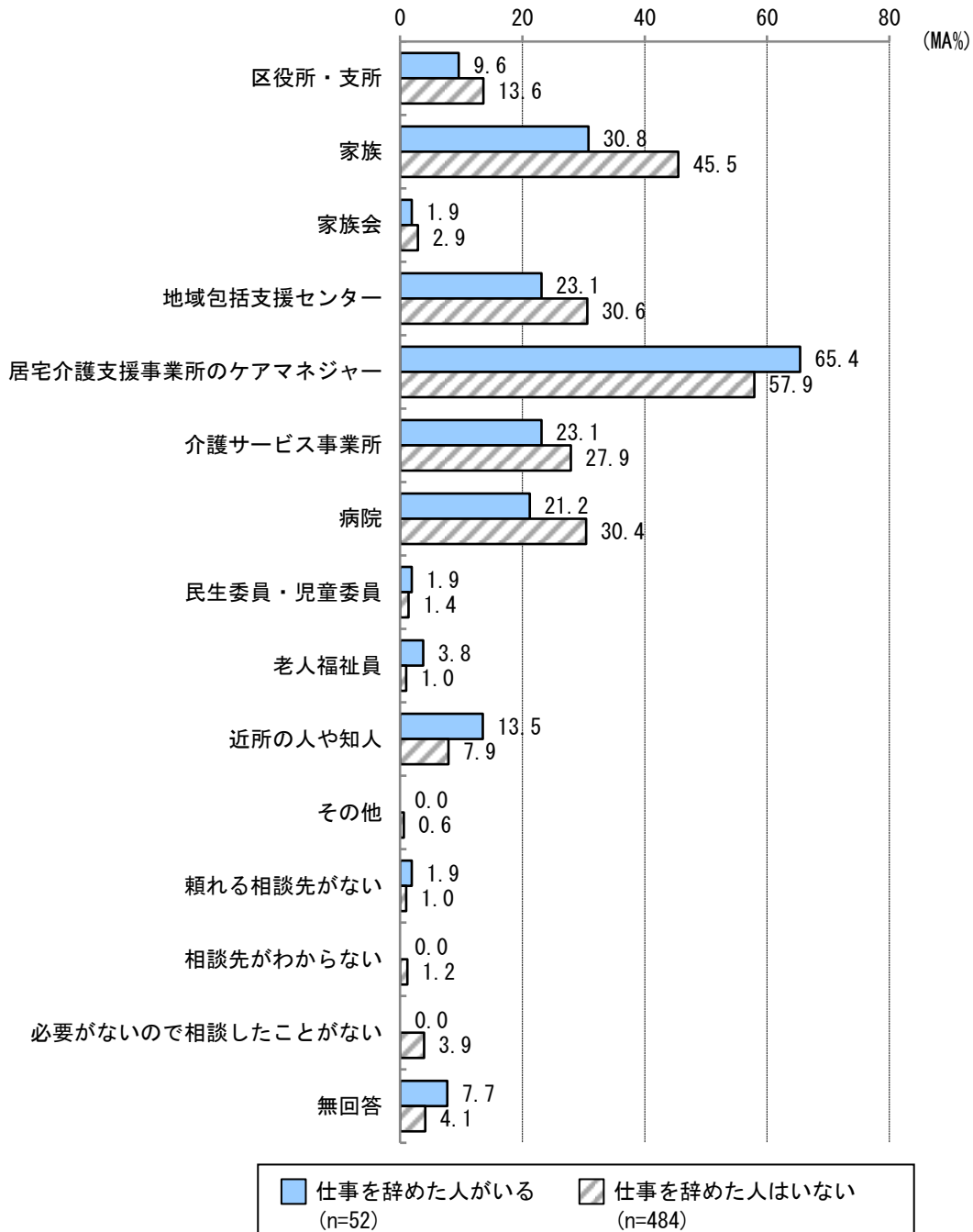
要介護度別で見ると、“要支援1・2”では「地域包括支援センター」が21.4%で最も多く、“要介護1・2”と“要介護3以上”では「居宅介護支援事業所のケアマネジャー」がそれぞれ45.4%、61.6%で最も多くなっています。「区役所・支所」「家族」「居宅介護支援事業所のケアマネジャー」「介護サービス事業所」「病院」「近所の人や知人」は要介護度が重度になるほど割合が高くなっており、“要介護3以上”が最も高くなっています。(図5-13-1)

【図5-13-1 要介護度別 頼りにしている相談先】



介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無別で見ると、いずれも「居宅介護支援事業所のケアマネジャー」が最も多く、仕事を辞めた人がいる人で65.4%、仕事を辞めた人はいない人では57.9%となっています。次いでいずれも「家族」が続いており、仕事を辞めた人がいる人で30.8%、仕事を辞めた人はいない人では45.5%となっています。(図5-13-2)

【図 5-13-2 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無別 頼りにしている相談先】

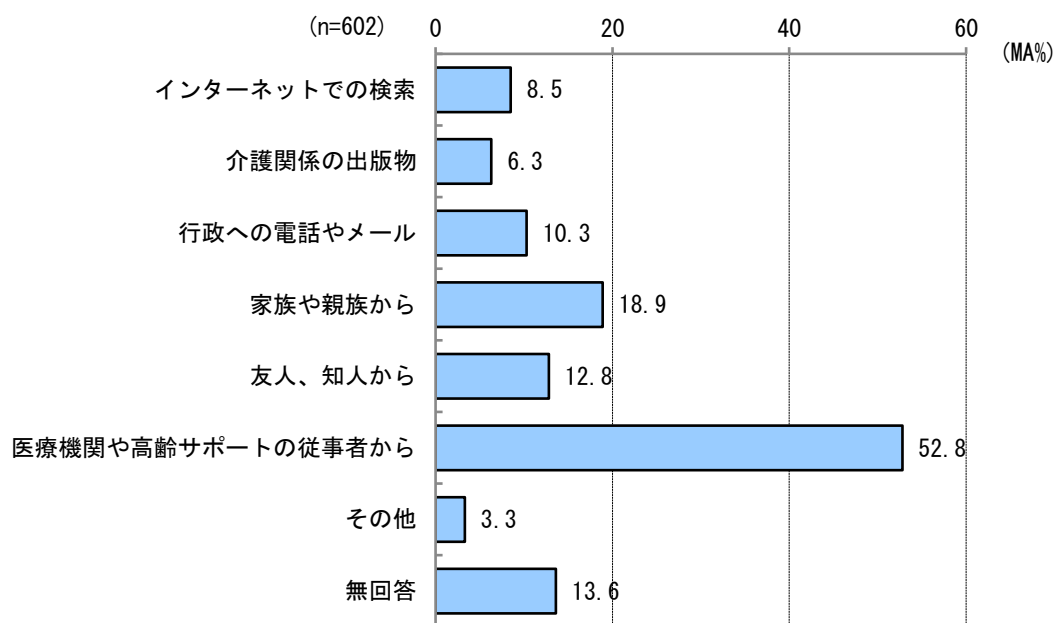


(14) 相談窓口の情報入手先

問10-1. 問10で「1」～「11」と回答された方にお聞きします。

その窓口の情報はどこから知りましたか。〈あてはまるものすべてに○〉

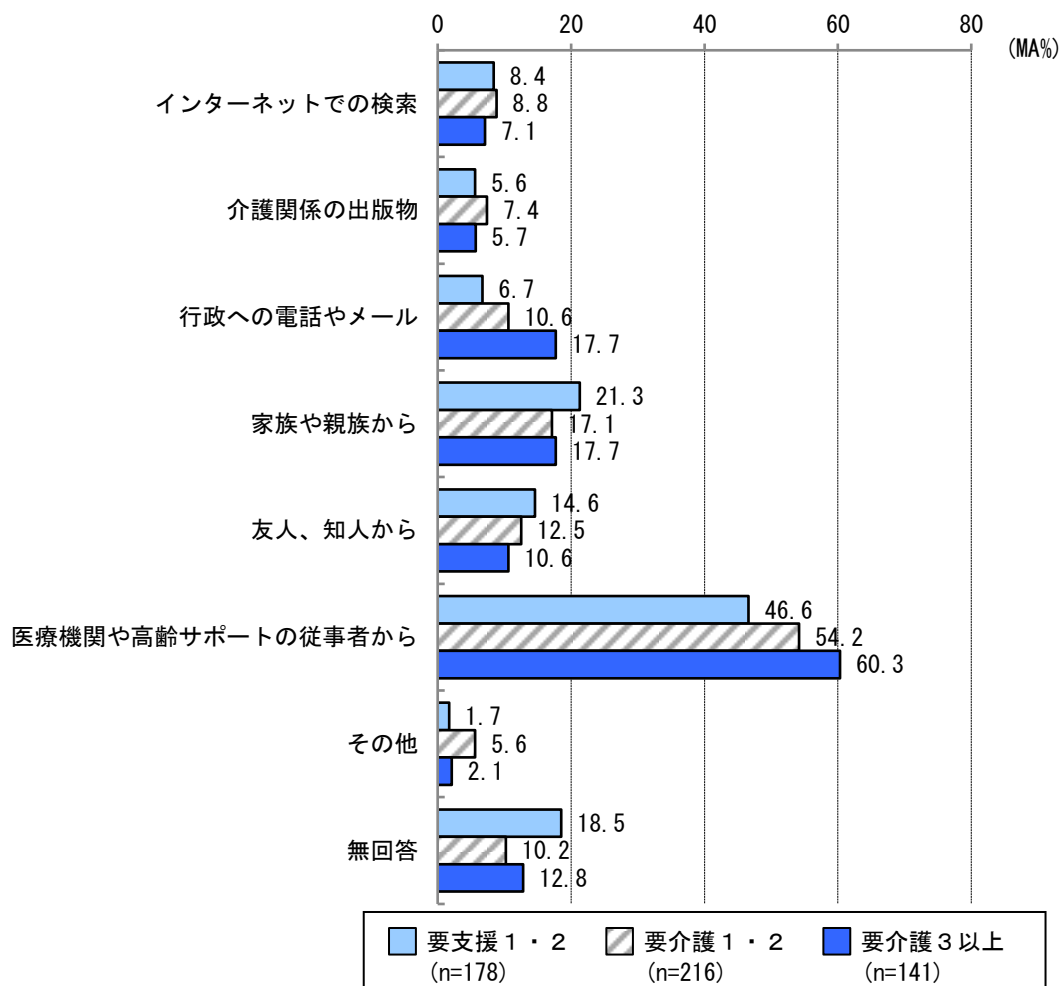
【図5-14 相談窓口の情報入手先】



頼りにしている相談先があると回答した人に、その窓口の情報についてたずねたところ、「医療機関や高齢サポートの従事者から」が52.8%で最も多く、次いで「家族や親族から」が18.9%、「友人、知人から」が12.8%となっています。(図5-14)

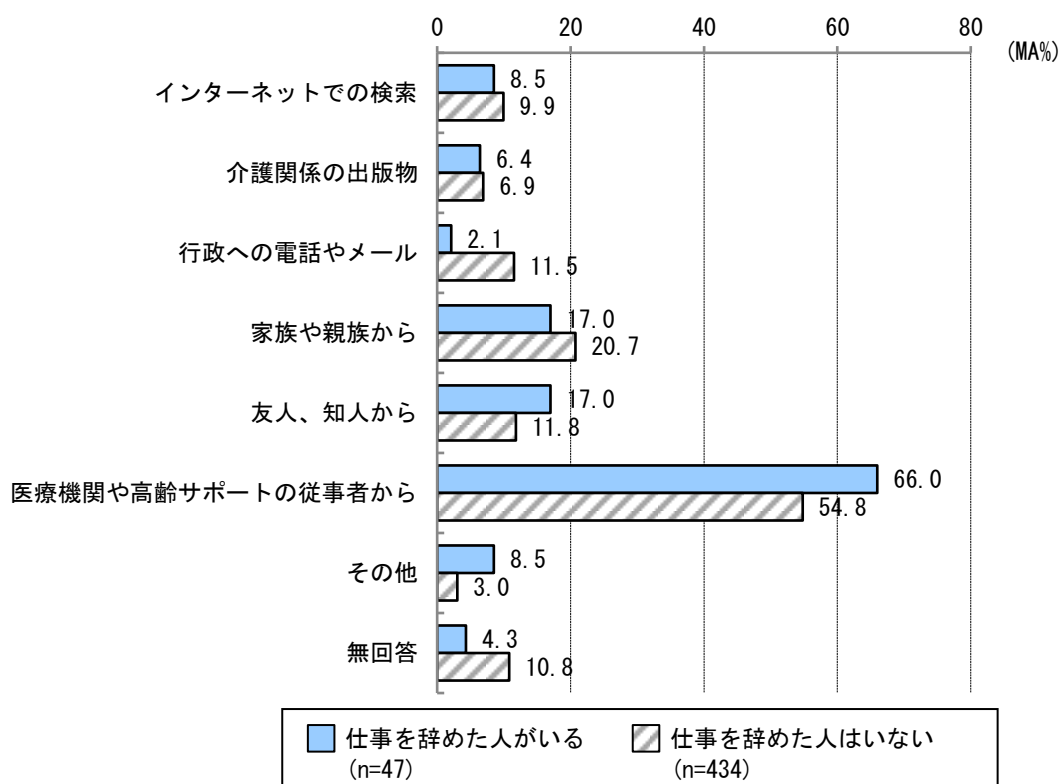
要介護度別で見ると、いずれの要介護度も「医療機関や高齢サポートの従事者から」が最も多く、“要介護3以上”が60.3%であり、要介護度が重度になるほど割合が高くなっています。(図5-14-1)

【図5-14-1 要介護度別 相談窓口の情報入手先】



介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無別でみると、いずれも「医療機関や高齢サポートの従事者から」が最も多くなっています。(図5-14-2)

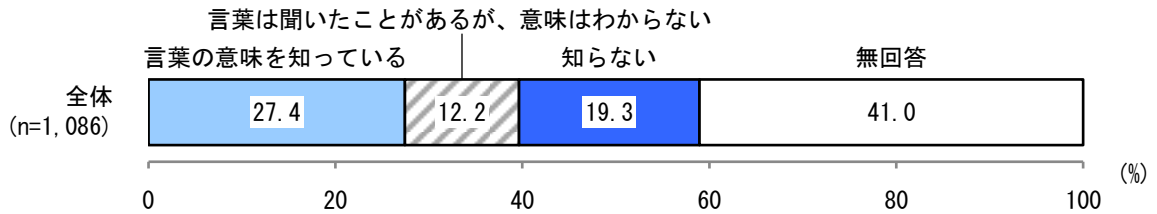
【図 5-14-2 介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無別 相談窓口の情報入手先】



(15) ケアラーという言葉の認知度

問11. 本市では、令和6年11月に「京都市ケアラーに対する支援の推進に関する条例」（ケアラー支援条例）を制定しました。あなたは「ケアラー」という言葉を知っていますか。
 <○は1つ>

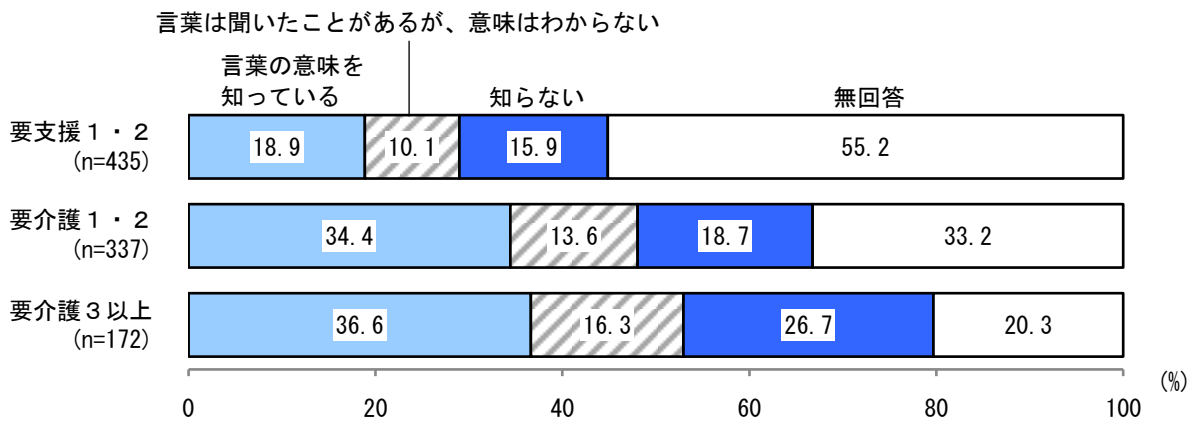
【図 5-15 ケアラーという言葉の認知度】



ケアラーという言葉の認知度については、「言葉の意味を知っている」が27.4%で最も多く、次いで「知らない」が19.3%、「言葉は聞いたことがあるが、意味はわからない」が12.2%となっています。（図5-15）

要介護度別で見ると、いずれの要介護度も「言葉の意味を知っている」が最も多く、“要介護3以上”が36.6%で最も高く、次いで“要介護1・2”が34.4%となっています。（図5-15-1）

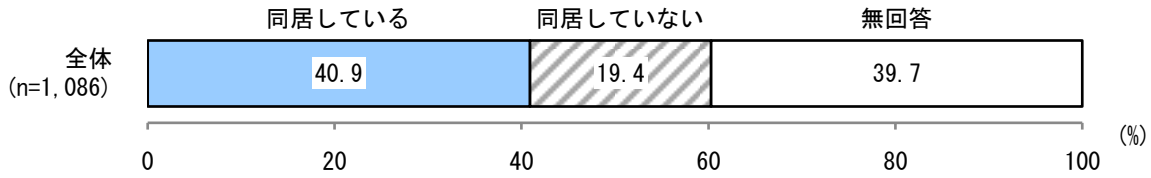
【図 5-15-1 要介護度別 ケアラーという言葉の認知度】



(16) 介護を受けている人との同居有無

問12. 主な介護者の方は、介護を受けている方（本調査のあて名の方）と同居していますか。
 <○は1つ>

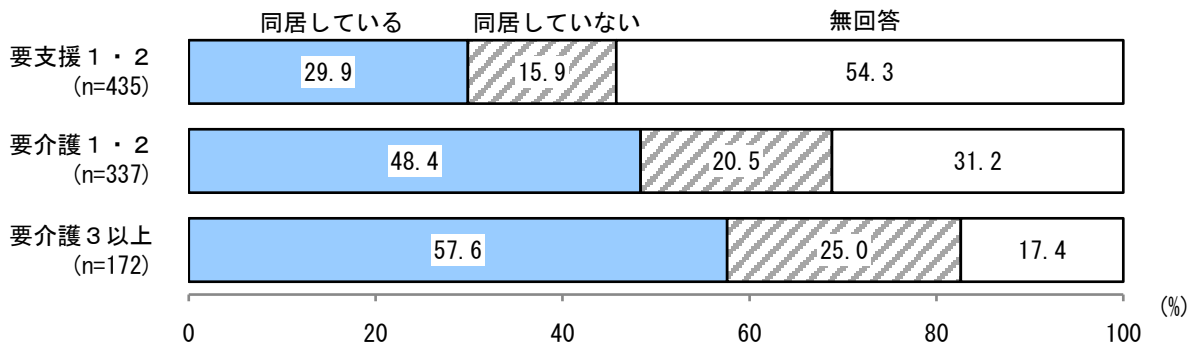
【図 5-16 介護を受けている人との同居有無】



介護を受けている人との同居有無は、「同居している」が40.9%で最も多く、次いで「同居していない」が19.4%となっています。（図5-16）

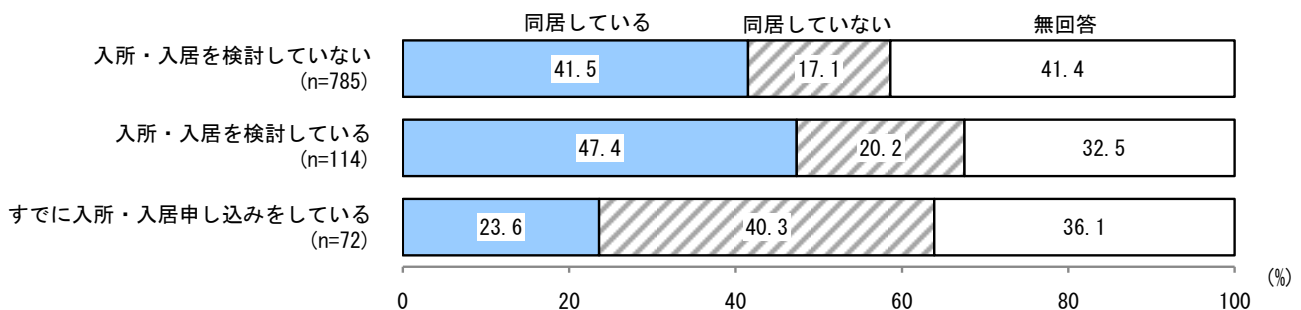
要介護度別でみると、「同居している」割合は要介護度が重度になるほど高く、“要介護3以上”が57.6%で最も高く、次いで“要介護1・2”が48.4%となっています。（図5-16-1）

【図 5-16-1 要介護度別 介護を受けている人との同居有無】



施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”と“入所・入居を検討している”は「同居している」割合が4割台で、“すでに入所・入居申し込みをしている”は「同居していない」のほうが多く、40.3%となっています。（図5-16-2）

【図 5-16-2 施設等への入所・入居の検討状況別 介護を受けている人との同居有無】

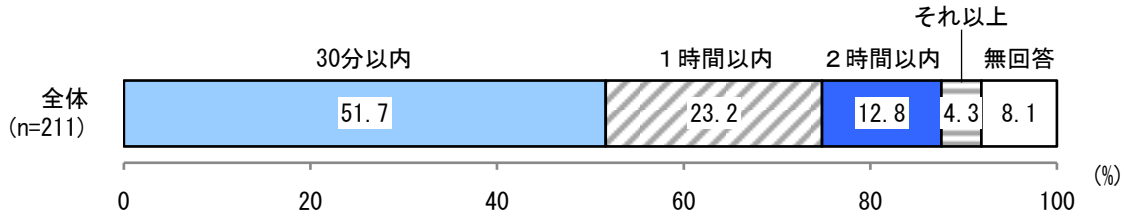


(17) 介護を受けている人の住居までの移動時間

問12-1. 問12で「2. 同居していない」と回答された方にお聞きします。

(1) 介護を受けている方が居住している家までの移動時間はどれくらいですか。〈○は1つ〉

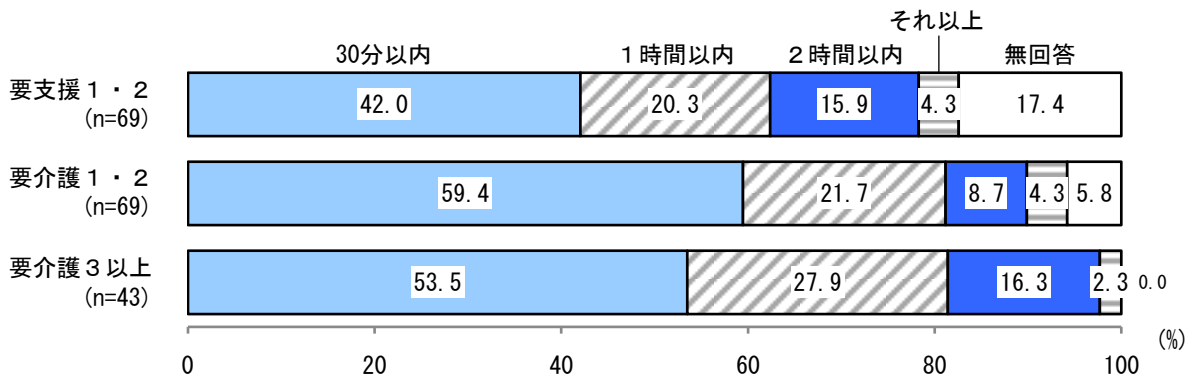
【図 5-17 介護を受けている人の住居までの移動時間】



介護を受けている人と同居していないと回答した人に、介護を受けている人の住居までの移動時間についてたずねたところ、「30分以内」が51.7%で最も多く、次いで「1時間以内」が23.2%、「2時間以内」が12.8%となっています。(図5-17)

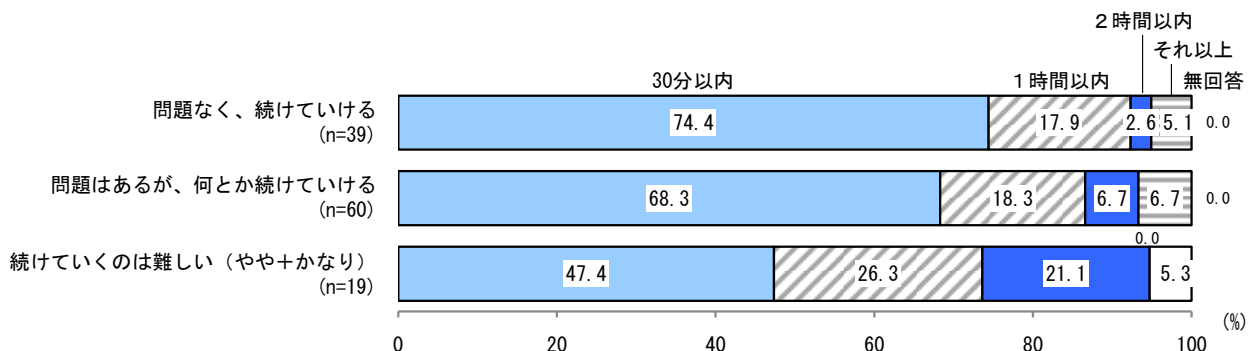
要介護度別でみると、いずれの要介護度も「30分以内」が最も多く、「要介護1・2」が59.4%で最も高くなっています。一方、「2時間以内」は“要介護3以上”が16.3%で最も高く、「1時間以内」も“要介護3以上”が27.9%で最も高くなっています。(図5-17-1)

【図 5-17-1 要介護度別 介護を受けている人の住居までの移動時間】



働いている主な介護者の就労継続見込み別でみると、「30分以内」は“問題なく、続けていける”が74.4%で最も高く、「1時間以内」と「2時間以内」は“続けていくのは難しい”がそれぞれ26.3%、21.1%で最も高くなっています。(図5-17-2)

【図 5-17-2 働いている主な介護者の就労継続見込み別 介護を受けている人の住居までの移動時間】

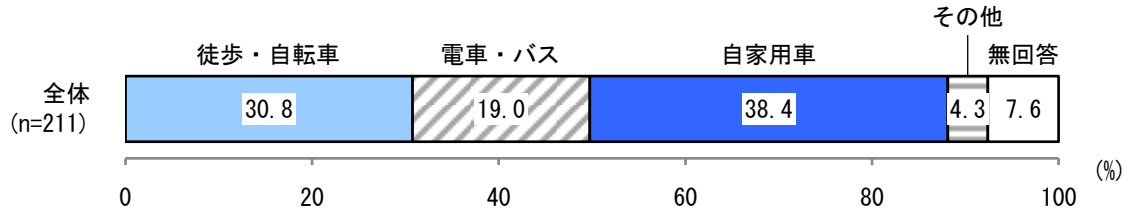


(18) 介護を受けている人の住居までの移動手段

(2) 介護を受けている方が居住している家までの移動手段はどれですか。

<○は主なもの1つだけ>

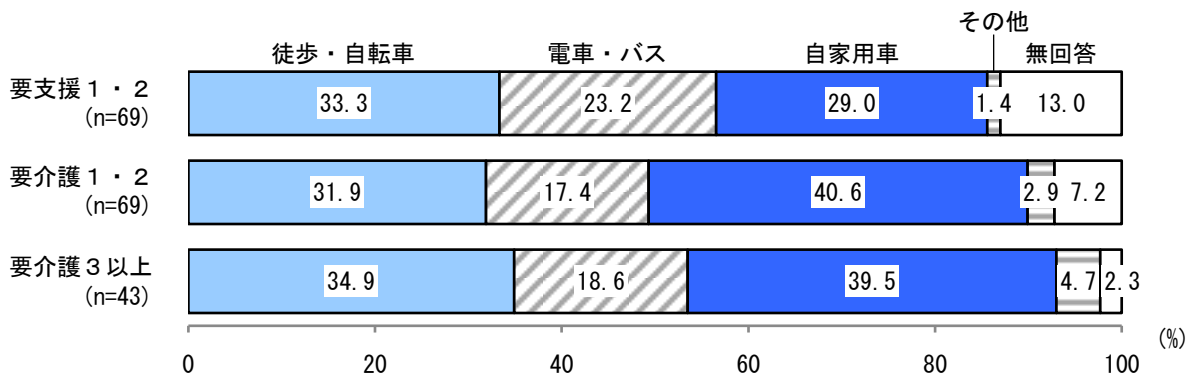
【図 5-18 介護を受けている人の住居までの移動手段】



介護を受けている人の住居までの移動手段については、「自家用車」が38.4%で最も多く、次いで「徒歩・自転車」が30.8%、「電車・バス」が19.0%となっています。(図5-18)

要介護度別でみると、“要支援1・2”では「徒歩・自転車」が33.3%で最も多いですが、“要介護1・2”と“要介護3以上”では「自家用車」がそれぞれ40.6%、39.5%で最も多くなっています。(図5-18-1)

【図 5-18-1 要介護度別 介護を受けている人の住居までの移動手段】

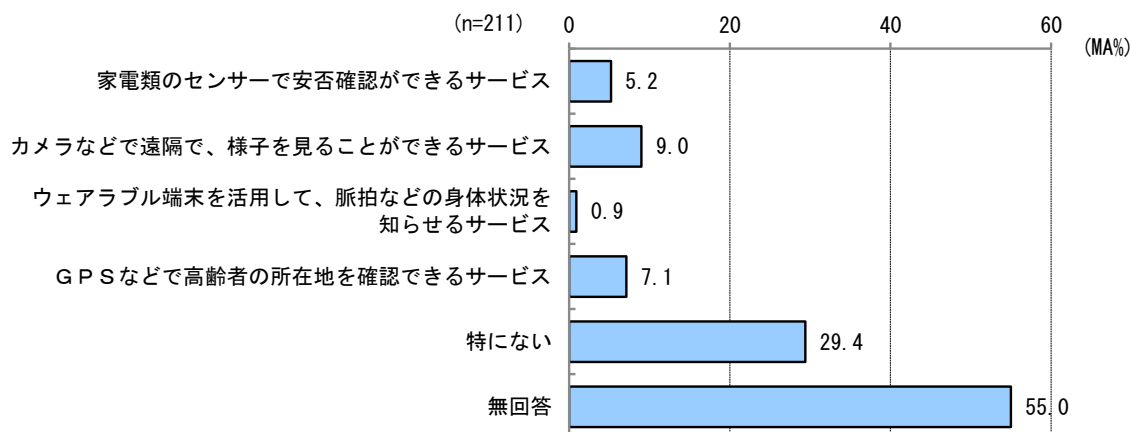


(19) 家族等の介護をするうえで、ICT 技術を生かしたツールの活用状況と意向

(3) あなたは、家族等の介護をするうえで、次のような I C T 技術を生かしたツールを活用している又はしたいと思いませんか。〈あてはまるものすべてに○〉

① 家族等の介護をするうえで、ICT 技術を生かしたツールで活用しているもの

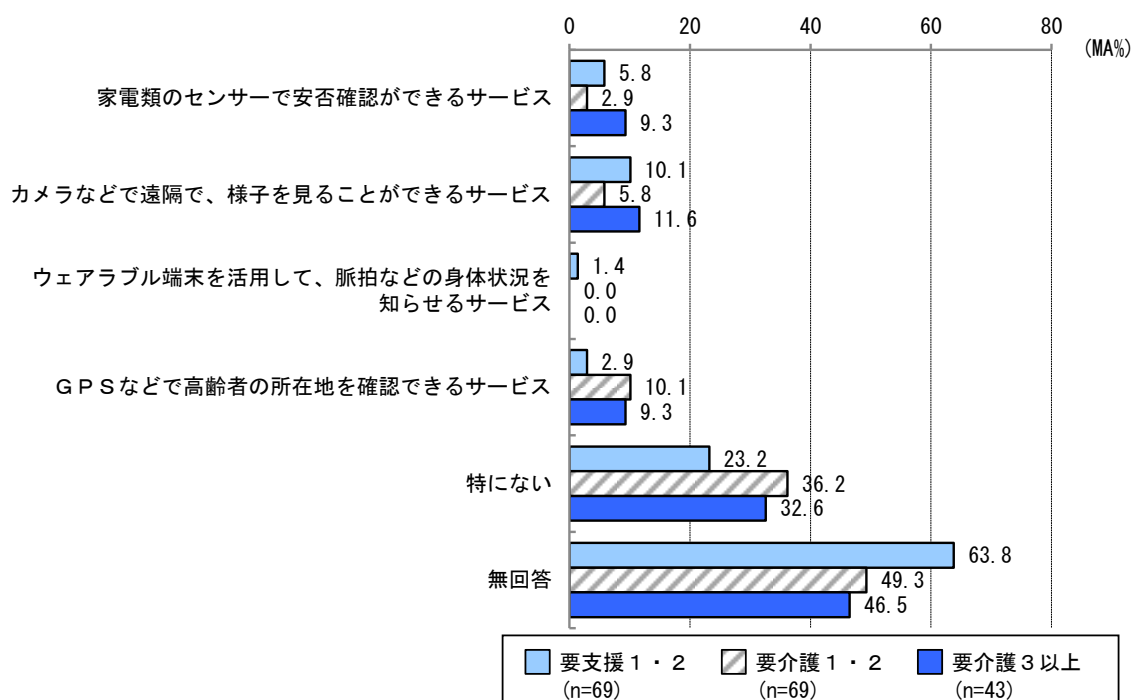
【図 5-19-1 家族等の介護をするうえで、ICT 技術を生かしたツールで活用しているもの】



家族等の介護をするうえで、ICT技術を生かしたツールで活用しているものについては、「カメラなどで遠隔で、様子を見ることができるサービス」が9.0%で最も多く、次いで「GPSなどで高齢者の所在地を確認できるサービス」が7.1%、「家電類のセンサーで安否確認ができるサービス」が5.2%となっています。(図5-19-1)

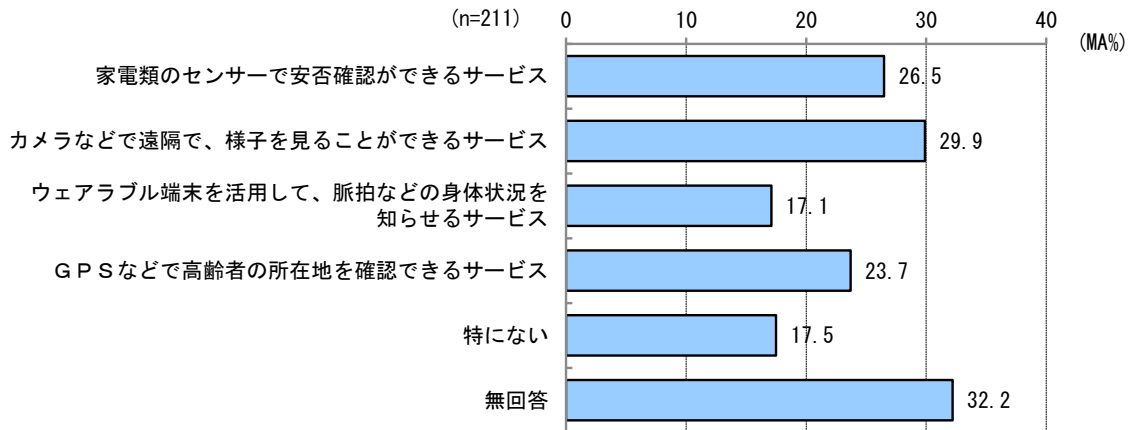
要介護度別で見ると、活用しているものがある人では“要支援1・2”と“要介護3以上”では「カメラなどで遠隔で、様子を見ることができるサービス」がそれぞれ10.1%、11.6%で最も多く、“要介護1・2”では「GPSなどで高齢者の所在地を確認できるサービス」が10.1%で最も多くなっています。(図5-19-1-1)

【図 5-19-1-1 要介護度別 家族等の介護をするうえで、ICT 技術を生かしたツールで活用しているもの】



② 家族等の介護をするうえで、ICT 技術を生かしたツールで今後活用したいもの

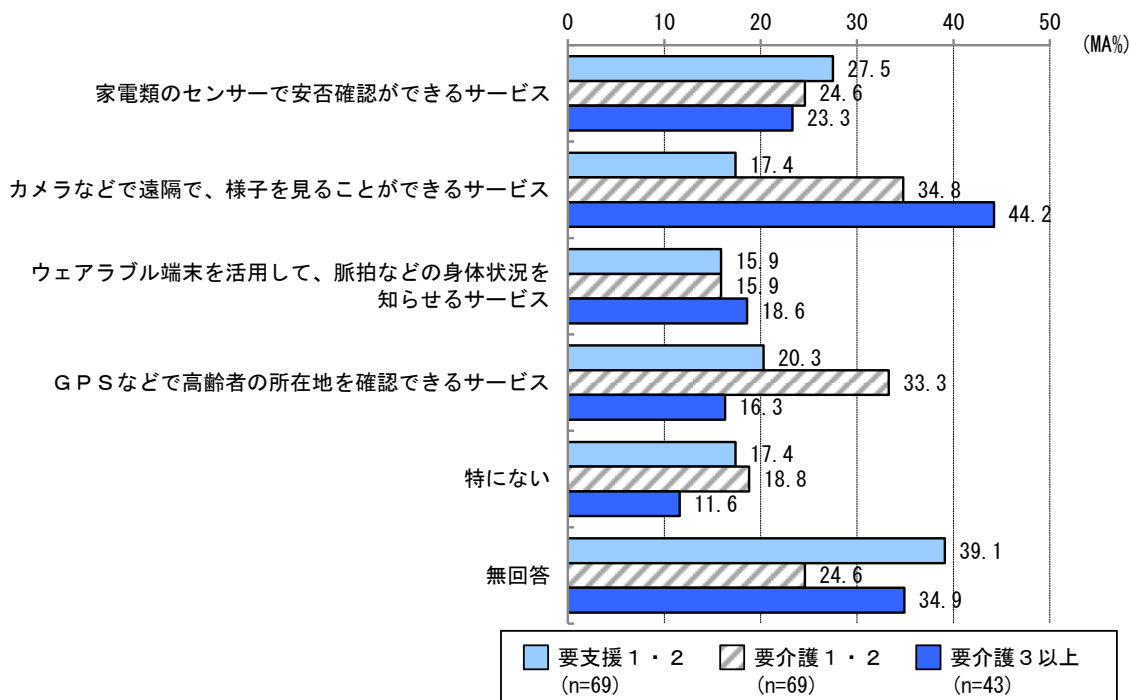
【図 5-19-2 家族等の介護をするうえで、ICT 技術を生かしたツールで今後活用したいもの】



家族等の介護をするうえで、ICT技術を生かしたツールで今後活用したいものについては、「カメラなどで遠隔で、様子を見ることができるサービス」が29.9%で最も多く、次いで「家電類のセンサーで安否確認ができるサービス」が26.5%、「GPSなどで高齢者の所在地を確認できるサービス」が23.7%となっています。(図5-19-2)

要介護度別でみると、今後活用したいものがある人では“要支援1・2”では「家電類のセンサーで安否確認ができるサービス」が27.5%で最も多く、“要介護1・2”と“要介護3以上”では「カメラなどで遠隔で、様子を見ることができるサービス」がそれぞれ34.8%、44.2%で最も多くなっています。(図5-19-2-1)

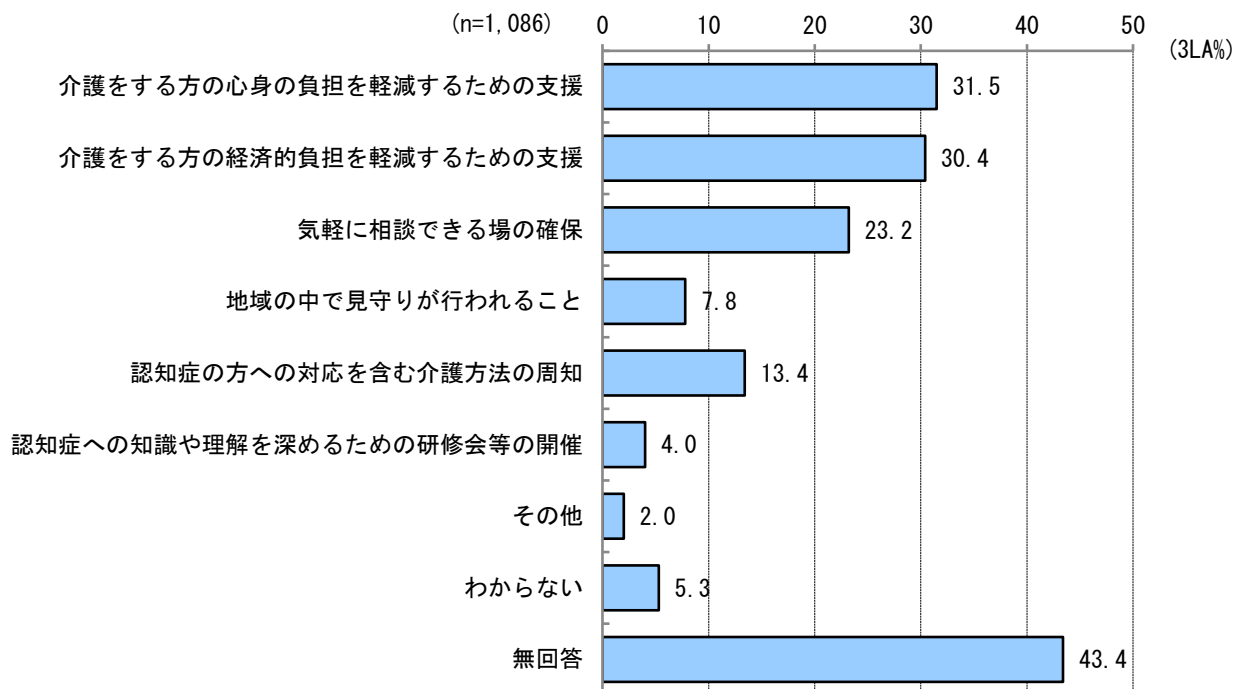
【図 5-19-2-1 要介護度別 家族等の介護をするうえで、ICT 技術を生かしたツールで今後活用したいもの】



(20) 家族等の介護をするうえで、あればよいと思う支援

問13. 主な介護者の方は、家族等の介護をするうえで、どのような支援があれば良いと思いますか。〈〇は3つまで〉

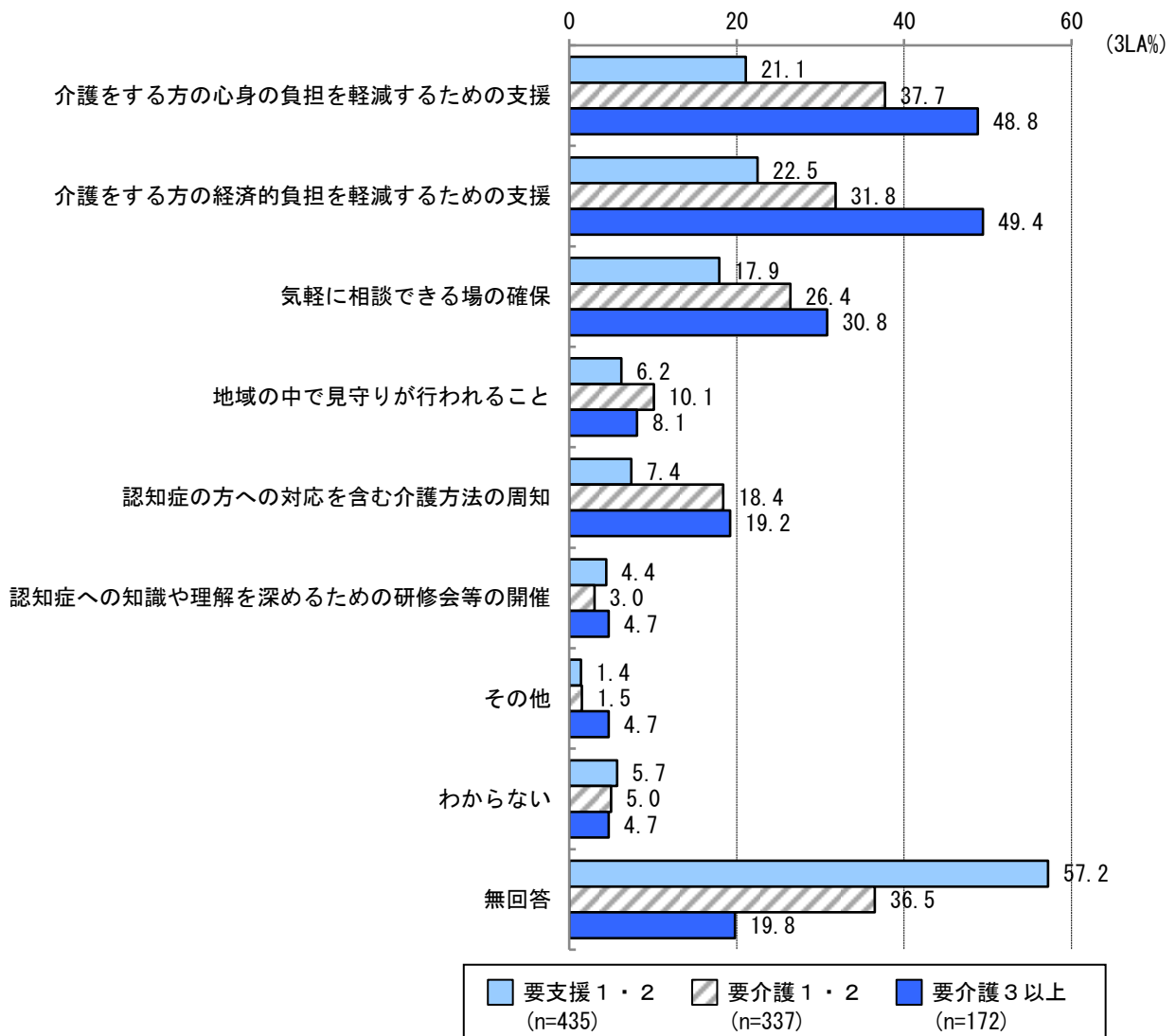
【図5-20 家族等の介護をするうえで、あればよいと思う支援】



家族等の介護をするうえで、あればよい支援については、「介護をする方の心身の負担を軽減するための支援」が31.5%で最も多く、次いで「介護をする方の経済的負担を軽減するための支援」が30.4%、「気軽に相談できる場の確保」が23.2%となっています。(図5-20)

要介護度別で見ると、“要支援1・2”と“要介護3以上”では「介護をする方の経済的負担を軽減するための支援」がそれぞれ22.5%、49.4%で最も多く、次いで「介護をする方の心身の負担を軽減するための支援」がそれぞれ21.1%、48.8%となっています。“要介護1・2”では「介護をする方の心身の負担を軽減するための支援」が37.7%で最も多く、次いで「介護をする方の経済的負担を軽減するための支援」が31.8%となっています。「介護をする方の心身の負担を軽減するための支援」「介護をする方の経済的負担を軽減するための支援」「気軽に相談できる場の確保」「認知症の方への対応を含む介護方法の周知」は要介護度が重度になるほど割合が高くなっています。(図5-20-1)

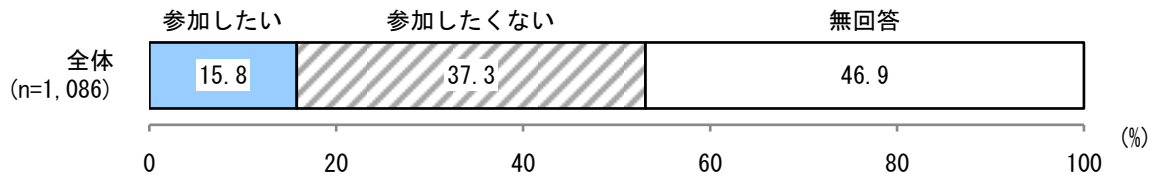
【図5-20-1 要介護度別 家族等の介護をするうえで、あればよいと思う支援】



(21) 介護者の交流会への参加意向

問14. 主な介護者の方は、介護をしている方の交流会などがあれば参加したいと思いますか。
 <〇は1つ>

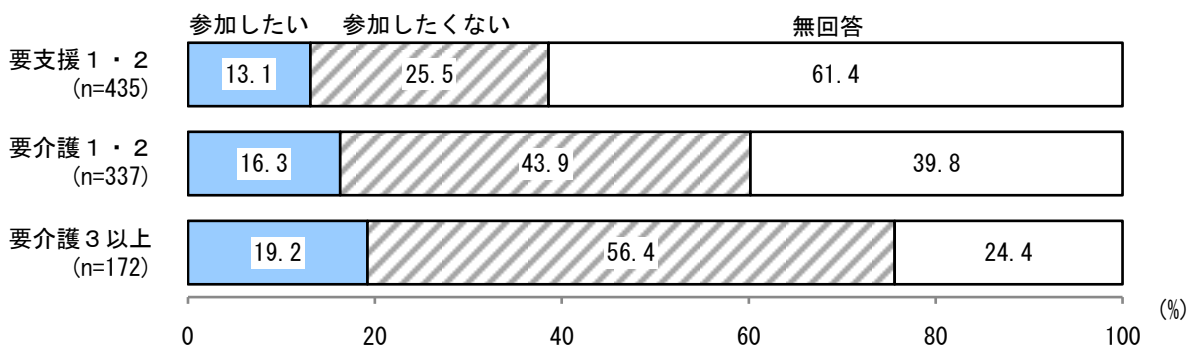
【図 5-21 介護者の交流会への参加意向】



介護者の交流会への参加意向については、「参加したい」が15.8%、「参加したくない」が37.3%となっています。(図5-21)

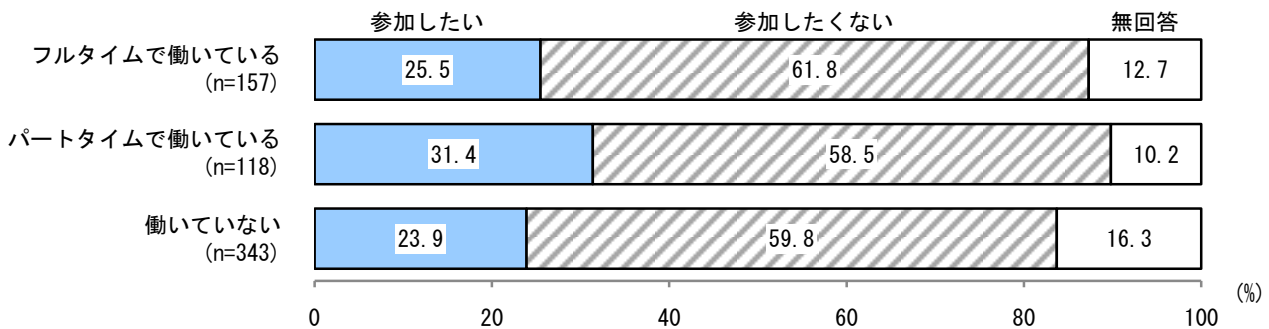
要介護度別でみると、「参加したくない」割合は要介護度が重度になるほど高くなっており、「要介護3以上」が56.4%で最も高くなっています。(図5-21-1)

【図 5-21-1 要介護度別 介護者の交流会への参加意向】



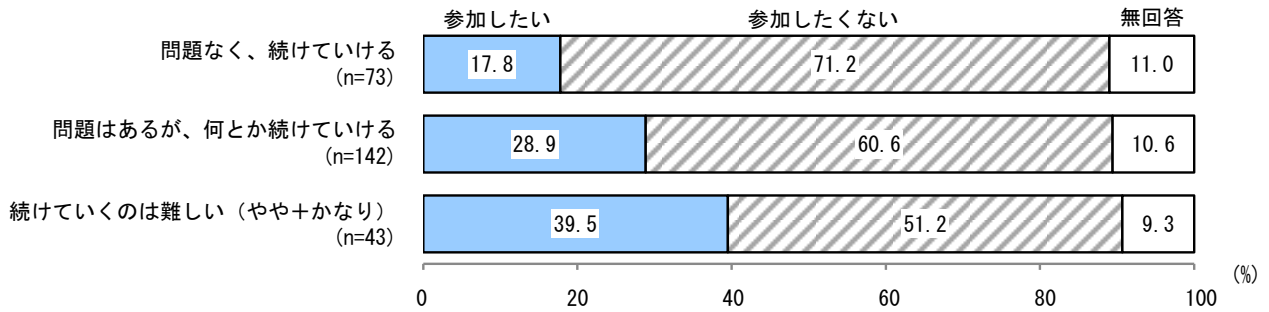
主な介護者の勤務形態別でみると、「参加したい」割合は“パートタイム勤務”が31.4%で最も高く、次いで“フルタイム勤務”が25.5%となっています。(図5-21-2)

【図 5-21-2 主な介護者の勤務形態別 介護者の交流会への参加意向】



働いている主な介護者の就労継続見込み別でみると、「参加したい」割合は介護者が就労を続けていくのが困難な人ほど割合が高く、“続けていくのは難しい”が39.5%で最も高くなっています。(図5-21-3)

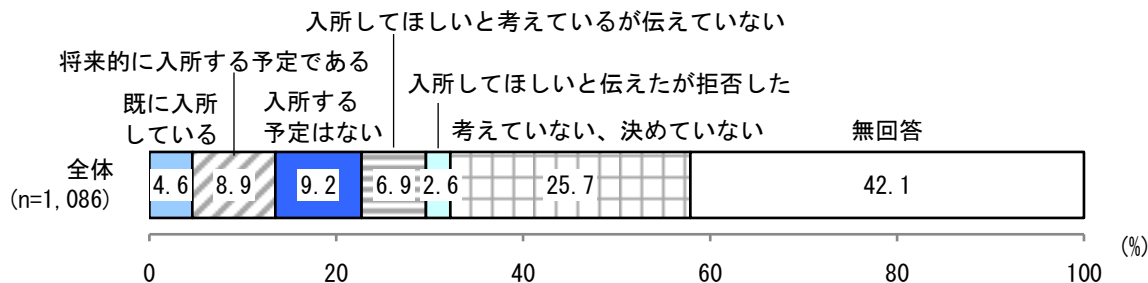
【図 5-21-3 働いている主な介護者の就労継続見込み別 介護者の交流会への参加意向】



(22) 介護をしている人に対する介護施設への入所意向

問15. 主な介護者の方は、介護をしている方に対して介護施設などに入所してもらうことを考えていますか。〈○は1つ〉

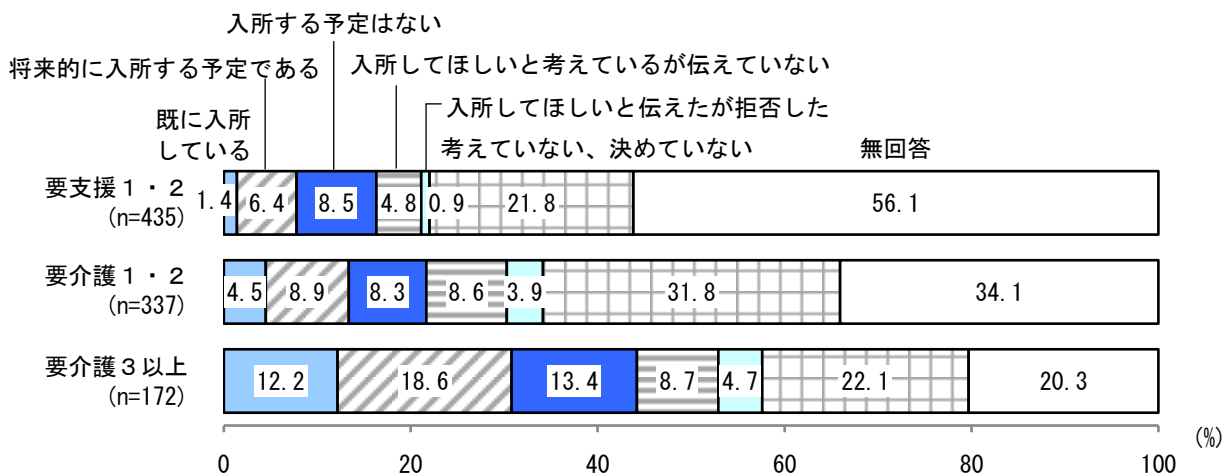
【図 5-22 介護をしている人に対する介護施設への入所意向】



介護をしている人に対する介護施設への入所意向については、「考えていない、決めていない」が25.7%で最も多く、次いで「入所する予定はない」が9.2%、「将来的に入所する予定である」が8.9%となっています。(図5-22)

要介護度別で見ると、いずれの要介護度も「考えていない、決めていない」が最も多くなっています。「将来的に入所する予定である」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっています。(図5-22-1)

【図 5-22-1 要介護度別 介護をしている人に対する介護施設への入所意向】



施設等への入所・入居の検討状況別でみると、“入所・入居を検討していない”では「考えていない、決めていない」が30.1%で最も多く、次いで「入所する予定はない」が11.6%となっています。“入所・入居を検討している”では「将来的に入所する予定である」が35.1%で最も多く、次いで「入所してほしいと考えているが伝えていない」が17.5%となっています。(図5-22-2)

【図 5-22-2 施設等への入所・入居の検討状況別 介護をしている人に対する介護施設への入所意向】

